

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>b. 代替再循環運転</p> <p>(a) 運転停止中において全交流動力電源喪失が発生した場合</p> <p>i. B 高压注入ポンプ（海水冷却）による高压代替再循環運転</p> <p>運転停止中において、全交流動力電源喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、B 高压注入ポンプ（海水冷却）を用いた高压代替再循環運転による原子炉への注水を行い、あわせて大容量ポンプを用いた格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却により格納容器を冷却する手順を整備する。</p> <p>(i) 手順着手の判断基準</p> <p>運転停止中に全交流動力電源喪失が発生した場合に、大容量ポンプにより代替補機冷却による冷却水が確保され、高压代替再循環運転をするために必要な格納容器再循環サンプの水位が確保されている場合。</p> <p>(ii) 操作手順</p> <p>1.4.2.1(2)b.(a)i.と同様。</p>		<p>への注水」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性</p> <p>原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）2名及び災害対策要員3名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから原子炉容器への注水開始まで225分以内で可能である。</p> <p>b. 代替再循環運転</p> <p>(a) 発電用原子炉停止中において全交流動力電源喪失が発生した場合</p> <p>i. 可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高压注入ポンプによる高压代替再循環運転</p> <p>発電用原子炉停止中において、全交流動力電源喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高压注入ポンプによる高压代替再循環運転により原子炉容器への注水を行い、あわせて可搬型大型送水ポンプ車を用いたC、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却により原子炉格納容器内を冷却する。</p> <p>(i) 手順着手の判断基準</p> <p>発電用原子炉停止中に全交流動力電源喪失が発生した場合に、可搬型大型送水ポンプ車により代替補機冷却による冷却水が確保され、高压代替再循環運転をするために必要な格納容器再循環サンプ水位が確保されている場合。</p> <p>(ii) 操作手順</p> <p>可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高压注入ポンプによる高压代替再循環運転については、1.4.2.1(2)b.(a)i.「可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高压注入ポンプによる高压代替再循環運転」の操作手順と同様である。</p> <p>(iii) 操作の成立性</p> <p>可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高压注入ポンプによる高压代替再循環運転操作は、運転員（中央制御室）1名で実施する。</p> <p>操作については、中央制御室で通常の運転操作にて対応する。</p>	<p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(b) 運転停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合</p> <p>i. A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による低圧代替再循環運転</p> <p>運転停止中において、再循環運転時に原子炉補機冷却機能が喪失した場合、A余熱除去ポンプ（空調用冷水）を用いた低圧代替再循環運転による原子炉への注水を行い、あわせて大容量ポンプを用いた格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却により格納容器内を冷却する手順を整備する。</p> <p>(i) 手順着手の判断基準</p> <p>運転停止中に原子炉補機冷却機能喪失を原子炉補機冷却水供給母管流量等にて確認した場合に、空調用冷水系が運転中で、低圧代替再循環運転をするために必要な格納容器再循環サンプの水位が確保されている場合。</p> <p>(ii) 操作手順</p> <p>1.4.2.1(2)b.(b)i.と同様。</p> <p>ii. B高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転</p> <p>運転停止中において、再循環運転時に原子炉補機冷却機能が喪失した場合、B高圧注入ポンプ（海水冷却）を用いた高圧代替再循環運転による原子炉への注水を行い、あわせて大容量ポンプを用いた格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却により格納容器内を冷却する手順を整備する。</p> <p>(i) 手順着手の判断基準</p> <p>運転停止中に原子炉補機冷却機能喪失時の対応であるA余熱除去ポンプ（空調用冷水）低圧代替再循環運転による炉心への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合に、大容量ポンプにより代替補機冷却による冷却水が確保され、高圧代替再循環運転をするために必要な格納容器再循環サンプの水位が確保されている場合。</p> <p>(ii) 操作手順</p> <p>1.4.2.1(2)b.(a)i.と同様。</p>		<p>(b) 発電用原子炉停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合</p> <p>i. 可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転</p> <p>発電用原子炉停止中において、原子炉補機冷却機能が喪失し余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転により原子炉容器への注水を行い、あわせて、可搬型大型送水ポンプ車を用いたC、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却により原子炉格納容器内を冷却する。</p> <p>(i) 手順着手の判断基準</p> <p>発電用原子炉停止中に原子炉補機冷却機能喪失を原子炉補機冷却水供給母管流量等にて確認した場合に、可搬型大型送水ポンプ車により代替補機冷却による冷却水が確保され、高圧代替再循環運転をするために必要な格納容器再循環サンプ水位が確保されている場合。</p> <p>(ii) 操作手順</p> <p>可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転については、1.4.2.1(2)b.(a)i.「可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。</p>	<p>相違理由</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由⑥）</p> <p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由⑥）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>c. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）</p> <p>(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水</p> <p>運転停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプにより復水ピット水を蒸気発生器へ注水する手順を整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>運転停止中に全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失時、余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合に、1次冷却系に開口部がなく、蒸気発生器へ注水するために必要な復水ピット水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>1.4.2.2(1)a.(a)と同様。</p>		<p>(iii) 操作の成立性</p> <p>可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高压注入ポンプによる高压代替再循環運転操作は、運転員（中央制御室）1名で実施する。</p> <p>操作については、中央制御室で通常の運転操作にて対応する。</p> <p>c. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（注水）</p> <p>(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水</p> <p>発電用原子炉停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプにより補助給水ピット水を蒸気発生器へ注水する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>発電用原子炉停止中に全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失時、余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉容器への注水を低压注入流量等にて確認できない場合に、1次冷却系に開口部がなく、蒸気発生器へ注水するために必要な補助給水ピット水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水については、1.4.2.2(1)a.(a)「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性</p> <p>タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水操作は、運転員（中央制御室）1名にて操作を実施する。操作器による中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。</p> <p>(b) SG直接給水用高压ポンプによる蒸気発生器への注水</p> <p>発電用原子炉停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、SG直接給水用高压ポンプにより補助給水ピット水を蒸気発生器へ注水する。</p> <p>なお、淡水又は海水を蒸気発生器へ注水する場合、蒸気発生器内水の塩分濃度及び不純物濃度が上昇するため、蒸気発生器ブローダウンラインにより排水を行う。</p>	<p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由④）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(b) 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水</p> <p>運転停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）により蒸気発生器へ注水する手順を整備する。</p> <p>なお、淡水又は海水を蒸気発生器へ注水する場合、蒸気発生器内水の塩分濃度及び不純物濃度が上昇するため、蒸気発生器ブローダウンラインにより排水を行う。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>運転停止中にタービン動補助給水ポンプ及び電動補助給水ポンプの故障等により蒸気発生器への注水が補助給水流量等により確認できない場合に、蒸気発生器へ注水するために必要な復水ピット水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>操作手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水」にて整備する。</p>	<p>ii. 操作手順</p> <p>SG 直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水については、「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「SG 直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性</p> <p>SG 直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）2名及び災害対策要員1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから蒸気発生器への注水開始まで60分以内で可能である。</p> <p>(c) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</p> <p>発電用原子炉停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、可搬型大型送水ポンプ車により海水を蒸気発生器へ注水する。</p> <p>なお、海水を蒸気発生器へ注水する場合、蒸気発生器内水の塩分濃度及び不純物濃度が上昇するため、蒸気発生器ブローダウンラインにより排水を行う。</p>	<p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>発電用原子炉停止中にタービン動補助給水ポンプ及び電動補助給水ポンプの故障等により蒸気発生器への注水されていることを補助給水流量等により確認できない場合に、蒸気発生器へ注水するために必要な補助給水ピット水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>SG 直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水については、「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「SG 直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性</p> <p>SG 直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）2名及び災害対策要員1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから蒸気発生器への注水開始まで60分以内で可能である。</p> <p>(c) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</p> <p>発電用原子炉停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、可搬型大型送水ポンプ車により海水を蒸気発生器へ注水する。</p> <p>なお、海水を蒸気発生器へ注水する場合、蒸気発生器内水の塩分濃度及び不純物濃度が上昇するため、蒸気発生器ブローダウンラインにより排水を行う。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>発電用原子炉停止中にタービン動補助給水ポンプ及び電動補助給水ポンプの故障等により蒸気発生器への注水を補助給水流量等により確認できない場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水については、「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)c.「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</p>	<p>相違理由</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由④）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由④）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由④）</p>

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p>iii. 操作の成立性</p> <p>海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）1名及び災害対策要員3名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから蒸気発生器への注水開始まで350分以内で可能である。</p> <p>(d) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</p> <p>発電用原子炉停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、可搬型大型送水ポンプ車により代替給水ピットから蒸気発生器へ注水する。</p> <p>なお、淡水を蒸気発生器へ注水する場合、蒸気発生器内水の塩分濃度及び不純物濃度が上昇するため、蒸気発生器ブローダウンラインにより排水を行う。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>発電用原子炉停止中にタービン動補助給水ポンプ及び電動補助給水ポンプの故障等により蒸気発生器への注水を補助給水流量等により確認できない場合において、海水取水箇所へのアクセスに時間を要する場合に、代替給水ピットの水位が確保され、使用できることを確認した場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水については、「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) d. 「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性</p> <p>代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）1名及び災害対策要員3名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから蒸気発生器への注水開始まで260分以内で可能である。</p> <p>(e) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</p> <p>発電用原子炉停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、可搬型大型送水ポンプ車により原水槽から蒸気発生器へ注水する。</p> <p>なお、淡水を蒸気発生器へ注水する場合、蒸気発生器</p>	<p>【大飯】記載方針の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大飯】設備の相違 (相違理由④)</p> <p>【大飯】設備の相違 (相違理由④)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>d. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）</p> <p>(a) 主蒸気逃がし弁（現場手動操作）による蒸気放出 運転停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、現場にて手動により主蒸気逃がし弁を開操作して蒸気発生器2次側による炉心冷却を行う手順を整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 運転停止中に全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失時、余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合に、蒸気発生器への注水が補助給水流量等により確保されたことを確認できた場合。</p> <p>ii. 操作手順 操作手順は「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち1.3.2.2(2)a. 「主蒸気逃がし弁（現場手動操作）による主蒸気逃がし弁の機能回復」にて整備する。</p>		<p>内水の塩分濃度及び不純物濃度が上昇するため、蒸気発生器ブローダウンラインにより排水を行う。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 発電用原子炉停止中にタービン動補助給水ポンプ及び電動補助給水ポンプの故障等により蒸気発生器への注水を補助給水流量等により確認できない場合において、海水の取水ができない場合に、原水槽の水位が確保され、使用できることを確認した場合。</p> <p>ii. 操作手順 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水については「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)e. 「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）1名及び災害対策要員3名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから蒸気発生器への注水開始まで325分以内で可能である。</p> <p>d. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（蒸気放出） (a) 主蒸気逃がし弁の現場手動操作による蒸気放出 発電用原子炉停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、現場にて手動により主蒸気逃がし弁を開操作して蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却を行う。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 発電用原子炉停止中に全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失時、余熱除去設備の崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉容器への注水を低圧注入流量等にて確認できない場合に、蒸気発生器への注水が補助給水流量等により確保されたことを確認できた場合。</p> <p>ii. 操作手順 主蒸気逃がし弁の現場手動操作による蒸気放出については、「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち、1.3.2.2(1)b. 「現場手動操作による主蒸気逃がし弁の機能回復」の操作手順と同様である。</p>	<p>相違理由</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード</p> <p>運転停止中において、主蒸気逃がし弁による原子炉の冷却効果がなくなり、低温停止へ移行する場合、蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードを行う手順を整備する。</p> <p>蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードは、ポンプ車により海水を蒸気発生器へ注水し、主蒸気ドレンラインを経由し、蒸気発生器ブローダウンタンクに排出させ、適時放射性物質濃度等を確認し排出する。</p> <p>なお、海水を蒸気発生器へ注水する場合、蒸気発生器器内水の塩分濃度及び不純物濃度が上昇するため、蒸気発生器ブローダウンラインにより排水を行う。</p> <p>(a) 手順着手の判断基準</p> <p>運転停止中に全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失時、余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合に、低温停止に移行する場合。</p> <p>(b) 操作手順</p> <p>操作手順は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち1.5.2.1(3)a.「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。</p>		<p>Ⅲ. 操作の成立性</p> <p>現場手動操作による主蒸気逃がし弁の開操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）1名及び災害対策要員2名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから蒸気発生器からの蒸気放出開始まで20分以内で可能である。</p> <p>e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却</p> <p>発電用原子炉停止中において、主蒸気逃がし弁による発電用原子炉の冷却効果がなくなり、低温停止へ移行する場合、蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却を行う。</p> <p>蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードは、可搬型大型送水ポンプ車により海水を蒸気発生器へ注水し、主蒸気ドレンラインを経由し、温水ピットに排出させ、適時水質を確認し排出する。</p> <p>なお、海水を蒸気発生器へ注水する場合、蒸気発生器器内水の塩分濃度及び不純物濃度が上昇するため、蒸気発生器ブローダウンラインにより排水を行う。</p> <p>(a) 手順着手の判断基準</p> <p>発電用原子炉停止中に全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失時、余熱除去設備の崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉容器への注水を低圧注入流量等にて確認できない場合に、低温停止に移行する場合。</p> <p>(b) 操作手順</p> <p>蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却については、「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)a.「可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。</p> <p>(c) 操作の成立性</p> <p>蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）2名及び災害対策要員3名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード開始まで565分以内で可能である。</p>	<p>【大飯】記載方針の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大飯】記載表現の相違(記載の明確化)</p> <p>【大飯】記載表現の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大飯】設備の相違(相違理由④)</p> <p>【大飯】記載表現の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大飯】記載方針の相違(女川実績の反映)</p>

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため、比較表 p1.4-192 より再掲】</p> <p>空冷式非常用発電装置の代替電源に関する手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.1(i)「空冷式非常用発電装置による代替電源（交流）からの給電」にて整備する。</p>	<p>a. 復旧</p> <p>(a) 残留熱除去系電源復旧後の発電用原子炉からの除熱</p> <p>全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却水系（原子炉補機冷却海水系を含む。）の故障により、残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）による発電用原子炉からの除熱ができない場合は、常設代替交流電源設備により残留熱除去系の電源を復旧し、原子炉補機冷却水系（原子炉補機冷却海水系を含む。）又は原子炉補機代替冷却水系により冷却水を確保することで、残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）にて発電用原子炉からの除熱を実施する。</p> <p>なお、常設代替交流電源設備に関する手順等は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。</p> <p>また、原子炉補機冷却水系（原子炉補機冷却海水系を含む。）及び原子炉補機代替冷却水系に関する手順については「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>常設代替交流電源設備により非常用高圧母線 2C 系及び 2D 系の受電が完了し、残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）が使用可能な状態[*]に復旧された場合。</p> <p>※：設備に異常がなく、電源及び補機冷却水が確保されており、原子炉水位指示値が原子炉水位低（レベル 3）以上で維持され、かつ原子炉圧力指示値が規定値以下の状態。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>残留熱除去系（A）（原子炉停止時冷却モード）電源復旧後の発電用原子炉からの除熱手順の概要は以下のとおり（残留熱除去系（B）（原子炉停止時冷却モード）による発電用原子炉からの除熱手順も同様）。概要図を第 1.4-37 図に、タイムチャートを第 1.4-38 図に示す。</p> <p>①発電課長は、手順着手の判断基準に基づき、運転員に残留熱除去系（A）（原子炉停止時冷却モード）による発電用原子炉からの除熱準備開始を指示する。</p> <p>②運転員（中央制御室）A は、残留熱除去系（A）（原子炉停止時冷却モード）の起動に必要なポンプ、電動弁及び監視計器の電源並びに補機冷却水が確保されていること、原子炉水位指示値が原子炉水位低（レベル 3）以上で維持されていること、原子炉圧力指示値が原子炉停止時冷却モードインターロック解除の設定値以下であることを状態表示にて確認する。</p> <p>③運転員（中央制御室）A は、系統構成として、RHR ポン</p>	<p>f. 復旧</p> <p>(a) B-充電ポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水</p> <p>全交流動力電源喪失により、B-充電ポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水ができない場合は、常設代替交流電源設備により B-充電ポンプの電源を復旧することで、B-充電ポンプ（自己冷却）にて原子炉容器へ注水する。</p> <p>なお、常設代替交流電源設備に関する手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>常設代替交流電源設備により非常用高圧母線の受電が完了し、B-充電ポンプが使用可能な状態に復旧された場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>B-充電ポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水については、「1.4.2.1(2) a. (b) B-充電ポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</p>	<p>【大飯】記載箇所の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大飯】記載表現の相違(女川実績の反映)</p> <p>【女川】記載表現の相違</p>

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>ブ (A) S/C 吸込弁, RHR ポンプ (A) ミニマムフロー弁及び原子炉再循環ポンプ (A) 吐出弁の全開操作並びに RHRA 系停止時冷却吸込第一隔離弁, RHRA 系停止時冷却吸込第二隔離弁, RHR ポンプ (A) 停止時冷却吸込弁の全開操作を実施する。</p> <p>④運転員 (中央制御室) A は, RHR ポンプ (A) ミニマムフロー弁自動開防止措置を実施し, 残留熱除去系 (A) (原子炉停止時冷却モード) 運転の準備完了を発電課長に報告する。</p> <p>⑤発電課長は, 運転員に残留熱除去系 (A) (原子炉停止時冷却モード) による発電用原子炉からの除熱開始を指示する。</p> <p>⑥運転員 (中央制御室) A は, 残留熱除去系ポンプ (A) の起動操作を実施し, 残留熱除去系ポンプ (A) の出口圧力が上昇したことを残留熱除去系ポンプ出口圧力にて確認後, RHR A 系停止時冷却注入隔離弁を開操作し, 発電用原子炉からの除熱を開始する。</p> <p>⑦運転員 (中央制御室) A は, 発電用原子炉からの除熱が開始されたことを残留熱除去系ポンプ出口流量指示値の上昇及び残留熱除去系熱交換器入口温度指示値の低下により確認し, 発電課長に報告する。</p> <p>⑧運転員 (中央制御室) A は, RHR 熱交換器 (A) 出口弁を調整し, 発電用原子炉からの除熱量を調整する。</p> <p>iii. 操作の成立性 上記の操作は, 運転員 (中央制御室) 1 名にて作業を実施した場合, 作業開始を判断してから残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード) による発電用原子炉からの除熱開始まで 30 分以内で可能である。</p>	<p>iii. 操作の成立性 B-充てんポンプ (自己冷却) による原子炉容器への注水操作は, 運転員 (中央制御室) 1 名, 運転員 (現場) 1 名及び災害対策要員 1 名にて作業を実施した場合, 作業開始を判断してから原子炉容器への注水開始まで 40 分以内で可能である。</p> <p>(b) 可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転 全交流動力電源喪失により, A-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転による原子炉容器への注水ができない場合は, 常設代替交流電源設備により A-高圧注入ポンプの電源を復旧することで, 可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転にて原子炉容器へ注水する。</p> <p>なお, 常設代替交流電源設備に関する手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。</p>	

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p>i. 手順着手の判断基準 常設代替交流電源設備により非常用高圧母線の受電が完了し、A-高圧注入ポンプが使用可能な状態に復旧された場合。</p> <p>ii. 操作手順 可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転については、「1.4.2.1(2) b. (a) i. 可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性 可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転操作は、運転員（中央制御室）1名で実施する。 操作については、中央制御室で通常の運転操作にて対応する。</p> <p>(c) 電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水 全交流動力電源喪失により、電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水ができない場合は、常設代替交流電源設備により電動補助給水ポンプの電源を復旧することで、電動補助給水ポンプにて補助給水ビット水を蒸気発生器へ注水する。</p> <p>なお、常設代替交流電源設備に関する手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 常設代替交流電源設備により非常用高圧母線の受電が完了し、電動補助給水ポンプが使用可能な状態に復旧された場合。</p> <p>ii. 操作手順 電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水については、1.4.2.2(1) a. (a)「電動補助給水ポンプ又はタービン補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性 電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水操作は、運転員（中央制御室）1名にて操作を実施する。操作器による中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。</p>	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>f. その他の手順項目にて考慮する手順</p> <p>空冷式非常用発電装置の代替電源に関する手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.1(1)「空冷式非常用発電装置による代替電源（交流）からの給電」にて整備する。また、空冷式非常用発電装置への燃料補給の手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.4(1)「空冷式非常用発電装置等への燃料（重油）補給」にて整備する。</p> <p>燃料取替用水ピットの枯渇又は破損時の復水ピットからの補給手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」のうち、1.13.2.2(3)「燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替」及び1.13.2.2(9)「復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給」にて整備する。</p> <p>電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）、大容量ポンプ及び送水車への燃料補給に関する手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.4(1)「電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）、大容量ポンプへの燃料補給」及び1.6.2.4(2)「送水車への燃料補給」にて整備する。</p> <p>大容量ポンプを用いた格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却に関する手順については「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.2(1)a.「大容量ポンプを用いたA、D格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」にて整備する。</p> <p>操作の判断及び確認に係る計装設備に関する手順は「1.15 事故時の計装に関する手順等」のうち、1.15.2「重大事故等時の手順等」にて整備する。</p> <p>g. 優先順位</p> <p>運転停止中にサポート系の機能喪失により崩壊熱除去機能が喪失した場合の冷却手段の優先順位を以下に示す。</p> <p>運転停止中に全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合は、空冷式非常用発電装置からの受電準備を行うとともに、格納容器からの作業員の退避指示を行い、格納容器の隔離を行う。格納容器隔離弁閉操作後に、1次冷却系に開口部がない場合は、蒸気発生器2次側による炉心冷却を優先する。</p>	<p>b. 重大事故等時の対応手段の選択</p> <p>重大事故等時の対応手段の選択方法は以下のとおり。対応手段の選択フローチャートを第1.4-42図に示す。</p> <p>常設代替交流電源設備により交流電源が確保できた場合、原子炉補機冷却水系（原子炉補機冷却海水系を含む。）の運転が可能であれば残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）により発電用原子炉からの除熱を実施する。原子炉補機冷却水系（原子炉補機冷却海水系を含む。）の運転ができない場合、原子炉補機代替冷却水系を設置し、残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）により発電用原子炉からの除熱を実施するが、原子炉補機代替冷却水系の設置に時間を要することから、低圧代替注水系（常設）（復水移送ポンプ）等による原子炉圧力容器への注水を並行して実施する。</p>	<p>g. 重大事故等時の対応手段の選択</p> <p>重大事故等時の対応手段の選択方法は以下のとおり。対応手段の選択フローチャートを第1.4-40図に示す。</p> <p>発電用原子炉停止中にサポート系の故障により崩壊熱除去機能が喪失した場合の冷却手段の優先順位を以下に示す。</p> <p>発電用原子炉停止中に全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合は、常設代替交流電源設備からの受電準備を行うとともに、原子炉格納容器からの作業員の退避指示を行い、原子炉格納容器の隔離を行う。原子炉格納容器隔離弁閉操作後に、1次冷却系に開口部がない場合は、蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却を優先する。</p>	<p>相違理由</p> <p>【大飯】記載箇所の相違(女川実績の反映)</p> <p>・泊は1.4.2.5にて同等の内容を整理。</p> <p>【大飯】記載表現の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大飯】記載箇所の相違(女川実績の反映)</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>蒸気発生器2次側による炉心冷却手段として、蒸気発生器への注水については、タービン動補助給水ポンプを使用する。空冷式非常用発電装置からの受電後は必要により電動補助給水ポンプを使用する。これらの補助給水ポンプが使用できない場合は、蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水を行う。</p> <p>蒸気発生器への注水が確保されれば、現場にて手動により主蒸気逃がし弁を開操作し、蒸気発生器2次側による炉心冷却を行う。</p> <p>主蒸気逃がし弁による原子炉の冷却効果がなくなり低温停止に移行する場合は、蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードを行う。</p> <p>蒸気発生器2次側による炉心冷却ができない場合は、原子炉への注水による原子炉の冷却を行う。まず、燃料取替用水ピットの重力注水による代替炉心注水を行う。燃料取替用水ピット（重力注水）は多様性拡張設備であるが、電源回復しない場合でも注水が可能であるため優先して使用する。</p> <p>空冷式非常用発電装置から受電後は、蓄圧タンクによる代替炉心注水に加え、継続的に炉心に注水するために恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水を行う。恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水ができない場合は、高揚程であるB充てんポンプ（自己冷却）を使用する。B充てんポンプ（自己冷却）による代替炉心注水ができない場合は、A格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替炉心注水を行う。</p>	<p>蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却手段として、蒸気発生器への注水については、タービン動補助給水ポンプを使用する。常設代替交流電源設備からの受電後は必要により電動補助給水ポンプを使用する。これらの補助給水ポンプが使用できない場合は、SG直接給水用高圧ポンプを使用する。</p> <p>可搬型大型送水ポンプ車は使用準備に時間を要することから、タービン動補助給水ポンプ及び電動補助給水ポンプが使用できない場合に準備を開始し、準備が整った際に他の注水手段がなければ蒸気発生器に注水を行う。</p> <p>可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水のための水源は、水源の切替による注水の中断が発生しない海水を優先して使用し、海水取水箇所へのアクセスに時間を要する場合には、準備時間が最も短い代替給水ピットを使用する。海水の取水ができない場合は、保有水量が大きい原水槽を使用する。原水槽への補給は、2次系純水タンク又はろ過水タンクから移送することにより行う。ただし、ろ過水タンクは、重大事故等対処に悪影響を与える火災の発生がない場合に使用する。</p> <p>蒸気発生器への注水が確保されれば、現場にて手動により主蒸気逃がし弁を開操作し、蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却を行う。</p> <p>主蒸気逃がし弁による発電用原子炉の冷却効果がなくなり低温停止に移行する場合は、蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却を行う。</p> <p>蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却ができない場合は、原子炉容器への注水による発電用原子炉の冷却を行う。まず、重大事故等対処設備である代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水を優先する。代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水ができない場合は、燃料取替用水ピットの重力注水による原子炉容器への注水を行うとともに、高揚程であるB-充てんポンプ（自己冷却）を使用する。B-充てんポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水ができない場合は、B-格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水を行う。</p>	<p>相違理由</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由④）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由④） ・泊3号炉の可搬型大型送水ポンプ車は、淡水又は海水の注水が可能なため、水源の優先順位を整理している。</p> <p>【大飯】記載表現の相違（記載の明確化）</p> <p>【大飯】運用の相違（相違理由⑤）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由⑦）</p>	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>A格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替炉心注水ができない場合は、消火ポンプによる代替炉心注水を行う。ただし、構内で火災が発生した場合においては、消火活動に優先して使用する。消火ポンプによる代替炉心注水ができない場合は、海水を水源とした可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水を行う。可搬式代替低圧注水ポンプは重大事故等対処設備であるが、使用準備に時間を要することから、A格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による原子炉への注水手段を失った場合に準備を開始し、多様性拡張設備を含む他の注水手段がなければ原子炉への注水を行う。</p> <p>また、原子炉補機冷却機能喪失時は上記手段に加えて空調用冷水を使用したA余熱除去ポンプ及び電動消火ポンプによる原子炉への注水手段がある。A余熱除去ポンプ（空調用冷水）は恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水ができない場合に使用する。電動消火ポンプは原子炉補機冷却機能喪失時でも使用可能なためA格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替炉心注水ができない場合に使用する。</p> <p>代替炉心注水により燃料取替用水ピット水等を原子炉へ注水後、大容量ポンプによる補機冷却水が確保できれば格納容器再循環サンプに水源を切り替えて、B高圧注入ポンプ（海水冷却）を用いた高圧代替再循環運転により原子炉への注水を行い、あわせて大容量ポンプからの海水を格納容器再循環ユニットの冷却系へ通水することにより格納容器内を冷却する。</p>		<p>B格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水ができない場合は、消火ポンプによる原子炉容器への注水を行う。ただし、構内で火災が発生した場合においては、消火活動に優先して使用する。消火ポンプによる原子炉容器への注水ができない場合は、淡水又は海水を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水を行う。可搬型大型送水ポンプ車は重大事故等対処設備であるが、使用準備に時間を要することから、B格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水手段を失った場合に準備を開始し、準備が整った際に他の注水手段がなければ原子炉容器への注水を行う。</p> <p>可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水のための水源は、水源の切替による注水の中断が発生しない海水を優先して使用し、海水取水箇所へのアクセスに時間を要する場合には、準備時間が最も短い代替給水ピットを使用する。海水の取水ができない場合は、保有水量が大きい原水槽を使用する。原水槽への補給は、2次系純水タンク又はろ過水タンクから移送することにより行う。ただし、ろ過水タンクは、重大事故等対処に悪影響を与える火災の発生がない場合に使用する。</p> <p>また、原子炉補機冷却機能喪失時は上記手段に加えて電動機駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水手段がある。電動機駆動消火ポンプは原子炉補機冷却機能喪失時でも使用可能なためB格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水ができない場合に使用する。</p> <p>代替炉心注水により燃料取替用水ピット水等を原子炉容器へ注水後、可搬型大型送水ポンプ車による補機冷却水が確保できれば格納容器再循環サンプに水源を切り替えて、可搬型大型送水ポンプ車を用いたA高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転により原子炉容器へ注水を行い、あわせて可搬型大型送水ポンプ車からの海水を格納容器再循環ユニットの冷却系へ通水することにより原子炉格納容器内を冷却する。</p>	<p>相違理由</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由③）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由③） ・泊3号炉の可搬型大型送水ポンプ車は、淡水又は海水の注水が可能のため、水源の優先順位を整理している。</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由⑥）</p> <p>【大飯】記載表現の相違</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>運転停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合は、代替炉心注水により燃料取替用水ピット水等を原子炉へ注水後、格納容器再循環サンプに水源を切り替えて、準備時間の短いA余熱除去ポンプ（空調用冷水）を用いた低圧代替再循環運転による原子炉への注水を行い、あわせて大容量ポンプからの海水を格納容器再循環ユニットの冷却系へ通水することにより格納容器内を冷却する。</p> <p>A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による低圧代替再循環運転ができない場合は、B高圧注入ポンプ（海水冷却）を用いた高圧代替再循環運転により原子炉へ注水を行う。</p> <p>以上の対応手順のフローチャートを第 1.4.43 図に示す。</p>			<p>【大飯】設備の相違（相違理由⑥）</p> <p>【大飯】記載箇所の相違（女川実績の反映）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(3) 原子炉格納容器内の作業員を退避させる手順等</p> <p>運転停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合又は1次冷却材が流出した場合に、燃料取替用水ピットの保有水を充てんポンプ等にて原子炉へ注水して開放中の加圧器安全弁から格納容器内へ蒸散させることにより原子炉を冷却する。この場合は、格納容器内の雰囲気悪化から格納容器内の作業員を守るために作業員を退避させる。</p> <p>また、運転停止中に1次冷却系の希釈事象が発生し、中性子源領域中性子束が上昇した場合は、格納容器内の作業員を守るために作業員を退避させる。</p> <p>なお、運転停止中のミッドループ運転期間外の作業員の退避については、原子炉容器に燃料を装荷した状態で、かつ1次冷却系に開口部がある期間は運転停止中のミッドループ運転中と同じ管理を行う。</p> <p style="text-align: right;">(添付資料 1.4.22)</p> <p>a. 手順着手の判断基準</p> <p>運転停止中に全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失時、余熱除去設備の崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合又は格納容器サンプの水位等にて1次冷却材の流出を確認した場合。</p> <p>運転停止中に1次冷却系の希釈事象が発生し、中性子源領域中性子束の上昇により停止時SR中性子束高退避警報作動警報が発信した場合又は停止時SR中性子束高退避警報作動警報が発信するおそれがある場合。</p> <p>b. 操作手順</p> <p>格納容器内の作業員を退避させる手順の概要は以下のとおり。</p> <p>① 当直課長は、手順着手の判断基準に基づき運転員等に格納容器内の作業員に対し退避を促すよう指示する。</p> <p>② 運転員等は、中央制御室でエバケーションアラーム又はページング装置により格納容器内の作業員へ退避を指示する。</p> <p>③ 出入監視員は、現場で格納容器内入退域を管理する装置により、全作業員が退避していることを確認する。</p> <p>④ 各作業の作業責任者（又は代理人）は、現場で作業員の点呼を行い、全作業員が退避していることを確認する。</p>	<p>女川原子力発電所2号炉</p>	<p>(3) 原子炉格納容器内の作業員を退避させる手順等</p> <p>発電用原子炉停止中において、全交流動力電源喪失等により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合又は1次冷却材が流出した場合に、燃料取替用水ピットの保有水を充てんポンプ等にて原子炉容器へ注水して開放中の加圧器安全弁から原子炉格納容器内へ蒸散させることにより発電用原子炉を冷却する。この場合は、原子炉格納容器内の雰囲気悪化から原子炉格納容器内の作業員を守るために作業員を退避させる。</p> <p>また、発電用原子炉停止中に1次冷却系の希釈事象が発生し、中性子源領域中性子束が上昇した場合は、原子炉格納容器内の作業員を守るために作業員を退避させる。</p> <p>なお、発電用原子炉停止中のミッドループ運転期間外の作業員の退避については、原子炉容器に燃料を装荷した状態で、かつ1次冷却系に開口部がある期間は発電用原子炉停止中のミッドループ運転中と同じ管理を行う。</p> <p style="text-align: right;">(添付資料 1.4.23)</p> <p>a. 手順着手の判断基準</p> <p>発電用原子炉停止中に全交流動力電源喪失等により余熱除去設備の崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉容器への注水を低圧注入流量等にて確認できない場合又は格納容器サンプの水位等にて1次冷却材の流出を確認した場合。</p> <p>発電用原子炉停止中に1次冷却系の希釈事象が発生し、中性子源領域中性子束の上昇によりSR炉停止時中性子束高警報が発信した場合、又はSR炉停止時中性子束高警報が発信するおそれがある場合。</p> <p>b. 操作手順</p> <p>原子炉格納容器内の作業員を退避させる手順の概要は以下のとおり。</p> <p>① 発電課長（当直）は、手順着手の判断基準に基づき、運転員に原子炉格納容器内の作業員に対し退避を促すよう指示する。</p> <p>② 運転員（中央制御室）Aは、中央制御室で格納容器内退避警報又は所内通話設備により原子炉格納容器内の作業員へ退避を指示する。</p> <p>③ 格納容器出入管理員は、現場で格納容器入口付近のC/V入域退出管理簿を確認し、全業者の退域を確認する。</p>	<p>相違理由</p> <p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】設備の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊3号炉は社内規程類にて定めるC/V入域退出管理簿により入退域を管理。 ・大飯3/4号炉と入退域の管理が異なるが、作業員の退避を確認することに相違なし。

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>⑤ 作業責任者（又は代理人）は、現場で出入監視員に点呼結果を連絡し、出入監視員は全作業員が退避していることを再確認する。</p> <p>⑥ 出入監視員は、現場で格納容器エアロックを閉止する。</p> <p>c. 操作の成立性 上記の対応は中央制御室にて1ユニット当たり運転員等1名、現場にて1ユニット当たり出入監視員1名により作業を実施し、所要時間は約30分と想定する。</p> <p>円滑に作業ができるように、移動経路を確保し、可搬型照明、通信設備等を整備する。作業環境の周囲温度は通常運転状態と同程度である。</p> <p style="text-align: right;">(添付資料 1.4.22)</p>		<p>④ 格納容器出入管理員は、現場で格納容器エアロックを閉止する。</p> <p>⑤ 運転員（現場）Bは、現場で格納容器エアロックが閉止されたことを確認する。</p> <p>c. 操作の成立性 上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）1名及び格納容器出入管理員1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから格納容器エアロックを閉止まで40分以内で可能である。</p> <p>円滑に作業ができるように、移動経路を確保し、防護具、照明及び通信連絡設備を整備する。室温は通常運転時と同程度である。</p> <p style="text-align: right;">(添付資料 1.4.23)</p>	

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>1.4.2.3 重大事故等対処設備（設計基準拡張）による対応手順</p> <p>(1) 残留熱除去系（低圧注水モード）による原子炉圧力容器への注水 残留熱除去系（低圧注水モード）が健全な場合は、自動起動（原子炉水位低（レベル1）又はドライウェル圧力高）による作動又は中央制御室からの手動操作により残留熱除去系（低圧注水モード）を起動し、サブプレッションチェンバを水源とした原子炉圧力容器への注水を実施する。</p> <p>a. 手順着手の判断基準 復水給水系、原子炉隔離時冷却系及び高圧炉心スプレイ系による原子炉圧力容器への注水ができず、原子炉圧力容器内の水位を原子炉水位低（レベル3）以上に維持できない場合。</p> <p>b. 操作手順 残留熱除去系（A）（低圧注水モード）による原子炉圧力容器への注水手順の概要は以下のとおり（残留熱除去系（B）（低圧注水モード）又は残留熱除去系（C）（低圧注水モード）による原子炉圧力容器への注水手順も同様）。概要図を第1.4-39図に示す。</p>	<p>1.4.2.4 重大事故等対処設備（設計基準拡張）による対応手順</p> <p>(1) 高圧注入ポンプによる原子炉容器への注水 高圧注入ポンプが健全な場合は、自動起動信号（原子炉圧力低と加圧器水位低の一致、原子炉圧力異常低又は原子炉格納容器圧力高）による作動又は中央制御室からの手動操作により高圧注入ポンプを起動し、燃料取替用水ピットを水源とした原子炉容器への注水を実施する。</p> <p>a. 手順着手の判断基準 高圧注入ポンプの自動起動信号（原子炉圧力低と加圧器水位低の一致、原子炉圧力異常低又は原子炉格納容器圧力高）が発信した場合。</p> <p>b. 操作手順 高圧注入ポンプによる原子炉容器への注水については、1.4.2.3(1) a. (b)「高圧注入ポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</p> <p>c. 操作の成立性 高圧注入ポンプによる原子炉容器への注水操作は、運転員（中央制御室）1名にて操作を実施する。操作器による中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。</p> <p>(2) 余熱除去ポンプによる原子炉容器への注水 余熱除去ポンプが健全な場合は、自動起動信号（原子炉圧力低と加圧器水位低の一致又は原子炉圧力異常低、原子炉格納容器圧力高）による作動又は中央制御室からの手動操作により余熱除去ポンプを起動し、燃料取替用水ピットを水源とした原子炉容器への注水を実施する。</p> <p>a. 手順着手の判断基準 余熱除去ポンプの自動起動信号（原子炉圧力低と加圧器水位低の一致、原子炉圧力異常低又は原子炉格納容器圧力高）が発信した場合。</p> <p>b. 操作手順 余熱除去ポンプによる原子炉容器への注水手順の概要は以下のとおり。概要図を第1.4-37図に示す。</p>	<p>【大飯】記載方針の相違(女川実績の反映) ・重大事故等対処設備（設計基準拡張）による手順新規追加</p>

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>①発電課長は、手順着手の判断基準に基づき、運転員に残留熱除去系(A)(低圧注水モード)による原子炉圧力容器への注水準備開始を指示する。</p> <p>②運転員(中央制御室)Aは、中央制御室からの手動起動操作又は自動起動信号(原子炉水位低(レベル1)又はドライウエル圧力高)により残留熱除去系ポンプ(A)が起動し、残留熱除去系ポンプ出口圧力指示値が規定値以上となったことを確認後、発電課長に残留熱除去系(A)(低圧注水モード)による原子炉圧力容器への注水準備完了を報告する。</p> <p>③発電課長は、原子炉圧力容器内の圧力が残留熱除去系ポンプ(A)の出口圧力以下であることを確認後、運転員に残留熱除去系(A)(低圧注水モード)による原子炉圧力容器への注水開始を指示する。</p> <p>④運転員(中央制御室)Aは、中央制御室からの手動操作又は自動起動信号(原子炉水位低(レベル1)及び注入隔離弁差圧低又はドライウエル圧力高及び注入隔離弁差圧低)によりRHR A系 LPCI 注入隔離弁が全開となったことを確認する。</p> <p>⑤運転員(中央制御室)Aは、原子炉圧力容器への注水が開始されたことを残留熱除去系ポンプ出口流量指示値の上昇及び原子炉水位指示値の上昇により確認し、発電課長に報告するとともに原子炉圧力容器内の水位を原子炉水位低(レベル3)から原子炉水位高(レベル8)の間で維持する。</p> <p>※ 原子炉圧力容器内の水位が維持され原子炉圧力容器への注水が不要となる間、原子炉格納容器内にスプレイする場合は、RHR A系 LPCI 注入隔離弁を全閉後、RHR A系格納容器スプレイ隔離弁、RHR A系格納容器スプレイ流量調整弁及びRHR A系 S/C スプレイ隔離弁を全開してスプレイを実施する。</p> <p>c. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員(中央制御室)1名にて操作を実施する。操作スイッチによる中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。</p> <p>(2) 低圧炉心スプレイ系による原子炉圧力容器への注水</p> <p>低圧炉心スプレイ系が健全な場合は、自動起動(原子炉水位低(レベル1)又はドライウエル圧力高)による作動又は中央制御室からの手動操作により低圧炉心スプレイ系を起動し、サブプレッションチェンバを水源とした原子炉圧力容器への注水を実施する。</p>	<p>① 発電課長(当直)は、手順着手の判断基準に基づき、運転員に余熱除去ポンプによる原子炉容器への注水開始を指示する。</p> <p>② 運転員(中央制御室)Aは、中央制御室からの手動起動操作又は自動起動信号により余熱除去ポンプが起動したことを確認し、発電課長(当直)に報告する。</p> <p>③ 運転員(中央制御室)Aは、中央制御室で低圧注流入量等により原子炉容器への注水が実施できていることを確認するとともに1次冷却材温度等により発電用原子炉の冷却状態及び余熱除去ポンプの運転状態に異常がないことを継続して確認する。また、冷却状態が維持できない場合は、溢水させフィードアンドブリード運転とする。</p> <p>c. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員(中央制御室)1名にて操作を実施する。操作器による中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。</p> <p>(3) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転</p> <p>高圧注入ポンプが健全な場合は、高圧注入ポンプによる高圧再循環運転を行い、格納容器再循環サンプル水を原子炉容器へ注水する。</p>	

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>a. 手順着手の判断基準 復水給水系、原子炉隔離時冷却系及び高圧炉心スプレイ系による原子炉圧力容器への注水ができず、原子炉圧力容器内の水位を原子炉水位低（レベル3）以上に維持できない場合。</p> <p>b. 操作手順 低圧炉心スプレイ系による原子炉圧力容器への注水手順の概要は以下のとおり。 概要図を第1.4-40図に示す。</p> <p>①発電課長は、手順着手の判断基準に基づき、運転員に低圧炉心スプレイ系による原子炉圧力容器への注水準備開始を指示する。</p> <p>②運転員（中央制御室）Aは、中央制御室からの手動起動操作又は自動起動信号（原子炉水位低（レベル1）又はドライウェル圧力高）により低圧炉心スプレイ系ポンプが起動し、低圧炉心スプレイ系ポンプ出口圧力指示値が規定値以上となったことを確認後、発電課長に低圧炉心スプレイ系による原子炉圧力容器への注水準備完了を報告する。</p> <p>③発電課長は、原子炉圧力容器内の圧力が低圧炉心スプレイ系ポンプの出口圧力以下であることを確認後、運転員に低圧炉心スプレイ系による原子炉圧力容器への注水開始を指示する。</p> <p>④運転員（中央制御室）Aは、中央制御室からの手動操作又は自動起動信号（原子炉水位低（レベル1）及び注入隔離弁差圧低又はドライウェル圧力高及び注入隔離弁差圧低）によりLPCS注入隔離弁が全開となったことを確認する。</p> <p>⑤運転員（中央制御室）Aは、原子炉圧力容器への注水が開始されたことを低圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量指示値の上昇及び原子炉水位指示値の上昇により確認し、発電課長に報告するとともに原子炉圧力容器内の水位を原子炉水位低（レベル3）から原子炉水位高（レベル8）の間で維持する。</p> <p>c. 操作の成立性 上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて操作を実施する。操作スイッチによる中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。</p>	<p>a. 手順着手の判断基準 高圧再循環運転をするために必要な格納容器再循環サンプの水位が確保されている場合。</p> <p>b. 操作手順 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転については、1.4.2.1(1)c.(a)「高圧注入ポンプによる高圧再循環運転」の操作手順と同様である。</p> <p>c. 操作の成立性 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転操作は、運転員（中央制御室）1名にて操作を実施する。操作器による中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。</p>	

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(3) 残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）による発電用原子炉からの除熱</p> <p>残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）が健全な場合は、中央制御室からの手動操作により残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）を起動し、発電用原子炉からの除熱を実施する。</p> <p>a. 手順着手の判断基準</p> <p>原子炉水位指示値が原子炉水位低（レベル3）以上で維持され、かつ原子炉圧力指示値が規定値以下の場合。</p>	<p>(4) 余熱除去ポンプによる低圧再循環運転</p> <p>余熱除去ポンプが健全な場合は、余熱除去ポンプによる低圧再循環運転を行い、格納容器再循環サンプ水を原子炉容器へ注水する。</p> <p>a. 手順着手の判断基準</p> <p>低圧再循環運転をするために必要な格納容器再循環サンプの水位が確保されている場合。</p> <p>b. 操作手順</p> <p>余熱除去ポンプによる低圧再循環運転手順の概要は以下のとおり。概要図を第1.4.38図に示す。</p> <p>① 発電課長（当直）は、手順着手の判断基準に基づき、運転員に余熱除去ポンプによる低圧再循環運転開始を指示する。</p> <p>② 運転員（中央制御室）Aは、中央制御室で余熱除去ポンプ再循環サンプ側入口弁の開操作及び余熱除去ポンプRWSP側入口弁の開操作を実施する。</p> <p>③ 運転員（中央制御室）Aは、中央制御室で余熱除去ポンプにより原子炉容器へ注水されていることを低圧注入流量等で確認し、発電課長（当直）に報告する。</p> <p>④ 運転員（中央制御室）Aは、中央制御室で1次冷却材温度等により、発電用原子炉が冷却状態にあることを継続して確認する。</p> <p>c. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて操作を実施する。操作器による中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。</p> <p>(5) 余熱除去ポンプによる発電用原子炉からの除熱</p> <p>余熱除去ポンプが健全な場合は、中央制御室からの手動操作により余熱除去ポンプを起動し、発電用原子炉からの除熱を実施する。</p> <p>a. 手順着手の判断基準</p> <p>1次冷却材温度 177℃未満及び1次冷却材圧力 2.7MPa[gage]以下の場合。</p>	

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>b. 操作手順</p> <p>残留熱除去系（A）（原子炉停止時冷却モード）による発電用原子炉からの除熱手順の概要は以下のとおり（残留熱除去系（B）（原子炉停止時冷却モード）による発電用原子炉からの除熱手順も同様）。概要図を第1.4-41図に示す。</p> <p>①発電課長は、手順着手の判断基準に基づき、運転員に残留熱除去系（A）（原子炉停止時冷却モード）による発電用原子炉からの除熱準備開始を指示する。</p> <p>②運転員（中央制御室）Aは、原子炉水位指示値が原子炉水位低（レベル3）以上で維持されていること、原子炉圧力指示値が原子炉停止時冷却モードインターロック解除の設定値以下であることを確認する。</p> <p>③運転員（中央制御室）Aは、系統構成として、RHRポンプ（A）S/C吸込弁、RHRポンプ（A）ミニマムフロー弁及び原子炉再循環ポンプ（A）吐出弁の全開操作並びにRHR A系停止時冷却吸込第一隔離弁、RHR A系停止時冷却吸込第二隔離弁及びRHRポンプ（A）停止時冷却吸込弁の全開操作を実施する。</p> <p>④運転員（中央制御室）Aは、RHRポンプ（A）ミニマムフロー弁自動開防止措置を実施し、残留熱除去系（A）（原子炉停止時冷却モード）運転の準備完了を発電課長に報告する。</p> <p>⑤発電課長は、運転員に残留熱除去系（A）（原子炉停止時冷却モード）による発電用原子炉からの除熱開始を指示する。</p> <p>⑥運転員（中央制御室）Aは、残留熱除去系ポンプ（A）の起動操作を実施し、残留熱除去系ポンプ（A）出口圧力指示値が上昇したことを残留熱除去系ポンプ出口圧力にて確認後、RHR A系停止時冷却注入隔離弁を開操作し、発電用原子炉からの除熱を開始する。</p> <p>⑦運転員（中央制御室）Aは、発電用原子炉からの除熱が開始されたことを残留熱除去系ポンプ出口流量指示値の上昇及び残留熱除去系熱交換器入口温度指示値の低下により確認し、発電課長に報告する。</p> <p>⑧運転員（中央制御室）Aは、RHR熱交換器（A）出口弁を調整開し、発電用原子炉からの除熱量を調整する。</p> <p>c. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて操作を実施する。操作スイッチによる中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。</p>	<p>b. 操作手順</p> <p>残留熱除去系（A）（原子炉停止時冷却モード）による発電用原子炉からの除熱手順の概要は以下のとおり（残留熱除去系（B）（原子炉停止時冷却モード）による発電用原子炉からの除熱手順も同様）。概要図を第1.4-41図に示す。</p> <p>①発電課長は、手順着手の判断基準に基づき、運転員に残留熱除去系（A）（原子炉停止時冷却モード）による発電用原子炉からの除熱準備開始を指示する。</p> <p>②運転員（中央制御室）Aは、原子炉水位指示値が原子炉水位低（レベル3）以上で維持されていること、原子炉圧力指示値が原子炉停止時冷却モードインターロック解除の設定値以下であることを確認する。</p> <p>③運転員（中央制御室）Aは、系統構成として、RHRポンプ（A）S/C吸込弁、RHRポンプ（A）ミニマムフロー弁及び原子炉再循環ポンプ（A）吐出弁の全開操作並びにRHR A系停止時冷却吸込第一隔離弁、RHR A系停止時冷却吸込第二隔離弁及びRHRポンプ（A）停止時冷却吸込弁の全開操作を実施する。</p> <p>④運転員（中央制御室）Aは、RHRポンプ（A）ミニマムフロー弁自動開防止措置を実施し、残留熱除去系（A）（原子炉停止時冷却モード）運転の準備完了を発電課長に報告する。</p> <p>⑤発電課長は、運転員に残留熱除去系（A）（原子炉停止時冷却モード）による発電用原子炉からの除熱開始を指示する。</p> <p>⑥運転員（中央制御室）Aは、残留熱除去系ポンプ（A）の起動操作を実施し、残留熱除去系ポンプ（A）出口圧力指示値が上昇したことを残留熱除去系ポンプ出口圧力にて確認後、RHR A系停止時冷却注入隔離弁を開操作し、発電用原子炉からの除熱を開始する。</p> <p>⑦運転員（中央制御室）Aは、発電用原子炉からの除熱が開始されたことを残留熱除去系ポンプ出口流量指示値の上昇及び残留熱除去系熱交換器入口温度指示値の低下により確認し、発電課長に報告する。</p> <p>⑧運転員（中央制御室）Aは、RHR熱交換器（A）出口弁を調整開し、発電用原子炉からの除熱量を調整する。</p> <p>c. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて操作を実施する。操作スイッチによる中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。</p>	<p>b. 操作手順</p> <p>余熱除去ポンプによる発電用原子炉からの除熱手順の概要は以下のとおり。概要図を第1.4-39図に示す。</p> <p>① 発電課長（当直）は、手順着手の判断基準に基づき、運転員に余熱除去ポンプによる発電用原子炉からの除熱準備開始を指示する。</p> <p>② 運転員（中央制御室）Aは、中央制御室で1次冷却材温度177℃未満及び1次冷却材圧力2.7MPa[gage]以下であることを確認する。</p> <p>③ 運転員（中央制御室）Aは、中央制御室で余熱除去ポンプRWSP側入口弁及び余熱除去ポンプRWSP/再循環サンプ側入口弁の全開操作並びに余熱除去ポンプ入口C/V内側隔離弁及び余熱除去ライン入口止め弁の全開操作を実施し、余熱除去ポンプによる発電用原子炉からの除熱準備完了を発電課長（当直）に報告する。</p> <p>④ 発電課長（当直）は、運転員に余熱除去ポンプによる発電用原子炉からの除熱開始を指示する。</p> <p>⑤ 運転員（中央制御室）Aは、中央制御室で余熱除去ポンプの起動操作を実施し、1次冷却材温度等により発電用原子炉からの除熱が開始されたことを確認し、発電課長（当直）に報告する。</p> <p>⑥ 運転員（中央制御室）Aは、中央制御室で1次冷却材温度等により発電用原子炉が冷却状態にあることを継続して確認する。</p> <p>c. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて操作を実施する。操作器による中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。</p>	

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>1.4.2.4 復旧に係る手順等</p> <p>全交流動力電源が喪失した場合は、代替電源を設計基準対処設備に給電し、起動及び十分な期間の運転を継続させる。また、燃料取替用水ピットの枯渇、破損のおそれがある場合は、代替水源により水を供給する。</p> <p>空冷式非常用発電装置の代替電源に関する手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.1(1)「空冷式非常用発電装置による代替電源（交流）からの給電」にて整備する。また、空冷式非常用発電装置への燃料補給の手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.4(1)「空冷式非常用発電装置等への燃料（重油）補給」にて整備する。また、燃料取替用水ピットの枯渇又は破損時の補給手順等は「1.13 重大事故等の収束に必要なとなる水の供給手順等」のうち、1.13.2.2(3)「燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替」及び1.13.2.2(9)「復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給」にて整備する。</p> <p>余熱除去ポンプの機能喪失により余熱除去設備が使用できない場合は、余熱除去設備の復旧を継続して実施する。低温停止に移行する場合に、余熱除去設備が復旧していない場合は、1.4.2.2(1)c、「蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」により低温停止に移行する。</p> <p>全交流動力電源喪失と1次冷却材喪失事象が同時に発生した場合は、1.4.2.1(2)「サポート系機能喪失時の手順等」で示した手順で対応する。また、運転停止中に全交流動力電源喪失が発生した場合は、1.4.2.3(2)「サポート系機能喪失時の手順等」で示した手順で対応する。</p>			<p>【大阪】記載箇所の相違(女川実績の反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> - 泊の復旧に係る手順は、1.4.1.1、1.4.1.2及び1.4.1.3の復旧にて整理している。 - 代替電源に関する手順、常設代替交流電源設備への燃料補給手順及び燃料取替用水ピットの枯渇又は破損時の補給手順については、1.4.2.5で網羅している。 <p>【大阪】記載箇所の相違(女川実績の反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> - 泊は1.4.2.5「その他の手順項目について考慮する手順」で整理している。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため、比較表p1.4-99より再掲】</p> <p>e. その他の手順項目にて考慮する手順 燃料取替用水ピットの枯渇又は破損時の復水ピットからの補給手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」のうち、1.13.2.2(3)「燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替」及び1.13.2.2(9)「復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給」にて整備する。 燃料取替用水ピットの枯渇又は破損時の1次系純水タンク及びほう酸タンクからの補給手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」のうち、1.13.2.2(1)「燃料取替用水ピットから1次系純水タンク及びほう酸タンクへの水源切替」及び1.13.2.2(5)「1次系純水タンク及びほう酸タンクから燃料取替用水ピットへの補給」にて整備する。</p> <p>電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）及び送水車への燃料補給に関する手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.4(1)「電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）、大容量ポンプへの燃料補給」及び1.6.2.4(2)「送水車への燃料補給」にて整備する。</p> <p>1次冷却材喪失事象の発生に伴い、炉心損傷の兆候が見られた場合の格納容器下部への注水については「1.8 原子炉格納容器下部の熔融炉心を冷却するための手順等」のうち、1.8.2.1(1)a.(a)「格納容器スプレィポンプによる格納容器スプレィ」及び1.8.2.1(1)b.「代替格納容器スプレィ」にて整備する。</p> <p>格納容器内の冷却については「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.1(1)a.(a)「A、D格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」又は1.6.2.1(1)b.「代替格納容器スプレィ」にて整備する。</p>	<p>1.4.2.4 その他の手順項目について考慮する手順 原子炉補機冷却水系（原子炉補機冷却海水系を含む。）及び原子炉補機代替冷却水系による補機冷却水確保手順は、「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。 復水貯蔵タンク、淡水貯水槽（No.1）及び淡水貯水槽（No.2）への水の補給手順並びに水源から接続口までの大容量送水ポンプ（タイプI）による送水手順については、「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」にて整備する。</p> <p>復水移送ポンプ、直流駆動低圧注水系ポンプ、ろ過水ポンプ、残留熱除去系ポンプ、低圧炉心スプレィ系ポンプ、代替循環冷却ポンプ、原子炉冷却材浄化系ポンプ、電動弁及び監視計器への電源供給手順並びにガスタービン発電機、電源車及び大容量送水ポンプ（タイプI）への燃料補給手順については、「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。</p>	<p>1.4.2.5 その他の手順項目について考慮する手順 燃料取替用水ピットの枯渇又は破損時の補給手順は、「1.13 重大事故等時」に必要な水の供給手順等」のうち、1.13.2.2「水源へ水を補給するための対応手順」及び1.13.2.3「水源を切り替えるための対応手順」にて整備する。</p> <p>補助給水ピットの枯渇又は破損時の対応手順等は、「1.13 重大事故時に必要となる水の供給手順等」のうち、1.13.2.1「水源を利用した対応手順」にて整備する。</p> <p>1次冷却材喪失事象の発生に伴い、炉心損傷の兆候が見られた場合の格納容器下部への注水については、「1.8 原子炉格納容器下部の熔融炉心を冷却するための手順等」のうち、1.8.2.1(1)a.「原子炉格納容器下部への注水」にて整備する。</p> <p>原子炉格納容器内の冷却については、「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.1(1)a.(a)「C、D格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」及び1.6.2.1(1)b.「代替格納容器スプレィ」にて整備する。 可搬型大型送水ポンプ車を用いた格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却については、「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.2(1)a.「可搬型大型送水ポンプ車を用いたC、D格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」にて整備する。</p>	<p>【大阪】記載箇所の相違(女川審査の反映) 【大阪】記載方針の相違 ・大阪は個別手順のリンク先を記載しているが、泊は燃料取替用水ピットへの供給手順等の手順全般をリンクさせる記載としている。</p> <p>【大阪】記載箇所の相違(女川審査の反映)</p> <p>【大阪】記載表現の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大阪】記載箇所の相違 ・参照先の相違</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>空冷式非常用発電装置の代替電源に関する手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.1(i)「空冷式非常用発電装置による代替電源（交流）からの給電」にて整備する。また、空冷式非常用発電装置への燃料補給の手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.4(1)「空冷式非常用発電装置等への燃料（重油）補給」にて整備する。</p> <p>操作の判断及び確認に係る計装設備に関する手順は「1.15 事故時の計装に関する手順等」のうち、1.15.2「重大事故等時の手順等」にて整備する。</p> <p>【比較のため、比較表 p.1.4-192 より再掲】</p> <p>余熱除去ポンプの機能喪失により余熱除去設備が使用できない場合は、余熱除去設備の復旧を継続して実施する。低温停止に移行する場合に、余熱除去設備が復旧していない場合は、1.4.2.2(1)c.「蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」により低温停止に移行する。</p> <p>全交流動力電源喪失と1次冷却材喪失事象が同時に発生した場合は、1.4.2.1(2)「サポート系機能喪失時の手順等」で示した手順で対応する。また、運転停止中に全交流動力電源喪失が発生した場合は、1.4.2.3(2)「サポート系機能喪失時の手順等」で示した手順で対応する。</p>		<p>代替非常用発電機の代替電源に関する手順は、「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.1(i)「代替交流電源設備による給電」にて整備する。また、代替非常用発電機及び可搬型大型送水ポンプ車への燃料補給の手順は、「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.4「燃料の補給の手順等」にて整備する。</p> <p>操作の判断及び確認に係る計装設備に関する手順は、「1.15 事故時の計装に関する手順等」のうち、1.15.2「重大事故等時の手順等」にて整備する。</p> <p>余熱除去ポンプの機能喪失により余熱除去設備が使用できない場合は、余熱除去設備の復旧を継続して実施する。低温停止に移行する場合に、余熱除去設備が復旧していない場合は、1.4.2.2(1)c.「蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」により低温停止に移行する。</p> <p>全交流動力電源喪失と1次冷却材喪失事象が同時に発生した場合は、1.4.2.1(2)「サポート系故障時の対応手順」で対応する。また、運転停止中に全交流動力電源喪失が発生した場合は、1.4.2.3(2)「サポート系故障時の手順等」で対応する。</p>	<p>【大飯】記載箇所の相違</p> <p>【大飯】記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大飯は設備によって重油又は軽油を使用することから、補給する燃料を明確にしている。 ・泊は重大事故等時に使用する設備の燃料はすべて軽油のため識別不要であるが、燃料補給の手順を整備する技術的能力1.14にて燃料が軽油であることを記載している。 <p>【大飯】記載箇所の相違</p>

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため、比較表p1.4-113より再掲】</p> <p>d. その他の手順項目にて考慮する手順</p> <p>1次冷却材喪失事象の発生に伴い、炉心損傷の兆候が見られる場合の格納容器下部への注水については「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」のうち、1.8.2.1(1)a.(a)「格納容器スプレイポンプによる格納容器スプレイ」及び1.8.2.1(1)b.「代替格納容器スプレイ」にて整備する。</p> <p>格納容器内の冷却については「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.1(2)b.(a)「大容量ポンプを用いたA、D格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」又は1.6.2.1(2)a.「代替格納容器スプレイ」にて整備する。</p> <p>空冷式非常用発電装置の代替電源に関する手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.1(1)「空冷式非常用発電装置による代替電源（交流）からの給電」にて整備する。また、空冷式非常用発電装置への燃料補給の手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.4(1)「空冷式非常用発電装置等への燃料（重油）補給」にて整備する。</p> <p>燃料取替用水ピットの枯渇又は破損時の復水ピットからの補給手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」のうち、1.13.2.2(3)「燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替」及び1.13.2.2(9)「復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給」にて整備する。</p> <p>電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）、大容量ポンプ及び送水車への給油に関する手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.4(1)「電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）、大容量ポンプへの燃料補給」及び1.6.2.4(2)「送水車への燃料補給」にて整備する。</p> <p>操作の判断及び確認に係る計装設備に関する手順は「1.15 事故時の計装に関する手順等」のうち、1.15.2「重大事故等時の手順等」にて整備する。</p>			<p>【大飯】記載箇所の相違(女川実録の反映)</p> <p>・大飯の 1.4.2.1(2)d で整理している手順項目は泊の 1.4.2.5 で網羅している。</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため、比較表 p1.4-140 より再掲】</p> <p>(3) その他の手順項目にて考慮する手順 空冷式非常用発電装置の代替電源に関する手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.1(i)「空冷式非常用発電装置による代替電源（交流）からの給電」にて整備する。また、空冷式非常用発電装置への燃料補給の手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.4(i)「空冷式非常用発電装置等への燃料（重油）補給」にて整備する。</p> <p>復水ピットが枯渇又は破損時の補給手順等は「1.13 重大事故等の収束に必要となる水の供給手順等」のうち、1.13.2.1「蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）のための代替手段及び復水ピットへの供給に係る手順等」にて整備する。</p> <p>操作の判断及び確認に係る計装設備に関する手順は「1.15 事故時の計装に関する手順等」のうち、1.15.2「重大事故等時の手順等」にて整備する。</p> <p>【比較のため、比較表 p1.4-160 より再掲】</p> <p>h. その他の手順項目にて考慮する手順 燃料取替用水ピットの枯渇又は破損時の復水ピットからの補給手順は「1.13 重大事故等の収束に必要となる水の供給手順等」のうち、1.13.2.2(3)「燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替」及び1.13.2.2(9)「復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給」にて整備する。</p> <p>燃料取替用水ピットの枯渇又は破損時の1次系純水タンク及びほう酸タンクの補給手順は「1.13 重大事故等の収束に必要となる水の供給手順等」のうち、1.13.2.2(1)「燃料取替用水ピットから1次系純水タンク及びほう酸タンクへの水源切替」にて整備する。</p> <p>空冷式非常用発電装置の代替電源に関する手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.1(i)「空冷式非常用発電装置による代替電源（交流）からの給電」にて整備する。また、空冷式非常用発電装置への燃料補給の手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.4(i)「空冷式非常用発電装置等への燃料（重油）補給」にて整備する。</p> <p>電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）及び送水車への燃料補給に関する手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.4(1)「電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）、大容量ポンプへの燃料補給」及び1.6.2.4(2)「送水車への燃料補給」にて整備する。</p> <p>操作の判断及び確認に係る計装設備に関する手順は「1.15 事故時の計装に関する手順等」のうち、1.15.2「重大事故等時の手順等」にて整備する。</p>			<p>【大飯】記載箇所の相違(女川実績の反映) ・大飯の 1.4.2.2(3)で整理している手順項目は泊の1.4.2.5で網羅している。</p> <p>【大飯】記載箇所の相違(女川実績の反映) ・大飯の 1.4.2.3(1)hで整理している手順項目は泊の1.4.2.5で網羅している。</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため、比較表p1.4-182より再掲】</p> <p>f. その他の手順項目にて考慮する手順</p> <p>空冷式非常用発電装置の代替電源に関する手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.1(1)「空冷式非常用発電装置による代替電源（交流）からの給電」にて整備する。また、空冷式非常用発電装置への燃料補給の手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.4(1)「空冷式非常用発電装置等への燃料（重油）補給」にて整備する。</p> <p>燃料取替用水ピットの枯渇又は破損時の復水ピットからの補給手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」のうち、1.13.2.2(3)「燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替」及び1.13.2.2(9)「復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給」にて整備する。</p> <p>電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）、大容量ポンプ及び送水車への燃料補給に関する手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.4(1)「電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）、大容量ポンプへの燃料補給」及び1.6.2.4(2)「送水車への燃料補給」にて整備する。</p> <p>大容量ポンプを用いた格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却に関する手順については「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.2(1)a.「大容量ポンプを用いたA、D格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」にて整備する。</p> <p>操作の判断及び確認に係る計装設備に関する手順は「1.15 事故時の計装に関する手順等」のうち、1.15.2「重大事故等時の手順等」にて整備する。</p>			<p>【大飯】記載箇所の相違(女川実績の反映)</p> <p>・大飯の 1.4.2.3(2)f.で整理している手順項目は泊の 1.4.2.5で網羅している。</p>

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉

女川原子力発電所 2号炉

泊発電所 3号炉

相違理由

第1.4-1表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順
 対応手段、対処設備、手順書一覧 (1/9)
 (重大事故等対処設備 (設計基準拡張))

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	手順書
重大事故等対処設備 (設計基準拡張)	残留熱除去系(低圧注水モード)による発電用原子炉の冷却	残留熱除去系ポンプ	残留熱除去系ポンプ サブプレッションチェンバ	非常時操作手順書 (事故ベース) 「水位確保」等
		残留熱除去系 熱交換器・配管・弁・ストレーナ ※6	残留熱除去系 熱交換器・配管・弁・ストレーナ ※6	「水位確保」等
		原子炉圧力容器 原子炉補機冷却水系 (原子炉補機冷却器水系を含む) ※3 非常用取水設備 ※3 非常用交流電源設備 ※2	原子炉圧力容器 原子炉補機冷却器 (原子炉補機冷却器水系を含む) ※3 非常用取水設備 ※3 非常用交流電源設備 ※2	非常時操作手順書 (設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉注水」
重大事故等対処設備 (設計基準拡張)	低圧炉心スプレイ系による発電用原子炉の冷却	低圧炉心スプレイ系ポンプ	低圧炉心スプレイ系ポンプ サブプレッションチェンバ	非常時操作手順書 (事故ベース) 「水位確保」等
		低圧炉心スプレイ系 配管・弁・ストレーナ・スパージョ	低圧炉心スプレイ系 配管・弁・ストレーナ・スパージョ	「水位確保」等
		原子炉圧力容器 炉心冷却材ポンプ (炉心冷却材ポンプ水系を含む) ※3 非常用取水設備 ※3 非常用交流電源設備 ※2	原子炉圧力容器 炉心冷却材ポンプ (炉心冷却材ポンプ水系を含む) ※3 非常用取水設備 ※3 非常用交流電源設備 ※2	非常時操作手順書 (設備別) 「低圧炉心スプレイ系ポンプによる原子炉注水」
重大事故等対処設備 (設計基準拡張)	残留熱除去系(原子炉停止時の冷却モード)による発電用原子炉からの冷却	残留熱除去系ポンプ	残留熱除去系ポンプ	非常時操作手順書 (事故ベース) 「減圧冷却」等
		残留熱除去系熱交換器	残留熱除去系熱交換器	「減圧冷却」等
		原子炉内循環系 配管・弁・ジェットポンプ 原子炉補機冷却水系 (原子炉補機冷却器水系を含む) ※3 非常用取水設備 ※3 非常用交流電源設備 ※2	原子炉内循環系 配管・弁・ジェットポンプ 原子炉補機冷却器 (原子炉補機冷却器水系を含む) ※3 非常用取水設備 ※3 非常用交流電源設備 ※2	非常時操作手順書 (設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉停止時冷却運転」

※1：手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」にて整備する。
 ※2：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※3：手順は「1.5 最終熱源から熱を輸送するための手順等」にて整備する。
 ※4：「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」【解釈】3b) 項を満足するための代替淡水源 (措置)
 ※5：残留熱除去系 (低圧注水モード) は熱交換機能に期待しておらず、熱交換器は流路としてのみ用いる。

第1.4.1表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順

対応手段、対処設備、手順書一覧 (1/22)

(重大事故等対処設備 (設計基準拡張))

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	設備分類※1	整備する手順書	手順の分類
重大事故等対処設備 (設計基準拡張)	残留熱除去系(低圧注水モード)による発電用原子炉の冷却	残留熱除去系ポンプ	残留熱除去系ポンプ サブプレッションチェンバ	重大事故等対処設備	非常時操作手順書	設備及び設計基準事故に对应する運転手順書
		残留熱除去系 熱交換器・配管・弁・ストレーナ ※6	残留熱除去系 熱交換器・配管・弁・ストレーナ ※6	重大事故等対処設備	「水位確保」等	設備及び設計基準事故に对应する運転手順書
		原子炉圧力容器 原子炉補機冷却水系 (原子炉補機冷却器水系を含む) ※3 非常用取水設備 ※3 非常用交流電源設備 ※2	原子炉圧力容器 原子炉補機冷却器 (原子炉補機冷却器水系を含む) ※3 非常用取水設備 ※3 非常用交流電源設備 ※2	重大事故等対処設備	非常時操作手順書 (設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉注水」	設備及び設計基準事故に对应する運転手順書
		低圧炉心スプレイ系ポンプ	低圧炉心スプレイ系ポンプ サブプレッションチェンバ	重大事故等対処設備	非常時操作手順書 (事故ベース) 「水位確保」等	設備及び設計基準事故に对应する運転手順書
		低圧炉心スプレイ系 配管・弁・ストレーナ・スパージョ	低圧炉心スプレイ系 配管・弁・ストレーナ・スパージョ	重大事故等対処設備	「水位確保」等	設備及び設計基準事故に对应する運転手順書
		原子炉圧力容器 炉心冷却材ポンプ (炉心冷却材ポンプ水系を含む) ※3 非常用取水設備 ※3 非常用交流電源設備 ※2	原子炉圧力容器 炉心冷却材ポンプ (炉心冷却材ポンプ水系を含む) ※3 非常用取水設備 ※3 非常用交流電源設備 ※2	重大事故等対処設備	非常時操作手順書 (設備別) 「低圧炉心スプレイ系ポンプによる原子炉注水」	設備及び設計基準事故に对应する運転手順書
重大事故等対処設備 (設計基準拡張)	残留熱除去系(原子炉停止時の冷却モード)による発電用原子炉からの冷却	残留熱除去系ポンプ	残留熱除去系ポンプ	重大事故等対処設備	非常時操作手順書	設備及び設計基準事故に对应する運転手順書
		残留熱除去系熱交換器	残留熱除去系熱交換器	重大事故等対処設備	「減圧冷却」等	設備及び設計基準事故に对应する運転手順書
		原子炉内循環系 配管・弁・ジェットポンプ 原子炉補機冷却水系 (原子炉補機冷却器水系を含む) ※3 非常用取水設備 ※3 非常用交流電源設備 ※2	原子炉内循環系 配管・弁・ジェットポンプ 原子炉補機冷却器 (原子炉補機冷却器水系を含む) ※3 非常用取水設備 ※3 非常用交流電源設備 ※2	重大事故等対処設備	非常時操作手順書 (設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉停止時冷却運転」	設備及び設計基準事故に对应する運転手順書
		残留熱除去系ポンプ	残留熱除去系ポンプ サブプレッションチェンバ	重大事故等対処設備	非常時操作手順書 (事故ベース) 「水位確保」等	設備及び設計基準事故に对应する運転手順書
		残留熱除去系 熱交換器・配管・弁・ストレーナ ※6	残留熱除去系 熱交換器・配管・弁・ストレーナ ※6	重大事故等対処設備	「水位確保」等	設備及び設計基準事故に对应する運転手順書
		原子炉圧力容器 炉心冷却材ポンプ (炉心冷却材ポンプ水系を含む) ※3 非常用取水設備 ※3 非常用交流電源設備 ※2	原子炉圧力容器 炉心冷却材ポンプ (炉心冷却材ポンプ水系を含む) ※3 非常用取水設備 ※3 非常用交流電源設備 ※2	重大事故等対処設備	非常時操作手順書 (設備別) 「低圧炉心スプレイ系ポンプによる原子炉注水」	設備及び設計基準事故に对应する運転手順書

※1：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※2：重大事故等対策として対応する設備の類
 ※3：当該表又は適合する重大事故等対処設備 ※4：当該表に適合する重大事故等対処設備 ※5：目的の対策として整備する重大事故等対処設備

泊3号炉との比較対象なし

【本飯】
 記載方針の相違
 (女川審査実績の
 反映)
 ・泊は設計基準事
 故対処設備に基
 ける対応手段を整
 理

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

第1.4.1表 機組喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順（運転中の1次冷却材喪失事象が発生している場合におけるフロントライン系故障時）

分類	機組喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応設備	整備する手順書	手順の分類
1次冷却材喪失事象が発生している場合	余熱除去ポンプ及び燃料冷却水ポンプ	心臓系（a） A. 高圧中心ポンプ 燃料冷却水ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ	高圧中心ポンプ 燃料冷却水ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ	心臓の新しい機組及び燃料冷却水ポンプを稼働させる手順 S.A.前編 ^{※1}
		心臓系（b） A. 高圧中心ポンプ 燃料冷却水ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ	高圧中心ポンプ 燃料冷却水ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ	心臓の新しい機組及び燃料冷却水ポンプを稼働させる手順 S.A.前編 ^{※1}
		心臓系（c） A. 高圧中心ポンプ 燃料冷却水ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ	高圧中心ポンプ 燃料冷却水ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ	心臓の新しい機組及び燃料冷却水ポンプを稼働させる手順 S.A.前編 ^{※1}
		心臓系（d） A. 高圧中心ポンプ 燃料冷却水ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ	高圧中心ポンプ 燃料冷却水ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ	心臓の新しい機組及び燃料冷却水ポンプを稼働させる手順 S.A.前編 ^{※1}
		心臓系（e） A. 高圧中心ポンプ 燃料冷却水ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ	高圧中心ポンプ 燃料冷却水ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ	心臓の新しい機組及び燃料冷却水ポンプを稼働させる手順 S.A.前編 ^{※1}
		心臓系（f） A. 高圧中心ポンプ 燃料冷却水ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ	高圧中心ポンプ 燃料冷却水ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ	心臓の新しい機組及び燃料冷却水ポンプを稼働させる手順 S.A.前編 ^{※1}
		心臓系（g） A. 高圧中心ポンプ 燃料冷却水ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ	高圧中心ポンプ 燃料冷却水ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ	心臓の新しい機組及び燃料冷却水ポンプを稼働させる手順 S.A.前編 ^{※1}
		心臓系（h） A. 高圧中心ポンプ 燃料冷却水ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ	高圧中心ポンプ 燃料冷却水ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ	心臓の新しい機組及び燃料冷却水ポンプを稼働させる手順 S.A.前編 ^{※1}
		心臓系（i） A. 高圧中心ポンプ 燃料冷却水ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ	高圧中心ポンプ 燃料冷却水ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ	心臓の新しい機組及び燃料冷却水ポンプを稼働させる手順 S.A.前編 ^{※1}
		心臓系（j） A. 高圧中心ポンプ 燃料冷却水ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ	高圧中心ポンプ 燃料冷却水ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ	心臓の新しい機組及び燃料冷却水ポンプを稼働させる手順 S.A.前編 ^{※1}

対応手段、対処設備、手順書一覧（2/9）
 （発電用原子炉運転中のフロントライン系故障時）

分類	機組喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対処設備	手順書
フロントライン系故障	機組喪失を想定する設計基準事故対応設備	機組喪失を想定する設計基準事故対応設備	発電用原子炉運転中のフロントライン系故障時	非常時操作手順書（直圧ベース） 「水位確保」等 非常時操作手順書（設備別） 「直圧移送ポンプによる原子炉注水」
			機組喪失を想定する設計基準事故対応設備	発電用原子炉運転中のフロントライン系故障時

※1：手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」にて整備する。
 ※2：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※3：手順は「1.5 最終トートタンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。
 ※4：「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」【解釈1】項を満足するための代替機組（措置）
 ※5：残留熱除去系（高圧注水モード）は熱交換機に期待しておらず、熱交換機は流路としてのみ用いる。

対応手段、対処設備、手順書一覧（2/22）

（1次冷却材喪失事象が発生している場合のフロントライン系故障時）

分類	機組喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対処設備	整備する手順書	手順の分類	
フロントライン系故障	機組喪失を想定する設計基準事故対応設備	機組喪失を想定する設計基準事故対応設備	発電用原子炉運転中のフロントライン系故障時	非常時操作手順書（直圧ベース） 「水位確保」等 非常時操作手順書（設備別） 「直圧移送ポンプによる原子炉注水」	心臓の新しい機組及び燃料冷却水ポンプを稼働させる手順 S.A.前編 ^{※1}	
			機組喪失を想定する設計基準事故対応設備	発電用原子炉運転中のフロントライン系故障時	非常時操作手順書（直圧ベース） 「水位確保」等 非常時操作手順書（設備別） 「直圧移送ポンプによる原子炉注水」	心臓の新しい機組及び燃料冷却水ポンプを稼働させる手順 S.A.前編 ^{※1}
			機組喪失を想定する設計基準事故対応設備	発電用原子炉運転中のフロントライン系故障時	非常時操作手順書（直圧ベース） 「水位確保」等 非常時操作手順書（設備別） 「直圧移送ポンプによる原子炉注水」	心臓の新しい機組及び燃料冷却水ポンプを稼働させる手順 S.A.前編 ^{※1}
			機組喪失を想定する設計基準事故対応設備	発電用原子炉運転中のフロントライン系故障時	非常時操作手順書（直圧ベース） 「水位確保」等 非常時操作手順書（設備別） 「直圧移送ポンプによる原子炉注水」	心臓の新しい機組及び燃料冷却水ポンプを稼働させる手順 S.A.前編 ^{※1}
			機組喪失を想定する設計基準事故対応設備	発電用原子炉運転中のフロントライン系故障時	非常時操作手順書（直圧ベース） 「水位確保」等 非常時操作手順書（設備別） 「直圧移送ポンプによる原子炉注水」	心臓の新しい機組及び燃料冷却水ポンプを稼働させる手順 S.A.前編 ^{※1}
			機組喪失を想定する設計基準事故対応設備	発電用原子炉運転中のフロントライン系故障時	非常時操作手順書（直圧ベース） 「水位確保」等 非常時操作手順書（設備別） 「直圧移送ポンプによる原子炉注水」	心臓の新しい機組及び燃料冷却水ポンプを稼働させる手順 S.A.前編 ^{※1}
			機組喪失を想定する設計基準事故対応設備	発電用原子炉運転中のフロントライン系故障時	非常時操作手順書（直圧ベース） 「水位確保」等 非常時操作手順書（設備別） 「直圧移送ポンプによる原子炉注水」	心臓の新しい機組及び燃料冷却水ポンプを稼働させる手順 S.A.前編 ^{※1}
			機組喪失を想定する設計基準事故対応設備	発電用原子炉運転中のフロントライン系故障時	非常時操作手順書（直圧ベース） 「水位確保」等 非常時操作手順書（設備別） 「直圧移送ポンプによる原子炉注水」	心臓の新しい機組及び燃料冷却水ポンプを稼働させる手順 S.A.前編 ^{※1}
			機組喪失を想定する設計基準事故対応設備	発電用原子炉運転中のフロントライン系故障時	非常時操作手順書（直圧ベース） 「水位確保」等 非常時操作手順書（設備別） 「直圧移送ポンプによる原子炉注水」	心臓の新しい機組及び燃料冷却水ポンプを稼働させる手順 S.A.前編 ^{※1}
			機組喪失を想定する設計基準事故対応設備	発電用原子炉運転中のフロントライン系故障時	非常時操作手順書（直圧ベース） 「水位確保」等 非常時操作手順書（設備別） 「直圧移送ポンプによる原子炉注水」	心臓の新しい機組及び燃料冷却水ポンプを稼働させる手順 S.A.前編 ^{※1}

※1：手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」にて整備する。
 ※2：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※3：手順は「1.5 最終トートタンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。
 ※4：「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」【解釈1】項を満足するための代替機組（措置）
 ※5：残留熱除去系（高圧注水モード）は熱交換機に期待しておらず、熱交換機は流路としてのみ用いる。

【大阪】
 記載方針の相違
 （女川審査実績の反映）
 ・泊は流路及び給電に使用する設備を記載
 ・泊は設計基準事象対応設備による対応手段を整理

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

【比較のため、第1.4.1表を再掲】

第1.4.1表 機組喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順
 (運転中の1次冷却材喪失事故が発生している場合のフロントライン系故障時)

分類	機組喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応設備	整備する手順	手順の分類			
1次冷却材喪失事故が発生している場合	全炉停止ポンプ及び燃料供給ポンプは燃料供給ポンプは燃料供給ポンプ	A. 圧入ポンプ B. 圧入ポンプ C. 圧入ポンプ D. 圧入ポンプ E. 圧入ポンプ F. 圧入ポンプ G. 圧入ポンプ H. 圧入ポンプ I. 圧入ポンプ J. 圧入ポンプ	A. 機組喪失スプレッドポンプを用いた圧入ポンプにより原子炉を冷却する手順 B. 機組喪失スプレッドポンプを用いた圧入ポンプにより原子炉を冷却する手順 C. 機組喪失スプレッドポンプを用いた圧入ポンプにより原子炉を冷却する手順 D. 機組喪失スプレッドポンプを用いた圧入ポンプにより原子炉を冷却する手順 E. 機組喪失スプレッドポンプを用いた圧入ポンプにより原子炉を冷却する手順 F. 機組喪失スプレッドポンプを用いた圧入ポンプにより原子炉を冷却する手順 G. 機組喪失スプレッドポンプを用いた圧入ポンプにより原子炉を冷却する手順 H. 機組喪失スプレッドポンプを用いた圧入ポンプにより原子炉を冷却する手順 I. 機組喪失スプレッドポンプを用いた圧入ポンプにより原子炉を冷却する手順 J. 機組喪失スプレッドポンプを用いた圧入ポンプにより原子炉を冷却する手順	中心の新しい機組喪失スプレッドポンプを運転する S.A.前準備			
					機組喪失スプレッドポンプ	機組喪失スプレッドポンプを用いた圧入ポンプにより原子炉を冷却する手順	中心の新しい機組喪失スプレッドポンプを運転する
					機組喪失スプレッドポンプ	機組喪失スプレッドポンプを用いた圧入ポンプにより原子炉を冷却する手順	中心の新しい機組喪失スプレッドポンプを運転する
					機組喪失スプレッドポンプ	機組喪失スプレッドポンプを用いた圧入ポンプにより原子炉を冷却する手順	中心の新しい機組喪失スプレッドポンプを運転する
					機組喪失スプレッドポンプ	機組喪失スプレッドポンプを用いた圧入ポンプにより原子炉を冷却する手順	中心の新しい機組喪失スプレッドポンプを運転する
					機組喪失スプレッドポンプ	機組喪失スプレッドポンプを用いた圧入ポンプにより原子炉を冷却する手順	中心の新しい機組喪失スプレッドポンプを運転する
					機組喪失スプレッドポンプ	機組喪失スプレッドポンプを用いた圧入ポンプにより原子炉を冷却する手順	中心の新しい機組喪失スプレッドポンプを運転する
					機組喪失スプレッドポンプ	機組喪失スプレッドポンプを用いた圧入ポンプにより原子炉を冷却する手順	中心の新しい機組喪失スプレッドポンプを運転する
					機組喪失スプレッドポンプ	機組喪失スプレッドポンプを用いた圧入ポンプにより原子炉を冷却する手順	中心の新しい機組喪失スプレッドポンプを運転する
					機組喪失スプレッドポンプ	機組喪失スプレッドポンプを用いた圧入ポンプにより原子炉を冷却する手順	中心の新しい機組喪失スプレッドポンプを運転する

注1：1次冷却材喪失 重大事故発生時に発生する原子炉冷却の停止のための設備に関する事項
 注2：手順は「1.14 電圧の維持に関する手順等」にて整備する。
 注3：手順は「1.14 電圧の維持に関する手順等」にて整備する。
 注4：可動式代替圧入ポンプは圧入ポンプにより原子炉を冷却する手順は整備する。
 注5：圧入ポンプは燃料供給ポンプが燃料供給ポンプに稼働する。手順は「1.14 電圧の維持に関する手順等」にて整備する。
 注6：機組喪失 (可動式代替圧入ポンプ) の燃料供給に使用する。手順は「1.6 原子炉冷却材の供給のための手順等」にて整備する。
 注7：送水車の燃料供給に使用する設備のものである。手順は「1.6 原子炉冷却材の供給のための手順等」にて整備する。
 注8：ディーゼル発電機等より原子炉を冷却する。
 注9：A. 1次冷却材喪失事故発生時に発生する原子炉冷却の停止のための設備に関する事項。手順は「1.7 原子炉冷却材の供給のための手順等」にて整備する。
 注10：1次冷却材喪失事故発生時に発生する原子炉冷却の停止のための設備に関する事項。手順は「1.7 原子炉冷却材の供給のための手順等」にて整備する。
 a：当該表に記載する重大事故対応設備 b：B7条に適合する重大事故対応設備 c：自主対策として整備する重大事故対応設備

対応手段、対処設備、手順書一覧 (3/9)
 (発電用原子炉運転中のフロントライン系故障時)

分類	機組喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対処設備	手順書			
フロントライン系故障	機組喪失スプレッドポンプ	機組喪失スプレッドポンプ	大容量送水ポンプ (タイプ1) ※1	非常時操作手順書 (循環ベース) 「水位確保」等			
			ホース延長回収車 ※1	重大事故等対応設備 (設計基準状態)			
			ホース・注水用ヘッド・接続口 ※1				
			機組喪失スプレッドポンプ	機組喪失スプレッドポンプ	機組喪失スプレッドポンプ	機組喪失スプレッドポンプ	機組喪失スプレッドポンプ
			機組喪失スプレッドポンプ	機組喪失スプレッドポンプ	機組喪失スプレッドポンプ	機組喪失スプレッドポンプ	機組喪失スプレッドポンプ
			機組喪失スプレッドポンプ	機組喪失スプレッドポンプ	機組喪失スプレッドポンプ	機組喪失スプレッドポンプ	機組喪失スプレッドポンプ
			機組喪失スプレッドポンプ	機組喪失スプレッドポンプ	機組喪失スプレッドポンプ	機組喪失スプレッドポンプ	機組喪失スプレッドポンプ
			機組喪失スプレッドポンプ	機組喪失スプレッドポンプ	機組喪失スプレッドポンプ	機組喪失スプレッドポンプ	機組喪失スプレッドポンプ
			機組喪失スプレッドポンプ	機組喪失スプレッドポンプ	機組喪失スプレッドポンプ	機組喪失スプレッドポンプ	機組喪失スプレッドポンプ
			機組喪失スプレッドポンプ	機組喪失スプレッドポンプ	機組喪失スプレッドポンプ	機組喪失スプレッドポンプ	機組喪失スプレッドポンプ
機組喪失スプレッドポンプ	機組喪失スプレッドポンプ	機組喪失スプレッドポンプ	機組喪失スプレッドポンプ	機組喪失スプレッドポンプ			

対応手段、対処設備、手順書一覧 (3/22)

(1次冷却材喪失事故が発生している場合のフロントライン系故障時)

分類	機組喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応設備	対処設備	整備する手順	手順の分類
フロントライン系故障	機組喪失スプレッドポンプ	機組喪失スプレッドポンプ	可動式代替圧入ポンプ ※2	機組喪失スプレッドポンプ	機組喪失スプレッドポンプ
			可動式代替圧入ポンプ ※2	機組喪失スプレッドポンプ	機組喪失スプレッドポンプ
			可動式代替圧入ポンプ ※2	機組喪失スプレッドポンプ	機組喪失スプレッドポンプ
			可動式代替圧入ポンプ ※2	機組喪失スプレッドポンプ	機組喪失スプレッドポンプ
			可動式代替圧入ポンプ ※2	機組喪失スプレッドポンプ	機組喪失スプレッドポンプ
			可動式代替圧入ポンプ ※2	機組喪失スプレッドポンプ	機組喪失スプレッドポンプ
			可動式代替圧入ポンプ ※2	機組喪失スプレッドポンプ	機組喪失スプレッドポンプ
			可動式代替圧入ポンプ ※2	機組喪失スプレッドポンプ	機組喪失スプレッドポンプ
			可動式代替圧入ポンプ ※2	機組喪失スプレッドポンプ	機組喪失スプレッドポンプ
			可動式代替圧入ポンプ ※2	機組喪失スプレッドポンプ	機組喪失スプレッドポンプ

注1：手順は「1.13 重大事故等の取組に必要な水の供給手順等」にて整備する。
 注2：可動式代替圧入ポンプは圧入ポンプにより原子炉を冷却する。
 注3：手順は「1.14 電圧の維持に関する手順等」にて整備する。
 注4：機組喪失の機組喪失は、2次冷却材喪失事故発生時に発生する原子炉冷却の停止のための設備に関する事項。手順は「1.7 原子炉冷却材の供給のための手順等」にて整備する。
 注5：C、D - 機組喪失再稼働モードによる機組喪失自然冷却時は「1.7 原子炉冷却材の供給のための手順等」にて整備する。
 注6：重大事故発生時に発生する原子炉冷却の停止のための設備に関する事項。手順は「1.7 原子炉冷却材の供給のための手順等」にて整備する。
 a：当該表に記載する重大事故対応設備 b：B7条に適合する重大事故対応設備 c：自主対策として整備する重大事故対応設備

【大阪】
 記載方針の相違
 (女川審査表裏の反映)
 ・泊は管路及び給電に使用する設備を記載
 ・泊は設計基準事故対応設備による対応手段を整備

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉

女川原子力発電所 2号炉

泊発電所 3号炉

相違理由

【比較のため、第1.4.1表を再掲】

Table with 5 columns: 分類, 機能喪失を想定する設計基準事故等の説明, 対応手段, 対応設備, 整備する手順書, 手順の分類. It details various accident scenarios like '冷却材ポンプ停止' and '燃料貯蔵容器冷却材供給停止' and lists corresponding equipment and procedures.

※1：予備電源 重大事故発生時に使用する予備電源装置の設置に関する事項
※2：手順は「1.13 重大事故等の発生に必要となる他の保全本等」にて整備する。
※3：手順は「1.14 電源の確保に関する事項等」にて整備する。
※4：可搬式代用冷却材ポンプは原子炉に注水する場合は必要としない。
※5：可搬式代用冷却材ポンプは燃料貯蔵容器に注水する場合は必要としない。
※6：可搬式代用冷却材ポンプは燃料貯蔵容器に注水する場合は必要としない。
※7：予備電源装置は燃料貯蔵容器に注水する場合は必要としない。
※8：予備電源装置は燃料貯蔵容器に注水する場合は必要としない。

対応手段、対応設備、手順書一覧（4/22）

（1次冷却材喪失事象が発生している場合のフロントライン系故障時）

Table with 5 columns: 分類, 機能喪失を想定する設計基準事故等の説明, 対応手段, 対応設備, 整備する手順書, 手順の分類. This table provides a detailed comparison of equipment and procedures for the 1st coolant loss event, specifically for front-line system failures, comparing the Osaka and Ushida reactors.

【大阪】
記載方針の相違
（女川審査表議の反映）
・泊は管路及び給電に使用する設備を記載
・泊は設計基準事故対応設備に必要対応手段を整理

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3 / 4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

第1.4.1表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順
 (運転中の1次冷却材喪失事象が発生している場合におけるサポート系機能喪失時) (1/2)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順の分類	
1次冷却材喪失事象が発生している場合	全交流動力電源喪失時	代償冷却材圧力バウンダリ	発電機冷却材ポンプ	a,b	代替冷却材ポンプを用いた代償冷却材ポンプによる原子炉冷却材圧力バウンダリ維持	BWR固有の設備及び対応手段を抑制する運転手順書
			空冷式発電機冷却材ポンプ	c	空冷式発電機冷却材ポンプを用いた代償冷却材ポンプによる原子炉冷却材圧力バウンダリ維持	
			自定圧ポンプ (自圧冷却)	a,b	自定圧ポンプを用いた代償冷却材ポンプによる原子炉冷却材圧力バウンダリ維持	
			燃料冷却材ポンプ	a	燃料冷却材ポンプを用いた代償冷却材ポンプによる原子炉冷却材圧力バウンダリ維持	
			注水ポンプ	a	注水ポンプを用いた代償冷却材ポンプによる原子炉冷却材圧力バウンダリ維持	
			燃料冷却材ポンプ	a,b	燃料冷却材ポンプを用いた代償冷却材ポンプによる原子炉冷却材圧力バウンダリ維持	
			注水ポンプ	a,b	注水ポンプを用いた代償冷却材ポンプによる原子炉冷却材圧力バウンダリ維持	
			空冷式発電機冷却材ポンプ	a,b	空冷式発電機冷却材ポンプを用いた代償冷却材ポンプによる原子炉冷却材圧力バウンダリ維持	
			タンクローリー	a	タンクローリーを用いた代償冷却材ポンプによる原子炉冷却材圧力バウンダリ維持	
			A蓄積容量スプレッドポンプ (自圧冷却) (RTRC-モードを差別的に使用)	a	A蓄積容量スプレッドポンプを用いた代償冷却材ポンプによる原子炉冷却材圧力バウンダリ維持	
			燃料冷却材ポンプ	a	燃料冷却材ポンプを用いた代償冷却材ポンプによる原子炉冷却材圧力バウンダリ維持	
			ディーゼル機ポンプ	a	ディーゼル機ポンプを用いた代償冷却材ポンプによる原子炉冷却材圧力バウンダリ維持	
			N.a.、2号機タンク	a	N.a.、2号機タンクを用いた代償冷却材ポンプによる原子炉冷却材圧力バウンダリ維持	
可搬式代償冷却材ポンプ	a	可搬式代償冷却材ポンプを用いた代償冷却材ポンプによる原子炉冷却材圧力バウンダリ維持				
電源系 (可搬式代償冷却材ポンプ用)	a	電源系 (可搬式代償冷却材ポンプ用)を用いた代償冷却材ポンプによる原子炉冷却材圧力バウンダリ維持				
空冷式発電機	a	空冷式発電機を用いた代償冷却材ポンプによる原子炉冷却材圧力バウンダリ維持				
燃料冷却材ポンプ	a	燃料冷却材ポンプを用いた代償冷却材ポンプによる原子炉冷却材圧力バウンダリ維持				
注水ポンプ	a	注水ポンプを用いた代償冷却材ポンプによる原子炉冷却材圧力バウンダリ維持				
タンクローリー	a	タンクローリーを用いた代償冷却材ポンプによる原子炉冷却材圧力バウンダリ維持				
乾燥ドラム	a	乾燥ドラムを用いた代償冷却材ポンプによる原子炉冷却材圧力バウンダリ維持				
自備圧入ポンプ (海水冷却)	a	自備圧入ポンプを用いた代償冷却材ポンプによる原子炉冷却材圧力バウンダリ維持				
大容量ポンプ	a	大容量ポンプを用いた代償冷却材ポンプによる原子炉冷却材圧力バウンダリ維持				
蓄積容量スプレッドポンプ	a,b	蓄積容量スプレッドポンプを用いた代償冷却材ポンプによる原子炉冷却材圧力バウンダリ維持				
蓄積容量スプレッドポンプ (自圧冷却)	a,b	蓄積容量スプレッドポンプを用いた代償冷却材ポンプによる原子炉冷却材圧力バウンダリ維持				
空冷式発電機	a,b	空冷式発電機を用いた代償冷却材ポンプによる原子炉冷却材圧力バウンダリ維持				
燃料冷却材ポンプ	a,b	燃料冷却材ポンプを用いた代償冷却材ポンプによる原子炉冷却材圧力バウンダリ維持				
注水ポンプ	a,b	注水ポンプを用いた代償冷却材ポンプによる原子炉冷却材圧力バウンダリ維持				
タンクローリー	a,b	タンクローリーを用いた代償冷却材ポンプによる原子炉冷却材圧力バウンダリ維持				

※1：大阪発電所3号機等において原子炉冷却材圧力バウンダリ維持のための活動(動作)の手順
 ※2：手順は「1.4 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※3：空冷式発電機冷却材ポンプの使用に関する手順は「1.4 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※4：可搬式代償冷却材ポンプを用いた代償冷却材ポンプによる原子炉冷却材圧力バウンダリ維持は本表を本表とする。
 ※5：電源系 (可搬式代償冷却材ポンプ用) の使用に関する手順は「1.6 原子炉冷却材圧力バウンダリ維持のための手順等」にて整備する。
 ※6：注水ポンプの燃料供給に関する手順は「1.6 原子炉冷却材圧力バウンダリ維持のための手順等」にて整備する。
 ※7：大容量ポンプの燃料供給に関する手順は「1.6 原子炉冷却材圧力バウンダリ維持のための手順等」にて整備する。
 ※8：手順は「1.5 最終冷却材ポンプを稼働するための手順等」にて整備する。
 ※9：最大事故等対策において用いている設備の分類
 a：当該表に適合する重大事故等対応設備 b：27条に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

第1.4.2表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順
 (運転中の1次冷却材喪失事象が発生している場合におけるサポート系機能喪失時) (2/2)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順の分類
1次冷却材喪失事象が発生している場合	原子炉冷却材ポンプ	代償冷却材圧力バウンダリ	全交流動力電源喪失時の対応手段のうち代償冷却材ポンプに用いる設備と同様		BWR固有の設備及び対応手段を抑制する運転手順書
			A蓄積容量スプレッドポンプ (空冷式ポンプ) 等	A蓄積容量スプレッドポンプ (空冷式ポンプ) を用いた代償冷却材ポンプによる原子炉冷却材圧力バウンダリ維持	
1次冷却材喪失事象が発生している場合	原子炉冷却材ポンプ	代償冷却材圧力バウンダリ	全交流動力電源喪失時の対応手段のうち代償冷却材ポンプに用いる設備と同様		BWR固有の設備及び対応手段を抑制する運転手順書
			A蓄積容量スプレッドポンプ (空冷式ポンプ) 等	A蓄積容量スプレッドポンプ (空冷式ポンプ) を用いた代償冷却材ポンプによる原子炉冷却材圧力バウンダリ維持	

※1：A：燃料冷却材ポンプ等において燃料供給に関する手順は「1.6 原子炉冷却材圧力バウンダリ維持のための手順等」にて整備する。
 ※2：手順は「1.5 最終冷却材ポンプを稼働するための手順等」にて整備する。
 ※3：最大事故等対策において用いている設備の分類
 a：当該表に適合する重大事故等対応設備 b：27条に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

対応手段、対処設備、手順書一覧 (4/9)
 (発電用原子炉運転中のサポート系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対処設備	手順書
サポート系故障	全交流動力電源	代償冷却材圧力バウンダリ	原子炉冷却材ポンプ系 ※3 常設代替交流電源設備 ※2	非常時操作手順書 (最終ベース) 「水位確保」等
			原子炉冷却材ポンプ系 (原子炉冷却材ポンプ系を含む) ※3	非常時操作手順書 (設備別) 「残留熱除去ポンプ」による原子炉圧水
サポート系故障	代償冷却材圧力バウンダリ	代償冷却材圧力バウンダリ	残留熱除去ポンプ サブレーションシステム 残留熱除去ポンプ、熱交換器、配管・弁・ストレート ※5	非常時操作手順書 (最終ベース) 「水位確保」等
			原子炉圧力ポンプ 原子炉冷却材ポンプ系 (原子炉冷却材ポンプ系を含む) ※3 非常用取水設備 ※3	非常時操作手順書 (設備別) 「低圧伊心スプレッドポンプ」による原子炉圧水
サポート系故障	代償冷却材圧力バウンダリ	代償冷却材圧力バウンダリ	低圧伊心スプレッドポンプ サブレーションシステム 低圧伊心スプレッドポンプ、配管・弁・ストレート、スパーリッジャ 原子炉圧力ポンプ 原子炉冷却材ポンプ系 (原子炉冷却材ポンプ系を含む) ※3 非常用取水設備 ※3	非常時操作手順書 (最終ベース) 「水位確保」等
			原子炉冷却材ポンプ系 (原子炉冷却材ポンプ系を含む) ※3 非常用取水設備 ※3	非常時操作手順書 (設備別) 「低圧伊心スプレッドポンプ」による原子炉圧水

※1：手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」にて整備する。
 ※2：手順は「1.4 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※3：手順は「1.5 最終冷却材ポンプを稼働するための手順等」にて整備する。
 ※4：「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」【解釈】(b) 項を満足するための代替取水源 (措置)
 ※5：残留熱除去 (低圧伊心モード) は熱交換機能に期待しておらず、熱交換器は流路としてのみ用いる。

対応手段、対処設備、手順書一覧 (5/22)

(1次冷却材喪失事象が発生している場合のサポート系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対処設備	整備する手順書	手順の分類
サポート系故障	全交流動力電源	代償冷却材圧力バウンダリ	代替蓄積容量スプレッドポンプ 燃料冷却材ポンプ 空冷式発電機 配管・弁 自定圧冷却材ポンプ設備 (低圧圧入系) 配管・弁 原子炉冷却材ポンプ (RTRC-モード) 配管・弁 1次冷却材ポンプ 常設代替交流電源設備 ※1	非常時操作手順書 (最終ベース) 「水位確保」等	原子炉冷却材ポンプ系 (原子炉冷却材ポンプ系を含む) に関する運転手順書
			燃料冷却材ポンプ 注水ポンプ 空冷式発電機 (補助冷却材設備) 配管・弁 2次冷却材ポンプ (補助冷却材設備) 配管・弁 代替蓄積容量スプレッドポンプ ※1	非常時操作手順書 (設備別) 「残留熱除去ポンプ」による原子炉圧水	原子炉冷却材ポンプ系 (原子炉冷却材ポンプ系を含む) に関する運転手順書
			ディーゼル機ポンプ 燃料冷却材ポンプ 注水ポンプ 空冷式発電機 (補助冷却材設備) 配管・弁 2次冷却材ポンプ (補助冷却材設備) 配管・弁 代替蓄積容量スプレッドポンプ ※1	非常時操作手順書 (最終ベース) 「水位確保」等	原子炉冷却材ポンプ系 (原子炉冷却材ポンプ系を含む) に関する運転手順書
			ディーゼル機ポンプ 燃料冷却材ポンプ 注水ポンプ 空冷式発電機 (補助冷却材設備) 配管・弁 2次冷却材ポンプ (補助冷却材設備) 配管・弁 代替蓄積容量スプレッドポンプ ※1	非常時操作手順書 (設備別) 「低圧伊心スプレッドポンプ」による原子炉圧水	原子炉冷却材ポンプ系 (原子炉冷却材ポンプ系を含む) に関する運転手順書

※1：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※2：重大事故等対策において用いている設備の分類
 a：当該表に適合する重大事故等対応設備 b：27条に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

大阪3 / 4号炉との比較対象なし

【大阪】
 記載方針の相違 (女川審査表議の反映)
 ・泊は流路及び給電に使用する設備に記載
 ・泊は設計基準事故対応設備による対応手段を整理

【大阪】
 設備の相違 (相違理由⑥)

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉

女川原子力発電所 2号炉

泊発電所 3号炉

相違理由

【比較のため、第 1.4.2 表 (1/2) を再掲】

第 1.4.2 表 機能喪失を想定する設計基準事故に対する設備と整備する手順
 (運転中の 1 次冷却材喪失事象が発生している場合におけるサポート系機能喪失時) (1/2)

内容	機能喪失を想定する設計基準事故の設備	対応設備	設備分類 ^{a)}	整備する手順書	手順の分類
1 次冷却材圧力バウンダリ低圧時	全交直動力喪失時	常設代替圧注水ポンプ	a,b	常設代替圧注水ポンプを用いた代注が注水により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器損傷を防止する運転手順書
		空冷式冷却材循環装置 ^{b)}	重大事故対策	空冷式冷却材循環装置を用いた代注が注水により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器損傷を防止する運転手順書
		自然循環ポンプ (自然冷却)	c	自然循環ポンプを用いた代注が注水により原子炉を冷却する手順	
		燃料冷却器用ポンプ	a,b	燃料冷却器用ポンプ	炉心の著しい損傷及び格納容器損傷を防止する運転手順書
		循環ポンプ	a	循環ポンプ	
		燃料冷却器タンク ^{c)}	a,b	燃料冷却器タンク	炉心の著しい損傷及び格納容器損傷を防止する運転手順書
		重湯タンク ^{d)}	a,b	重湯タンク	
		タンクローリー ^{e)}		タンクローリー	S/A 所達 ^{f)}
		A 格納容器スプレイポンプ (自力冷却)	多機能性	A 格納容器スプレイポンプ (自力冷却)	炉心の著しい損傷及び格納容器損傷を防止する運転手順書
		KHR-SCS 系統ライン使用	多機能性	KHR-SCS 系統ライン使用	
		燃料冷却器用ポンプ	多機能性	燃料冷却器用ポンプ	S/A 所達 ^{f)}
		ディーゼルポンプ	多機能性	ディーゼルポンプ	炉心の著しい損傷及び格納容器損傷を防止する運転手順書
		No. 2 汲水ポンプ	多機能性	No. 2 汲水ポンプ	
		可搬式代替圧注水ポンプ ^{g)}	重大事故対策	可搬式代替圧注水ポンプ	炉心の著しい損傷及び格納容器損傷を防止する運転手順書
		電源車 ^{h)}	重大事故対策	電源車	
可搬式代替圧注水ポンプ (可搬式代替圧注水ポンプ用)	重大事故対策	可搬式代替圧注水ポンプ	炉心の著しい損傷及び格納容器損傷を防止する運転手順書		
可搬式代替圧注水ポンプ	a	可搬式代替圧注水ポンプ			
燃料冷却器タンク ^{c)}	重大事故対策	燃料冷却器タンク	S/A 所達 ^{f)}		
重湯タンク ^{d)}	重大事故対策	重湯タンク	炉心の著しい損傷及び格納容器損傷を防止する運転手順書		
タンクローリー ^{e)}	重大事故対策	タンクローリー			
軽油ドラム ^{g)}	重大事故対策	軽油ドラム	炉心の著しい損傷及び格納容器損傷を防止する運転手順書		
引湯圧注スポンプ (引湯系統)	重大事故対策	引湯圧注スポンプ			
大容量ポンプ ^{h)}	重大事故対策	大容量ポンプ	炉心の著しい損傷及び格納容器損傷を防止する運転手順書		
格納容器再循環システム	a,b	格納容器再循環システム			
格納容器再循環システムライン	a,b	格納容器再循環システムライン	炉心の著しい損傷及び格納容器損傷を防止する運転手順書		
空冷式冷却材循環装置 ^{b)}	a,b	空冷式冷却材循環装置			
燃料冷却器タンク ^{c)}	a,b	燃料冷却器タンク	炉心の著しい損傷及び格納容器損傷を防止する運転手順書		
重湯タンク ^{d)}	a,b	重湯タンク			
タンクローリー ^{e)}		タンクローリー	S/A 所達 ^{f)}		

※1：1 次冷却材圧力バウンダリ低圧時における原子炉冷却材循環のための機能を「提供する」旨
 ※2：本欄は「1.4 電源の確保」に関する設備等にて整備する。
 ※3：空冷式冷却材循環装置の燃料供給に使用し、本欄は「1.4 電源の確保」に関する設備等にて整備する。
 ※4：可搬式代替圧注水ポンプにより対応する運転手順書を記述する。
 ※5：電源車 (可搬式代替圧注水ポンプ用) の燃料供給に使用し、本欄は「1.6 原子炉格納容器内の高圧等」の目的にて整備する。
 ※6：汲水ポンプの燃料供給に使用し、本欄は「1.6 原子炉格納容器内の高圧等」の目的にて整備する。
 ※7：大容量ポンプの燃料供給に使用し、本欄は「1.6 原子炉格納容器内の高圧等」の目的にて整備する。
 ※8：本欄は「1.5 最終冷却システム」を転送するための手順書にて整備する。
 ※9：重大事故対策において用いる設備の分類
 a：事故発生に適合する重大事故対策対応設備 b：事故に適合する重大事故対策対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故対策対応設備

対応手段、対処設備、手順書一覧 (6/22)

(1 次冷却材喪失事象が発生している場合のサポート系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故の設備	対応設備	設備分類	整備する手順書	手順の分類
サポート系故障時	全交直動力喪失時 又は 原子炉格納容器冷却設備	可搬式代替圧注水ポンプ ^{※1} 可搬式代替圧注水ポンプ用電源車 ^{※2} 可搬式代替圧注水ポンプ (自力冷却) 可搬式代替圧注水ポンプ (可搬式代替圧注水ポンプ用) 可搬式代替圧注水ポンプ 燃料冷却器用ポンプ 燃料冷却器タンク ^{※3} 重湯タンク ^{※4} タンクローリー ^{※5}	重大事故対策 重大事故対策 重大事故対策 重大事故対策 重大事故対策 重大事故対策 重大事故対策 重大事故対策 重大事故対策	全交直動力喪失時における対応手順 原子炉格納容器冷却設備の対応手順	炉心の著しい損傷及び格納容器損傷を防止する運転手順書
		可搬式代替圧注水ポンプ ^{※1} 可搬式代替圧注水ポンプ用電源車 ^{※2} 可搬式代替圧注水ポンプ (自力冷却) 可搬式代替圧注水ポンプ (可搬式代替圧注水ポンプ用) 可搬式代替圧注水ポンプ 燃料冷却器用ポンプ 燃料冷却器タンク ^{※3} 重湯タンク ^{※4} タンクローリー ^{※5}	重大事故対策 重大事故対策 重大事故対策 重大事故対策 重大事故対策 重大事故対策 重大事故対策 重大事故対策 重大事故対策	全交直動力喪失時における対応手順 原子炉格納容器冷却設備の対応手順	炉心の著しい損傷及び格納容器損傷を防止する運転手順書
		可搬式代替圧注水ポンプ ^{※1} 可搬式代替圧注水ポンプ用電源車 ^{※2} 可搬式代替圧注水ポンプ (自力冷却) 可搬式代替圧注水ポンプ (可搬式代替圧注水ポンプ用) 可搬式代替圧注水ポンプ 燃料冷却器用ポンプ 燃料冷却器タンク ^{※3} 重湯タンク ^{※4} タンクローリー ^{※5}	重大事故対策 重大事故対策 重大事故対策 重大事故対策 重大事故対策 重大事故対策 重大事故対策 重大事故対策 重大事故対策	全交直動力喪失時における対応手順 原子炉格納容器冷却設備の対応手順	炉心の著しい損傷及び格納容器損傷を防止する運転手順書
		可搬式代替圧注水ポンプ ^{※1} 可搬式代替圧注水ポンプ用電源車 ^{※2} 可搬式代替圧注水ポンプ (自力冷却) 可搬式代替圧注水ポンプ (可搬式代替圧注水ポンプ用) 可搬式代替圧注水ポンプ 燃料冷却器用ポンプ 燃料冷却器タンク ^{※3} 重湯タンク ^{※4} タンクローリー ^{※5}	重大事故対策 重大事故対策 重大事故対策 重大事故対策 重大事故対策 重大事故対策 重大事故対策 重大事故対策 重大事故対策	全交直動力喪失時における対応手順 原子炉格納容器冷却設備の対応手順	炉心の著しい損傷及び格納容器損傷を防止する運転手順書

※1：可搬式代替圧注水ポンプ^{※1}による汲水は発電用原子炉に注水する。
 ※2：本欄は「1.4 電源の確保」に関する設備等にて整備する。
 ※3：本欄は「1.5 最終冷却システム」を転送するための手順書にて整備する。
 ※4：本欄は「1.5 最終冷却システム」を転送するための手順書にて整備する。
 ※5：本欄は「1.5 最終冷却システム」を転送するための手順書にて整備する。
 ※6：1 次冷却材喪失事象発生時における再循環運転時に原子炉格納容器冷却設備の機能喪失した場合の対応手順等
 ※7：当該事故に適合する重大事故対策対応設備 b：当該事故に適合する重大事故対策対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故対策対応設備

【大阪】
 記載方針の相違
 (女川審査表裏の反映)
 ・泊は管路及び給電に使用する設備を記載
 ・泊は設計基準事故対応設備に基く対応手段を整理

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉

女川原子力発電所 2号炉

泊発電所 3号炉

相違理由

【比較のため、第 1.4.2 表 (1/2) を再掲】

第 1.4.2 表 機能喪失を想定する設計基準事故に対する設備と整備する手順
 (運転中の 1 次冷却材喪失事象が発生している場合におけるサポート系故障時) (1/2)

設備	機能喪失を想定する設計基準事故の設備	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順の分類	
1 次冷却材喪失事象が発生している場合	全交直動力喪失時	代償再循環運転 (1 号機)	常設代替圧注水ポンプ	圧力制御注水ポンプを用いた代償圧注水により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び燃料容器破損を防止する運転手順書	
			空冷式冷却材加熱装置*	重 大 事 故 時	a,b	
			自費圧入ポンプ (海水冷却)	重 大 事 故 時	c	
			燃料冷却材ポンプ	重 大 事 故 時	a,b	
			循環ポンプ	対 応 設備	a	
			燃料冷却材ポンプ	対 応 設備	a,b	
			重送タンク	対 応 設備	a,b	
			タンクローリー	対 応 設備		
			A 格納容器スプレッドポンプ (自己冷却)	多 岐 作 業 時		
			KHR S-C S 系統ライン使用	多 岐 作 業 時		
			燃料冷却材ポンプ	多 岐 作 業 時		
			ディーゼルポンプ	多 岐 作 業 時		
			No. 2 送水ポンプ	多 岐 作 業 時		
			可搬式代替圧注水ポンプ	重 大 事 故 時	a	
			電源車 (可搬式代替圧注水ポンプ用)	重 大 事 故 時	a	
可搬式代替圧注水ポンプ	重 大 事 故 時	a				
重送タンク	対 応 設備					
タンクローリー	対 応 設備					
軽油ドラム缶	対 応 設備					
代償再循環運転 (2 号機)	重 大 事 故 時	a,b				
常設代替圧注水ポンプ	圧力制御注水ポンプを用いた代償圧注水により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び燃料容器破損を防止する運転手順書				
空冷式冷却材加熱装置*	多岐作業時					
自費圧入ポンプ (海水冷却)	多岐作業時					
燃料冷却材ポンプ	多岐作業時					
ディーゼルポンプ	多岐作業時					
可搬式代替圧注水ポンプ	多岐作業時					
電源車 (可搬式代替圧注水ポンプ用)	多岐作業時					
可搬式代替圧注水ポンプ	多岐作業時					
重送タンク	多岐作業時					
タンクローリー	多岐作業時					
軽油ドラム缶	多岐作業時					

注1：1号機専用。重大事故等発生時に1号機原子炉の冷却のための活動を開始する手順。
 注2：手順は「1.4 電源の喪失に対する設備」にて整備する。
 注3：空冷式冷却材加熱装置は燃料冷却材を使用する。手順は「1.4 電源の喪失に対する設備」にて整備する。
 注4：自費圧入ポンプは海水冷却により原子炉を冷却する。
 注5：燃料冷却材ポンプは燃料冷却材を使用する。手順は「1.6 原子炉格納容器内の高圧時のための手順等」にて整備する。
 注6：空冷式冷却材加熱装置は燃料冷却材を使用する。手順は「1.6 原子炉格納容器内の高圧時のための手順等」にて整備する。
 注7：1号機専用。1号機ディーゼルポンプ系を駆動するための手順。手順は「1.5 燃料ポンプ系を駆動するための手順等」にて整備する。
 注8：1号機専用。1号機ディーゼルポンプ系を駆動するための手順。手順は「1.5 燃料ポンプ系を駆動するための手順等」にて整備する。
 注9：重大事故等発生時に用いる設備の名称。
 a：当該表に掲載する重大事故等対応設備 b：当該表に掲載する重大事故等対応設備 c：自主的作業として整備する重大事故等対応設備

対応手段、対処設備、手順書一覧 (7/22)

(1 次冷却材喪失事象が発生している場合のサポート系故障時)

設備	機能喪失を想定する設計基準事故の設備	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順の分類
サポート系故障時	全交直動力喪失時	1 次冷却材喪失時	1 次冷却材ポンプ	1 次冷却材ポンプの故障による冷却能力の低下を防止する運転手順書	重 大 事 故 時 対 応 設備
			燃料冷却材ポンプ	燃料冷却材ポンプの故障による冷却能力の低下を防止する運転手順書	重 大 事 故 時 対 応 設備
サポート系故障時	全交直動力喪失時	1 次冷却材喪失時	A-高圧圧入ポンプ	炉心の著しい損傷及び燃料容器破損を防止する運転手順書	重 大 事 故 時 対 応 設備
			A-格納容器再循環ポンプ	炉心の著しい損傷及び燃料容器破損を防止する運転手順書	重 大 事 故 時 対 応 設備

* 1：手順は「1.4 電源の喪失に対する設備」にて整備する。
 * 2：手順は「1.6 燃料ポンプ系を駆動するための手順等」にて整備する。
 * 3：C、D-燃料冷却材ポンプ系による冷却能力の低下を防止する運転手順は「1.7 原子炉格納容器の過圧抑制を防止するための手順等」にて整備する。
 * 4：重大事故等発生時に用いる設備の名称。
 a：当該表に掲載する重大事故等対応設備 b：当該表に掲載する重大事故等対応設備 c：自主的作業として整備する重大事故等対応設備

【大阪】
 記載方針の相違
 (女川審査表議の反映)
 ・泊は管路及び給電に使用する設備を記載
 ・泊は設計基準事故対処設備に基く対応手段を整理

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

図 1.4.3 表 機組喪失を想定する設計基準事故対応設備を整備する手順（溶融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合）

分類	機組喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	対応手順	整備する手順書	手順書の分類		
1. 冷却材圧力バウンダリが低下する可能性がある場合に	-	熱源喪失を想定する設計基準事故対応設備	船舶冷却スプレッドポンプ*	低圧代替冷却水系統(低圧バウンダリ)による残存炉心冷却の確保	機組喪失を想定する設計基準事故対応設備	炉心の著しい損傷が発生した場合に 対応する運転手順書		
			加圧代替冷却材注水ポンプ				重大事故等対応設備	
			空冷式非揮発性冷却装置*					S-A対応 ¹⁾
			燃料取扱用ホット					
			海水ポンプ					
			燃料貯蔵タンク*					
			タンクローリー*					
			船舶冷却スプレッドポンプ					
			ディーゼル機関ポンプ					
			N ₂ ・2 海水タンク					
2. 冷却材圧力バウンダリが低下する可能性がある場合に	-	機組喪失を想定する設計基準事故対応設備	船舶冷却スプレッドポンプ*	低圧代替冷却水系統(低圧バウンダリ)による残存炉心冷却の確保	機組喪失を想定する設計基準事故対応設備	炉心の著しい損傷が発生した場合に 対応する運転手順書		
			加圧代替冷却材注水ポンプ				重大事故等対応設備	
			空冷式非揮発性冷却装置*					S-A対応 ²⁾
			燃料取扱用ホット					
			海水ポンプ					
			燃料貯蔵タンク*					
			タンクローリー*					
			船舶冷却スプレッドポンプ					
			ディーゼル機関ポンプ					
			N ₂ ・2 海水タンク					

※1：大阪発電所、重大事故等発生時に炉心冷却材の供給のための循環に使用する。
 ※2：タービンの駆動機等による供給。
 ※3：手順は「1.14 電線の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※4：可搬式冷却材注水ポンプにより炉心冷却する場合は海水を使用する。
 ※5：可搬式冷却材注水ポンプ(用)の燃料供給に使用する。手順は「1.6 炉心の燃料供給(冷却材供給)のための手順等」にて整備する。
 ※6：海水は燃料供給に使用する場合は冷却材として使用する。手順は「1.6 炉心の燃料供給(冷却材供給)のための手順等」にて整備する。
 ※7：A、Bの燃料貯蔵タンクホットでの冷却の確保を行う。手順は「1.7 原子炉燃料貯蔵タンク(燃料貯蔵)の冷却(燃料貯蔵)のための手順等」にて整備する。
 ※8：重大事故等発生時に用いる設備の分類
 a：機組喪失を想定する設計基準事故対応設備 b：BWRに適合する重大事故等対応設備 c：自主対策として整備する重大事故等対応設備

対応手段、対処設備、手順書一覧 (5/9)
 (溶融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合)

分類	機組喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対処設備	手順書
-	機組喪失を想定する設計基準事故対応設備	低圧代替冷却水系統(低圧バウンダリ)による残存炉心冷却の確保	海水移送ポンプ 海水貯蔵タンク ※1 補給水系 配管・弁 残留熱除去系 配管・弁 高圧炉心スプレッドポンプ 配管・弁 燃料プール補給水系 ※ 原子炉圧力容器 加圧代替交流電源設備 ※2 可搬型代替交流電源設備 ※2 所内常設電式交流電源設備 ※2 代替所内電気設備 ※2 残留熱除去系ヘッドスプレッドポンプ 配管・弁	非常時操作手順書(シビアアクシデント) 「[注水ストラテジー]」 非常時操作手順書(設備別) 「[海水移送ポンプ]による原子炉注水」 自主対策設備
			大容量送水ポンプ(タイプ1) ボース・日本用ヘッド・接続口 補給水系 配管・弁 残留熱除去系 配管・弁 原子炉圧力容器 加圧代替交流電源設備 ※2 可搬型代替交流電源設備 ※2 代替所内電気設備 ※2 燃料補給設備 ※2 海水貯水槽(No.1) ※1, ※4 海水貯水槽(No.2) ※1, ※4 残留熱除去系ヘッドスプレッドポンプ 配管・弁	非常時操作手順書(シビアアクシデント) 「[注水ストラテジー]」 重大事故等対応要領書 「[大容量送水ポンプ(タイプ1)]による原子炉注水」 「[大容量送水ポンプ]による送水」 ※1 自主対策設備

※1：手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」にて整備する。
 ※2：手順は「1.14 電線の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※3：手順は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。
 ※4：「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」【解説】1b)項を満足するための代替水源(措置)
 ※5：残留熱除去系(低圧注水モード)は熱交換機能に期待しておらず、熱交換器は流路としてのみ用いる。

対応手段、対処設備、手順書一覧 (6/9)
 (溶融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合)

分類	機組喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対処設備	手順書
-	機組喪失を想定する設計基準事故対応設備	低圧代替冷却水系統(低圧バウンダリ)による残存炉心冷却の確保	代替冷却材注水ポンプ サブプレッシャーシステム 残留熱除去系熱交換器 残留熱除去系配管・弁・ストレーナ 原子炉圧力容器 原子炉補給代替注水系統 ※3 加圧代替交流電源設備 ※2 代替所内電気設備 ※2 原子炉補給冷却水系(原子炉補給冷却用水系を含む) ※3 非常用取水設備 ※3 残留熱除去系ヘッドスプレッドポンプ 配管・弁	重大事故等対応設備 (設計基準設備) 非常時操作手順書(シビアアクシデント) 「[注水ストラテジー]」 非常時操作手順書(設備別) 「[代替冷却材注水ポンプ]による原子炉注水」 自主対策設備
			ろ過水ポンプ ろ過水タンク ろ過水系 配管・弁 補給水系 配管・弁 残留熱除去系 配管・弁 残留熱除去系ヘッドスプレッドポンプ 配管・弁 原子炉圧力容器 加圧代替交流電源設備 ※2	非常時操作手順書(シビアアクシデント) 「[注水ストラテジー]」 非常時操作手順書(設備別) 「[ろ過水ポンプ]による原子炉注水」 自主対策設備

※1：手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」にて整備する。
 ※2：手順は「1.14 電線の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※3：手順は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。
 ※4：「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」【解説】1b)項を満足するための代替水源(措置)
 ※5：残留熱除去系(低圧注水モード)は熱交換機能に期待しておらず、熱交換器は流路としてのみ用いる。

※1：手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」にて整備する。
 ※2：手順は「1.14 電線の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※3：手順は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。
 ※4：「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」【解説】1b)項を満足するための代替水源(措置)
 ※5：残留熱除去系(低圧注水モード)は熱交換機能に期待しておらず、熱交換器は流路としてのみ用いる。

対応手段、対処設備、手順書一覧 (8/22)
 (溶融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合)

分類	機組喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対処設備	整備する手順書	手順書の分類
-	機組喪失を想定する設計基準事故対応設備	低圧代替冷却水系統(低圧バウンダリ)による残存炉心冷却の確保	船舶冷却スプレッドポンプ* 加圧代替冷却材注水ポンプ* 熱源喪失を想定する設計基準事故対応設備 燃料貯蔵タンクホット 船舶冷却スプレッドポンプ 空冷式非揮発性冷却装置 配管・弁 2次冷却設備(燃料貯蔵タンク) 配管・弁 スプレッドポンプ 原子炉燃料貯蔵 加圧代替交流電源設備*2 可搬型代替交流電源設備*2 代替所内電気設備*2	炉心の著しい損傷が発生した場合の対応手順 炉心の著しい損傷が発生した場合の対応する運転手順書	重大事故等対応設備 自主対策設備
			代替冷却材注水ポンプ* ディーゼル機関ポンプ N ₂ ・2 海水タンク 船舶冷却スプレッドポンプ* ディーゼル機関ポンプ N ₂ ・2 海水タンク 可搬型代替冷却材注水ポンプ* 燃料貯蔵タンク* タンクローリー* 軽油タンク* 軽油タンク* タンクローリー* 軽油タンク* タンクローリー* 軽油タンク* タンクローリー* 軽油タンク* タンクローリー*	炉心の著しい損傷が発生した場合に 対応する運転手順書	

※1：手順は「1.6 炉心の燃料供給(冷却材供給)のための手順等」にて整備する。
 ※2：手順は「1.14 電線の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※3：可搬型冷却材注水ポンプによる海水を原子炉燃料貯蔵タンクに供給する。
 ※4：可搬型冷却材注水ポンプ(用)の燃料供給に使用する。手順は「1.6 炉心の燃料供給(冷却材供給)のための手順等」にて整備する。
 ※5：海水は燃料供給に使用する場合は冷却材として使用する。手順は「1.6 炉心の燃料供給(冷却材供給)のための手順等」にて整備する。
 ※6：A、Bの燃料貯蔵タンクホットでの冷却の確保を行う。手順は「1.7 原子炉燃料貯蔵タンク(燃料貯蔵)の冷却(燃料貯蔵)のための手順等」にて整備する。
 ※7：重大事故等発生時に用いる設備の分類
 a：機組喪失を想定する設計基準事故対応設備 b：BWRに適合する重大事故等対応設備 c：自主対策として整備する重大事故等対応設備

【大阪】
 記載方針の相違
 (女川審査表紙の反映)
 ・泊は流路及び給電に使用する設備を記載
 ・泊は設計基準事故対応設備による対応手段を整備

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉

女川原子力発電所 2号炉

泊発電所 3号炉

相違理由

第 1.4.4 表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順
 (運転中の1次冷却材喪失事故が発生していない場合) (1 / 2)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故等別対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順の分類
1次冷却材喪失事故が発生していない場合	余熱除去ポンプ又は余熱除去付設備	運転中に1次冷却材喪失事故が発生していない場合	電動駆動給水ポンプ等	a	図1.4.4.1(1)の設計基準事故等に対する運転手順書
			タービン駆動給水ポンプ		
			循環給水ポンプ		
			電動給水ポンプ	b	図1.4.4.1(2)の設計基準事故等に対する運転手順書
			電動給水ポンプ		
			電動給水ポンプ	c	図1.4.4.1(3)の設計基準事故等に対する運転手順書
			電動給水ポンプ		
			タービン駆動給水ポンプ	d	図1.4.4.1(4)の設計基準事故等に対する運転手順書
			タービン駆動給水ポンプ		
			タービン駆動給水ポンプ	e	図1.4.4.1(5)の設計基準事故等に対する運転手順書
タービン駆動給水ポンプ					
タービン駆動給水ポンプ	f	図1.4.4.1(6)の設計基準事故等に対する運転手順書			
タービン駆動給水ポンプ					
タービン駆動給水ポンプ	g	図1.4.4.1(7)の設計基準事故等に対する運転手順書			
タービン駆動給水ポンプ					
タービン駆動給水ポンプ	h	図1.4.4.1(8)の設計基準事故等に対する運転手順書			
タービン駆動給水ポンプ					

注1：「1次冷却材喪失事故」は、運転中に1次冷却材喪失事故が発生していない場合の運転中に発生する事故。
 注2：「タービン駆動給水ポンプ」は、タービン駆動給水ポンプの駆動電源が喪失した場合の運転中に発生する事故。
 注3：「タービン駆動給水ポンプ」は、タービン駆動給水ポンプの駆動電源が喪失した場合の運転中に発生する事故。
 注4：「タービン駆動給水ポンプ」は、タービン駆動給水ポンプの駆動電源が喪失した場合の運転中に発生する事故。
 注5：「タービン駆動給水ポンプ」は、タービン駆動給水ポンプの駆動電源が喪失した場合の運転中に発生する事故。
 a：運転中に発生する重大事故等別対応設備 b：運転中に発生する重大事故等別対応設備 c：運転中に発生する重大事故等別対応設備
 d：運転中に発生する重大事故等別対応設備 e：運転中に発生する重大事故等別対応設備 f：運転中に発生する重大事故等別対応設備
 g：運転中に発生する重大事故等別対応設備 h：運転中に発生する重大事故等別対応設備

対応手段、対応設備、手順書一覧 (9/22)

(1次冷却材喪失事故が発生していない場合のフロントライン系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故等別対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順の分類
1次冷却材喪失事故が発生していない場合	余熱除去ポンプ又は余熱除去付設備	運転中に1次冷却材喪失事故が発生していない場合	電動駆動給水ポンプ等	a	図1.4.4.1(1)の設計基準事故等に対する運転手順書
			タービン駆動給水ポンプ		
			循環給水ポンプ		
			電動給水ポンプ	b	図1.4.4.1(2)の設計基準事故等に対する運転手順書
			電動給水ポンプ		
			電動給水ポンプ	c	図1.4.4.1(3)の設計基準事故等に対する運転手順書
			電動給水ポンプ		
			タービン駆動給水ポンプ	d	図1.4.4.1(4)の設計基準事故等に対する運転手順書
			タービン駆動給水ポンプ		
			タービン駆動給水ポンプ	e	図1.4.4.1(5)の設計基準事故等に対する運転手順書
タービン駆動給水ポンプ					
タービン駆動給水ポンプ	f	図1.4.4.1(6)の設計基準事故等に対する運転手順書			
タービン駆動給水ポンプ					
タービン駆動給水ポンプ	g	図1.4.4.1(7)の設計基準事故等に対する運転手順書			
タービン駆動給水ポンプ					
タービン駆動給水ポンプ	h	図1.4.4.1(8)の設計基準事故等に対する運転手順書			
タービン駆動給水ポンプ					

注1：「1次冷却材喪失事故」は、運転中に1次冷却材喪失事故が発生していない場合の運転中に発生する事故。
 注2：「タービン駆動給水ポンプ」は、タービン駆動給水ポンプの駆動電源が喪失した場合の運転中に発生する事故。
 注3：「タービン駆動給水ポンプ」は、タービン駆動給水ポンプの駆動電源が喪失した場合の運転中に発生する事故。
 注4：「タービン駆動給水ポンプ」は、タービン駆動給水ポンプの駆動電源が喪失した場合の運転中に発生する事故。
 注5：「タービン駆動給水ポンプ」は、タービン駆動給水ポンプの駆動電源が喪失した場合の運転中に発生する事故。
 a：運転中に発生する重大事故等別対応設備 b：運転中に発生する重大事故等別対応設備 c：運転中に発生する重大事故等別対応設備
 d：運転中に発生する重大事故等別対応設備 e：運転中に発生する重大事故等別対応設備 f：運転中に発生する重大事故等別対応設備
 g：運転中に発生する重大事故等別対応設備 h：運転中に発生する重大事故等別対応設備

【大阪】
 記載方針の相違
 (女川審査表裏の
 反映)
 ・泊は回路及び給
 電に使用する設
 備を記載
 ・泊は設計基準事
 故対応設備に基
 づく対応手段を整
 理

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉

女川原子力発電所 2号炉

泊発電所 3号炉

相違理由

【比較のため、第 1.4.4 表 (1/2) を再掲】

第 1.4.4 表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順
 (運転中の 1 次冷却材喪失事故が発生していない場合) (1/2)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応設備	整備する手順書	手順の分類
1 次冷却材喪失事故が発生していない場合	冷却材喪失事故発生時の対応 冷却材喪失事故発生時の対応	電動給水ポンプ*	a	設計及び設計基準事故に付随する運転手順書
		タービン動機給水ポンプ		
		機水ピット		
		蒸気発生器		
		電動給水ポンプ	b	設計及び設計基準事故に付随する運転手順書
		循環ポンプ		
		蒸気発生器2次側による炉心冷却（機水）		
		蒸気発生器冷却給水ポンプ（電動）*		
		機水ピット	c	設計及び設計基準事故に付随する運転手順書
		蒸気発生器冷却給水ポンプ（電動）*		
機水ピット	d	設計及び設計基準事故に付随する運転手順書		
蒸気発生器2次側による炉心冷却（機水）				
機水ピット	e	設計及び設計基準事故に付随する運転手順書		
蒸気発生器冷却給水ポンプ（電動）*				
機水ピット	f	設計及び設計基準事故に付随する運転手順書		
蒸気発生器冷却給水ポンプ（電動）*				
機水ピット	g	設計及び設計基準事故に付随する運転手順書		
蒸気発生器冷却給水ポンプ（電動）*				
機水ピット	h	設計及び設計基準事故に付随する運転手順書		
蒸気発生器冷却給水ポンプ（電動）*				

※1：「大規模停機」重大事故等発生時に伴う原子炉施設の状態の改善に関する計画
 ※2：「タービン駆動機等」より整備する。
 ※3：「機水」は「1 次冷却材」を指す。冷却材に蒸気発生器を冷却するための手順等）にて整備する。
 ※4：「手順」は「1 次冷却材」を指す。冷却材に蒸気発生器を冷却するための手順等）にて整備する。
 ※5：「重大事故等対策」において用いる設備の分類
 a：運転中に適合する重大事故等対応設備 b：BWRに適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備
 d：運転中に適合する重大事故等対応設備 e：BWRに適合する重大事故等対応設備 f：自主的対策として整備する重大事故等対応設備
 g：運転中に適合する重大事故等対応設備 h：BWRに適合する重大事故等対応設備

対応手段、対応設備、手順書一覧 (10/22)

(1 次冷却材喪失事故が発生していない場合のフロントライン系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応設備	整備する手順書	手順の分類
フロントライン系故障時	冷却材喪失事故発生時の対応 冷却材喪失事故発生時の対応	電動給水ポンプ 又は 蒸気発生器	a	設計及び設計基準事故に付随する運転手順書
		タービン動機給水ポンプ		
		機水ピット		
電動給水ポンプ	b	設計及び設計基準事故に付随する運転手順書		
循環ポンプ				
蒸気発生器2次側による炉心冷却（機水）				
機水ピット	c	設計及び設計基準事故に付随する運転手順書		
蒸気発生器冷却給水ポンプ（電動）*				
機水ピット	d	設計及び設計基準事故に付随する運転手順書		
蒸気発生器2次側による炉心冷却（機水）				
機水ピット	e	設計及び設計基準事故に付随する運転手順書		
蒸気発生器冷却給水ポンプ（電動）*				
機水ピット	f	設計及び設計基準事故に付随する運転手順書		
蒸気発生器冷却給水ポンプ（電動）*				
機水ピット	g	設計及び設計基準事故に付随する運転手順書		
蒸気発生器冷却給水ポンプ（電動）*				
機水ピット	h	設計及び設計基準事故に付随する運転手順書		
蒸気発生器冷却給水ポンプ（電動）*				

※1：手順は「1.4 冷却材喪失」にて整備する。
 ※2：手順は「1.5 蒸気発生器」にて整備する。
 ※3：機水ピットは「1 次冷却材」を指す。冷却材に蒸気発生器を冷却するための手順等）にて整備する。
 ※4：蒸気発生器2次側による炉心冷却（機水）は、蒸気発生器を冷却するための手順等）にて整備する。
 ※5：蒸気発生器冷却給水ポンプ（電動）は、蒸気発生器を冷却するための手順等）にて整備する。
 ※6：重大事故等対策において用いる設備の分類
 a：運転中に適合する重大事故等対応設備 b：BWRに適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備
 d：運転中に適合する重大事故等対応設備 e：BWRに適合する重大事故等対応設備 f：自主的対策として整備する重大事故等対応設備
 g：運転中に適合する重大事故等対応設備 h：BWRに適合する重大事故等対応設備

【大阪】
 記載方針の相違
 (女川審査表紙の反映)
 ・泊は管路及び給電に使用する設備を記載
 ・泊は設計基準事故対応設備に関する対応手段を整理

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

第1.4.4表 機組喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順
 （運転中の1次冷却材喪失事故が発生していない場合）（2/2）

分類	機組喪失を想定する設計基準事故の種類	対応手段	対応設備	設備の整備	整備する手順書	手順の分類
1次冷却材喪失事故が発生していない場合	全交直流力電源*	ボイラ冷却材喪失事故（運転中の1次冷却材喪失事故）	電動補助給水ポンプ	a	機組喪失時の冷却材供給（注水）の手順	BWRの新しい機組及び機組修繕後機組に共通する運転手順書
			空冷式冷却材用発電設備*			
			タービン駆動補助給水ポンプ			
			汲水ポンプ			
			蒸気発生機			
			燃料供給機タンク*			
			重油タンク*			
			タンクローリー*			
			蒸気発生機給水ポンプ（駆動）*			
			汲水ポンプ			
ボイラ冷却材喪失事故（運転中の1次冷却材喪失事故）	ボイラ冷却材喪失事故（運転中の1次冷却材喪失事故）	注水装置（ポンプ）*	a, b	主蒸気減圧弁の調整（注水）の手順	BWRの新しい機組及び機組修繕後機組に共通する運転手順書	
		ポンプ*				
		汲水機				
		ポンプ*				
		ポンプ*				
		ポンプ*				
		ポンプ*				
		ポンプ*				
		ポンプ*				
		ポンプ*				

注1：「大規模機組」：重大事故発生時に引ける原子炉冷却の低圧のための稼働に関する設備
 注2：手順は「1.14 電報の発信に関する手順等」にて整備する。
 注3：手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。
 注4：手順は「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。
 注5：手順は「1.5 燃料供給機タンクからの燃料供給に関する手順等」にて整備する。
 注6：空冷式冷却材用発電設備の燃料供給に使用する。手順は「1.14 電報の発信に関する手順等」にて整備する。
 注7：重大事故発生時に引ける設備の分類
 a：当該方式に適合する重大事故等対処設備 b：対応する重大事故等対処設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対処設備

対応手段、対処設備、手順書一覧（11/22）

（1次冷却材喪失事故が発生していない場合のサポート系故障時）

分類	機組喪失を想定する設計基準事故の種類	対応手段	対処設備	設備の整備	整備する手順書	手順の分類
サポート系故障時	全交直流力電源	ボイラ冷却材喪失事故（運転中の1次冷却材喪失事故）	タービン駆動補助給水ポンプ	a, b	機組喪失時の冷却材供給（注水）の手順	BWRの新しい機組及び機組修繕後機組に共通する運転手順書
			電動補助給水ポンプ			
			空冷式冷却材用発電設備*			
			タービン駆動補助給水ポンプ			
			汲水ポンプ			
			蒸気発生機			
			燃料供給機タンク*			
			重油タンク*			
			タンクローリー*			
			蒸気発生機給水ポンプ（駆動）*			
汲水ポンプ						
ボイラ冷却材喪失事故（運転中の1次冷却材喪失事故）	ボイラ冷却材喪失事故（運転中の1次冷却材喪失事故）	注水装置（ポンプ）*	a, b	主蒸気減圧弁の調整（注水）の手順	BWRの新しい機組及び機組修繕後機組に共通する運転手順書	
		ポンプ*				
		汲水機				
		ポンプ*				
		ポンプ*				
		ポンプ*				
		ポンプ*				
		ポンプ*				
		ポンプ*				
		ポンプ*				

*1：手順は「1.14 電報の発信に関する手順等」にて整備する。
 *2：手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。
 *3：可搬型大型遠水ポンプ機により海水を蒸気発生機へ注水する。
 *4：可搬型大型遠水ポンプ機により海水を蒸気発生機へ注水することにより行う。
 *5：重大事故発生時に引ける設備の分類
 a：当該方式に適合する重大事故等対処設備 b：対応する重大事故等対処設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対処設備

【大阪】
 記載方針の相違
 （女川審査表裏の反映）
 ・泊は管路及び給電に使用する設備を記載
 ・泊は設計基準事故対処設備に関する対応手段を整理

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉

女川原子力発電所 2号炉

泊発電所 3号炉

相違理由

【比較のため、第 1.4.4 表 (2/2) を再掲】

第 1.4.4 表 機組喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順
 (運転中の 1 次冷却材喪失事故が発生していない場合) (2/2)

分類	機組喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	設備分類	整備する手順等	手順の分類
1 次冷却材喪失事故が発生していない場合	全交直動力線断	凝縮機冷却水ポンプ	重大事故等対応設備	凝縮機冷却水ポンプの停止による蒸気発生防止の手段 (注水) の手順	BWR の新しい機組及び格納容器設備を停止する運転手順等
		冷却水ポンプ用発電機			
		タービン駆動機冷却水ポンプ			
		凝縮機冷却水ポンプ			
		凝縮機冷却水ポンプ			
		凝縮機冷却水ポンプ			
		凝縮機冷却水ポンプ			
		凝縮機冷却水ポンプ			
		凝縮機冷却水ポンプ			
		凝縮機冷却水ポンプ			
1 次冷却材喪失事故が発生している場合	全交直動力線断	凝縮機冷却水ポンプ	重大事故等対応設備	凝縮機冷却水ポンプの停止による蒸気発生防止の手段 (注水) の手順	BWR の新しい機組及び格納容器設備を停止する運転手順等
		凝縮機冷却水ポンプ			
		凝縮機冷却水ポンプ			
		凝縮機冷却水ポンプ			
		凝縮機冷却水ポンプ			
		凝縮機冷却水ポンプ			
		凝縮機冷却水ポンプ			
		凝縮機冷却水ポンプ			
		凝縮機冷却水ポンプ			
		凝縮機冷却水ポンプ			

注 1：「大事故発生」：重大事故発生時に限って評価の対象とするための評価に関する所置
 注 2：手順は 1.14 機組の停止に関する手順等にて整備する。
 注 3：手順は 1.12 機組の冷却材圧力バウンダリを維持するための評価等にて整備する。
 注 4：手順は 1.13 機組の冷却材圧力バウンダリを維持するための評価等にて整備する。
 注 5：手順は 1.15 機組の冷却材圧力バウンダリを維持するための評価等にて整備する。
 注 6：1.14 機組の冷却材圧力バウンダリを維持するための評価等にて整備する。
 注 7：重大事故発生時に限って用いる設備の分類
 a：当該事故に適用する重大事故等対応設備 b：当該事故に適用する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

対応手段、対処設備、手順書一覧 (12/22)

(1 次冷却材喪失事故が発生していない場合のサポート系故障時)

分類	機組喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	設備分類	整備する手順等	手順の分類
サポート系故障	全交直動力線断	凝縮機冷却水ポンプの停止による蒸気発生防止の手段 (注水) の手順	凝縮機冷却水ポンプ	自主的対策設備	凝縮機冷却水ポンプの停止による蒸気発生防止の手段 (注水) の手順	BWR の新しい機組及び格納容器設備を停止する運転手順等
			凝縮機冷却水ポンプ			
			凝縮機冷却水ポンプ			
			凝縮機冷却水ポンプ			
			凝縮機冷却水ポンプ			
			凝縮機冷却水ポンプ			
			凝縮機冷却水ポンプ			
			凝縮機冷却水ポンプ			
			凝縮機冷却水ポンプ			
			凝縮機冷却水ポンプ			

注 1：手順は 1.13 原子炉冷却材圧力バウンダリを維持するための評価等にて整備する。
 注 2：手順は 1.12 機組の冷却材圧力バウンダリを維持するための評価等にて整備する。
 注 3：機組冷却水ポンプの停止による蒸気発生防止の手段 (注水) の手順にて整備する。
 注 4：凝縮機冷却水ポンプの停止による蒸気発生防止の手段 (注水) の手順にて整備する。
 注 5：凝縮機冷却水ポンプの停止による蒸気発生防止の手段 (注水) の手順にて整備する。
 注 6：手順は 1.14 機組の冷却材圧力バウンダリを維持するための評価等にて整備する。
 注 7：重大事故発生時に限って用いる設備の分類
 a：当該事故に適用する重大事故等対応設備 b：当該事故に適用する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

【大阪】
 記載方針の相違
 (女川審査表裏の反映)
 ・ 泊は管路及び給電に使用する設備を記載
 ・ 泊は設計基準事故対処設備に基く対応手段を整理

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

第1.4.5表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順（運転停止中のフロントライン系設備喪失時）(1/2)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対処設備	整備する手順書	手順の分類	
運転停止中の報告	冷却材ポンプ又は冷却材ポンプ用機器	中心注水	冷却材ポンプ	冷却材ポンプを用いた中心注水により原子炉を冷却する手順 高圧注入ポンプを備える原子炉は、高圧注入ポンプを用いた中心注水による原子炉を冷却する手順	炉心の著しい過熱及び燃料容器破損を防止する運転手順書	
			高圧注入ポンプ	a,b	冷却材ポンプを用いた中心注水により原子炉を冷却する手順 高圧注入ポンプを備える原子炉は、高圧注入ポンプを用いた中心注水による原子炉を冷却する手順	炉心の著しい過熱及び燃料容器破損を防止する運転手順書
			燃料冷却ポンプ	a		
			冷却ポンプ	a,b	高圧注入ポンプを用いた中心注水による原子炉を冷却する手順	SA対応 ^{a)}
			冷却ポンプ	a,b		
			1次冷却ポンプ	a,b	高圧注入ポンプを用いた中心注水による原子炉を冷却する手順	SA対応 ^{a)}
			1次冷却ポンプ	a,b		
			2次冷却ポンプ	a,b	高圧注入ポンプを用いた中心注水による原子炉を冷却する手順	SA対応 ^{a)}
			2次冷却ポンプ	a,b		
			3次冷却ポンプ	a,b	高圧注入ポンプを用いた中心注水による原子炉を冷却する手順	SA対応 ^{a)}
			3次冷却ポンプ	a,b		
			4次冷却ポンプ	a,b	高圧注入ポンプを用いた中心注水による原子炉を冷却する手順	SA対応 ^{a)}
4次冷却ポンプ	a,b					
5次冷却ポンプ	a,b	高圧注入ポンプを用いた中心注水による原子炉を冷却する手順	SA対応 ^{a)}			
5次冷却ポンプ	a,b					
運転停止中の報告	冷却材ポンプ又は冷却材ポンプ用機器	代挿中心注水	冷却材ポンプ	冷却材ポンプを用いた代挿中心注水により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい過熱及び燃料容器破損を防止する運転手順書	
			高圧注入ポンプ	a	冷却材ポンプを用いた代挿中心注水による原子炉を冷却する手順	炉心の著しい過熱及び燃料容器破損を防止する運転手順書
			燃料冷却ポンプ	a		
			冷却ポンプ	a,b	高圧注入ポンプを用いた代挿中心注水による原子炉を冷却する手順	SA対応 ^{a)}
			冷却ポンプ	a,b		
			1次冷却ポンプ	a,b	高圧注入ポンプを用いた代挿中心注水による原子炉を冷却する手順	SA対応 ^{a)}
			1次冷却ポンプ	a,b		
			2次冷却ポンプ	a,b	高圧注入ポンプを用いた代挿中心注水による原子炉を冷却する手順	SA対応 ^{a)}
			2次冷却ポンプ	a,b		
			3次冷却ポンプ	a,b	高圧注入ポンプを用いた代挿中心注水による原子炉を冷却する手順	SA対応 ^{a)}
			3次冷却ポンプ	a,b		
			4次冷却ポンプ	a,b	高圧注入ポンプを用いた代挿中心注水による原子炉を冷却する手順	SA対応 ^{a)}
4次冷却ポンプ	a,b					
5次冷却ポンプ	a,b	高圧注入ポンプを用いた代挿中心注水による原子炉を冷却する手順	SA対応 ^{a)}			
5次冷却ポンプ	a,b					
運転停止中の報告	冷却材ポンプ又は冷却材ポンプ用機器	再循環	高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプを用いた再循環により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい過熱及び燃料容器破損を防止する運転手順書	
			燃料冷却ポンプ	a	高圧注入ポンプを用いた再循環により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい過熱及び燃料容器破損を防止する運転手順書
			冷却ポンプ	a		
			1次冷却ポンプ	a,b	高圧注入ポンプを用いた再循環により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい過熱及び燃料容器破損を防止する運転手順書
			1次冷却ポンプ	a,b		
			2次冷却ポンプ	a,b	高圧注入ポンプを用いた再循環により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい過熱及び燃料容器破損を防止する運転手順書
			2次冷却ポンプ	a,b		
			3次冷却ポンプ	a,b	高圧注入ポンプを用いた再循環により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい過熱及び燃料容器破損を防止する運転手順書
			3次冷却ポンプ	a,b		
			4次冷却ポンプ	a,b	高圧注入ポンプを用いた再循環により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい過熱及び燃料容器破損を防止する運転手順書
			4次冷却ポンプ	a,b		
			5次冷却ポンプ	a,b	高圧注入ポンプを用いた再循環により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい過熱及び燃料容器破損を防止する運転手順書
5次冷却ポンプ	a,b					

※1：1次冷却ポンプ、重大事故等発生時に3台を原子炉冷却材循環に繋ぐための設備として設置する。
 ※2：プルーヴラ設備により設置する。
 ※3：手順は「1.4.6 電源の喪失に際する手順等」にて整備する。
 ※4：2次冷却ポンプ用高圧注入ポンプは、燃料冷却ポンプを用いる。手順は「1.4.6 電源の喪失に際する手順等」にて整備する。
 ※5：可搬式代挿中心注水ポンプにより炉心を注水する場合は高圧注入ポンプを用いる。
 ※6：高圧注入ポンプ（可搬式代挿中心注水ポンプ）は、燃料冷却ポンプに接続する。手順は「1.4.6 原子炉冷却材ポンプの故障時のための手順等」にて整備する。
 ※7：高圧注入ポンプに使用するための設備。手順は「1.4.6 原子炉冷却材ポンプの故障時のための手順等」にて整備する。
 ※8：重大事故等発生時に使用する設備の分類
 a：当該事故に適合する重大事故等対応設備 b：37条に適合する重大事故等対応設備 c：自主的整備として整備する重大事故等対応設備

対応手段、対処設備、手順書一覧 (13/22)

(発電用原子炉停止中のフロントライン系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対処設備	整備する手順書	手順の分類	
運転停止中の報告	冷却材ポンプ又は冷却材ポンプ用機器	中心注水	冷却材ポンプ	冷却材ポンプを用いた中心注水により原子炉を冷却する手順 高圧注入ポンプを備える原子炉は、高圧注入ポンプを用いた中心注水による原子炉を冷却する手順	炉心の著しい過熱及び燃料容器破損を防止する運転手順書	
			高圧注入ポンプ	a,b	冷却材ポンプを用いた中心注水による原子炉を冷却する手順 高圧注入ポンプを備える原子炉は、高圧注入ポンプを用いた中心注水による原子炉を冷却する手順	炉心の著しい過熱及び燃料容器破損を防止する運転手順書
			燃料冷却ポンプ	a		
			冷却ポンプ	a,b	高圧注入ポンプを用いた中心注水による原子炉を冷却する手順	SA対応 ^{a)}
			冷却ポンプ	a,b		
			1次冷却ポンプ	a,b	高圧注入ポンプを用いた中心注水による原子炉を冷却する手順	SA対応 ^{a)}
			1次冷却ポンプ	a,b		
			2次冷却ポンプ	a,b	高圧注入ポンプを用いた中心注水による原子炉を冷却する手順	SA対応 ^{a)}
			2次冷却ポンプ	a,b		
			3次冷却ポンプ	a,b	高圧注入ポンプを用いた中心注水による原子炉を冷却する手順	SA対応 ^{a)}
			3次冷却ポンプ	a,b		
			4次冷却ポンプ	a,b	高圧注入ポンプを用いた中心注水による原子炉を冷却する手順	SA対応 ^{a)}
4次冷却ポンプ	a,b					
5次冷却ポンプ	a,b	高圧注入ポンプを用いた中心注水による原子炉を冷却する手順	SA対応 ^{a)}			
5次冷却ポンプ	a,b					
運転停止中の報告	冷却材ポンプ又は冷却材ポンプ用機器	代挿中心注水	冷却材ポンプ	冷却材ポンプを用いた代挿中心注水により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい過熱及び燃料容器破損を防止する運転手順書	
			高圧注入ポンプ	a	冷却材ポンプを用いた代挿中心注水による原子炉を冷却する手順	炉心の著しい過熱及び燃料容器破損を防止する運転手順書
			燃料冷却ポンプ	a		
			冷却ポンプ	a,b	高圧注入ポンプを用いた代挿中心注水による原子炉を冷却する手順	SA対応 ^{a)}
			冷却ポンプ	a,b		
			1次冷却ポンプ	a,b	高圧注入ポンプを用いた代挿中心注水による原子炉を冷却する手順	SA対応 ^{a)}
			1次冷却ポンプ	a,b		
			2次冷却ポンプ	a,b	高圧注入ポンプを用いた代挿中心注水による原子炉を冷却する手順	SA対応 ^{a)}
			2次冷却ポンプ	a,b		
			3次冷却ポンプ	a,b	高圧注入ポンプを用いた代挿中心注水による原子炉を冷却する手順	SA対応 ^{a)}
			3次冷却ポンプ	a,b		
			4次冷却ポンプ	a,b	高圧注入ポンプを用いた代挿中心注水による原子炉を冷却する手順	SA対応 ^{a)}
4次冷却ポンプ	a,b					
5次冷却ポンプ	a,b	高圧注入ポンプを用いた代挿中心注水による原子炉を冷却する手順	SA対応 ^{a)}			
5次冷却ポンプ	a,b					
運転停止中の報告	冷却材ポンプ又は冷却材ポンプ用機器	再循環	高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプを用いた再循環により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい過熱及び燃料容器破損を防止する運転手順書	
			燃料冷却ポンプ	a	高圧注入ポンプを用いた再循環により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい過熱及び燃料容器破損を防止する運転手順書
			冷却ポンプ	a		
			1次冷却ポンプ	a,b	高圧注入ポンプを用いた再循環により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい過熱及び燃料容器破損を防止する運転手順書
			1次冷却ポンプ	a,b		
			2次冷却ポンプ	a,b	高圧注入ポンプを用いた再循環により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい過熱及び燃料容器破損を防止する運転手順書
			2次冷却ポンプ	a,b		
			3次冷却ポンプ	a,b	高圧注入ポンプを用いた再循環により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい過熱及び燃料容器破損を防止する運転手順書
			3次冷却ポンプ	a,b		
			4次冷却ポンプ	a,b	高圧注入ポンプを用いた再循環により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい過熱及び燃料容器破損を防止する運転手順書
			4次冷却ポンプ	a,b		
			5次冷却ポンプ	a,b	高圧注入ポンプを用いた再循環により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい過熱及び燃料容器破損を防止する運転手順書
5次冷却ポンプ	a,b					

※1：1次冷却ポンプ、重大事故等発生時に3台を原子炉冷却材循環に繋ぐための設備として設置する。
 ※2：プルーヴラ設備により設置する。
 ※3：手順は「1.4.6 電源の喪失に際する手順等」にて整備する。
 ※4：2次冷却ポンプ用高圧注入ポンプは、燃料冷却ポンプを用いる。手順は「1.4.6 電源の喪失に際する手順等」にて整備する。
 ※5：可搬式代挿中心注水ポンプにより炉心を注水する場合は高圧注入ポンプを用いる。
 ※6：高圧注入ポンプ（可搬式代挿中心注水ポンプ）は、燃料冷却ポンプに接続する。手順は「1.4.6 原子炉冷却材ポンプの故障時のための手順等」にて整備する。
 ※7：高圧注入ポンプに使用するための設備。手順は「1.4.6 原子炉冷却材ポンプの故障時のための手順等」にて整備する。
 ※8：重大事故等発生時に使用する設備の分類
 a：当該事故に適合する重大事故等対応設備 b：37条に適合する重大事故等対応設備 c：自主的整備として整備する重大事故等対応設備

【大阪】
 記載方針の相違
 (女川審査表裏の
 反映)
 ・泊は管路及び給
 電に使用する設
 備を記載
 ・泊は設計基準事
 故対応設備に基
 づく対応手段を整
 理

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

【比較のため、第1.4.5表(1/2)を再掲】

第1.4.5表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備を整備する手順
 (運転停止中のフロントライン系故障時) (1/2)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	取組内容	整備する手順書	手順の分類						
運転停止中の発生	A. 冷却材ポンプ 冷却材ポンプ 燃料冷却ポンプ 冷却ポンプ 冷却ポンプ 冷却ポンプ 冷却ポンプ 冷却ポンプ 冷却ポンプ 冷却ポンプ 冷却ポンプ 冷却ポンプ 冷却ポンプ 冷却ポンプ 冷却ポンプ	重大事故等 対応設備	冷却材ポンプ 燃料冷却ポンプ 冷却ポンプ 冷却ポンプ 冷却ポンプ 冷却ポンプ 冷却ポンプ 冷却ポンプ 冷却ポンプ 冷却ポンプ 冷却ポンプ 冷却ポンプ 冷却ポンプ 冷却ポンプ 冷却ポンプ	ab a ab a ab a ab a ab a ab a ab a	冷却材ポンプを用いた冷却材の供給を確保する手順 冷却材ポンプを用いた冷却材の供給を確保する手順 冷却材ポンプを用いた冷却材の供給を確保する手順 冷却材ポンプを用いた冷却材の供給を確保する手順 冷却材ポンプを用いた冷却材の供給を確保する手順 冷却材ポンプを用いた冷却材の供給を確保する手順 冷却材ポンプを用いた冷却材の供給を確保する手順 冷却材ポンプを用いた冷却材の供給を確保する手順 冷却材ポンプを用いた冷却材の供給を確保する手順 冷却材ポンプを用いた冷却材の供給を確保する手順 冷却材ポンプを用いた冷却材の供給を確保する手順 冷却材ポンプを用いた冷却材の供給を確保する手順 冷却材ポンプを用いた冷却材の供給を確保する手順 冷却材ポンプを用いた冷却材の供給を確保する手順 冷却材ポンプを用いた冷却材の供給を確保する手順	炉心の高い温度及び炉管破損防止を目的とする運転 SA関連 ^{※1} SA関連 ^{※1} SA関連 ^{※1} SA関連 ^{※1} SA関連 ^{※1} SA関連 ^{※1} SA関連 ^{※1} SA関連 ^{※1} SA関連 ^{※1} SA関連 ^{※1} SA関連 ^{※1} SA関連 ^{※1} SA関連 ^{※1} SA関連 ^{※1} SA関連 ^{※1}						
							冷却材ポンプ	冷却材ポンプ	冷却材ポンプ	冷却材ポンプ	冷却材ポンプ	冷却材ポンプ
							燃料冷却ポンプ	燃料冷却ポンプ	燃料冷却ポンプ	燃料冷却ポンプ	燃料冷却ポンプ	燃料冷却ポンプ
							冷却ポンプ	冷却ポンプ	冷却ポンプ	冷却ポンプ	冷却ポンプ	冷却ポンプ
							冷却ポンプ	冷却ポンプ	冷却ポンプ	冷却ポンプ	冷却ポンプ	冷却ポンプ
							冷却ポンプ	冷却ポンプ	冷却ポンプ	冷却ポンプ	冷却ポンプ	冷却ポンプ
							冷却ポンプ	冷却ポンプ	冷却ポンプ	冷却ポンプ	冷却ポンプ	冷却ポンプ
							冷却ポンプ	冷却ポンプ	冷却ポンプ	冷却ポンプ	冷却ポンプ	冷却ポンプ
							冷却ポンプ	冷却ポンプ	冷却ポンプ	冷却ポンプ	冷却ポンプ	冷却ポンプ
							冷却ポンプ	冷却ポンプ	冷却ポンプ	冷却ポンプ	冷却ポンプ	冷却ポンプ
							冷却ポンプ	冷却ポンプ	冷却ポンプ	冷却ポンプ	冷却ポンプ	冷却ポンプ
							冷却ポンプ	冷却ポンプ	冷却ポンプ	冷却ポンプ	冷却ポンプ	冷却ポンプ
							冷却ポンプ	冷却ポンプ	冷却ポンプ	冷却ポンプ	冷却ポンプ	冷却ポンプ
							冷却ポンプ	冷却ポンプ	冷却ポンプ	冷却ポンプ	冷却ポンプ	冷却ポンプ
							冷却ポンプ	冷却ポンプ	冷却ポンプ	冷却ポンプ	冷却ポンプ	冷却ポンプ

対応手段、対処設備、手順書一覧(7/9)
 (発電用原子炉停止中のフロントライン系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対処設備	手順書
フロントライン系故障	残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)	低圧代替注水ポンプ(冷却材ポンプ)による発電用原子炉の冷却	残水移送ポンプ 残水貯蔵タンク ※1 補給水系 配管・弁 残留熱除去系 配管・弁 高圧炉心スプレイズ系 配管・弁 燃料プールの補給水系 ※1 原子炉圧力容器 常設代替交流電源設備 ※2 可搬型代替交流電源設備 ※2 所内非常用交流電源設備 ※2 非常用交流電源設備 ※2	非常時操作手順書(プリント停止中) 「残留熱除去機能喪失」等 非常時操作手順書(設備別) 「残水移送ポンプによる原子炉注水」
			大容量移送ポンプ(タイプ1) ※1 ホース・注水用ヘッド・接続口 ※1 補給水系 配管・弁 残留熱除去系 配管・弁 原子炉圧力容器 常設代替交流電源設備 ※2 可搬型代替交流電源設備 ※2 代替炉内電気設備 ※2 燃料補給設備 ※2 非常用交流電源設備 ※2	非常時操作手順書(プリント停止中) 「残留熱除去機能喪失」等 重大事故等対応設備 「大容量移送ポンプ(タイプ1)による原子炉注水」 「大容量移送ポンプによる注水」 ※1
			残水貯蔵タンク(※1) ※1, ※4 残水貯蔵タンク(※2) ※1, ※4	自主訂正設備

※1：手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」にて整備する。
 ※2：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※3：手順は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。
 ※4：「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」【解釈】b)項を満足するための代替注水(措置)
 ※5：残留熱除去系(低圧注水モード)は熱交換機能に期待せず、熱交換は流路としてのみ用い。

対応手段、対処設備、手順書一覧(14/22)

(発電用原子炉停止中のフロントライン系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対処設備	設備の分類	整備する手順書	手順の分類						
フロントライン系故障	冷却材ポンプ 燃料冷却ポンプ 冷却ポンプ 冷却ポンプ 冷却ポンプ 冷却ポンプ 冷却ポンプ 冷却ポンプ 冷却ポンプ 冷却ポンプ 冷却ポンプ 冷却ポンプ 冷却ポンプ 冷却ポンプ 冷却ポンプ	重大事故等 対応設備	冷却材ポンプ 燃料冷却ポンプ 冷却ポンプ 冷却ポンプ 冷却ポンプ 冷却ポンプ 冷却ポンプ 冷却ポンプ 冷却ポンプ 冷却ポンプ 冷却ポンプ 冷却ポンプ 冷却ポンプ 冷却ポンプ 冷却ポンプ	ab a ab a ab a ab a ab a ab a ab a	冷却材ポンプを用いた冷却材の供給を確保する手順 冷却材ポンプを用いた冷却材の供給を確保する手順 冷却材ポンプを用いた冷却材の供給を確保する手順 冷却材ポンプを用いた冷却材の供給を確保する手順 冷却材ポンプを用いた冷却材の供給を確保する手順 冷却材ポンプを用いた冷却材の供給を確保する手順 冷却材ポンプを用いた冷却材の供給を確保する手順 冷却材ポンプを用いた冷却材の供給を確保する手順 冷却材ポンプを用いた冷却材の供給を確保する手順 冷却材ポンプを用いた冷却材の供給を確保する手順 冷却材ポンプを用いた冷却材の供給を確保する手順 冷却材ポンプを用いた冷却材の供給を確保する手順 冷却材ポンプを用いた冷却材の供給を確保する手順 冷却材ポンプを用いた冷却材の供給を確保する手順 冷却材ポンプを用いた冷却材の供給を確保する手順	炉心の高い温度及び炉管破損防止を目的とする運転 SA関連 ^{※1} SA関連 ^{※1} SA関連 ^{※1} SA関連 ^{※1} SA関連 ^{※1} SA関連 ^{※1} SA関連 ^{※1} SA関連 ^{※1} SA関連 ^{※1} SA関連 ^{※1} SA関連 ^{※1} SA関連 ^{※1} SA関連 ^{※1} SA関連 ^{※1} SA関連 ^{※1}						
							冷却材ポンプ	冷却材ポンプ	冷却材ポンプ	冷却材ポンプ	冷却材ポンプ	冷却材ポンプ
							燃料冷却ポンプ	燃料冷却ポンプ	燃料冷却ポンプ	燃料冷却ポンプ	燃料冷却ポンプ	燃料冷却ポンプ
							冷却ポンプ	冷却ポンプ	冷却ポンプ	冷却ポンプ	冷却ポンプ	冷却ポンプ
							冷却ポンプ	冷却ポンプ	冷却ポンプ	冷却ポンプ	冷却ポンプ	冷却ポンプ
							冷却ポンプ	冷却ポンプ	冷却ポンプ	冷却ポンプ	冷却ポンプ	冷却ポンプ
							冷却ポンプ	冷却ポンプ	冷却ポンプ	冷却ポンプ	冷却ポンプ	冷却ポンプ
							冷却ポンプ	冷却ポンプ	冷却ポンプ	冷却ポンプ	冷却ポンプ	冷却ポンプ
							冷却ポンプ	冷却ポンプ	冷却ポンプ	冷却ポンプ	冷却ポンプ	冷却ポンプ
							冷却ポンプ	冷却ポンプ	冷却ポンプ	冷却ポンプ	冷却ポンプ	冷却ポンプ
							冷却ポンプ	冷却ポンプ	冷却ポンプ	冷却ポンプ	冷却ポンプ	冷却ポンプ
							冷却ポンプ	冷却ポンプ	冷却ポンプ	冷却ポンプ	冷却ポンプ	冷却ポンプ
							冷却ポンプ	冷却ポンプ	冷却ポンプ	冷却ポンプ	冷却ポンプ	冷却ポンプ
							冷却ポンプ	冷却ポンプ	冷却ポンプ	冷却ポンプ	冷却ポンプ	冷却ポンプ
							冷却ポンプ	冷却ポンプ	冷却ポンプ	冷却ポンプ	冷却ポンプ	冷却ポンプ

※1：手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」にて整備する。
 ※2：可搬型大容量移送ポンプ(注水モード)により海水を発電用原子炉に注水する。
 ※3：重大事故等対応設備において用いる設備の分類。
 ※4：注水モードに適合する重大事故等対応設備 ※5：収束に適合する重大事故等対応設備 ※6：自主訂正設備 ※7：自主訂正設備

【大阪】
 記載方針の相違
 (女川審査表裏の反映)
 ・泊は流路及び給電に使用する設備を記載
 ・泊は設計基準事故対応設備に必要対応手段を整理

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3 / 4号炉

【比較のため、第1.4.5表(1/2)を再掲】

第1.4.5表 機能喪失を想定する設計基準事象に対する対応と整備する手順
 (発電停止中のフロントライン系統故障時) (1/2)

系統	機能喪失を想定する設計基準事象の対応	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順の分類
運転員が操作可能な系統	冷却材ポンプ停止	A、B	冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止
			冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止
			冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止
			冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止
			冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止
			冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止
			冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止
			冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止
			冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止
			冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止
			冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止
			冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止
			冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止
			冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止
			冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止

注1：「対応手段」は、運転員が操作可能な系統に限定して記述する。対応手段は、運転員が操作可能な系統に限定して記述する。
 注2：「整備する手順書」は、運転員が操作可能な系統に限定して記述する。
 注3：「手順の分類」は、運転員が操作可能な系統に限定して記述する。
 注4：「対応設備」は、運転員が操作可能な系統に限定して記述する。
 注5：「整備する手順書」は、運転員が操作可能な系統に限定して記述する。
 注6：「手順の分類」は、運転員が操作可能な系統に限定して記述する。
 注7：「対応設備」は、運転員が操作可能な系統に限定して記述する。
 注8：「整備する手順書」は、運転員が操作可能な系統に限定して記述する。
 注9：「手順の分類」は、運転員が操作可能な系統に限定して記述する。
 注10：「対応設備」は、運転員が操作可能な系統に限定して記述する。
 注11：「整備する手順書」は、運転員が操作可能な系統に限定して記述する。
 注12：「手順の分類」は、運転員が操作可能な系統に限定して記述する。
 注13：「対応設備」は、運転員が操作可能な系統に限定して記述する。
 注14：「整備する手順書」は、運転員が操作可能な系統に限定して記述する。
 注15：「手順の分類」は、運転員が操作可能な系統に限定して記述する。

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

対応手段、対応設備、手順書一覧 (15/22)

(発電用原子炉停止中のフロントライン系統故障時)

系統	機能喪失を想定する設計基準事象の対応	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順の分類
運転員が操作可能な系統	冷却材ポンプ停止	A、B	冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止
			冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止
			冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止
			冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止
			冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止
			冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止
			冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止
			冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止
			冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止
			冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止
			冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止
			冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止
			冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止
			冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止

注1：「対応手段」は、運転員が操作可能な系統に限定して記述する。対応手段は、運転員が操作可能な系統に限定して記述する。
 注2：「整備する手順書」は、運転員が操作可能な系統に限定して記述する。
 注3：「手順の分類」は、運転員が操作可能な系統に限定して記述する。
 注4：「対応設備」は、運転員が操作可能な系統に限定して記述する。
 注5：「整備する手順書」は、運転員が操作可能な系統に限定して記述する。
 注6：「手順の分類」は、運転員が操作可能な系統に限定して記述する。
 注7：「対応設備」は、運転員が操作可能な系統に限定して記述する。
 注8：「整備する手順書」は、運転員が操作可能な系統に限定して記述する。
 注9：「手順の分類」は、運転員が操作可能な系統に限定して記述する。
 注10：「対応設備」は、運転員が操作可能な系統に限定して記述する。
 注11：「整備する手順書」は、運転員が操作可能な系統に限定して記述する。
 注12：「手順の分類」は、運転員が操作可能な系統に限定して記述する。
 注13：「対応設備」は、運転員が操作可能な系統に限定して記述する。
 注14：「整備する手順書」は、運転員が操作可能な系統に限定して記述する。
 注15：「手順の分類」は、運転員が操作可能な系統に限定して記述する。

【大阪】
 記載方針の相違
 (女川審査表裏の反映)
 ・泊は管路及び給電に使用する設備を記載
 ・泊は設計基準事象対応設備に基づき対応手段を整理

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所 3 / 4号炉

女川原子力発電所 2号炉

泊発電所 3号炉

相違理由

【比較のため、第 1.4.5 表（2/2）を再掲】

第 1.4.5 表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順
 （運転停止中のフロントライン系機能喪失時）（2/2）

分類	機能喪失を想定する設計基準事故の範囲	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順の分類		
運転停止中の場合	全機停止高圧時 又は 全機停止高圧時	蒸気発生管2次側による炉心再沸発生	電動補助給水ポンプ ^a	蒸気発生管2次側による炉心再沸（注水）の対策	炉心の新しい損傷及び燃料滞留の発生を防止する運転手順書		
			タービン駆動補助給水ポンプ				
			復水ピット				
			蒸気発生器				
			電動主給水ポンプ				
			蒸気発生器タンク				
運転停止中の場合	全機停止高圧時 又は 全機停止高圧時	蒸気発生管2次側による炉心再沸発生	蒸気発生器補助用冷却水ポンプ（電動） ^b	蒸気発生管2次側による炉心再沸（注水）の対策	炉心の新しい損傷及び燃料滞留の発生を防止する運転手順書		
			復水ピット				
			蒸気発生器補助用冷却水ポンプ（注水）による蒸気発生器への注水の対策			S/A対応 ^c	
			主蒸気減圧弁			蒸気発生管2次側による炉心再沸（注水）の対策	既設及び設計基準事故対応設備 ^d
			タービンバイパス弁				
			運転停止中の場合			全機停止高圧時 又は 全機停止高圧時	蒸気発生管2次側による炉心再沸発生
送水車	S/A対応 ^c						

※1：下流側配管、蒸気発生器等が正常に動作する原子炉冷却材の確保のための運転に関する手順
 ※2：タービン駆動補助給水ポンプにより供給する。
 ※3：手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。
 ※4：手順は「1.5 運転停止中の場合」にて整備する。
 ※5：重大事故対策において用いている設備の分類
 a：当該方式に適合する重大事故等対応設備 b：374号に適合する重大事故等対応設備 c：目的別策として整備する重大事故等対応設備

対応手段、対処設備、手順書一覧（16/22）

（発電用原子炉停止中のフロントライン系故障時）

分類	機能喪失を想定する設計基準事故の範囲	対応手段	対処設備	整備する手順書	手順の分類		
運転停止中の場合	全機停止高圧時 又は 全機停止高圧時	蒸気発生管2次側による炉心再沸発生	電動補助給水ポンプ ^a	蒸気発生管2次側による炉心再沸（注水）の対策	炉心の新しい損傷及び燃料滞留の発生を防止する運転手順書		
			タービン駆動補助給水ポンプ				
			復水ピット				
			蒸気発生器				
			電動主給水ポンプ				
			蒸気発生器タンク				
運転停止中の場合	全機停止高圧時 又は 全機停止高圧時	蒸気発生管2次側による炉心再沸発生	蒸気発生器補助用冷却水ポンプ（電動） ^b	蒸気発生管2次側による炉心再沸（注水）の対策	炉心の新しい損傷及び燃料滞留の発生を防止する運転手順書		
			復水ピット				
			蒸気発生器補助用冷却水ポンプ（注水）による蒸気発生器への注水の対策			S/A対応 ^c	
			主蒸気減圧弁			蒸気発生管2次側による炉心再沸（注水）の対策	既設及び設計基準事故対応設備 ^d
			タービンバイパス弁				
			運転停止中の場合			全機停止高圧時 又は 全機停止高圧時	蒸気発生管2次側による炉心再沸発生
送水車	S/A対応 ^c						

※1：下流側配管、蒸気発生器等が正常に動作する原子炉冷却材の確保のための運転に関する手順
 ※2：タービン駆動補助給水ポンプにより供給する。
 ※3：手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。
 ※4：手順は「1.5 運転停止中の場合」にて整備する。
 ※5：重大事故対策において用いている設備の分類
 a：当該方式に適合する重大事故等対応設備 b：374号に適合する重大事故等対応設備 c：目的別策として整備する重大事故等対応設備

【大阪】
 記載方針の相違
 （女川審査表裏の反映）
 ・泊は管路及び給電に使用する設備を記載
 ・泊は設計基準事故対応設備に関する対応手段を整理

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉

女川原子力発電所 2号炉

泊発電所 3号炉

相違理由

【比較のため、第 1.4.5 表 (2/2) を再掲】

第 1.4.5 表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順
 (運転停止中のフロントライン系機能喪失時) (2/2)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順の分類				
運転停止中の緊急発生時	冷却材ポンプ 又は 冷却材ポンプ	冷却材ポンプ 又は 冷却材ポンプ	電動補助給水ポンプ性	a	a	a			
			タービン駆動補助給水ポンプ						
			復水ピット						
			高気圧生蒸						
			電動主給水ポンプ						
			空気のタンク						
			高気圧生蒸補助用 冷却材ポンプ (電動) *						
			復水ピット						
			主蒸気減圧弁				a	a	a
			タービンバイパス弁				a	a	a
ポンプ系*	ポンプ系*	ポンプ系*	a	a	a				
						ポンプ系*			
送水車	送水車	送水車	a	a	a				

※1：下流側配管、重大事故発生時に3台の原子炉冷却材の保全のための運転に際する作備
 ※2：ブローダウン争奪戦により発生する
 ※3：手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。
 ※4：手順は「1.3 冷却材ポンプ停止時-緊急輸送するための手順等」にて整備する。
 ※5：重大事故発生時において用いる設備の分類
 a：当該方式に適合する重大事故等対応設備 b：当該方式に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

対応手段、対応設備、手順書一覧 (17/22)

(発電用原子炉停止中のフロントライン系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順の分類	
フロントライン系故障時	冷却材ポンプ 又は 冷却材ポンプ	冷却材ポンプ 又は 冷却材ポンプ	電動補助給水ポンプ性 タービン駆動補助給水ポンプ 高気圧生蒸 電動主給水ポンプ 空気のタンク 高気圧生蒸補助用 冷却材ポンプ (電動) *	a	a	a
			主蒸気減圧弁 タービンバイパス弁			
			冷却材ポンプ タービン駆動補助給水ポンプ 高気圧生蒸 電動主給水ポンプ 空気のタンク 高気圧生蒸補助用 冷却材ポンプ (電動) *			
ポンプ系*	ポンプ系*	ポンプ系*	a	a	a	
送水車	送水車	送水車	a	a	a	

※1：手順は「1.1 運転の確保に際する手順等」にて整備する。
 ※2：手順は「1.2 冷却材ポンプ停止時-緊急輸送するための手順等」にて整備する。
 ※3：冷却材ポンプ停止時により発生する高気圧生蒸→送水車。
 ※4：高気圧生蒸と冷却材ポンプ停止時のタービン駆動補助給水ポンプは、高気圧生蒸ポンプを使用する。
 ※5：高気圧生蒸の取水を確保する場合は高気圧生蒸ポンプがクワインにより取水を行う。
 ※6：重大事故発生時において用いる設備の分類
 a：当該方式に適合する重大事故等対応設備 b：当該方式に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

【大阪】
 記載方針の相違
 (女川審査表紙の
 反映)
 ・泊は管路及び給
 電に使用する設
 備を記載
 ・泊は設計基準事
 故対応設備に基
 づく対応手段を整
 理

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

第1.4.6章 機組着火を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順
 (運転停止中のサポート系機組喪失時) (1/2)

分類	機組着火を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順の分類
運転停止中の機組喪失時	全交流電力喪失時	代 替 機 組 喪 失 時 の 対 応 手 順 等 (①)	燃料供給用ポンプ(重圧力水)	燃料供給用ポンプ(重圧力水)を用いた代替機組喪失時の対応手段	機組の着火・機組喪失時の対応設備を防止する運転手順書
			重圧力水ポンプ	重圧力水ポンプを用いた代替機組喪失時の対応手段	機組の着火・機組喪失時の対応設備を防止する運転手順書
			冷却水ポンプ	冷却水ポンプを用いた代替機組喪失時の対応手段	
			燃料供給用ポンプ(軽圧力水)	燃料供給用ポンプ(軽圧力水)を用いた代替機組喪失時の対応手段	S/A関連等
			冷却水ポンプ	冷却水ポンプを用いた代替機組喪失時の対応手段	
			燃料供給用ポンプ(軽圧力水)	燃料供給用ポンプ(軽圧力水)を用いた代替機組喪失時の対応手段	S/A関連等
			冷却水ポンプ	冷却水ポンプを用いた代替機組喪失時の対応手段	
			燃料供給用ポンプ(軽圧力水)	燃料供給用ポンプ(軽圧力水)を用いた代替機組喪失時の対応手段	S/A関連等
			冷却水ポンプ	冷却水ポンプを用いた代替機組喪失時の対応手段	
			燃料供給用ポンプ(軽圧力水)	燃料供給用ポンプ(軽圧力水)を用いた代替機組喪失時の対応手段	S/A関連等
冷却水ポンプ	冷却水ポンプを用いた代替機組喪失時の対応手段				

対応手段、対応設備、手順書一覧 (8/9)
 (発電用原子炉停止中のフロントライン系故障時)

分類	機組喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	手順書
運転停止中の機組喪失時	全交流電力喪失時	代 替 機 組 喪 失 時 の 対 応 手 順 等 (①)	燃料供給用ポンプ(重圧力水)	燃料供給用ポンプ(重圧力水)を用いた代替機組喪失時の対応手段
			重圧力水ポンプ	重圧力水ポンプを用いた代替機組喪失時の対応手段
			冷却水ポンプ	冷却水ポンプを用いた代替機組喪失時の対応手段
			燃料供給用ポンプ(軽圧力水)	燃料供給用ポンプ(軽圧力水)を用いた代替機組喪失時の対応手段
			冷却水ポンプ	冷却水ポンプを用いた代替機組喪失時の対応手段
			燃料供給用ポンプ(軽圧力水)	燃料供給用ポンプ(軽圧力水)を用いた代替機組喪失時の対応手段
			冷却水ポンプ	冷却水ポンプを用いた代替機組喪失時の対応手段
			燃料供給用ポンプ(軽圧力水)	燃料供給用ポンプ(軽圧力水)を用いた代替機組喪失時の対応手段
			冷却水ポンプ	冷却水ポンプを用いた代替機組喪失時の対応手段
			燃料供給用ポンプ(軽圧力水)	燃料供給用ポンプ(軽圧力水)を用いた代替機組喪失時の対応手段

※1：手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」にて整備する。
 ※2：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※3：手順は「1.15 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。
 ※4：1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等【解説】15)項を満足するための代替機組(軽重)
 ※5：燃料供給用ポンプ(軽圧力水)は熱交換機に接続して、熱交換機は減圧としてのみ用いる。

対応手段、対応設備、手順書一覧 (18/22)

(発電用原子炉停止中のサポート系故障時)

分類	機組喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順の分類
運転停止中の機組喪失時	全交流電力喪失時	代 替 機 組 喪 失 時 の 対 応 手 順 等 (①)	燃料供給用ポンプ(重圧力水)	燃料供給用ポンプ(重圧力水)を用いた代替機組喪失時の対応手段	機組の着火・機組喪失時の対応設備を防止する運転手順書
			重圧力水ポンプ	重圧力水ポンプを用いた代替機組喪失時の対応手段	機組の着火・機組喪失時の対応設備を防止する運転手順書
			冷却水ポンプ	冷却水ポンプを用いた代替機組喪失時の対応手段	
			燃料供給用ポンプ(軽圧力水)	燃料供給用ポンプ(軽圧力水)を用いた代替機組喪失時の対応手段	S/A関連等
			冷却水ポンプ	冷却水ポンプを用いた代替機組喪失時の対応手段	
			燃料供給用ポンプ(軽圧力水)	燃料供給用ポンプ(軽圧力水)を用いた代替機組喪失時の対応手段	S/A関連等
			冷却水ポンプ	冷却水ポンプを用いた代替機組喪失時の対応手段	
			燃料供給用ポンプ(軽圧力水)	燃料供給用ポンプ(軽圧力水)を用いた代替機組喪失時の対応手段	S/A関連等
			冷却水ポンプ	冷却水ポンプを用いた代替機組喪失時の対応手段	
			燃料供給用ポンプ(軽圧力水)	燃料供給用ポンプ(軽圧力水)を用いた代替機組喪失時の対応手段	S/A関連等
冷却水ポンプ	冷却水ポンプを用いた代替機組喪失時の対応手段				

※1：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※2：重大事故等発生時に用いる設備の分類
 ※3：重大事故等発生時に用いる設備の分類
 ※4：重大事故等発生時に用いる設備の分類

【大阪】
 記載方針の相違
 (女川審査表裏の反映)
 ・泊は管路及び給電に使用する設備を記載
 ・泊は設計基準事故対応設備に基く対応手段を整理

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

【比較のため、第1.4.6表(1/2)を再掲】

第1.4.6表 機室着火を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順
 (運転停止中のサポート系機室故障時) (1/2)

分類	機室着火を想定する設計基準事故対処設備	対応設備	整備する手順等	手順の分類
運転停止中の報告	全交直電力電源*	燃料取扱用ボット(重力注水)	燃料取扱用ボット(重力注水)を用いた代替注水による原子炉冷却材の供給	機室の着火・機室及び燃料取扱用ボットに起因する運転手続等
		蓄圧タンク	蓄圧タンクを用いた代替注水による原子炉冷却材の供給	機室の着火・機室及び燃料取扱用ボットに起因する運転手続等
		冷却材循環用ポンプ	冷却材循環用ポンプを用いた代替注水による原子炉冷却材の供給	機室の着火・機室及び燃料取扱用ボットに起因する運転手続等
		冷却材循環用ポンプ(重力注水)	冷却材循環用ポンプ(重力注水)を用いた代替注水による原子炉冷却材の供給	機室の着火・機室及び燃料取扱用ボットに起因する運転手続等
		燃料取扱用ボット	燃料取扱用ボットを用いた代替注水による原子炉冷却材の供給	S/A所達*
		換水ボット	換水ボットを用いた代替注水による原子炉冷却材の供給	S/A所達*
		燃料取扱用ボット	燃料取扱用ボットを用いた代替注水による原子炉冷却材の供給	S/A所達*
		蓄圧タンク	蓄圧タンクを用いた代替注水による原子炉冷却材の供給	S/A所達*
		冷却材循環用ポンプ	冷却材循環用ポンプを用いた代替注水による原子炉冷却材の供給	S/A所達*
		冷却材循環用ポンプ	冷却材循環用ポンプを用いた代替注水による原子炉冷却材の供給	S/A所達*
運転停止中の報告	全交直電力電源*	燃料取扱用ボット(重力注水)	燃料取扱用ボット(重力注水)を用いた代替注水による原子炉冷却材の供給	機室の着火・機室及び燃料取扱用ボットに起因する運転手続等
		蓄圧タンク	蓄圧タンクを用いた代替注水による原子炉冷却材の供給	機室の着火・機室及び燃料取扱用ボットに起因する運転手続等
		冷却材循環用ポンプ	冷却材循環用ポンプを用いた代替注水による原子炉冷却材の供給	機室の着火・機室及び燃料取扱用ボットに起因する運転手続等
		冷却材循環用ポンプ(重力注水)	冷却材循環用ポンプ(重力注水)を用いた代替注水による原子炉冷却材の供給	機室の着火・機室及び燃料取扱用ボットに起因する運転手続等
		燃料取扱用ボット	燃料取扱用ボットを用いた代替注水による原子炉冷却材の供給	S/A所達*
		換水ボット	換水ボットを用いた代替注水による原子炉冷却材の供給	S/A所達*
		燃料取扱用ボット	燃料取扱用ボットを用いた代替注水による原子炉冷却材の供給	S/A所達*
		蓄圧タンク	蓄圧タンクを用いた代替注水による原子炉冷却材の供給	S/A所達*
		冷却材循環用ポンプ	冷却材循環用ポンプを用いた代替注水による原子炉冷却材の供給	S/A所達*
		冷却材循環用ポンプ	冷却材循環用ポンプを用いた代替注水による原子炉冷却材の供給	S/A所達*

※1：「大事故発生」重大事故発生時における原子炉冷却材の供給のための取組に関する事項
 ※2：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※3：冷却材循環用ポンプの故障に起因する。手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※4：冷却材循環用ポンプの故障に起因する。手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※5：冷却材循環用ポンプの故障に起因する。手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※6：冷却材循環用ポンプの故障に起因する。手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※7：冷却材循環用ポンプの故障に起因する。手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※8：冷却材循環用ポンプの故障に起因する。手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※9：冷却材循環用ポンプの故障に起因する。手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※10：冷却材循環用ポンプの故障に起因する。手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。

対応手段、対処設備、手順書一覧 (9/9)
 (発電用原子炉停止中のサポート系故障時)

分類	機室着火を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	手順書
サポート系故障時	全交直電力電源	常設代替交直電源設備による冷却材供給	原子炉補機代替冷却系 ※3 常設代替交直電源設備 ※2	非常時操作手順書(フランク)「原子炉補機故障発生時」等
	原子炉補機冷却系(原子炉補機冷却系を含む。)	常設代替交直電源設備による冷却材供給	冷却材循環用ポンプ 原子炉圧力容器 冷却材循環用ポンプ 配管・弁 冷却材循環用ポンプ 配管・弁・ジェットポンプ 原子炉補機冷却系(原子炉補機冷却系を含む。)* ※3 非常用取水ポンプ ※3	非常時操作手順書(設備別)「冷却材循環用ポンプによる原子炉停止時の冷却材供給」

※1：手順は「1.13 重大事故等の取組に必要な水の供給手順等」にて整備する。
 ※2：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※3：手順は「1.15 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。
 ※4：「1.13 重大事故等の取組に必要な水の供給手順等」【解釈】(b)項を満足するための代替取水源(積置)※5：冷却材循環用ポンプ(低圧注水モード)は熱交換機能に期待しておらず、熱交換器は減圧器としてのみ用いる。

対応手段、対処設備、手順書一覧 (19/22)

(発電用原子炉停止中のサポート系故障時)

分類	機室着火を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	整備する手順等	手順の分類
サポート系故障時	全交直電力電源 又は 原子炉補機冷却系	常設代替交直電源設備による冷却材供給	原子炉補機代替冷却系 ※3 常設代替交直電源設備 ※2	非常時操作手順書(フランク)「原子炉補機故障発生時」等	機室の着火・機室及び燃料取扱用ボットに起因する運転手続等
					機室の着火・機室及び燃料取扱用ボットに起因する運転手続等
					機室の着火・機室及び燃料取扱用ボットに起因する運転手続等
					機室の着火・機室及び燃料取扱用ボットに起因する運転手続等
サポート系故障時	全交直電力電源 又は 原子炉補機冷却系	常設代替交直電源設備による冷却材供給	冷却材循環用ポンプ 原子炉圧力容器 冷却材循環用ポンプ 配管・弁 冷却材循環用ポンプ 配管・弁・ジェットポンプ 原子炉補機冷却系(原子炉補機冷却系を含む。)* ※3 非常用取水ポンプ ※3	非常時操作手順書(設備別)「冷却材循環用ポンプによる原子炉停止時の冷却材供給」	機室の着火・機室及び燃料取扱用ボットに起因する運転手続等
					機室の着火・機室及び燃料取扱用ボットに起因する運転手続等
					機室の着火・機室及び燃料取扱用ボットに起因する運転手続等
					機室の着火・機室及び燃料取扱用ボットに起因する運転手続等

※1：冷却材循環用ポンプによる冷却材供給は発電用原子炉停止時に行う。
 ※2：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※3：冷却材循環用ポンプの故障に起因する。手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※4：冷却材循環用ポンプの故障に起因する。手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※5：冷却材循環用ポンプの故障に起因する。手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※6：冷却材循環用ポンプの故障に起因する。手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※7：冷却材循環用ポンプの故障に起因する。手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※8：冷却材循環用ポンプの故障に起因する。手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※9：冷却材循環用ポンプの故障に起因する。手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※10：冷却材循環用ポンプの故障に起因する。手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。

【大阪】
 記載方針の相違
 (女川審査表裏の
 反映)
 ・泊は管路及び給
 電に使用する設
 備を記載
 ・泊は設計基準基
 礎対処設備に基
 づく対応手段を整
 理

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉

女川原子力発電所 2号炉

泊発電所 3号炉

相違理由

第 1.4.6 表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順
(運転停止中のサポート系機能喪失時) (2 / 2)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備の分類	整備する手順書	手順の分類	
運転停止中の場合	全交流動力喪失時	冷却材循環ポンプ	高気圧発生時	重大事故対策対応設備	高気圧発生時2台側 [1]による炉心の冷却 [注水]の手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書	
			タービン駆動機給水ポンプ		空冷式非常用発電機装置 燃料供給の手順		S.A.関連等
			高気圧発生時				
			燃料供給機タンク等				
			高気圧発生時				
			タンクローリー等				
	高気圧発生時給水ポンプ停止 [注水]の手順	多様な設備の活用	高気圧発生時2台側 [1]による炉心の冷却 [注水]の手順 高気圧発生時給水ポンプ停止 [注水]の手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書			
	高気圧発生時						
	高気圧発生時						
	高気圧発生時						
	高気圧発生時						
	高気圧発生時						
原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時	冷却材循環ポンプ	高気圧発生時	主要設備の活用	主要設備が止まる 燃料供給の手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書		
		高気圧発生時					
		高気圧発生時					
		高気圧発生時					
		高気圧発生時					
		高気圧発生時					
原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時	冷却材循環ポンプ	高気圧発生時	各種設備の活用	ポンプ等を用いた高気圧発生時2台側の注水の手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書		
		高気圧発生時					
		高気圧発生時					
		高気圧発生時					
		高気圧発生時					
		高気圧発生時					
原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時	冷却材循環ポンプ	高気圧発生時	各種設備の活用	ポンプ等を用いた高気圧発生時2台側の注水の手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書		
		高気圧発生時					
		高気圧発生時					
		高気圧発生時					
		高気圧発生時					
		高気圧発生時					

※1：「大規模発電所」重大事故発生時において原子炉冷却材の圧力低下を抑制するための活動に関する所屬
 ※2：手順は「1.4.6 電源の喪失に関する手順等」にて整備する。
 ※3：空冷式非常用発電機装置の燃料供給に使用する。手順は「1.4 電源の喪失に関する手順等」にて整備する。
 ※4：手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。
 ※5：手順は「1.4.6 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。
 ※6：手順は「1.5 最終トリップシグナルを発生させるための手順等」にて整備する。
 ※7：重大事故発生時において用いる設備の分類
 a：当該事故に適合する重大事故対策設備 b：当該事故に適合する重大事故対策設備 c：自主的対策として整備する重大事故対策設備

対応手段、対応設備、手順書一覧 (20/22)

(発電用原子炉停止中のサポート系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備の分類	整備する手順書	手順の分類	
サポート系故障時	原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時	冷却材循環ポンプ	高気圧発生時	主要設備の活用	高気圧発生時2台側 [1]による炉心の冷却 [注水]の手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書	
			タービン駆動機給水ポンプ		空冷式非常用発電機装置 燃料供給の手順		S.A.関連等
			高気圧発生時				
			燃料供給機タンク等				
			高気圧発生時				
			タンクローリー等				
高気圧発生時給水ポンプ停止 [注水]の手順	多様な設備の活用	高気圧発生時2台側 [1]による炉心の冷却 [注水]の手順 高気圧発生時給水ポンプ停止 [注水]の手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書				
高気圧発生時							
高気圧発生時							
高気圧発生時							
高気圧発生時							
高気圧発生時							
原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時	冷却材循環ポンプ	高気圧発生時	主要設備の活用	主要設備が止まる 燃料供給の手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書		
		高気圧発生時					
		高気圧発生時					
		高気圧発生時					
		高気圧発生時					
		高気圧発生時					
原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時	冷却材循環ポンプ	高気圧発生時	各種設備の活用	ポンプ等を用いた高気圧発生時2台側の注水の手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書		
		高気圧発生時					
		高気圧発生時					
		高気圧発生時					
		高気圧発生時					
		高気圧発生時					
原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時	冷却材循環ポンプ	高気圧発生時	各種設備の活用	ポンプ等を用いた高気圧発生時2台側の注水の手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書		
		高気圧発生時					
		高気圧発生時					
		高気圧発生時					
		高気圧発生時					
		高気圧発生時					

※1：手順は「1.4 電源の喪失に関する手順等」にて整備する。
 ※2：手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。
 ※3：空冷式非常用発電機装置の燃料供給に使用する。手順は「1.4 電源の喪失に関する手順等」にて整備する。
 ※4：手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。
 ※5：手順は「1.4.6 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。
 ※6：手順は「1.5 最終トリップシグナルを発生させるための手順等」にて整備する。
 ※7：重大事故発生時において用いる設備の分類
 a：当該事故に適合する重大事故対策設備 b：当該事故に適合する重大事故対策設備 c：自主的対策として整備する重大事故対策設備

【大阪】
記載方針の相違
(女川審査表裏の反映)
・泊は管路及び給電に使用する設備を記載
・泊は設計基準事故対策設備に基く対応手段を整理

【大阪】
設備の相違 (相違理由⑥)

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3 / 4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

【比較のため、第1.4.6表(2/2)を再掲】

第1.4.6表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順
 (運転停止中のサポート系機能喪失時) (2/2)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	設備の分類	整備する手順書	手順の分類
サポート系機能喪失時	全交流動力電源 ^{a)}	電動機冷却水ポンプ	a)	a)	高気圧生蒸気2次側以上の炉心冷却(注水)の手順	炉心の高い相違及び格納容器液面を防止する運転手順書
		空冷式炉用発電機 ^{b)}				
		タービン駆動冷却水ポンプ				
		廃水ポンプ				
		蒸気発生器				
	燃料冷却機タンク ^{c)}	多様な設備	高気圧生蒸気2次側以上の炉心冷却(注水)の手順	炉心の高い相違及び格納容器液面を防止する運転手順書		
	蒸気タンク ^{d)}					
	タンクローリー ^{e)}					
	蒸気発生器補給弁(炉心圧ポンプ) (電動) ^{f)}					
	廃水ポンプ					
原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時	蒸気発生器	a)	a)	a)	高気圧生蒸気2次側以上の炉心冷却(注水)の手順	炉心の高い相違及び格納容器液面を防止する運転手順書
	燃料冷却機タンク					
	蒸気タンク					
	タンクローリー					
原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時	蒸気発生器	a)	a)	a)	高気圧生蒸気2次側以上の炉心冷却(注水)の手順	炉心の高い相違及び格納容器液面を防止する運転手順書
	燃料冷却機タンク					
	蒸気タンク					
	タンクローリー					
原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時	蒸気発生器	a)	a)	a)	高気圧生蒸気2次側以上の炉心冷却(注水)の手順	炉心の高い相違及び格納容器液面を防止する運転手順書
	燃料冷却機タンク					
	蒸気タンク					
	タンクローリー					
原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時	蒸気発生器	a)	a)	a)	高気圧生蒸気2次側以上の炉心冷却(注水)の手順	炉心の高い相違及び格納容器液面を防止する運転手順書
	燃料冷却機タンク					
	蒸気タンク					
	タンクローリー					

※1：「大規模修理」重大事故発生時に原子炉停止の確保に必要とする手順
 ※2：手順は「1.4.6 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※3：空冷式炉用発電機の燃料供給に使用する。手順は「1.4.6 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※4：手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。
 ※5：手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。
 ※6：手順は「1.5 最終ドレーンシフトを確立するための手順等」にて整備する。
 ※7：重大事故発生時に用いる設備の分類
 a：同様に適合する重大事故対応設備 b：27条に適合する重大事故対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故対応設備

対応手段、対応設備、手順書一覧 (21/22)

(発電用原子炉停止中のサポート系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	設備の分類	整備する手順書	手順の分類			
サポート系機能喪失時	全交流動力電源 ^{a)}	原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時	a)	a)	高気圧生蒸気2次側以上の炉心冷却(注水)の手順	炉心の高い相違及び格納容器液面を防止する運転手順書			
							高気圧生蒸気2次側以上の炉心冷却(注水)の手順		
								高気圧生蒸気2次側以上の炉心冷却(注水)の手順	
									高気圧生蒸気2次側以上の炉心冷却(注水)の手順
	高気圧生蒸気2次側以上の炉心冷却(注水)の手順								
		高気圧生蒸気2次側以上の炉心冷却(注水)の手順							
			高気圧生蒸気2次側以上の炉心冷却(注水)の手順						
				高気圧生蒸気2次側以上の炉心冷却(注水)の手順					
					高気圧生蒸気2次側以上の炉心冷却(注水)の手順				
高気圧生蒸気2次側以上の炉心冷却(注水)の手順									

※1：手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。
 ※2：高気圧生蒸気2次側以上の炉心冷却(注水)の手順は、空冷式炉用発電機又はタービン駆動ポンプを利用することにより行う。
 ※3：手順は「1.4 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※4：手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。
 ※5：手順は「1.5 最終ドレーンシフトを確立するための手順等」にて整備する。
 ※6：可搬型大型蒸気ポンプ車により廃水を高気圧生蒸気器へ注水する。
 ※7：高気圧生蒸気2次側以上の炉心冷却(注水)の手順は、蒸気発生器のランラインを使用する。
 ※8：高気圧生蒸気器へ廃水を注水する場合は高気圧生蒸気器のランラインをより注水を行う。
 ※9：重大事故発生時に用いる設備の分類
 a：同様に適合する重大事故対応設備 b：27条に適合する重大事故対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故対応設備

【大阪】
 記載方針の相違
 (女川審査表紙の反映)
 ・泊は管路及び給電に使用する設備を記載
 ・泊は設計基準事故対応設備に基く対応手段を整理

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																										
<div data-bbox="203 756 613 799" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>		<div data-bbox="1370 421 1727 443" style="background-color: yellow; padding: 2px;">対応手段、対処設備、手順書一覧（22/22）</div> <div data-bbox="1370 459 1727 481" style="background-color: yellow; padding: 2px;">（発電用原子炉停止中のサポート系故障時）</div> <table border="1" data-bbox="1370 491 2011 1117"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>概要裡を想定する設計基準等に対する設備</th> <th>対応手段</th> <th>対処設備</th> <th>設備の相違</th> <th>整備する手順書</th> <th>手順の分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">サポート系故障時</td> <td rowspan="4">原子炉熱源冷却水設備 又は 原子炉熱源冷却水設備 電圧印用ポンプ 冷却材ポンプ の出力を維持する</td> <td rowspan="4">電圧印用ポンプ 冷却材ポンプ の出力を維持する</td> <td>B-定電圧ポンプ 燃料冷却水ポンプ 再生熱交換器 非常用冷却材設備（配管・弁） 化学体積調整設備（配管・弁） 原子炉熱源冷却設備（原子炉熱源冷却設備） 1式冷却設備 原子炉母管 電圧印用交流電源設備※1</td> <td>電圧印用ポンプ 冷却材ポンプ の出力を維持する</td> <td>冷却材ポンプの管理 における対応手順</td> <td>故障及び設計基準事項に 対応する運転手順書</td> </tr> <tr> <td>A-高圧注入ポンプ A-熱源冷却系循環ポンプ A-熱源冷却系循環ポンプスターション A-安全注入ポンプ再循環ポンプ入口のVPR 制御電機 ほう射注入ポンプ 非常用冷却材設備（配管・弁） 非常用冷却材設備（高圧注入系） （配管・弁） 冷却材ポンプ 1式冷却設備 原子炉母管</td> <td>高圧注入ポンプ 冷却材ポンプ の出力を維持する</td> <td>冷却材ポンプの管理 における対応手順</td> <td>故障及び設計基準事項に 対応する運転手順書</td> </tr> <tr> <td>可動型大型定電圧ポンプ※2 可動型ポンプ・駆動機 ポンプ延長・回転機（逆水車用） 非常用冷却材設備 燃料補給設備※1</td> <td>可動型大型定電圧ポンプ 冷却材ポンプ の出力を維持する</td> <td>冷却材ポンプの管理 における対応手順</td> <td>故障及び設計基準事項に 対応する運転手順書</td> </tr> <tr> <td>電動補助ポンプ 補助冷却水ポンプ 蒸気発生器 2式冷却設備（冷却材本設備） 2式冷却設備（燃料冷却水設備） （配管・弁） 非常用交流電源設備※1</td> <td>電動補助ポンプ 冷却材ポンプ の出力を維持する</td> <td>冷却材ポンプの管理 における対応手順</td> <td>故障及び設計基準事項に 対応する運転手順書</td> </tr> </tbody> </table>	分類	概要裡を想定する設計基準等に対する設備	対応手段	対処設備	設備の相違	整備する手順書	手順の分類	サポート系故障時	原子炉熱源冷却水設備 又は 原子炉熱源冷却水設備 電圧印用ポンプ 冷却材ポンプ の出力を維持する	電圧印用ポンプ 冷却材ポンプ の出力を維持する	B-定電圧ポンプ 燃料冷却水ポンプ 再生熱交換器 非常用冷却材設備（配管・弁） 化学体積調整設備（配管・弁） 原子炉熱源冷却設備（原子炉熱源冷却設備） 1式冷却設備 原子炉母管 電圧印用交流電源設備※1	電圧印用ポンプ 冷却材ポンプ の出力を維持する	冷却材ポンプの管理 における対応手順	故障及び設計基準事項に 対応する運転手順書	A-高圧注入ポンプ A-熱源冷却系循環ポンプ A-熱源冷却系循環ポンプスターション A-安全注入ポンプ再循環ポンプ入口のVPR 制御電機 ほう射注入ポンプ 非常用冷却材設備（配管・弁） 非常用冷却材設備（高圧注入系） （配管・弁） 冷却材ポンプ 1式冷却設備 原子炉母管	高圧注入ポンプ 冷却材ポンプ の出力を維持する	冷却材ポンプの管理 における対応手順	故障及び設計基準事項に 対応する運転手順書	可動型大型定電圧ポンプ※2 可動型ポンプ・駆動機 ポンプ延長・回転機（逆水車用） 非常用冷却材設備 燃料補給設備※1	可動型大型定電圧ポンプ 冷却材ポンプ の出力を維持する	冷却材ポンプの管理 における対応手順	故障及び設計基準事項に 対応する運転手順書	電動補助ポンプ 補助冷却水ポンプ 蒸気発生器 2式冷却設備（冷却材本設備） 2式冷却設備（燃料冷却水設備） （配管・弁） 非常用交流電源設備※1	電動補助ポンプ 冷却材ポンプ の出力を維持する	冷却材ポンプの管理 における対応手順	故障及び設計基準事項に 対応する運転手順書	<div data-bbox="2027 683 2168 874" style="background-color: yellow; padding: 5px;"> 【大飯】 記載方針の相違 （女川審査表紙の 反映） ・泊任、復旧の対応 手段を整理して いる。 </div>
分類	概要裡を想定する設計基準等に対する設備	対応手段	対処設備	設備の相違	整備する手順書	手順の分類																							
サポート系故障時	原子炉熱源冷却水設備 又は 原子炉熱源冷却水設備 電圧印用ポンプ 冷却材ポンプ の出力を維持する	電圧印用ポンプ 冷却材ポンプ の出力を維持する	B-定電圧ポンプ 燃料冷却水ポンプ 再生熱交換器 非常用冷却材設備（配管・弁） 化学体積調整設備（配管・弁） 原子炉熱源冷却設備（原子炉熱源冷却設備） 1式冷却設備 原子炉母管 電圧印用交流電源設備※1	電圧印用ポンプ 冷却材ポンプ の出力を維持する	冷却材ポンプの管理 における対応手順	故障及び設計基準事項に 対応する運転手順書																							
			A-高圧注入ポンプ A-熱源冷却系循環ポンプ A-熱源冷却系循環ポンプスターション A-安全注入ポンプ再循環ポンプ入口のVPR 制御電機 ほう射注入ポンプ 非常用冷却材設備（配管・弁） 非常用冷却材設備（高圧注入系） （配管・弁） 冷却材ポンプ 1式冷却設備 原子炉母管	高圧注入ポンプ 冷却材ポンプ の出力を維持する	冷却材ポンプの管理 における対応手順	故障及び設計基準事項に 対応する運転手順書																							
			可動型大型定電圧ポンプ※2 可動型ポンプ・駆動機 ポンプ延長・回転機（逆水車用） 非常用冷却材設備 燃料補給設備※1	可動型大型定電圧ポンプ 冷却材ポンプ の出力を維持する	冷却材ポンプの管理 における対応手順	故障及び設計基準事項に 対応する運転手順書																							
			電動補助ポンプ 補助冷却水ポンプ 蒸気発生器 2式冷却設備（冷却材本設備） 2式冷却設備（燃料冷却水設備） （配管・弁） 非常用交流電源設備※1	電動補助ポンプ 冷却材ポンプ の出力を維持する	冷却材ポンプの管理 における対応手順	故障及び設計基準事項に 対応する運転手順書																							

※1：手順は「1.18 電流の異常に関する手順書」にて整備する。
 ※2：手順は「1.3 燃料ポンプスターションへの熱を供給するための手順書」にて整備する。
 ※3：C、D-熱源冷却系循環ポンプユニットによる熱源冷却系内自然冷却時は「1.7 原子炉熱源冷却系循環ポンプ停止のための手順書」にて整備する。
 ※4：重大事故対策において用いる設備の付録
 ※：当該表文に載っていない重大事故対策設備 ※：対象に適合する重大事故対策設備 ※：自主の対策として整備する重大事故対策設備

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉

女川原子力発電所 2号炉

泊発電所 3号炉

相違理由

第 1.4.7 表 重大事故等対処に係る監視計器

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

監視計器一覧 (1/48)

対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 a. 炉心注水			
判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計	
	原子炉圧力容器内への注水量	・ 高圧注入流量計 ・ 余熱除去流量計	
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域) ・ 燃料取替用水ビット水位計 ・ 復水ビット水位計 ・ ほう酸タンク水位計 ・ 1次系純水タンク水位計 (CRT)	
	水源の確保		
	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 原子炉水位計 ・ 加圧器水位計
		原子炉圧力容器内への注水量	・ 充てん水流量計 ・ 出力領域中性子束計 ・ 中間領域中性子束計 ・ 中性子源領域中性子束計 ・ 中間領域起動率計 ・ 中性子源領域起動率計
		未境界の維持又は監視	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域) ・ 燃料取替用水ビット水位計 ・ 復水ビット水位計 ・ ほう酸タンク水位計 ・ 1次系純水タンク水位計 (CRT)
水源の確保			

第 1.4-2 表 重大事故等対処に係る監視計器

監視計器一覧 (1/20)

手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)
1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 a. 低圧代替注水 (a) 低圧代替注水系 (常設) (復水移送ポンプ) による原子炉圧力容器への注水		
非常時操作手順書 (置換ベース) 「水位確保」等	判断基準 原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)
非常時操作手順書 (設備別) 「復水移送ポンプによる原子炉注水」	判断基準 電源の確保	4-2c 母線電圧 4-2b 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧
	判断基準 水源の確保	復水貯蔵タンク水位
	操作 原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)
	操作 原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)
	操作 原子炉圧力容器への注水量	残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量) (残留熱除去系系格納容器冷却ライン洗浄流量)
	補機監視機能 水源の確保	復水移送ポンプ出口圧力 復水貯蔵タンク水位

第 1.4.2 表 重大事故等対処に係る監視計器

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

監視計器一覧 (1/61)

対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 a. 炉心注水			
判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度計	
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	
	原子炉圧力容器内への注水量	・ 高圧注入流量 ・ 低圧注入流量	
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環 サンプ水位 (広域) ・ 燃料取替用水ビット水位 ・ ほう酸タンク水位 ・ 1次系純水タンク水位 ・ ほう酸タンク水位	
	水源の確保		
	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度計
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)
		原子炉圧力容器内への注水量	・ 加圧器水位 ・ 原子炉水位
		未境界の維持又は監視	・ 充てん流量 ・ 格納容器再循環 サンプ水位 (広域) ・ 燃料取替用水ビット水位 ・ ほう酸タンク水位 ・ 1次系純水タンク水位 (CRT)
水源の確保			

(a) 充てんポンプによる原子炉圧力容器への注水

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																
<p>監視計器一覧（2/48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) A格納容器スプレイポンプ (RHS-CSS連絡ライン使用) による代替炉心注水</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内への注水量</td> <td>・ 充てん水流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプル水位計 (広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 原子炉水位計 ・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内への注水量</td> <td>・ A余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプル水位計 (広域)</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ A格納容器スプレイポンプ吐出圧力計</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			b. 代替炉心注水			(a) A格納容器スプレイポンプ (RHS-CSS連絡ライン使用) による代替炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計	原子炉压力容器内への注水量	・ 充てん水流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプル水位計 (広域)	操作	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位計	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の水位	・ 原子炉水位計 ・ 加圧器水位計	原子炉压力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプル水位計 (広域)	補機監視機能	・ A格納容器スプレイポンプ吐出圧力計	<p>監視計器一覧（2/20）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 低圧代替注水</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(6) 低圧代替注水系 (常設) (直流駆動低圧注水系ポンプ) による原子炉压力容器への注水</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書 (微候ベーク) 「水位確保」等</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の水位</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書 (設備明) 「直流駆動低圧注水系ポンプによる原子炉注水」</td> <td>電解の確信</td> </tr> <tr> <td></td> <td rowspan="2">操作</td> <td>原子炉压力容器内の水位</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>原子炉压力容器への注水量</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>補機監視機能</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>水源の確保</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			a. 低圧代替注水			(6) 低圧代替注水系 (常設) (直流駆動低圧注水系ポンプ) による原子炉压力容器への注水			非常時操作手順書 (微候ベーク) 「水位確保」等	判断基準	原子炉压力容器内の水位	非常時操作手順書 (設備明) 「直流駆動低圧注水系ポンプによる原子炉注水」	電解の確信		操作	原子炉压力容器内の水位		原子炉压力容器内の圧力			原子炉压力容器への注水量			補機監視機能			水源の確保	<p>監視計器一覧（2/81）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) B-格納容器スプレイポンプ (RHS-CSS連絡ライン使用) による原子炉注水</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内への注水量</td> <td>・ 充てん流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプル水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ビット水位</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 充てんライン圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 原子炉水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内への注水量</td> <td>・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (取用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプル水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ビット水位</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			b. 代替炉心注水			(a) B-格納容器スプレイポンプ (RHS-CSS連絡ライン使用) による原子炉注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉压力容器内への注水量	・ 充てん流量	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプル水位 (広域)	操作	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位	補機監視機能	・ 充てんライン圧力	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉水位	原子炉压力容器内への注水量	・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (取用)	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプル水位 (広域)	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																	
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																																																																																			
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																																																																			
b. 代替炉心注水																																																																																																																			
(a) A格納容器スプレイポンプ (RHS-CSS連絡ライン使用) による代替炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																																																
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																																																																
		原子炉压力容器内への注水量	・ 充てん水流量計																																																																																																																
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプル水位計 (広域)																																																																																																																
	操作	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位計																																																																																																																
		原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																																																
		原子炉压力容器内の水位	・ 原子炉水位計 ・ 加圧器水位計																																																																																																																
		原子炉压力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計																																																																																																																
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプル水位計 (広域)																																																																																																																
補機監視機能	・ A格納容器スプレイポンプ吐出圧力計																																																																																																																		
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																																																																																	
1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順																																																																																																																			
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																			
a. 低圧代替注水																																																																																																																			
(6) 低圧代替注水系 (常設) (直流駆動低圧注水系ポンプ) による原子炉压力容器への注水																																																																																																																			
非常時操作手順書 (微候ベーク) 「水位確保」等	判断基準	原子炉压力容器内の水位																																																																																																																	
非常時操作手順書 (設備明) 「直流駆動低圧注水系ポンプによる原子炉注水」		電解の確信																																																																																																																	
	操作	原子炉压力容器内の水位																																																																																																																	
		原子炉压力容器内の圧力																																																																																																																	
		原子炉压力容器への注水量																																																																																																																	
		補機監視機能																																																																																																																	
		水源の確保																																																																																																																	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																	
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順																																																																																																																			
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																			
b. 代替炉心注水																																																																																																																			
(a) B-格納容器スプレイポンプ (RHS-CSS連絡ライン使用) による原子炉注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																																																
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																																
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																																																																
		原子炉压力容器内への注水量	・ 充てん流量																																																																																																																
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプル水位 (広域)																																																																																																																
	操作	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位																																																																																																																
		補機監視機能	・ 充てんライン圧力																																																																																																																
		原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																																																
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																																
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉水位																																																																																																																
原子炉压力容器内への注水量	・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (取用)																																																																																																																		
原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプル水位 (広域)																																																																																																																		
水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位																																																																																																																		

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																																																																		
<p>監視計器一覧 (3/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ A余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取扱用水ビット水位計 ・ 復水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="12">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計 ・ 原子炉水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">未境界の維持又は監視</td> <td>出力領域中性子束計</td> <td>・ 出力領域中性子束計</td> </tr> <tr> <td>中間領域中性子束計</td> <td>・ 中間領域中性子束計</td> </tr> <tr> <td>中性子源領域中性子束計</td> <td>・ 中性子源領域中性子束計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 中間領域起動率計 ・ 中性子源領域起動率計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取扱用水ビット水位計 ・ 復水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 空冷式非常発電装置 ・ 電力計、周波数計</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			b. 代替炉心注水			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計	原子炉圧力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)	水源の確保	・ 燃料取扱用水ビット水位計 ・ 復水ビット水位計	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 原子炉水位計	原子炉圧力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計	未境界の維持又は監視	出力領域中性子束計	・ 出力領域中性子束計	中間領域中性子束計	・ 中間領域中性子束計	中性子源領域中性子束計	・ 中性子源領域中性子束計	原子炉格納容器内の水位	・ 中間領域起動率計 ・ 中性子源領域起動率計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)	水源の確保	・ 燃料取扱用水ビット水位計 ・ 復水ビット水位計	電源	・ 空冷式非常発電装置 ・ 電力計、周波数計	<p>監視計器一覧 (3/20)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 低圧代替注水</td> </tr> <tr> <td colspan="3">c. 低圧代替注水系 (可搬型) による原子炉圧力容器への注水</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書 (微減ペース) 「水位確保」等</td> <td>判断基準</td> <td>原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">重大事故等対応要領書 「大容量送水ポンプ (タイプ1) による原子炉注水」 「大容量送水ポンプによる送水」</td> <td>電源の確保</td> <td>4-2C 母線電圧 4-2B 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>洪水貯水槽 (No. 1) 洪水貯水槽 (No. 2)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量) (残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>洪水貯水槽 (No. 1) 洪水貯水槽 (No. 2)</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			a. 低圧代替注水			c. 低圧代替注水系 (可搬型) による原子炉圧力容器への注水			非常時操作手順書 (微減ペース) 「水位確保」等	判断基準	原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)	重大事故等対応要領書 「大容量送水ポンプ (タイプ1) による原子炉注水」 「大容量送水ポンプによる送水」	電源の確保	4-2C 母線電圧 4-2B 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧	水源の確保	洪水貯水槽 (No. 1) 洪水貯水槽 (No. 2)	操作	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)	原子炉圧力容器への注水量	残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量) (残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量)	水源の確保	洪水貯水槽 (No. 1) 洪水貯水槽 (No. 2)	<p>監視計器一覧 (3/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ B-1格納容器スプレィ流量 ・ B-1格納容器スプレィ冷却器出口環流流量 (適用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取扱用水ビット水位 ・ 補助給水ビット水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="12">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 原子炉水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 代替格納容器スプレィポンプ出口環流流量 ・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束 ・ 中性子源領域中性子束</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">未境界の維持又は監視</td> <td>中間領域起動率</td> <td>・ 中間領域起動率</td> </tr> <tr> <td>中性子源領域起動率</td> <td>・ 中性子源領域起動率</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 中間領域起動率計 ・ 中性子源領域起動率計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取扱用水ビット水位 ・ 補助給水ビット水位</td> </tr> <tr> <td>補換監視機能</td> <td>・ 代替格納容器スプレィポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 代替非常用発電機電圧、電力、周波数 ・ 0-A, B 母線電圧</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			b. 代替炉心注水			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉圧力容器内への注水量	・ B-1格納容器スプレィ流量 ・ B-1格納容器スプレィ冷却器出口環流流量 (適用)	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	水源の確保	・ 燃料取扱用水ビット水位 ・ 補助給水ビット水位	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉水位	原子炉圧力容器内への注水量	・ 代替格納容器スプレィポンプ出口環流流量 ・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束 ・ 中性子源領域中性子束	未境界の維持又は監視	中間領域起動率	・ 中間領域起動率	中性子源領域起動率	・ 中性子源領域起動率	原子炉格納容器内の水位	・ 中間領域起動率計 ・ 中性子源領域起動率計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	水源の確保	・ 燃料取扱用水ビット水位 ・ 補助給水ビット水位	補換監視機能	・ 代替格納容器スプレィポンプ出口圧力	電源	・ 代替非常用発電機電圧、電力、周波数 ・ 0-A, B 母線電圧	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																																			
1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合																																																																																																																																					
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																																																																																					
b. 代替炉心注水																																																																																																																																					
判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																																																																			
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																																			
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																																																																																			
	原子炉圧力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計																																																																																																																																			
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)																																																																																																																																			
	水源の確保	・ 燃料取扱用水ビット水位計 ・ 復水ビット水位計																																																																																																																																			
操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																																																																			
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																																			
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 原子炉水位計																																																																																																																																			
	原子炉圧力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計																																																																																																																																			
	未境界の維持又は監視	出力領域中性子束計	・ 出力領域中性子束計																																																																																																																																		
		中間領域中性子束計	・ 中間領域中性子束計																																																																																																																																		
		中性子源領域中性子束計	・ 中性子源領域中性子束計																																																																																																																																		
	原子炉格納容器内の水位	・ 中間領域起動率計 ・ 中性子源領域起動率計																																																																																																																																			
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)																																																																																																																																			
	水源の確保	・ 燃料取扱用水ビット水位計 ・ 復水ビット水位計																																																																																																																																			
	電源	・ 空冷式非常発電装置 ・ 電力計、周波数計																																																																																																																																			
	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																																																																																																		
1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順																																																																																																																																					
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																																					
a. 低圧代替注水																																																																																																																																					
c. 低圧代替注水系 (可搬型) による原子炉圧力容器への注水																																																																																																																																					
非常時操作手順書 (微減ペース) 「水位確保」等	判断基準	原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																																																																			
重大事故等対応要領書 「大容量送水ポンプ (タイプ1) による原子炉注水」 「大容量送水ポンプによる送水」	電源の確保	4-2C 母線電圧 4-2B 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧																																																																																																																																			
	水源の確保	洪水貯水槽 (No. 1) 洪水貯水槽 (No. 2)																																																																																																																																			
操作	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																																																																			
	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)																																																																																																																																			
	原子炉圧力容器への注水量	残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量) (残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量)																																																																																																																																			
水源の確保	洪水貯水槽 (No. 1) 洪水貯水槽 (No. 2)																																																																																																																																				
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																																			
1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順																																																																																																																																					
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																																					
b. 代替炉心注水																																																																																																																																					
判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																																																																			
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																																																			
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																																																																																			
	原子炉圧力容器内への注水量	・ B-1格納容器スプレィ流量 ・ B-1格納容器スプレィ冷却器出口環流流量 (適用)																																																																																																																																			
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)																																																																																																																																			
	水源の確保	・ 燃料取扱用水ビット水位 ・ 補助給水ビット水位																																																																																																																																			
操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																																																																			
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																																																			
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉水位																																																																																																																																			
	原子炉圧力容器内への注水量	・ 代替格納容器スプレィポンプ出口環流流量 ・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束 ・ 中性子源領域中性子束																																																																																																																																			
	未境界の維持又は監視	中間領域起動率	・ 中間領域起動率																																																																																																																																		
		中性子源領域起動率	・ 中性子源領域起動率																																																																																																																																		
		原子炉格納容器内の水位	・ 中間領域起動率計 ・ 中性子源領域起動率計																																																																																																																																		
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)																																																																																																																																			
	水源の確保	・ 燃料取扱用水ビット水位 ・ 補助給水ビット水位																																																																																																																																			
	補換監視機能	・ 代替格納容器スプレィポンプ出口圧力																																																																																																																																			
	電源	・ 代替非常用発電機電圧、電力、周波数 ・ 0-A, B 母線電圧																																																																																																																																			

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																																																									
<p>監視計器一覧 (4/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10"> (e) 電動消火ポンプ又はディーゼル消火ポンプによる代替炉心注水 </td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ N.o. 2 淡水タンク水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計 ・ 原子炉水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ AM用消火水積算流量計 ・ A余熱除去流量計 ・ 出力領域中性子束計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">未臨界の維持又は監視</td> <td>中間領域中性子束計</td> <td>・ 中間領域中性子束計</td> </tr> <tr> <td>中性子領域中性子束計</td> <td>・ 中性子領域中性子束計</td> </tr> <tr> <td>中性子領域起動率計</td> <td>・ 中性子領域起動率計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ N.o. 2 淡水タンク水位計（CRT）</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			b. 代替炉心注水			(e) 電動消火ポンプ又はディーゼル消火ポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計	原子炉圧力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）	水源の確保	・ N.o. 2 淡水タンク水位計（CRT）	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 原子炉水位計	原子炉圧力容器内への注水量	・ AM用消火水積算流量計 ・ A余熱除去流量計 ・ 出力領域中性子束計	未臨界の維持又は監視	中間領域中性子束計	・ 中間領域中性子束計	中性子領域中性子束計	・ 中性子領域中性子束計	中性子領域起動率計	・ 中性子領域起動率計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）	水源の確保	・ N.o. 2 淡水タンク水位計（CRT）	<p>監視計器一覧 (4/20)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ（計器）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 低圧代替注水</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(d) 代替普通冷却系による原子炉圧力容器への注水</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書（備後ベース） 「水位確保」等</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の水位 原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA広帯域） 原子炉水位（SA燃料域）</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書（設備別） 「代替普通冷却ポンプによる原子炉注水」</td> <td>4-2C 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">操作</td> <td>電源の確保</td> <td>原子炉機械冷却水系系統流量（A系のみ） 残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量（A系のみ）</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシントの確保</td> <td>圧力制御室水位</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA広帯域） 原子炉水位（SA燃料域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉圧力 原子炉圧力（SA） 代替普通冷却ポンプ出口流量 代替普通冷却ポンプ出口圧力 圧力制御室水位</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ（計器）	1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			a. 低圧代替注水			(d) 代替普通冷却系による原子炉圧力容器への注水			非常時操作手順書（備後ベース） 「水位確保」等	判断基準	原子炉圧力容器内の水位 原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA広帯域） 原子炉水位（SA燃料域）	非常時操作手順書（設備別） 「代替普通冷却ポンプによる原子炉注水」	4-2C 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧	操作	電源の確保	原子炉機械冷却水系系統流量（A系のみ） 残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量（A系のみ）	最終ヒートシントの確保	圧力制御室水位	水源の確保	原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA広帯域） 原子炉水位（SA燃料域）	原子炉圧力容器内の水位	原子炉圧力 原子炉圧力（SA） 代替普通冷却ポンプ出口流量 代替普通冷却ポンプ出口圧力 圧力制御室水位	<p>監視計器一覧 (4/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10"> (e) 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉圧力容器への注水 </td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ ろ過水タンク水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 原子炉水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ AM用消火水積算流量 ・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束 ・ 中性子領域中性子束 ・ 中間領域起動率 ・ 中性子領域起動率</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">未臨界の維持又は監視</td> <td>中間領域中性子束計</td> <td>・ 中間領域中性子束</td> </tr> <tr> <td>中性子領域中性子束計</td> <td>・ 中性子領域中性子束</td> </tr> <tr> <td>中性子領域起動率計</td> <td>・ 中性子領域起動率</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ ろ過水タンク水位</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			b. 代替炉心注水			(e) 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉圧力容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉圧力容器内への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）	水源の確保	・ ろ過水タンク水位	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉水位	原子炉圧力容器内への注水量	・ AM用消火水積算流量 ・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束 ・ 中性子領域中性子束 ・ 中間領域起動率 ・ 中性子領域起動率	未臨界の維持又は監視	中間領域中性子束計	・ 中間領域中性子束	中性子領域中性子束計	・ 中性子領域中性子束	中性子領域起動率計	・ 中性子領域起動率	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）	水源の確保	・ ろ過水タンク水位	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																										
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																																																																																												
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																																																																												
b. 代替炉心注水																																																																																																																												
(e) 電動消火ポンプ又はディーゼル消火ポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																																																																									
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																									
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																																																																										
	原子炉圧力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計																																																																																																																										
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																																																																										
	水源の確保	・ N.o. 2 淡水タンク水位計（CRT）																																																																																																																										
	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																																																																									
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																									
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 原子炉水位計																																																																																																																									
		原子炉圧力容器内への注水量	・ AM用消火水積算流量計 ・ A余熱除去流量計 ・ 出力領域中性子束計																																																																																																																									
未臨界の維持又は監視		中間領域中性子束計	・ 中間領域中性子束計																																																																																																																									
		中性子領域中性子束計	・ 中性子領域中性子束計																																																																																																																									
		中性子領域起動率計	・ 中性子領域起動率計																																																																																																																									
原子炉格納容器内の水位		・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																																																																										
水源の確保		・ N.o. 2 淡水タンク水位計（CRT）																																																																																																																										
手順書		重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ（計器）																																																																																																																									
1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順																																																																																																																												
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																												
a. 低圧代替注水																																																																																																																												
(d) 代替普通冷却系による原子炉圧力容器への注水																																																																																																																												
非常時操作手順書（備後ベース） 「水位確保」等	判断基準	原子炉圧力容器内の水位 原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA広帯域） 原子炉水位（SA燃料域）																																																																																																																										
非常時操作手順書（設備別） 「代替普通冷却ポンプによる原子炉注水」		4-2C 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧																																																																																																																										
操作	電源の確保	原子炉機械冷却水系系統流量（A系のみ） 残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量（A系のみ）																																																																																																																										
	最終ヒートシントの確保	圧力制御室水位																																																																																																																										
	水源の確保	原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA広帯域） 原子炉水位（SA燃料域）																																																																																																																										
	原子炉圧力容器内の水位	原子炉圧力 原子炉圧力（SA） 代替普通冷却ポンプ出口流量 代替普通冷却ポンプ出口圧力 圧力制御室水位																																																																																																																										
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																										
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順																																																																																																																												
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																												
b. 代替炉心注水																																																																																																																												
(e) 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉圧力容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） ・ 炉心出口温度																																																																																																																									
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																																																																									
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																																																																										
	原子炉圧力容器内への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																																																																																																																										
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																																																																										
	水源の確保	・ ろ過水タンク水位																																																																																																																										
	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） ・ 炉心出口温度																																																																																																																									
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																																																																									
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉水位																																																																																																																									
		原子炉圧力容器内への注水量	・ AM用消火水積算流量 ・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束 ・ 中性子領域中性子束 ・ 中間領域起動率 ・ 中性子領域起動率																																																																																																																									
未臨界の維持又は監視		中間領域中性子束計	・ 中間領域中性子束																																																																																																																									
		中性子領域中性子束計	・ 中性子領域中性子束																																																																																																																									
		中性子領域起動率計	・ 中性子領域起動率																																																																																																																									
原子炉格納容器内の水位		・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																																																																										
水源の確保		・ ろ過水タンク水位																																																																																																																										

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																																																				
<p>監視計器一覧 (5/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(d) 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計 ・ 原子炉水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ A余熱除去流量計 ・ 出力領域中性子束計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">未臨界の維持又は監視</td> <td>中間領域中性子束計</td> <td>・ 中間領域中性子束計</td> </tr> <tr> <td>中性子源領域中性子束計</td> <td>・ 中性子源領域中性子束計</td> </tr> <tr> <td>中間領域起動率計</td> <td>・ 中間領域起動率計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			b. 代替炉心注水			判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計	原子炉压力容器内の注水量	・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)	(d) 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 原子炉水位計	原子炉压力容器内の注水量	・ A余熱除去流量計 ・ 出力領域中性子束計	未臨界の維持又は監視	中間領域中性子束計	・ 中間領域中性子束計	中性子源領域中性子束計	・ 中性子源領域中性子束計	中間領域起動率計	・ 中間領域起動率計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)	<p>監視計器一覧 (5/20)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 低圧代替注水</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(a) ろ過水ポンプによる原子炉压力容器への注水</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書 (麼候ベース) 「水位確保」等</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の水位</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書 (設備別) 「ろ過水ポンプによる原子炉注水」</td> <td>電源の確保 4-20 母線電圧 4-20 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水位の確保</td> <td>ろ過水タンク水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td>残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量) 残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量</td> </tr> <tr> <td>種種監視機能</td> <td>ろ過水ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>ろ過水タンク水位</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			a. 低圧代替注水			(a) ろ過水ポンプによる原子炉压力容器への注水			非常時操作手順書 (麼候ベース) 「水位確保」等	判断基準	原子炉压力容器内の水位	非常時操作手順書 (設備別) 「ろ過水ポンプによる原子炉注水」	電源の確保 4-20 母線電圧 4-20 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧		水位の確保	ろ過水タンク水位	操作	原子炉压力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)	原子炉压力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)	原子炉压力容器への注水量	残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量) 残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量	種種監視機能	ろ過水ポンプ出口圧力	水源の確保	ろ過水タンク水位	<p>監視計器一覧 (5/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(d) 汎水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">未臨界の維持又は監視</td> <td>出力領域中性子束</td> <td>・ 出力領域中性子束</td> </tr> <tr> <td>中性子源領域中性子束</td> <td>・ 中性子源領域中性子束</td> </tr> <tr> <td>中間領域起動率</td> <td>・ 中間領域起動率</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			b. 代替炉心注水			判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉压力容器内の注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	(d) 汎水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位	原子炉压力容器内の注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	未臨界の維持又は監視	出力領域中性子束	・ 出力領域中性子束	中性子源領域中性子束	・ 中性子源領域中性子束	中間領域起動率	・ 中間領域起動率	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																					
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																																																																																							
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																																																																							
b. 代替炉心注水																																																																																																																							
判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																																																					
	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																					
	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																																																																					
	原子炉压力容器内の注水量	・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計																																																																																																																					
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)																																																																																																																					
(d) 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																																																					
	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																					
	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 原子炉水位計																																																																																																																					
	原子炉压力容器内の注水量	・ A余熱除去流量計 ・ 出力領域中性子束計																																																																																																																					
	未臨界の維持又は監視	中間領域中性子束計	・ 中間領域中性子束計																																																																																																																				
		中性子源領域中性子束計	・ 中性子源領域中性子束計																																																																																																																				
		中間領域起動率計	・ 中間領域起動率計																																																																																																																				
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)																																																																																																																					
	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																																																																																				
	1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順																																																																																																																						
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																							
a. 低圧代替注水																																																																																																																							
(a) ろ過水ポンプによる原子炉压力容器への注水																																																																																																																							
非常時操作手順書 (麼候ベース) 「水位確保」等	判断基準	原子炉压力容器内の水位																																																																																																																					
非常時操作手順書 (設備別) 「ろ過水ポンプによる原子炉注水」		電源の確保 4-20 母線電圧 4-20 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧																																																																																																																					
	水位の確保	ろ過水タンク水位																																																																																																																					
操作	原子炉压力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																																																					
	原子炉压力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)																																																																																																																					
	原子炉压力容器への注水量	残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量) 残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量																																																																																																																					
	種種監視機能	ろ過水ポンプ出口圧力																																																																																																																					
	水源の確保	ろ過水タンク水位																																																																																																																					
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																					
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順																																																																																																																							
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																							
b. 代替炉心注水																																																																																																																							
判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																																																					
	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																																					
	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																																																																					
	原子炉压力容器内の注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																																																																																																																					
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)																																																																																																																					
(d) 汎水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																																																					
	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																																					
	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位																																																																																																																					
	原子炉压力容器内の注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																																																																																																																					
	未臨界の維持又は監視	出力領域中性子束	・ 出力領域中性子束																																																																																																																				
		中性子源領域中性子束	・ 中性子源領域中性子束																																																																																																																				
		中間領域起動率	・ 中間領域起動率																																																																																																																				
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)																																																																																																																					

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																										
<div data-bbox="203 451 613 496" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">泊3号炉との比較対象なし</div>		<p>監視計器一覧 (6/81)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順 (1) フロントライン系統故障時の対応手順 b. 代替伊心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="6" style="vertical-align: top;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環タンク水位（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="10" style="vertical-align: top;">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 伊心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">非臨界の維持又は監視</td> <td></td> <td>・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束 ・ 中性子源領域中性子束 ・ 中間領域起動率 ・ 中性子源領域起動率</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環タンク水位（広域）</td> </tr> <tr> <td colspan="2">水源の確保</td> <td>・ 2次系純水タンク水位 ・ 5号水タンク水位</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>監視計器一覧 (7/81)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順 (1) フロントライン系統故障時の対応手順 b. 代替伊心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="6" style="vertical-align: top;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環タンク水位（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="10" style="vertical-align: top;">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 伊心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">非臨界の維持又は監視</td> <td></td> <td>・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束 ・ 中性子源領域中性子束 ・ 中間領域起動率 ・ 中性子源領域起動率</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環タンク水位（広域）</td> </tr> <tr> <td colspan="2">水源の確保</td> <td>・ 2次系純水タンク水位 ・ 5号水タンク水位</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順 (1) フロントライン系統故障時の対応手順 b. 代替伊心注水			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側）	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉圧力容器内への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口流量	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環タンク水位（広域）	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 伊心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位	原子炉圧力容器内への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口流量	非臨界の維持又は監視		・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束 ・ 中性子源領域中性子束 ・ 中間領域起動率 ・ 中性子源領域起動率	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環タンク水位（広域）	水源の確保		・ 2次系純水タンク水位 ・ 5号水タンク水位				対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順 (1) フロントライン系統故障時の対応手順 b. 代替伊心注水			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側）	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉圧力容器内への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口流量	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環タンク水位（広域）	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 伊心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位	原子炉圧力容器内への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口流量	非臨界の維持又は監視		・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束 ・ 中性子源領域中性子束 ・ 中間領域起動率 ・ 中性子源領域起動率	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環タンク水位（広域）	水源の確保		・ 2次系純水タンク水位 ・ 5号水タンク水位				<p>【大阪】 設備の相違 (相違理由③)</p> <p>【大阪】 設備の相違 (相違理由③)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																											
1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順 (1) フロントライン系統故障時の対応手順 b. 代替伊心注水																																																																													
判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側）																																																																											
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																											
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																											
	原子炉圧力容器内への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口流量																																																																											
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環タンク水位（広域）																																																																											
	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 伊心出口温度																																																																										
原子炉圧力容器内の圧力		・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																											
原子炉圧力容器内の水位		・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位																																																																											
原子炉圧力容器内への注水量		・ 代替格納容器スプレイポンプ出口流量																																																																											
非臨界の維持又は監視			・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束 ・ 中性子源領域中性子束 ・ 中間領域起動率 ・ 中性子源領域起動率																																																																										
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環タンク水位（広域）																																																																										
		水源の確保		・ 2次系純水タンク水位 ・ 5号水タンク水位																																																																									
対応手段		重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																										
1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順 (1) フロントライン系統故障時の対応手順 b. 代替伊心注水																																																																													
判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側）																																																																											
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																											
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																											
	原子炉圧力容器内への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口流量																																																																											
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環タンク水位（広域）																																																																											
	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 伊心出口温度																																																																										
原子炉圧力容器内の圧力		・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																											
原子炉圧力容器内の水位		・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位																																																																											
原子炉圧力容器内への注水量		・ 代替格納容器スプレイポンプ出口流量																																																																											
非臨界の維持又は監視			・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束 ・ 中性子源領域中性子束 ・ 中間領域起動率 ・ 中性子源領域起動率																																																																										
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環タンク水位（広域）																																																																										
		水源の確保		・ 2次系純水タンク水位 ・ 5号水タンク水位																																																																									

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																										
<p>監視計器一覧 (6 / 48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">c. 再循環運転</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>補機監視機能</td> <td>・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 原子炉水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ 高圧注入流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 高圧注入ポンプ吐出圧力計</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			c. 再循環運転			(a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計	原子炉压力容器内の注水量	・ 余熱除去流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)	操作	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の水位	・ 原子炉水位計	原子炉压力容器内の注水量	・ 高圧注入流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)	補機監視機能	・ 高圧注入ポンプ吐出圧力計		<p>監視計器一覧 (8 / 61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">c. 再循環運転</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>補機監視機能</td> <td>・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ 高圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 高圧注入ポンプ出口圧力</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			c. 再循環運転			(a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉压力容器内の注水量	・ 低圧注入流量	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	操作	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位	原子炉压力容器内の注水量	・ 高圧注入流量	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	補機監視機能	・ 高圧注入ポンプ出口圧力	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																											
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																																													
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																													
c. 再循環運転																																																																													
(a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																										
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																										
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																										
		原子炉压力容器内の注水量	・ 余熱除去流量計																																																																										
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)																																																																										
	操作	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																																										
		原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																										
		原子炉压力容器内の水位	・ 原子炉水位計																																																																										
		原子炉压力容器内の注水量	・ 高圧注入流量計																																																																										
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)																																																																										
補機監視機能	・ 高圧注入ポンプ吐出圧力計																																																																												
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																											
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順																																																																													
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																													
c. 再循環運転																																																																													
(a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																										
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																										
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																										
		原子炉压力容器内の注水量	・ 低圧注入流量																																																																										
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)																																																																										
	操作	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流																																																																										
		原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																										
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位																																																																										
		原子炉压力容器内の注水量	・ 高圧注入流量																																																																										
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)																																																																										
補機監視機能	・ 高圧注入ポンプ出口圧力																																																																												

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																								
<p>監視計器一覧（7/48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">d. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) A格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">操作</td> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・原子炉水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・A余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・A格納容器スプレイポンプ吐出圧力計</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			d. 代替再循環運転			(a) A格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計	原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位計	操作	原子炉压力容器内の注水量	・余熱除去流量計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）	補機監視機能	・余熱除去ポンプ吐出圧力計	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計	原子炉压力容器内の水位	・原子炉水位計	原子炉压力容器内の注水量	・A余熱除去流量計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）	補機監視機能	・A格納容器スプレイポンプ吐出圧力計		<p>監視計器一覧（9/61）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">d. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) B-格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転</td> <td rowspan="6">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材温度（広域-高範囲） ・1次冷却材温度（広域-低範囲） ・炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・高圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・高圧注入ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">操作</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材温度（広域-高範囲） ・1次冷却材温度（広域-低範囲） ・炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位 ・原子炉容器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・B-格納容器スプレイ流量 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（A用）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・B-格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			d. 代替再循環運転			(a) B-格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高範囲） ・1次冷却材温度（広域-低範囲） ・炉心出口温度	原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）	原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位	原子炉压力容器内の注水量	・高圧注入流量	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位（広域）	補機監視機能	・高圧注入ポンプ出口圧力	操作	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高範囲） ・1次冷却材温度（広域-低範囲） ・炉心出口温度	原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位 ・原子炉容器水位	原子炉压力容器内の注水量	・B-格納容器スプレイ流量 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（A用）	原子炉格納容器内の水位	・B-格納容器再循環サンプ水位（広域）	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																									
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																																											
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																											
d. 代替再循環運転																																																																											
(a) A格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計																																																																								
		原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																								
		原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位計																																																																								
	操作	原子炉压力容器内の注水量	・余熱除去流量計																																																																								
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																								
		補機監視機能	・余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																																								
		原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計																																																																								
		原子炉压力容器内の水位	・原子炉水位計																																																																								
		原子炉压力容器内の注水量	・A余熱除去流量計																																																																								
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																								
補機監視機能	・A格納容器スプレイポンプ吐出圧力計																																																																										
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																									
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順																																																																											
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																											
d. 代替再循環運転																																																																											
(a) B-格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高範囲） ・1次冷却材温度（広域-低範囲） ・炉心出口温度																																																																								
		原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）																																																																								
		原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位																																																																								
		原子炉压力容器内の注水量	・高圧注入流量																																																																								
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																								
		補機監視機能	・高圧注入ポンプ出口圧力																																																																								
	操作	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高範囲） ・1次冷却材温度（広域-低範囲） ・炉心出口温度																																																																								
		原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位 ・原子炉容器水位																																																																								
		原子炉压力容器内の注水量	・B-格納容器スプレイ流量 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（A用）																																																																								
		原子炉格納容器内の水位	・B-格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																								

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																
<p>監視計器一覧 (8/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">d. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(b) 格納容器再循環サンブスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順</td> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 高圧注入流量計 ・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内への注水量</td> <td>・ 格納容器スプレイ流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・ 格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・ 格納容器圧力計 (広域) ・ AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンブ水位計 (広域) ・ 原子炉格納容器水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td></td> <td>・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計 ・ 格納容器スプレイポンプ吐出圧力計 ・ 高圧注入ポンプ吐出圧力計</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			d. 代替再循環運転			(b) 格納容器再循環サンブスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内への注水量	・ 高圧注入流量計 ・ 余熱除去流量計	原子炉格納容器内への注水量	・ 格納容器スプレイ流量計	原子炉格納容器内の温度	・ 格納容器内温度計	原子炉格納容器内の圧力	・ 格納容器圧力計 (広域) ・ AM用格納容器圧力計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンブ水位計 (広域) ・ 原子炉格納容器水位計	補機監視機能		・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計 ・ 格納容器スプレイポンプ吐出圧力計 ・ 高圧注入ポンプ吐出圧力計		<p>監視計器一覧 (10/81)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">4. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(b) 格納容器再循環サンブスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順</td> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 高圧注入流量 ・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内への注水量</td> <td>・ 格納容器スプレイ流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・ 格納容器内温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力 (AM用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンブ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td></td> <td>・ 高圧注入ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度 ・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位 ・ 高圧注入流量 ・ 充てん流量 ・ 低圧注入流量</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			4. 代替再循環運転			(b) 格納容器再循環サンブスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉圧力容器内への注水量	・ 高圧注入流量 ・ 低圧注入流量	原子炉格納容器内への注水量	・ 格納容器スプレイ流量	原子炉格納容器内の温度	・ 格納容器内温度	原子炉格納容器内の圧力	・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力 (AM用)	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンブ水位 (広域)	補機監視機能		・ 高圧注入ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流	操作	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度 ・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位 ・ 高圧注入流量 ・ 充てん流量 ・ 低圧注入流量	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																	
1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合																																																																			
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																			
d. 代替再循環運転																																																																			
(b) 格納容器再循環サンブスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																
		原子炉圧力容器内への注水量	・ 高圧注入流量計 ・ 余熱除去流量計																																																																
		原子炉格納容器内への注水量	・ 格納容器スプレイ流量計																																																																
		原子炉格納容器内の温度	・ 格納容器内温度計																																																																
		原子炉格納容器内の圧力	・ 格納容器圧力計 (広域) ・ AM用格納容器圧力計																																																																
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンブ水位計 (広域) ・ 原子炉格納容器水位計																																																																
		補機監視機能		・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計 ・ 格納容器スプレイポンプ吐出圧力計 ・ 高圧注入ポンプ吐出圧力計																																																															
			対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																														
		1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順																																																																	
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																			
4. 代替再循環運転																																																																			
(b) 格納容器再循環サンブスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																
		原子炉圧力容器内への注水量	・ 高圧注入流量 ・ 低圧注入流量																																																																
		原子炉格納容器内への注水量	・ 格納容器スプレイ流量																																																																
		原子炉格納容器内の温度	・ 格納容器内温度																																																																
		原子炉格納容器内の圧力	・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力 (AM用)																																																																
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンブ水位 (広域)																																																																
		補機監視機能		・ 高圧注入ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流																																																															
			操作	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度 ・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位 ・ 高圧注入流量 ・ 充てん流量 ・ 低圧注入流量																																																															

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																											
<p>監視計器一覧 (9/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">d. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td rowspan="14">(b) 格納容器再循環サンプスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順</td> <td rowspan="14">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計 ・原子炉水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内への注水量</td> <td>・格納容器スプレイ流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・高圧注入流量計 ・余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力計（広域） ・AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位計（広域） ・原子炉格納容器水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">最終ヒートシンクの確保</td> <td rowspan="4">操作</td> <td>・A、D格納容器再循環ユニット冷却水流量計</td> </tr> <tr> <td>・AM用原子炉補機冷却水サージタンク圧力計</td> </tr> <tr> <td>・主蒸気圧力計</td> </tr> <tr> <td>・蒸気発生器水位計（狭域） ・蒸気発生器補助給水流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">水源の確保</td> <td rowspan="4">操作</td> <td>・燃料取扱用水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td>・復水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td>・ほう酸タンク水位計</td> </tr> <tr> <td>・1次系純水タンク水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">補機監視機能</td> <td rowspan="3">監視</td> <td>・N.o. 3 淡水タンク水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>・N.o. 2 淡水タンク水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>・体積制御タンク水位計（CRT） ・余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			d. 代替再循環運転			(b) 格納容器再循環サンプスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順	操作	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計 ・原子炉水位計	原子炉格納容器内への注水量	・格納容器スプレイ流量計	原子炉圧力容器内への注水量	・高圧注入流量計 ・余熱除去流量計	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計（広域） ・AM用格納容器圧力計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域） ・原子炉格納容器水位計	最終ヒートシンクの確保	操作	・A、D格納容器再循環ユニット冷却水流量計	・AM用原子炉補機冷却水サージタンク圧力計	・主蒸気圧力計	・蒸気発生器水位計（狭域） ・蒸気発生器補助給水流量計	水源の確保	操作	・燃料取扱用水ビット水位計	・復水ビット水位計	・ほう酸タンク水位計	・1次系純水タンク水位計（CRT）	補機監視機能	監視	・N.o. 3 淡水タンク水位計（CRT）	・N.o. 2 淡水タンク水位計（CRT）	・体積制御タンク水位計（CRT） ・余熱除去ポンプ吐出圧力計		<p>監視計器一覧 (11/81)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">d. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td rowspan="14">(b) 格納容器再循環サンプスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順</td> <td rowspan="14">操作</td> <td>原子炉格納容器内への注水量</td> <td>・格納容器スプレイ流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力（AM用）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位（広域） ・格納容器水位 ・原子炉補機冷却水サージタンク圧力（AM用） ・C、D-格納容器再循環ユニット補機冷却水流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">最終ヒートシンクの確保</td> <td rowspan="4">監視</td> <td>・主蒸気ライン圧力</td> </tr> <tr> <td>・蒸気発生器水位（狭域）</td> </tr> <tr> <td>・燃料取扱用水ビット水位</td> </tr> <tr> <td>・補助給水流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">水源の確保</td> <td rowspan="6">監視</td> <td>・燃料取扱用水ビット水位</td> </tr> <tr> <td>・1次系純水タンク水位</td> </tr> <tr> <td>・2次系純水タンク水位</td> </tr> <tr> <td>・使用済燃料ビット水位</td> </tr> <tr> <td>・ほう酸タンク水位</td> </tr> <tr> <td>・体積制御タンク水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">補機監視機能</td> <td rowspan="4">監視</td> <td>・ほう酸補給ライン流量</td> </tr> <tr> <td>・ほう酸補給ライン流量復算制御</td> </tr> <tr> <td>・1次系純水補給ライン流量</td> </tr> <tr> <td>・1次系純水補給ライン流量復算制御</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td rowspan="2">監視</td> <td>・ろ過タンク水位</td> </tr> <tr> <td>・高圧注入ポンプ出口圧力 ・余熱除去ポンプ出口圧力 ・余熱除去ポンプ電流</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			d. 代替再循環運転			(b) 格納容器再循環サンプスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順	操作	原子炉格納容器内への注水量	・格納容器スプレイ流量計	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度	原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力（AM用）	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位（広域） ・格納容器水位 ・原子炉補機冷却水サージタンク圧力（AM用） ・C、D-格納容器再循環ユニット補機冷却水流量計	最終ヒートシンクの確保	監視	・主蒸気ライン圧力	・蒸気発生器水位（狭域）	・燃料取扱用水ビット水位	・補助給水流量	水源の確保	監視	・燃料取扱用水ビット水位	・1次系純水タンク水位	・2次系純水タンク水位	・使用済燃料ビット水位	・ほう酸タンク水位	・体積制御タンク水位	補機監視機能	監視	・ほう酸補給ライン流量	・ほう酸補給ライン流量復算制御	・1次系純水補給ライン流量	・1次系純水補給ライン流量復算制御	補機監視機能	監視	・ろ過タンク水位	・高圧注入ポンプ出口圧力 ・余熱除去ポンプ出口圧力 ・余熱除去ポンプ電流	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																												
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																																																														
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																																														
d. 代替再循環運転																																																																																														
(b) 格納容器再循環サンプスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順	操作	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計																																																																																											
		原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計 ・原子炉水位計																																																																																											
		原子炉格納容器内への注水量	・格納容器スプレイ流量計																																																																																											
		原子炉圧力容器内への注水量	・高圧注入流量計 ・余熱除去流量計																																																																																											
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計																																																																																											
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計（広域） ・AM用格納容器圧力計																																																																																											
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域） ・原子炉格納容器水位計																																																																																											
		最終ヒートシンクの確保	操作	・A、D格納容器再循環ユニット冷却水流量計																																																																																										
				・AM用原子炉補機冷却水サージタンク圧力計																																																																																										
				・主蒸気圧力計																																																																																										
				・蒸気発生器水位計（狭域） ・蒸気発生器補助給水流量計																																																																																										
		水源の確保	操作	・燃料取扱用水ビット水位計																																																																																										
				・復水ビット水位計																																																																																										
				・ほう酸タンク水位計																																																																																										
・1次系純水タンク水位計（CRT）																																																																																														
補機監視機能	監視	・N.o. 3 淡水タンク水位計（CRT）																																																																																												
		・N.o. 2 淡水タンク水位計（CRT）																																																																																												
		・体積制御タンク水位計（CRT） ・余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																																																												
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																												
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順																																																																																														
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																														
d. 代替再循環運転																																																																																														
(b) 格納容器再循環サンプスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順	操作	原子炉格納容器内への注水量	・格納容器スプレイ流量計																																																																																											
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度																																																																																											
		原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力（AM用）																																																																																											
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位（広域） ・格納容器水位 ・原子炉補機冷却水サージタンク圧力（AM用） ・C、D-格納容器再循環ユニット補機冷却水流量計																																																																																											
		最終ヒートシンクの確保	監視	・主蒸気ライン圧力																																																																																										
				・蒸気発生器水位（狭域）																																																																																										
				・燃料取扱用水ビット水位																																																																																										
				・補助給水流量																																																																																										
		水源の確保	監視	・燃料取扱用水ビット水位																																																																																										
				・1次系純水タンク水位																																																																																										
				・2次系純水タンク水位																																																																																										
				・使用済燃料ビット水位																																																																																										
				・ほう酸タンク水位																																																																																										
				・体積制御タンク水位																																																																																										
補機監視機能	監視	・ほう酸補給ライン流量																																																																																												
		・ほう酸補給ライン流量復算制御																																																																																												
		・1次系純水補給ライン流量																																																																																												
		・1次系純水補給ライン流量復算制御																																																																																												
補機監視機能	監視	・ろ過タンク水位																																																																																												
		・高圧注入ポンプ出口圧力 ・余熱除去ポンプ出口圧力 ・余熱除去ポンプ電流																																																																																												

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																							
<p>監視計器一覧 (10/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 代替伊心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(a) 恒設代替低圧注水ポンプによる代替伊心注水</td> <td>判断基準</td> <td> 水源の確保 ・燃料取替用水ピット水位計 ・復水ピット水位計 電源 ・4-3 (4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計 補機監視機能 ・原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT) ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT) </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>1.4.2.1(1)b.(b)と同様。</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">(b) A余熱除去ポンプ (空調用冷水) による代替伊心注水</td> <td>判断基準</td> <td> 原子炉压力容器内の温度 ・1次冷却材高温側温度計 (広域) ・1次冷却材低温側温度計 (広域) ・炉心出口温度計 原子炉压力容器内の圧力 ・1次冷却材圧力計 原子炉压力容器内の水位 ・加圧器水位計 原子炉压力容器内への注水量 ・A余熱除去流量計 ・恒設代替低圧注水機算流量計 原子炉格納容器内の水位 ・格納容器再循環サンプ水位計 (広域) 水源の確保 ・燃料取替用水ピット水位計 補機監視機能 ・原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT) ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT) </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)b.「空調用冷水ポンプによるA余熱除去ポンプ代替補機冷却」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			a. 代替伊心注水			(a) 恒設代替低圧注水ポンプによる代替伊心注水	判断基準	水源の確保 ・燃料取替用水ピット水位計 ・復水ピット水位計 電源 ・4-3 (4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計 補機監視機能 ・原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT) ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)	操作	1.4.2.1(1)b.(b)と同様。	(b) A余熱除去ポンプ (空調用冷水) による代替伊心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度 ・1次冷却材高温側温度計 (広域) ・1次冷却材低温側温度計 (広域) ・炉心出口温度計 原子炉压力容器内の圧力 ・1次冷却材圧力計 原子炉压力容器内の水位 ・加圧器水位計 原子炉压力容器内への注水量 ・A余熱除去流量計 ・恒設代替低圧注水機算流量計 原子炉格納容器内の水位 ・格納容器再循環サンプ水位計 (広域) 水源の確保 ・燃料取替用水ピット水位計 補機監視機能 ・原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT) ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)	操作	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)b.「空調用冷水ポンプによるA余熱除去ポンプ代替補機冷却」にて整備する。		<p>監視計器一覧 (12/81)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 代替伊心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(a) 代替格納容器スプレイポンプによる原子伊容器への注水</td> <td>判断基準</td> <td> 原子伊压力容器内の圧力 ・1次冷却材圧力 (広域) 原子伊压力容器内の水位 ・加圧器水位 原子伊格納容器内の水位 ・格納容器再循環サンプ水位 (広域) 水源の確保 ・燃料取替用水ピット水位 ・補助給水ピット水位 電源 ・油断線 1L、2L電圧 ・送電幹線 1L、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧 ・6-A、B、C1、C2、D母線電圧 補機監視機能 ・原子伊補機冷却水供給母管流量計 ・原子伊補機冷却水供給母管流量 (AM用) ・原子伊補機冷却水冷却器補機冷却水流量 ・原子伊補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (AM用) </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>1.4.2.1(1) b.(b) 「代替格納容器スプレイポンプによる原子伊容器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			a. 代替伊心注水			(a) 代替格納容器スプレイポンプによる原子伊容器への注水	判断基準	原子伊压力容器内の圧力 ・1次冷却材圧力 (広域) 原子伊压力容器内の水位 ・加圧器水位 原子伊格納容器内の水位 ・格納容器再循環サンプ水位 (広域) 水源の確保 ・燃料取替用水ピット水位 ・補助給水ピット水位 電源 ・油断線 1L、2L電圧 ・送電幹線 1L、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧 ・6-A、B、C1、C2、D母線電圧 補機監視機能 ・原子伊補機冷却水供給母管流量計 ・原子伊補機冷却水供給母管流量 (AM用) ・原子伊補機冷却水冷却器補機冷却水流量 ・原子伊補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (AM用)	操作	1.4.2.1(1) b.(b) 「代替格納容器スプレイポンプによる原子伊容器への注水」の操作手順と同様である。	<p>【大阪】 設備の相違 (相違理由⑥)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																								
1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合																																										
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																										
a. 代替伊心注水																																										
(a) 恒設代替低圧注水ポンプによる代替伊心注水	判断基準	水源の確保 ・燃料取替用水ピット水位計 ・復水ピット水位計 電源 ・4-3 (4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計 補機監視機能 ・原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT) ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)																																								
	操作	1.4.2.1(1)b.(b)と同様。																																								
(b) A余熱除去ポンプ (空調用冷水) による代替伊心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度 ・1次冷却材高温側温度計 (広域) ・1次冷却材低温側温度計 (広域) ・炉心出口温度計 原子炉压力容器内の圧力 ・1次冷却材圧力計 原子炉压力容器内の水位 ・加圧器水位計 原子炉压力容器内への注水量 ・A余熱除去流量計 ・恒設代替低圧注水機算流量計 原子炉格納容器内の水位 ・格納容器再循環サンプ水位計 (広域) 水源の確保 ・燃料取替用水ピット水位計 補機監視機能 ・原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT) ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)																																								
	操作	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)b.「空調用冷水ポンプによるA余熱除去ポンプ代替補機冷却」にて整備する。																																								
	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																							
	1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順																																									
	(2) サポート系故障時の対応手順																																									
	a. 代替伊心注水																																									
	(a) 代替格納容器スプレイポンプによる原子伊容器への注水	判断基準	原子伊压力容器内の圧力 ・1次冷却材圧力 (広域) 原子伊压力容器内の水位 ・加圧器水位 原子伊格納容器内の水位 ・格納容器再循環サンプ水位 (広域) 水源の確保 ・燃料取替用水ピット水位 ・補助給水ピット水位 電源 ・油断線 1L、2L電圧 ・送電幹線 1L、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧 ・6-A、B、C1、C2、D母線電圧 補機監視機能 ・原子伊補機冷却水供給母管流量計 ・原子伊補機冷却水供給母管流量 (AM用) ・原子伊補機冷却水冷却器補機冷却水流量 ・原子伊補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (AM用)																																							
操作		1.4.2.1(1) b.(b) 「代替格納容器スプレイポンプによる原子伊容器への注水」の操作手順と同様である。																																								
<p>大飯 3 / 4号炉との比較対象なし</p>																																										

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																											
<p>監視計器一覧 (11/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(e) B充てんポンプ（自己冷却）による代替炉心注水</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替炉心注水積算流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td>燃料取扱用水ピット水位計</td> <td>・ 燃料取扱用水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td>復水ピット水位計</td> <td>・ 復水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2 母線電圧計</td> <td>・ 4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2 母線電圧計</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水			(e) B充てんポンプ（自己冷却）による代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計	原子炉圧力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替炉心注水積算流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）	水源の確保	燃料取扱用水ピット水位計	・ 燃料取扱用水ピット水位計	復水ピット水位計	・ 復水ピット水位計	電源	・ 4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2 母線電圧計	・ 4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2 母線電圧計	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）	<p>女川原子力発電所 2号炉</p>	<p>監視計器一覧 (13/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(e) B-充てんポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 代替格納容器スプレイングポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td>燃料取扱用水ピット水位計</td> <td>・ 燃料取扱用水ピット水位</td> </tr> <tr> <td>復水ピット水位計</td> <td>・ 復水ピット水位</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 母線電圧、2L電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧</td> <td>・ 母線電圧、2L電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量計 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量計（運用）</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量計 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量計（運用）</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 充てん流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>燃料取扱用水ピット水位計</td> <td>・ 燃料取扱用水ピット水位</td> </tr> <tr> <td>補機冷却</td> <td>・ B-充てんポンプ冷却器冷却水流量計 ・ B-充てんポンプ電動機冷却水流量計</td> <td>・ B-充てんポンプ冷却器冷却水流量計 ・ B-充てんポンプ電動機冷却水流量計</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替炉心注水			(e) B-充てんポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉圧力容器内への注水量	・ 代替格納容器スプレイングポンプ出口積算流量	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）	水源の確保	燃料取扱用水ピット水位計	・ 燃料取扱用水ピット水位	復水ピット水位計	・ 復水ピット水位	電源	・ 母線電圧、2L電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧	・ 母線電圧、2L電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量計 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量計（運用）	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量計 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量計（運用）	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位	原子炉圧力容器内への注水量	・ 充てん流量	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）	水源の確保	燃料取扱用水ピット水位計	・ 燃料取扱用水ピット水位	補機冷却	・ B-充てんポンプ冷却器冷却水流量計 ・ B-充てんポンプ電動機冷却水流量計	・ B-充てんポンプ冷却器冷却水流量計 ・ B-充てんポンプ電動機冷却水流量計	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																												
1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水																																																																														
(e) B充てんポンプ（自己冷却）による代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																											
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																											
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																											
		原子炉圧力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替炉心注水積算流量計																																																																											
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																											
	水源の確保	燃料取扱用水ピット水位計	・ 燃料取扱用水ピット水位計																																																																											
		復水ピット水位計	・ 復水ピット水位計																																																																											
	電源	・ 4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2 母線電圧計	・ 4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2 母線電圧計																																																																											
	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）																																																																											
	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																											
1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替炉心注水																																																																														
(e) B-充てんポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																																											
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																											
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																											
		原子炉圧力容器内への注水量	・ 代替格納容器スプレイングポンプ出口積算流量																																																																											
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																											
	水源の確保	燃料取扱用水ピット水位計	・ 燃料取扱用水ピット水位																																																																											
		復水ピット水位計	・ 復水ピット水位																																																																											
	電源	・ 母線電圧、2L電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧	・ 母線電圧、2L電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧																																																																											
	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量計 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量計（運用）	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量計 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量計（運用）																																																																											
	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																																											
原子炉圧力容器内の圧力		・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																												
原子炉圧力容器内の水位		・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位																																																																												
原子炉圧力容器内への注水量		・ 充てん流量																																																																												
原子炉格納容器内の水位		・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																												
水源の確保	燃料取扱用水ピット水位計	・ 燃料取扱用水ピット水位																																																																												
補機冷却	・ B-充てんポンプ冷却器冷却水流量計 ・ B-充てんポンプ電動機冷却水流量計	・ B-充てんポンプ冷却器冷却水流量計 ・ B-充てんポンプ電動機冷却水流量計																																																																												

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																							
<p>監視計器一覧 (13/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(d) A格納容器スプレイポンプ (自己冷却) (RHR-S-CSS連絡ライン使用) による代替炉心注水</td> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 充てん流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取扱用水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 充てん水圧力計</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 4-3 (4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td></td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			a. 代替炉心注水			(d) A格納容器スプレイポンプ (自己冷却) (RHR-S-CSS連絡ライン使用) による代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計	原子炉圧力容器内への注水量	・ 充てん流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)	水源の確保	・ 燃料取扱用水ピット水位計	補機監視機能	・ 充てん水圧力計	電源	・ 4-3 (4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計	補機監視機能		・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT)		・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)	<p>女川原子力発電所 2号炉</p>	<p>監視計器一覧 (14/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系設備時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(c) B-格納容器スプレイポンプ (自己冷却) (RHR-S-CSS連絡ライン使用) による原子炉冷却材への注水</td> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 充てん流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取扱用水ピット水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電源</td> <td></td> <td>・ 油動機 1L、2L電圧 ・ 保安動機 1L、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-入、B、C1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 充てんライン圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td></td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (AM用)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (AM用)</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順			(2) サポート系設備時の対応手順			a. 代替炉心注水			(c) B-格納容器スプレイポンプ (自己冷却) (RHR-S-CSS連絡ライン使用) による原子炉冷却材への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉圧力容器内への注水量	・ 充てん流量	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	水源の確保	・ 燃料取扱用水ピット水位	電源		・ 油動機 1L、2L電圧 ・ 保安動機 1L、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-入、B、C1、C2、D母線電圧		・ 充てんライン圧力	補機監視機能		・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (AM用)		・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (AM用)	<p>相違理由</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																								
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																																										
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																																										
a. 代替炉心注水																																																																										
(d) A格納容器スプレイポンプ (自己冷却) (RHR-S-CSS連絡ライン使用) による代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																							
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																							
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																							
		原子炉圧力容器内への注水量	・ 充てん流量計																																																																							
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)																																																																							
		水源の確保	・ 燃料取扱用水ピット水位計																																																																							
		補機監視機能	・ 充てん水圧力計																																																																							
		電源	・ 4-3 (4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計																																																																							
		補機監視機能		・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT)																																																																						
				・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)																																																																						
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																								
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順																																																																										
(2) サポート系設備時の対応手順																																																																										
a. 代替炉心注水																																																																										
(c) B-格納容器スプレイポンプ (自己冷却) (RHR-S-CSS連絡ライン使用) による原子炉冷却材への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																							
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																							
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																							
		原子炉圧力容器内への注水量	・ 充てん流量																																																																							
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)																																																																							
		水源の確保	・ 燃料取扱用水ピット水位																																																																							
		電源		・ 油動機 1L、2L電圧 ・ 保安動機 1L、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-入、B、C1、C2、D母線電圧																																																																						
				・ 充てんライン圧力																																																																						
		補機監視機能		・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (AM用)																																																																						
				・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (AM用)																																																																						
<p>監視計器一覧 (14/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(d) A格納容器スプレイポンプ (自己冷却) (RHR-S-CSS連絡ライン使用) による代替炉心注水</td> <td rowspan="10">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 原子炉水位計 ・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ A余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取扱用水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機冷却</td> <td></td> <td>・ A格納容器スプレイポンプ電動機冷却水流量計</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ A格納容器スプレイポンプ冷却水流量計</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			a. 代替炉心注水			(d) A格納容器スプレイポンプ (自己冷却) (RHR-S-CSS連絡ライン使用) による代替炉心注水	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の水位	・ 原子炉水位計 ・ 加圧器水位計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)	水源の確保	・ 燃料取扱用水ピット水位計	補機冷却		・ A格納容器スプレイポンプ電動機冷却水流量計		・ A格納容器スプレイポンプ冷却水流量計																																											
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																								
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																																										
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																																										
a. 代替炉心注水																																																																										
(d) A格納容器スプレイポンプ (自己冷却) (RHR-S-CSS連絡ライン使用) による代替炉心注水	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																							
		原子炉圧力容器内の水位	・ 原子炉水位計 ・ 加圧器水位計																																																																							
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																							
		原子炉圧力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計																																																																							
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)																																																																							
		水源の確保	・ 燃料取扱用水ピット水位計																																																																							
		補機冷却		・ A格納容器スプレイポンプ電動機冷却水流量計																																																																						
				・ A格納容器スプレイポンプ冷却水流量計																																																																						

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																																		
<p>監視計器一覧 (15/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(e) ディーゼル消火ポンプ又は電動消火ポンプによる代替炉心注水</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ A余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ No. 2 淡水タンク水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td>電壓</td> <td>・ 4-3 (4) A, B, C1, C2, D1, D2 母線電圧計</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT) ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(d)(c)と同様。</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(f) 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ A余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)</td> </tr> <tr> <td>電圧</td> <td>・ 4-3 (4) A, B, C1, C2, D1, D2 母線電圧計</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT) ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(d)(d)と同様。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水			(e) ディーゼル消火ポンプ又は電動消火ポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計	原子炉圧力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)	水源の確保	・ No. 2 淡水タンク水位計 (CRT)	電壓	・ 4-3 (4) A, B, C1, C2, D1, D2 母線電圧計	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT) ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)	操作	1.4.2.1(d)(c)と同様。		(f) 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計	原子炉圧力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)	電圧	・ 4-3 (4) A, B, C1, C2, D1, D2 母線電圧計	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT) ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)	操作	1.4.2.1(d)(d)と同様。		<p>女川原子力発電所 2号炉</p>	<p>監視計器一覧 (15/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順 (2) サポート系機能喪失時の対応手順 a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(d) ディーゼル駆動消火ポンプ又は電動駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ B-格納容器スプレィ流量 ・ B-格納容器スプレィ冷却器出口標準流量 (AM用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ ろ過水タンク水位</td> </tr> <tr> <td>電圧</td> <td>・ 消転線 1L, 2L 電圧 ・ 後志幹線 1L, 2L 電圧 ・ 甲母線電圧, 乙母線電圧 ・ 6-A, B, C1, C2, D母線電圧</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用) ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(1)b, (c) 「電動駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table> <p>監視計器一覧 (16/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順 (2) サポート系機能喪失時の対応手順 a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(e) 海水を用いた可搬式大型過水ポンプ車による原子炉容器への注水</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ B-格納容器スプレィ流量 ・ B-格納容器スプレィ冷却器出口標準流量 (AM用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td>電圧</td> <td>・ 消転線 1L, 2L 電圧 ・ 後志幹線 1L, 2L 電圧 ・ 甲母線電圧, 乙母線電圧 ・ 6-A, B, C1, C2, D母線電圧</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用) ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(1)b, (d) 「海水を用いた可搬式大型過水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順 (2) サポート系機能喪失時の対応手順 a. 代替炉心注水			(d) ディーゼル駆動消火ポンプ又は電動駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉圧力容器内への注水量	・ B-格納容器スプレィ流量 ・ B-格納容器スプレィ冷却器出口標準流量 (AM用)	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	水源の確保	・ ろ過水タンク水位	電圧	・ 消転線 1L, 2L 電圧 ・ 後志幹線 1L, 2L 電圧 ・ 甲母線電圧, 乙母線電圧 ・ 6-A, B, C1, C2, D母線電圧	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用) ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)	操作	1.4.2.1(1)b, (c) 「電動駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。		対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順 (2) サポート系機能喪失時の対応手順 a. 代替炉心注水			(e) 海水を用いた可搬式大型過水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉圧力容器内への注水量	・ B-格納容器スプレィ流量 ・ B-格納容器スプレィ冷却器出口標準流量 (AM用)	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	電圧	・ 消転線 1L, 2L 電圧 ・ 後志幹線 1L, 2L 電圧 ・ 甲母線電圧, 乙母線電圧 ・ 6-A, B, C1, C2, D母線電圧	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用) ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)	操作	1.4.2.1(1)b, (d) 「海水を用いた可搬式大型過水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。		<p>相違理由</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																			
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水																																																																																																					
(e) ディーゼル消火ポンプ又は電動消火ポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																																		
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																		
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																																																		
		原子炉圧力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計																																																																																																		
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)																																																																																																		
	水源の確保	・ No. 2 淡水タンク水位計 (CRT)																																																																																																			
	電壓	・ 4-3 (4) A, B, C1, C2, D1, D2 母線電圧計																																																																																																			
	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT) ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)																																																																																																			
	操作	1.4.2.1(d)(c)と同様。																																																																																																			
	(f) 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																																	
原子炉圧力容器内の圧力			・ 1次冷却材圧力計																																																																																																		
原子炉圧力容器内の水位			・ 加圧器水位計																																																																																																		
原子炉圧力容器内への注水量			・ A余熱除去流量計																																																																																																		
原子炉格納容器内の水位			・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)																																																																																																		
電圧		・ 4-3 (4) A, B, C1, C2, D1, D2 母線電圧計																																																																																																			
補機監視機能		・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT) ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)																																																																																																			
操作		1.4.2.1(d)(d)と同様。																																																																																																			
対応手段		重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																		
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順 (2) サポート系機能喪失時の対応手順 a. 代替炉心注水																																																																																																					
(d) ディーゼル駆動消火ポンプ又は電動駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																																		
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																		
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																																																		
		原子炉圧力容器内への注水量	・ B-格納容器スプレィ流量 ・ B-格納容器スプレィ冷却器出口標準流量 (AM用)																																																																																																		
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)																																																																																																		
	水源の確保	・ ろ過水タンク水位																																																																																																			
	電圧	・ 消転線 1L, 2L 電圧 ・ 後志幹線 1L, 2L 電圧 ・ 甲母線電圧, 乙母線電圧 ・ 6-A, B, C1, C2, D母線電圧																																																																																																			
	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用) ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)																																																																																																			
	操作	1.4.2.1(1)b, (c) 「電動駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																																																																																			
	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																		
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順 (2) サポート系機能喪失時の対応手順 a. 代替炉心注水																																																																																																					
(e) 海水を用いた可搬式大型過水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																																		
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																		
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																																																		
		原子炉圧力容器内への注水量	・ B-格納容器スプレィ流量 ・ B-格納容器スプレィ冷却器出口標準流量 (AM用)																																																																																																		
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)																																																																																																		
	電圧	・ 消転線 1L, 2L 電圧 ・ 後志幹線 1L, 2L 電圧 ・ 甲母線電圧, 乙母線電圧 ・ 6-A, B, C1, C2, D母線電圧																																																																																																			
	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用) ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)																																																																																																			
	操作	1.4.2.1(1)b, (d) 「海水を用いた可搬式大型過水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																																																																																			

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧カバウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																
<div data-bbox="201 652 611 699" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>		<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>判断基準</th> <th>項目</th> <th>相違</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4"></td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側）</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ B-1格納容器スプレイ流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（組用）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 格納容器再循環タンク水位（広域）</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>1.4.2.1(1)b.(e)「代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table> <div data-bbox="1391 746 1559 767" style="color: green;">監視計器一覧（17/61）</div> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事象等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) ナポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="5"></td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側）</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ B-1格納容器スプレイ流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（組用）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td></td> <td>・ 格納容器再循環タンク水位（広域）</td> </tr> <tr> <td colspan="2">1.4.2.1(1)b.(e)「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	判断基準	項目	相違		原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側）	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉压力容器内の注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ B-1格納容器スプレイ流量	操作	原子炉格納容器内の水位	・ B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（組用）		・ 格納容器再循環タンク水位（広域）			1.4.2.1(1)b.(e)「代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。	対応手段	重大事象等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順			(2) ナポート系故障時の対応手順			a. 代替炉心注水				原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側）	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉压力容器内の注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ B-1格納容器スプレイ流量	原子炉格納容器内の水位	・ B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（組用）	操作		・ 格納容器再循環タンク水位（広域）	1.4.2.1(1)b.(e)「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。		<div data-bbox="2022 576 2089 596" style="background-color: yellow;">【大飯】</div> 設備の相違 (相違理由③)
判断基準	項目	相違																																																	
	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側）																																																	
	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 1次冷却材圧力（広域）																																																	
	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																	
	原子炉压力容器内の注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ B-1格納容器スプレイ流量																																																	
操作	原子炉格納容器内の水位	・ B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（組用）																																																	
		・ 格納容器再循環タンク水位（広域）																																																	
		1.4.2.1(1)b.(e)「代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																																	
対応手段	重大事象等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																	
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順																																																			
(2) ナポート系故障時の対応手順																																																			
a. 代替炉心注水																																																			
	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側）																																																	
	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 1次冷却材圧力（広域）																																																	
	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																	
	原子炉压力容器内の注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ B-1格納容器スプレイ流量																																																	
	原子炉格納容器内の水位	・ B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（組用）																																																	
操作		・ 格納容器再循環タンク水位（広域）																																																	
	1.4.2.1(1)b.(e)「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																																		
<div data-bbox="201 884 611 930" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>			<div data-bbox="2022 896 2089 917" style="background-color: yellow;">【大飯】</div> 設備の相違 (相違理由③)																																																

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																						
<p>監視計器一覧 (16/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機械喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(a) 全交流動力電源喪失と1次冷却材喪失事象が同時に発生した場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">i. B高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>補機冷却</td> <td>・ B高圧注入ポンプ電動機冷却水流量計 ・ B高圧注入ポンプ冷却水流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 原子炉水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ B高圧注入流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ B高圧注入ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td colspan="3">大容量ポンプによる冷却水通水操作は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)a. 「大容量ポンプによる補機冷却水(海水)通水」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(2) サポート系機械喪失時の手順等			b. 代替再循環運転			(a) 全交流動力電源喪失と1次冷却材喪失事象が同時に発生した場合			i. B高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）	電源	・ 4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計	操作	補機冷却	・ B高圧注入ポンプ電動機冷却水流量計 ・ B高圧注入ポンプ冷却水流量計	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の水位	・ 原子炉水位計	原子炉圧力容器内への注水量	・ B高圧注入流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）	補機監視機能	・ B高圧注入ポンプ吐出圧力計	大容量ポンプによる冷却水通水操作は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)a. 「大容量ポンプによる補機冷却水(海水)通水」にて整備する。				<p>監視計器一覧 (18/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(a) 全交流動力電源喪失と1次冷却材喪失事象が同時に発生した場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">i. 可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ A-格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 前幹線 1L、2L電圧 ・ 後幹線 1L、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 8-A、B、C1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>補機冷却</td> <td>・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量 ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 高圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ A-高圧注入ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td colspan="3">可搬型大型送水ポンプ車による冷却水通水については、「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)a. 「可搬型大型送水ポンプ車によるA-高圧注入ポンプへの補機冷却水（海水）通水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			b. 代替再循環運転			(a) 全交流動力電源喪失と1次冷却材喪失事象が同時に発生した場合			i. 可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉格納容器内の水位	・ A-格納容器再循環サンプ水位（広域）	電源	・ 前幹線 1L、2L電圧 ・ 後幹線 1L、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 8-A、B、C1、C2、D母線電圧	操作	補機冷却	・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量 ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量（AM用）	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位	原子炉圧力容器内への注水量	・ 高圧注入流量	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）	補機監視機能	・ A-高圧注入ポンプ出口圧力	可搬型大型送水ポンプ車による冷却水通水については、「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)a. 「可搬型大型送水ポンプ車によるA-高圧注入ポンプへの補機冷却水（海水）通水」の操作手順と同様である。			
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																							
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																																																									
(2) サポート系機械喪失時の手順等																																																																																									
b. 代替再循環運転																																																																																									
(a) 全交流動力電源喪失と1次冷却材喪失事象が同時に発生した場合																																																																																									
i. B高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																																						
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																						
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																																						
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																																						
		電源	・ 4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計																																																																																						
	操作	補機冷却	・ B高圧注入ポンプ電動機冷却水流量計 ・ B高圧注入ポンプ冷却水流量計																																																																																						
		原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																																						
		原子炉圧力容器内の水位	・ 原子炉水位計																																																																																						
		原子炉圧力容器内への注水量	・ B高圧注入流量計																																																																																						
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																																						
補機監視機能	・ B高圧注入ポンプ吐出圧力計																																																																																								
大容量ポンプによる冷却水通水操作は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)a. 「大容量ポンプによる補機冷却水(海水)通水」にて整備する。																																																																																									
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																							
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順																																																																																									
(2) サポート系故障時の対応手順																																																																																									
b. 代替再循環運転																																																																																									
(a) 全交流動力電源喪失と1次冷却材喪失事象が同時に発生した場合																																																																																									
i. 可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																																																						
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																																						
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																																						
		原子炉格納容器内の水位	・ A-格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																																						
		電源	・ 前幹線 1L、2L電圧 ・ 後幹線 1L、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 8-A、B、C1、C2、D母線電圧																																																																																						
	操作	補機冷却	・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量 ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量（AM用）																																																																																						
		原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																																																						
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位																																																																																						
		原子炉圧力容器内への注水量	・ 高圧注入流量																																																																																						
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																																						
補機監視機能	・ A-高圧注入ポンプ出口圧力																																																																																								
可搬型大型送水ポンプ車による冷却水通水については、「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)a. 「可搬型大型送水ポンプ車によるA-高圧注入ポンプへの補機冷却水（海水）通水」の操作手順と同様である。																																																																																									

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																															
<p>監視計器一覧〔17/48〕</p> <table border="1" data-bbox="116 478 701 1120"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(b) 1次冷却材喪失時における再循環運転時に原子炉補機冷却機能が喪失した場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">i. A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による低圧代替再循環運転</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計 </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧喪失計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>補機冷却</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） ・A余熱除去ポンプ電動機冷却水流量計 ・A余熱除去ポンプ冷却水流量計 </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">空調用冷水系による冷却水通水操作は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)b.「空調用冷水ポンプによるA余熱除去ポンプ代替補機冷却にて整備する。」</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			b. 代替再循環運転			(b) 1次冷却材喪失時における再循環運転時に原子炉補機冷却機能が喪失した場合			i. A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による低圧代替再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計 	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・加圧喪失計	補機監視機能	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）	補機冷却	<ul style="list-style-type: none"> ・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） ・A余熱除去ポンプ電動機冷却水流量計 ・A余熱除去ポンプ冷却水流量計 	操作	空調用冷水系による冷却水通水操作は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)b.「空調用冷水ポンプによるA余熱除去ポンプ代替補機冷却にて整備する。」			<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">大飯3 / 4号炉との比較対象なし</p>	<p>【大飯】 設備の相違 (相違理由⑥)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																		
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																		
b. 代替再循環運転																																		
(b) 1次冷却材喪失時における再循環運転時に原子炉補機冷却機能が喪失した場合																																		
i. A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による低圧代替再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計 																															
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																															
		原子炉圧力容器内の水位	・加圧喪失計																															
	補機監視機能	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）																															
		補機冷却	<ul style="list-style-type: none"> ・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） ・A余熱除去ポンプ電動機冷却水流量計 ・A余熱除去ポンプ冷却水流量計 																															
	操作	空調用冷水系による冷却水通水操作は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)b.「空調用冷水ポンプによるA余熱除去ポンプ代替補機冷却にて整備する。」																																

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																	
<p>監視計器一覧（18/48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 b. 代替再循環運転 (b) 1次冷却材喪失時における再循環運転時に原子炉補機冷却機能が喪失した場合</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="6">ii. B高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内への注水量</td> <td>・ A余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>補機冷却</td> <td>・ B高圧注入ポンプ電動機冷却水流量計 ・ B高圧注入ポンプ冷却水流量計</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>1.4.2.1(2)b.(a)と同様。</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 b. 代替再循環運転 (b) 1次冷却材喪失時における再循環運転時に原子炉補機冷却機能が喪失した場合			ii. B高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）	原子炉格納容器内への注水量	・ A余熱除去流量計	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）	補機冷却	・ B高圧注入ポンプ電動機冷却水流量計 ・ B高圧注入ポンプ冷却水流量計	操作	1.4.2.1(2)b.(a)と同様。			<p>監視計器一覧（19/61）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 b. 代替再循環運転 (b) 1次冷却材喪失時における再循環運転時に原子炉補機冷却機能が喪失した場合</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="10">i. 可搬型大型送水ポンプ車を用いたAー高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域一高側側） ・ 1次冷却材温度（広域一低側側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ Aー格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 高圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（A用） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（A用）</td> </tr> <tr> <td>補機冷却</td> <td>・ Aー高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量 ・ Aー高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（A用） ・ Aー高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 ・ Aー高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量（A用）</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>1.4.2.1(2)b.(a)1.「可搬型大型送水ポンプ車を用いたAー高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。 可搬型大型送水ポンプ車による冷却水通水については、「1.5最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)a.「可搬型大型送水ポンプ車によるAー高圧注入ポンプへの補機冷却水（海水）通水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 b. 代替再循環運転 (b) 1次冷却材喪失時における再循環運転時に原子炉補機冷却機能が喪失した場合			i. 可搬型大型送水ポンプ車を用いたAー高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域一高側側） ・ 1次冷却材温度（広域一低側側） ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉格納容器内の水位	・ Aー格納容器再循環サンプ水位（広域）	原子炉圧力容器内への注水量	・ 高圧注入流量	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（A用） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（A用）	補機冷却	・ Aー高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量 ・ Aー高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（A用） ・ Aー高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 ・ Aー高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量（A用）	操作	1.4.2.1(2)b.(a)1.「可搬型大型送水ポンプ車を用いたAー高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。 可搬型大型送水ポンプ車による冷却水通水については、「1.5最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)a.「可搬型大型送水ポンプ車によるAー高圧注入ポンプへの補機冷却水（海水）通水」の操作手順と同様である。	<p>【大飯】 記載方針の相違 ・泊3号炉は、手順著者の判断基準の監視計器を整理している。</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																		
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 b. 代替再循環運転 (b) 1次冷却材喪失時における再循環運転時に原子炉補機冷却機能が喪失した場合																																																				
ii. B高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																	
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																	
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																	
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																		
	原子炉格納容器内への注水量	・ A余熱除去流量計																																																		
	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）																																																		
補機冷却	・ B高圧注入ポンプ電動機冷却水流量計 ・ B高圧注入ポンプ冷却水流量計																																																			
操作	1.4.2.1(2)b.(a)と同様。																																																			
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																		
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 b. 代替再循環運転 (b) 1次冷却材喪失時における再循環運転時に原子炉補機冷却機能が喪失した場合																																																				
i. 可搬型大型送水ポンプ車を用いたAー高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域一高側側） ・ 1次冷却材温度（広域一低側側） ・ 炉心出口温度																																																	
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																	
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																	
		原子炉格納容器内の水位	・ Aー格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																	
		原子炉圧力容器内への注水量	・ 高圧注入流量																																																	
	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（A用） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（A用）																																																		
	補機冷却	・ Aー高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量 ・ Aー高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（A用） ・ Aー高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 ・ Aー高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量（A用）																																																		
	操作	1.4.2.1(2)b.(a)1.「可搬型大型送水ポンプ車を用いたAー高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。 可搬型大型送水ポンプ車による冷却水通水については、「1.5最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)a.「可搬型大型送水ポンプ車によるAー高圧注入ポンプへの補機冷却水（海水）通水」の操作手順と同様である。																																																		
	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>		<p>監視計器一覧（20/61）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">c. 原子炉格納容器隔離弁の閉止</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>電源</td> <td>・ 消給線 1L, 2L電圧 ・ 送給線 1L, 2L電圧 ・ 甲母線電圧, 乙母線電圧</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>・ 6-A, B, C1, C2, D母線電圧</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順			c. 原子炉格納容器隔離弁の閉止	判断基準	電源	・ 消給線 1L, 2L電圧 ・ 送給線 1L, 2L電圧 ・ 甲母線電圧, 乙母線電圧	操作	・ 6-A, B, C1, C2, D母線電圧	操作	-	-																																		
	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																	
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順																																																				
c. 原子炉格納容器隔離弁の閉止	判断基準	電源	・ 消給線 1L, 2L電圧 ・ 送給線 1L, 2L電圧 ・ 甲母線電圧, 乙母線電圧																																																	
		操作	・ 6-A, B, C1, C2, D母線電圧																																																	
	操作	-	-																																																	

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																						
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>監視計器一覧 (6/20)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 (2) サポート系統故障時の対応手順 a. 復旧 (a) 残留熱除去系電源復旧後の原子炉圧力容器への注水</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書 (徴候ベース) 「水位確保」等</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非常時操作手順書 (設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉注水」</td> <td>補機監視機能</td> <td>原子炉補機冷却水系統流量</td> </tr> <tr> <td>電源の確保</td> <td>6-2C 母線電圧 6-2D 母線電圧 4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水源の確保</td> <td>圧力制御室水位</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>残留熱除去系ポンプ出口流量</td> </tr> <tr> <td></td> <td>補機監視機能</td> <td>残留熱除去系ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水源の確保</td> <td>圧力制御室水位</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 (2) サポート系統故障時の対応手順 a. 復旧 (a) 残留熱除去系電源復旧後の原子炉圧力容器への注水			非常時操作手順書 (徴候ベース) 「水位確保」等	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)	非常時操作手順書 (設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉注水」	補機監視機能	原子炉補機冷却水系統流量	電源の確保	6-2C 母線電圧 6-2D 母線電圧 4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧		水源の確保	圧力制御室水位		原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)		原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)		原子炉圧力容器への注水量	残留熱除去系ポンプ出口流量		補機監視機能	残留熱除去系ポンプ出口圧力		水源の確保	圧力制御室水位	<p>4. 復旧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>判断基準</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">電源</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 内装格納容器スプレイポンプ出口流量 ・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ポンプ水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電源</td> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 油幹線 1 L, 2 L 電圧 ・ 後者幹線 1 L, 2 L 電圧 ・ 甲母線電圧, 乙母線電圧 ・ 6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM 用) ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (AM 用)</td> </tr> </tbody> </table> <p>1.4.2.1(2) a. (b) 「B-完てんポンプ (自邑冷却) による原子炉圧力容器への注水」の操作手順と同様である。</p> <p>→ 操作に伴う監視計器がないため記載しない。</p>	判断基準	監視計器	電源	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)	原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度	補機監視機能	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	操作	原子炉圧力容器内の水位	・ 内装格納容器スプレイポンプ出口流量 ・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	水源の確保	・ 燃料取替用水ポンプ水位	電源	原子炉圧力容器内の圧力	・ 油幹線 1 L, 2 L 電圧 ・ 後者幹線 1 L, 2 L 電圧 ・ 甲母線電圧, 乙母線電圧 ・ 6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM 用) ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (AM 用)	<p>【大阪】記載方針の相違 (女川表紙の反映)</p> <p>→ 大阪は「1.4.2.4 復旧に係る手順等」に整理しているが、泊は女川と同様に各手順の項目に「復旧」を設ける。</p>
	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																						
1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 (2) サポート系統故障時の対応手順 a. 復旧 (a) 残留熱除去系電源復旧後の原子炉圧力容器への注水																																																									
非常時操作手順書 (徴候ベース) 「水位確保」等	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)																																																							
非常時操作手順書 (設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉注水」	補機監視機能	原子炉補機冷却水系統流量																																																							
	電源の確保	6-2C 母線電圧 6-2D 母線電圧 4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧																																																							
	水源の確保	圧力制御室水位																																																							
	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)																																																							
	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)																																																							
	原子炉圧力容器への注水量	残留熱除去系ポンプ出口流量																																																							
	補機監視機能	残留熱除去系ポンプ出口圧力																																																							
	水源の確保	圧力制御室水位																																																							
判断基準	監視計器																																																								
電源	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)																																																							
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度																																																							
補機監視機能	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																							
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																							
操作	原子炉圧力容器内の水位	・ 内装格納容器スプレイポンプ出口流量 ・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)																																																							
	水源の確保	・ 燃料取替用水ポンプ水位																																																							
電源	原子炉圧力容器内の圧力	・ 油幹線 1 L, 2 L 電圧 ・ 後者幹線 1 L, 2 L 電圧 ・ 甲母線電圧, 乙母線電圧 ・ 6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧																																																							
	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM 用) ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (AM 用)																																																							
<p>監視計器一覧 (7/20)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 (2) サポート系統故障時の対応手順 a. 復旧 (a) 低圧炉心スプレイ系電源復旧後の原子炉圧力容器への注水</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書 (徴候ベース) 「水位確保」等</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非常時操作手順書 (設備別) 「炉心が心スプレイ系ポンプによる原子炉注水」</td> <td>補機監視機能</td> <td>原子炉補機冷却水系統流量 (A系のみ)</td> </tr> <tr> <td>電源の確保</td> <td>6-2C 母線電圧 4-2C 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水源の確保</td> <td>圧力制御室水位</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>低圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量</td> </tr> <tr> <td></td> <td>補機監視機能</td> <td>低圧炉心スプレイ系ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水源の確保</td> <td>圧力制御室水位</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 (2) サポート系統故障時の対応手順 a. 復旧 (a) 低圧炉心スプレイ系電源復旧後の原子炉圧力容器への注水			非常時操作手順書 (徴候ベース) 「水位確保」等	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)	非常時操作手順書 (設備別) 「炉心が心スプレイ系ポンプによる原子炉注水」	補機監視機能	原子炉補機冷却水系統流量 (A系のみ)	電源の確保	6-2C 母線電圧 4-2C 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧		水源の確保	圧力制御室水位		原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)		原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)		原子炉圧力容器への注水量	低圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量		補機監視機能	低圧炉心スプレイ系ポンプ出口圧力		水源の確保	圧力制御室水位	<p>監視計器一覧 (21/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順 (2) サポート系統故障時の対応手順 4. 復旧</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>電源</td> <td>原子炉圧力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)</td> </tr> <tr> <td>補機冷却</td> <td>原子炉圧力容器内の圧力 ・ 炉心出口温度 原子炉圧力容器内の水位 ・ 1次冷却材圧力 (広域) 原子炉圧力容器内の水位 ・ 加圧器水位 原子炉格納容器内の水位 ・ A-格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td>電源</td> <td>・ 油幹線 1 L, 2 L 電圧 ・ 後者幹線 1 L, 2 L 電圧 ・ 甲母線電圧, 乙母線電圧 ・ 6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量 ・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量 (AM 用) ・ A-高圧注入ポンプ駆動機補機冷却水流量 ・ A-高圧注入ポンプ駆動機補機冷却水流量 (AM 用)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(b) 可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転</p> <p>1.4.2.1(2) b. (a) 1. 「可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順 (2) サポート系統故障時の対応手順 4. 復旧			判断基準	電源	原子炉圧力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)	補機冷却	原子炉圧力容器内の圧力 ・ 炉心出口温度 原子炉圧力容器内の水位 ・ 1次冷却材圧力 (広域) 原子炉圧力容器内の水位 ・ 加圧器水位 原子炉格納容器内の水位 ・ A-格納容器再循環サンプ水位 (広域)	操作	電源	・ 油幹線 1 L, 2 L 電圧 ・ 後者幹線 1 L, 2 L 電圧 ・ 甲母線電圧, 乙母線電圧 ・ 6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧	補機監視機能	・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量 ・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量 (AM 用) ・ A-高圧注入ポンプ駆動機補機冷却水流量 ・ A-高圧注入ポンプ駆動機補機冷却水流量 (AM 用)								
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																							
1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 (2) サポート系統故障時の対応手順 a. 復旧 (a) 低圧炉心スプレイ系電源復旧後の原子炉圧力容器への注水																																																									
非常時操作手順書 (徴候ベース) 「水位確保」等	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)																																																							
非常時操作手順書 (設備別) 「炉心が心スプレイ系ポンプによる原子炉注水」	補機監視機能	原子炉補機冷却水系統流量 (A系のみ)																																																							
	電源の確保	6-2C 母線電圧 4-2C 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧																																																							
	水源の確保	圧力制御室水位																																																							
	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)																																																							
	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)																																																							
	原子炉圧力容器への注水量	低圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量																																																							
	補機監視機能	低圧炉心スプレイ系ポンプ出口圧力																																																							
	水源の確保	圧力制御室水位																																																							
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																							
1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順 (2) サポート系統故障時の対応手順 4. 復旧																																																									
判断基準	電源	原子炉圧力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)																																																							
	補機冷却	原子炉圧力容器内の圧力 ・ 炉心出口温度 原子炉圧力容器内の水位 ・ 1次冷却材圧力 (広域) 原子炉圧力容器内の水位 ・ 加圧器水位 原子炉格納容器内の水位 ・ A-格納容器再循環サンプ水位 (広域)																																																							
操作	電源	・ 油幹線 1 L, 2 L 電圧 ・ 後者幹線 1 L, 2 L 電圧 ・ 甲母線電圧, 乙母線電圧 ・ 6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧																																																							
	補機監視機能	・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量 ・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量 (AM 用) ・ A-高圧注入ポンプ駆動機補機冷却水流量 ・ A-高圧注入ポンプ駆動機補機冷却水流量 (AM 用)																																																							

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																										
<p>監視計器一覧 (19/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器の温度</td> <td>・炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエアモニタ (高レンジ)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度 (SA) 用) ・原子炉補機冷却水冷却器出口温度計 (CRT) ・原子炉補機冷却水戻り母管温度計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">(3) 溶融デブリが原子炉容器に残存する場合の冷却手順等</td> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力計 (広域) ・AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力計 (広域) ・AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">操作</td> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位計 (広域) ・原子炉格納容器水位計</td> </tr> <tr> <td colspan="2">格納容器スプレー及び代替格納容器スプレーの手順は「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」のうち1.8.2.1(a)「格納容器スプレーポンプによる格納容器スプレー」及び1.8.2.1(b)「代替格納容器スプレー」にて整備する。 格納容器内自然対流冷却の手順は「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.1(2)a、「A、D格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」にて整備する。可搬型格納容器水素ガス濃度計により水素濃度を監視する手順は「1.9 水素検知による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等」のうち、1.9.2.1(2)「水素濃度監視」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合			判断基準	原子炉圧力容器の温度	・炉心出口温度計	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエアモニタ (高レンジ)	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	最終ヒートシンクの確保	・可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度 (SA) 用) ・原子炉補機冷却水冷却器出口温度計 (CRT) ・原子炉補機冷却水戻り母管温度計 (CRT)	(3) 溶融デブリが原子炉容器に残存する場合の冷却手順等	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計 (広域) ・AM用格納容器圧力計	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計 (広域) ・AM用格納容器圧力計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	操作	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計 (広域) ・原子炉格納容器水位計	格納容器スプレー及び代替格納容器スプレーの手順は「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」のうち1.8.2.1(a)「格納容器スプレーポンプによる格納容器スプレー」及び1.8.2.1(b)「代替格納容器スプレー」にて整備する。 格納容器内自然対流冷却の手順は「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.1(2)a、「A、D格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」にて整備する。可搬型格納容器水素ガス濃度計により水素濃度を監視する手順は「1.9 水素検知による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等」のうち、1.9.2.1(2)「水素濃度監視」にて整備する。		<p>監視計器一覧 (8/20)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 (3) 溶融炉心が原子炉格納容器内に残存する場合の対応手順 a. 低圧代替注水 (a) 低圧代替注水 (常設) (復水移送ポンプ) による残存溶融炉心の冷却</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書 (シビアアクシデント) 「注水ストラテジー」</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非常時操作手順書 (設備別) 「復水移送ポンプによる原子炉注水」</td> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>ドライウェル圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">判断基準</td> <td>原子炉格納容器下部温度</td> <td>原子炉格納容器下部温度 ドライウェル温度 ・原子炉格納容器下部空間気温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>格納容器内空間気水素濃度 格納容器内水素濃度 (D/W) 格納容器内水素濃度 (S/C)</td> </tr> <tr> <td>電源の確保</td> <td>4-3C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧</td> </tr> <tr> <td>水素の確保</td> <td>復水貯蔵タンク水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系 II 系格納容器冷却ライン洗浄流量) (残留熱除去系 II 系格納容器冷却ライン洗浄流量)</td> </tr> <tr> <td>諸機監視機能 水素の確保</td> <td>復水移送ポンプ出口圧力 復水貯蔵タンク水位</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 (3) 溶融炉心が原子炉格納容器内に残存する場合の対応手順 a. 低圧代替注水 (a) 低圧代替注水 (常設) (復水移送ポンプ) による残存溶融炉心の冷却			非常時操作手順書 (シビアアクシデント) 「注水ストラテジー」	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)	非常時操作手順書 (設備別) 「復水移送ポンプによる原子炉注水」	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)	原子炉格納容器内の圧力	ドライウェル圧力	判断基準	原子炉格納容器下部温度	原子炉格納容器下部温度 ドライウェル温度 ・原子炉格納容器下部空間気温度	原子炉格納容器内の温度	格納容器内空間気水素濃度 格納容器内水素濃度 (D/W) 格納容器内水素濃度 (S/C)	電源の確保	4-3C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧	水素の確保	復水貯蔵タンク水位	操作	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)	原子炉圧力容器への注水量	残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系 II 系格納容器冷却ライン洗浄流量) (残留熱除去系 II 系格納容器冷却ライン洗浄流量)	諸機監視機能 水素の確保	復水移送ポンプ出口圧力 復水貯蔵タンク水位	<p>監視計器一覧 (22/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合 (3) 溶融炉心が原子炉格納容器内に残存する場合の冷却手順 a. 原子炉格納容器水素</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエアモニタ (高レンジ)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・C、D-原子炉補機冷却水冷却器出口補機冷却水温度 ・B-原子炉補機冷却水戻り母管温度 ・格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">(a) 格納容器スプレー又は代替格納容器スプレーによる残存溶融炉心の冷却</td> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力 (AM用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力 (AM用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位 (広域) ・格納容器水位</td> </tr> <tr> <td colspan="2">手順内の格納容器スプレー及び代替格納容器スプレーについては、「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」のうち1.8.2.1(D)、「原子炉格納容器下部への注水」の操作手順と同様である。格納容器内自然対流冷却については、「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.1(2) a、「C、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」の操作手順と同様である。また、可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットにより水素濃度を監視する手順は、「1.9 水素検知による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等」のうち、1.9.2.1(2) a、「可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットによる原子炉格納容器内の水素濃度監視」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合 (3) 溶融炉心が原子炉格納容器内に残存する場合の冷却手順 a. 原子炉格納容器水素			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・炉心出口温度	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエアモニタ (高レンジ)	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度	最終ヒートシンクの確保	・C、D-原子炉補機冷却水冷却器出口補機冷却水温度 ・B-原子炉補機冷却水戻り母管温度 ・格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度	(a) 格納容器スプレー又は代替格納容器スプレーによる残存溶融炉心の冷却	原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力 (AM用)	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度	原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力 (AM用)	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力 (広域)	操作	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位 (広域) ・格納容器水位	手順内の格納容器スプレー及び代替格納容器スプレーについては、「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」のうち1.8.2.1(D)、「原子炉格納容器下部への注水」の操作手順と同様である。格納容器内自然対流冷却については、「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.1(2) a、「C、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」の操作手順と同様である。また、可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットにより水素濃度を監視する手順は、「1.9 水素検知による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等」のうち、1.9.2.1(2) a、「可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットによる原子炉格納容器内の水素濃度監視」にて整備する。		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																											
1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合																																																																																													
判断基準	原子炉圧力容器の温度	・炉心出口温度計																																																																																											
	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエアモニタ (高レンジ)																																																																																											
	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計																																																																																											
	最終ヒートシンクの確保	・可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度 (SA) 用) ・原子炉補機冷却水冷却器出口温度計 (CRT) ・原子炉補機冷却水戻り母管温度計 (CRT)																																																																																											
(3) 溶融デブリが原子炉容器に残存する場合の冷却手順等	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計 (広域) ・AM用格納容器圧力計																																																																																											
	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計																																																																																											
	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計 (広域) ・AM用格納容器圧力計																																																																																											
	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																																											
操作	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計 (広域) ・原子炉格納容器水位計																																																																																											
	格納容器スプレー及び代替格納容器スプレーの手順は「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」のうち1.8.2.1(a)「格納容器スプレーポンプによる格納容器スプレー」及び1.8.2.1(b)「代替格納容器スプレー」にて整備する。 格納容器内自然対流冷却の手順は「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.1(2)a、「A、D格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」にて整備する。可搬型格納容器水素ガス濃度計により水素濃度を監視する手順は「1.9 水素検知による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等」のうち、1.9.2.1(2)「水素濃度監視」にて整備する。																																																																																												
	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																																																										
	1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 (3) 溶融炉心が原子炉格納容器内に残存する場合の対応手順 a. 低圧代替注水 (a) 低圧代替注水 (常設) (復水移送ポンプ) による残存溶融炉心の冷却																																																																																												
非常時操作手順書 (シビアアクシデント) 「注水ストラテジー」	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																											
非常時操作手順書 (設備別) 「復水移送ポンプによる原子炉注水」	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)																																																																																											
	原子炉格納容器内の圧力	ドライウェル圧力																																																																																											
判断基準	原子炉格納容器下部温度	原子炉格納容器下部温度 ドライウェル温度 ・原子炉格納容器下部空間気温度																																																																																											
	原子炉格納容器内の温度	格納容器内空間気水素濃度 格納容器内水素濃度 (D/W) 格納容器内水素濃度 (S/C)																																																																																											
	電源の確保	4-3C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧																																																																																											
	水素の確保	復水貯蔵タンク水位																																																																																											
操作	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																											
	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)																																																																																											
	原子炉圧力容器への注水量	残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系 II 系格納容器冷却ライン洗浄流量) (残留熱除去系 II 系格納容器冷却ライン洗浄流量)																																																																																											
	諸機監視機能 水素の確保	復水移送ポンプ出口圧力 復水貯蔵タンク水位																																																																																											
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																											
1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合 (3) 溶融炉心が原子炉格納容器内に残存する場合の冷却手順 a. 原子炉格納容器水素																																																																																													
判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・炉心出口温度																																																																																											
	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエアモニタ (高レンジ)																																																																																											
	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度																																																																																											
	最終ヒートシンクの確保	・C、D-原子炉補機冷却水冷却器出口補機冷却水温度 ・B-原子炉補機冷却水戻り母管温度 ・格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度																																																																																											
(a) 格納容器スプレー又は代替格納容器スプレーによる残存溶融炉心の冷却	原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力 (AM用)																																																																																											
	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度																																																																																											
	原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力 (AM用)																																																																																											
	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力 (広域)																																																																																											
操作	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位 (広域) ・格納容器水位																																																																																											
	手順内の格納容器スプレー及び代替格納容器スプレーについては、「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」のうち1.8.2.1(D)、「原子炉格納容器下部への注水」の操作手順と同様である。格納容器内自然対流冷却については、「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.1(2) a、「C、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」の操作手順と同様である。また、可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットにより水素濃度を監視する手順は、「1.9 水素検知による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等」のうち、1.9.2.1(2) a、「可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットによる原子炉格納容器内の水素濃度監視」にて整備する。																																																																																												

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																							
<p>監視計器一覧 (20/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 1次冷却材喪失事故が発生していない場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系統喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 蒸気発生器 2 次側による炉心冷却 (注水)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(a) 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td>判断基準</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉圧力容器内の温度 原子炉圧力容器内の圧力 原子炉圧力容器内への注水量 水源の確保 補機監視機能 </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(b) 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td>判断基準</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉圧力容器内の温度 原子炉圧力容器内の圧力 最終ヒートシンクの確保 電源 水源の確保 </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事故が発生していない場合			(1) フロントライン系統喪失時の手順等			a. 蒸気発生器 2 次側による炉心冷却 (注水)			(a) 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	<ul style="list-style-type: none"> 原子炉圧力容器内の温度 原子炉圧力容器内の圧力 原子炉圧力容器内への注水量 水源の確保 補機監視機能 	操作	—	(b) 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	<ul style="list-style-type: none"> 原子炉圧力容器内の温度 原子炉圧力容器内の圧力 最終ヒートシンクの確保 電源 水源の確保 	操作	—	<p>監視計器一覧 (9/20)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(3) 溶融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 低圧代替注水</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替循環冷却系による残存溶融炉心の冷却</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書 (シビアアクシデント) 「注水ストラテジー」</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非常時操作手順書 (設備別) 「代替循環冷却ポンプによる原子炉注水」</td> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>ドライウェル圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>原子炉格納容器下部温度 ドライウェル温度 ・原子炉格納容器下部管間気温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水素濃度</td> <td>格納容器内管内気水素濃度 格納容器内水素濃度 (D/N) 格納容器内水素濃度 (S/C)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td>電源の確保</td> <td>4-2C 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>圧力制御室水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>代替循環冷却ポンプ出口流量</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>代替循環冷却ポンプ出口圧力 圧力制御室水位</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順			(3) 溶融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合の対応手順			a. 低圧代替注水			b. 代替循環冷却系による残存溶融炉心の冷却			非常時操作手順書 (シビアアクシデント) 「注水ストラテジー」	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)	非常時操作手順書 (設備別) 「代替循環冷却ポンプによる原子炉注水」	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)	原子炉格納容器内の圧力	ドライウェル圧力	判断基準	原子炉格納容器内の温度	原子炉格納容器下部温度 ドライウェル温度 ・原子炉格納容器下部管間気温度	原子炉格納容器内の水素濃度	格納容器内管内気水素濃度 格納容器内水素濃度 (D/N) 格納容器内水素濃度 (S/C)	操作	電源の確保	4-2C 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧	水源の確保	圧力制御室水位	操作	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)	操作	原子炉圧力容器への注水量	代替循環冷却ポンプ出口流量	補機監視機能	代替循環冷却ポンプ出口圧力 圧力制御室水位	<p>監視計器一覧 (23/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 1次冷却材喪失事故が発生していない場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系統喪失時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 蒸気発生器 2 次側からの除熱による発電用原子炉の冷却 (注水)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(a) 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td>判断基準</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉圧力容器内の温度 原子炉圧力容器内の圧力 原子炉圧力容器内への注水量 水源の確保 補機監視機能 </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(b) 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td>判断基準</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉圧力容器内の温度 原子炉圧力容器内の圧力 最終ヒートシンクの確保 電源 水源の確保 </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>—：通常の運転操作により対応する手順については、監視計器を記載しない。</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事故が発生していない場合の対応手順			(1) フロントライン系統喪失時の対応手順			a. 蒸気発生器 2 次側からの除熱による発電用原子炉の冷却 (注水)			(a) 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	<ul style="list-style-type: none"> 原子炉圧力容器内の温度 原子炉圧力容器内の圧力 原子炉圧力容器内への注水量 水源の確保 補機監視機能 	操作	—	(b) 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	<ul style="list-style-type: none"> 原子炉圧力容器内の温度 原子炉圧力容器内の圧力 最終ヒートシンクの確保 電源 水源の確保 	操作	—	<p>【大飯】 設備の相違 (相違理由④)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																								
1.4.2.2 1次冷却材喪失事故が発生していない場合																																																																																										
(1) フロントライン系統喪失時の手順等																																																																																										
a. 蒸気発生器 2 次側による炉心冷却 (注水)																																																																																										
(a) 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	<ul style="list-style-type: none"> 原子炉圧力容器内の温度 原子炉圧力容器内の圧力 原子炉圧力容器内への注水量 水源の確保 補機監視機能 																																																																																								
	操作	—																																																																																								
(b) 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	<ul style="list-style-type: none"> 原子炉圧力容器内の温度 原子炉圧力容器内の圧力 最終ヒートシンクの確保 電源 水源の確保 																																																																																								
	操作	—																																																																																								
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																																																								
1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順																																																																																										
(3) 溶融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合の対応手順																																																																																										
a. 低圧代替注水																																																																																										
b. 代替循環冷却系による残存溶融炉心の冷却																																																																																										
非常時操作手順書 (シビアアクシデント) 「注水ストラテジー」	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																								
非常時操作手順書 (設備別) 「代替循環冷却ポンプによる原子炉注水」	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)																																																																																								
	原子炉格納容器内の圧力	ドライウェル圧力																																																																																								
判断基準	原子炉格納容器内の温度	原子炉格納容器下部温度 ドライウェル温度 ・原子炉格納容器下部管間気温度																																																																																								
	原子炉格納容器内の水素濃度	格納容器内管内気水素濃度 格納容器内水素濃度 (D/N) 格納容器内水素濃度 (S/C)																																																																																								
操作	電源の確保	4-2C 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧																																																																																								
	水源の確保	圧力制御室水位																																																																																								
操作	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																								
	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)																																																																																								
操作	原子炉圧力容器への注水量	代替循環冷却ポンプ出口流量																																																																																								
	補機監視機能	代替循環冷却ポンプ出口圧力 圧力制御室水位																																																																																								
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																								
1.4.2.2 1次冷却材喪失事故が発生していない場合の対応手順																																																																																										
(1) フロントライン系統喪失時の対応手順																																																																																										
a. 蒸気発生器 2 次側からの除熱による発電用原子炉の冷却 (注水)																																																																																										
(a) 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	<ul style="list-style-type: none"> 原子炉圧力容器内の温度 原子炉圧力容器内の圧力 原子炉圧力容器内への注水量 水源の確保 補機監視機能 																																																																																								
	操作	—																																																																																								
(b) 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	<ul style="list-style-type: none"> 原子炉圧力容器内の温度 原子炉圧力容器内の圧力 最終ヒートシンクの確保 電源 水源の確保 																																																																																								
	操作	—																																																																																								
<p>泊3号炉との比較対象なし</p>		<p>監視計器一覧 (24/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 1次冷却材喪失事故が発生していない場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系統喪失時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 蒸気発生器 2 次側からの除熱による発電用原子炉の冷却 (注水)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(a) SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td>判断基準</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉圧力容器内の温度 原子炉圧力容器内の圧力 最終ヒートシンクの確保 水源の確保 </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) b. 「SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事故が発生していない場合の対応手順			(1) フロントライン系統喪失時の対応手順			a. 蒸気発生器 2 次側からの除熱による発電用原子炉の冷却 (注水)			(a) SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	<ul style="list-style-type: none"> 原子炉圧力容器内の温度 原子炉圧力容器内の圧力 最終ヒートシンクの確保 水源の確保 	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) b. 「SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																																																							
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																								
1.4.2.2 1次冷却材喪失事故が発生していない場合の対応手順																																																																																										
(1) フロントライン系統喪失時の対応手順																																																																																										
a. 蒸気発生器 2 次側からの除熱による発電用原子炉の冷却 (注水)																																																																																										
(a) SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	<ul style="list-style-type: none"> 原子炉圧力容器内の温度 原子炉圧力容器内の圧力 最終ヒートシンクの確保 水源の確保 																																																																																								
	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) b. 「SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																																																																								

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																				
<p>大阪発電所 3 / 4号炉</p> <p>(c) 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水</p> <table border="1" data-bbox="107 512 707 807"> <tr> <td rowspan="4">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器主給水流量計（CRT） ・ 蒸気発生器水張り流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 復水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水」にて整備する。</td> </tr> </table> <p>泊3号炉との比較対象なし</p> <p>泊3号炉との比較対象なし</p>	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器主給水流量計（CRT） ・ 蒸気発生器水張り流量計（CRT）	水源の確保	・ 復水ピット水位計	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水」にて整備する。		<p>女川原子力発電所 2号炉</p> <p>監視計器一覧（10/20）</p> <table border="1" data-bbox="752 408 1357 1110"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ（計器）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(3) 溶融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 低圧代替注水</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(c) 低圧代替注水（可搬型）による残存溶融炉心の冷却</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書（シビアアクシデント） 「注水ストラテジー4」</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA広帯域） 原子炉水位（SA燃料域）</td> </tr> <tr> <td>重大事故等対応要領書 「大容量送水ポンプ（タイプ1）による原子炉注水」 「大容量送水ポンプによる送水」</td> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力 原子炉圧力（SA）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>ドライウェル圧力</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>原子炉格納容器下部温度 ドライウェル温度 ・ 原子炉格納容器下部雰囲気温度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉格納容器内の水素濃度</td> <td>格納容器内雰囲気水素濃度 格納容器内水素濃度（D/W） 格納容器内水素濃度（S/C）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>電源の確保</td> <td>4-20 母線電圧 4-20 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水源の確保</td> <td>淡水貯水槽（No.1） 淡水貯水槽（No.2）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA広帯域） 原子炉水位（SA燃料域）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力 原子炉圧力（SA）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>残留熱除去系洗浄ライン流量（残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄機能） （残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水源の確保</td> <td>淡水貯水槽（No.1） 淡水貯水槽（No.2）</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ（計器）	1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順			(3) 溶融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合の対応手順			a. 低圧代替注水			(c) 低圧代替注水（可搬型）による残存溶融炉心の冷却			非常時操作手順書（シビアアクシデント） 「注水ストラテジー4」	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA広帯域） 原子炉水位（SA燃料域）	重大事故等対応要領書 「大容量送水ポンプ（タイプ1）による原子炉注水」 「大容量送水ポンプによる送水」	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力（SA）		原子炉格納容器内の圧力	ドライウェル圧力		原子炉格納容器内の温度	原子炉格納容器下部温度 ドライウェル温度 ・ 原子炉格納容器下部雰囲気温度		原子炉格納容器内の水素濃度	格納容器内雰囲気水素濃度 格納容器内水素濃度（D/W） 格納容器内水素濃度（S/C）		電源の確保	4-20 母線電圧 4-20 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧		水源の確保	淡水貯水槽（No.1） 淡水貯水槽（No.2）		原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA広帯域） 原子炉水位（SA燃料域）		原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力（SA）		原子炉圧力容器への注水量	残留熱除去系洗浄ライン流量（残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄機能） （残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量）		水源の確保	淡水貯水槽（No.1） 淡水貯水槽（No.2）	<p>泊発電所 3号炉</p> <p>(d) 海水を用いた、可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</p> <table border="1" data-bbox="1393 528 1989 1038"> <tr> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側）</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)c、「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側）</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)d、「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側）</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)e、「取水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </table> <p>(e) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</p> <p>(f) 取水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</p> <p>【大阪】 設備の相違 (相違理由④)</p> <p>【大阪】 設備の相違 (相違理由④)</p>	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側）	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)c、「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。		判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側）	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)d、「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。		判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側）	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)e、「取水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。		
判断基準		原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																																				
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																				
		最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器主給水流量計（CRT） ・ 蒸気発生器水張り流量計（CRT）																																																																																				
	水源の確保	・ 復水ピット水位計																																																																																					
操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水」にて整備する。																																																																																						
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ（計器）																																																																																					
1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順																																																																																							
(3) 溶融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合の対応手順																																																																																							
a. 低圧代替注水																																																																																							
(c) 低圧代替注水（可搬型）による残存溶融炉心の冷却																																																																																							
非常時操作手順書（シビアアクシデント） 「注水ストラテジー4」	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA広帯域） 原子炉水位（SA燃料域）																																																																																					
重大事故等対応要領書 「大容量送水ポンプ（タイプ1）による原子炉注水」 「大容量送水ポンプによる送水」	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力（SA）																																																																																					
	原子炉格納容器内の圧力	ドライウェル圧力																																																																																					
	原子炉格納容器内の温度	原子炉格納容器下部温度 ドライウェル温度 ・ 原子炉格納容器下部雰囲気温度																																																																																					
	原子炉格納容器内の水素濃度	格納容器内雰囲気水素濃度 格納容器内水素濃度（D/W） 格納容器内水素濃度（S/C）																																																																																					
	電源の確保	4-20 母線電圧 4-20 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧																																																																																					
	水源の確保	淡水貯水槽（No.1） 淡水貯水槽（No.2）																																																																																					
	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA広帯域） 原子炉水位（SA燃料域）																																																																																					
	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力（SA）																																																																																					
	原子炉圧力容器への注水量	残留熱除去系洗浄ライン流量（残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄機能） （残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量）																																																																																					
	水源の確保	淡水貯水槽（No.1） 淡水貯水槽（No.2）																																																																																					
判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側）																																																																																					
	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量																																																																																					
操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)c、「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																																																																						
判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側）																																																																																					
	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量																																																																																					
操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)d、「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																																																																						
判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側）																																																																																					
	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量																																																																																					
操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)e、「取水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																																																																						

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉			女川原子力発電所 2号炉			泊発電所 3号炉			相違理由
監視計器一覧 (21/48)			監視計器一覧 (11/20)			監視計器一覧 (25/61)			
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	
1.4.2.2 1次冷却材喪失事故が発生していない場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 b. 蒸気発生器2次側による炉心冷却 (蒸気放出)			1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 (3) 溶融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合の対応手順 a. 低圧代替注水 (4) ろ過水ポンプによる残存溶融炉心の冷却			1.4.2.2 1次冷却材喪失事故が発生していない場合の対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 b. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却 (蒸気放出)			
(a) 主蒸気速がし弁による蒸気放出	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域)	非常時操作手順書 (シビアアクシデント) 「注水ストラテジ4」	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域)	判断基準	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材低温側温度計 (広域)	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)
		・ 1次冷却材低温側温度計 (広域)			原子炉水位 (広帯域)			・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)	
		・ 炉心出口温度計			原子炉水位 (燃料域)			・ 炉心出口温度	
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計		原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 (SA広帯域)		・ 1次冷却材圧力 (広域)		
		・ 余熱除去流量計			原子炉圧力 (SA燃料域)		原子炉圧力容器内への注水量	・ 低圧注入流量	
		最終ヒートシンクの確保			・ 蒸気発生器水位計 (広域)			原子炉圧力 (SA燃料域)	最終ヒートシンクの確保
	・ 蒸気発生器水位計 (狭域)			原子炉圧力 (SA)	・ 蒸気発生器水位 (狭域)				
	・ 蒸気発生器補助給水流量計			ドライウェル圧力	・ 主給水ライン流量				
	蒸気発生器補助給水流量計	・ 蒸気発生器主給水流量計 (CRT)		原子炉格納容器内の温度	原子炉格納容器下部温度		・ 蒸気発生器水張り流量		
		・ 蒸気発生器水張り流量計 (CRT)			ドライウェル温度		・ 蒸気発生器水張り流量		
・ 蒸気発生器水張り流量計 (CRT)		・ 原子炉格納容器下部空間気温度	・ 補助給水流量						
補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計	原子炉格納容器内の水素濃度	格納容器内空間気水素濃度	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ出口圧力				
	電源		・ 4-3 (4) C1、C2、D1、D2 母線電圧計		格納容器内水素濃度 (D/W)	電源	・ 余熱除去ポンプ電流		
			操作		—		格納容器内水素濃度 (S/C)	操作	—
原子炉圧力容器内の温度		・ 1次冷却材高温側温度計 (広域)		4-2C 母線電圧	原子炉圧力容器内の温度		・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)		
	・ 1次冷却材低温側温度計 (広域)	4-2D 母線電圧		・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)					
	・ 炉心出口温度計	125V 直流主母線 2A 電圧	・ 炉心出口温度						
(b) タービンバイパス弁による蒸気放出	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	水素の確保	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域)	判断基準	原子炉圧力容器内の圧力	・ 主蒸気圧力計	・ 1次冷却材圧力 (広域)
		・ 主蒸気圧力計			原子炉水位 (広帯域)			最終ヒートシンクの確保	・ 主蒸気ライン圧力
		・ 蒸気発生器水位計 (広域)			原子炉水位 (燃料域)				・ 蒸気発生器水位 (広域)
	・ 蒸気発生器水位計 (狭域)	原子炉水位 (SA広帯域)		・ 蒸気発生器水位 (狭域)					
	蒸気発生器補助給水流量計	・ 蒸気発生器補助給水流量計		原子炉圧力容器への注水量	原子炉圧力 (SA燃料域)		・ 主給水ライン流量		
		・ 蒸気発生器主給水流量計 (CRT)			原子炉圧力 (SA)		・ 蒸気発生器水張り流量		
		・ 蒸気発生器水張り流量計 (CRT)			残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系B系統格納容器冷却ライン洗浄流量)		・ 補助給水流量		
	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計		格納容器内水素濃度	残留熱除去系B系統格納容器冷却ライン洗浄流量		・ 夜水器真空 (広域)		
		電源			・ 4-3 (4) C1、C2、D1、D2 母線電圧計		ろ過水ポンプ出口圧力	電源	・ 溶存酸素 1L、2L 電圧
					操作		—		水素の確保
原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域)		原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域)		原子炉圧力容器内の圧力	・ 甲母線電圧、乙母線電圧		
	・ 1次冷却材低温側温度計 (広域)	原子炉水位 (広帯域)		・ 6-C 1、C 2、D 母線電圧					
	・ 炉心出口温度計	原子炉水位 (燃料域)		最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位 (狭域)				
・ 蒸気発生器水位計 (広域)	原子炉水位 (SA広帯域)	・ 主給水ライン流量							
・ 蒸気発生器水位計 (狭域)	原子炉圧力 (SA)	・ 蒸気発生器水張り流量							
蒸気発生器補助給水流量計	・ 蒸気発生器補助給水流量計	原子炉格納容器内の温度	格納容器内空間気水素濃度	・ 補助給水流量					
	・ 蒸気発生器主給水流量計 (CRT)		格納容器内水素濃度 (D/W)	・ 夜水器真空 (広域)					
	・ 蒸気発生器水張り流量計 (CRT)		格納容器内水素濃度 (S/C)	・ 蒸気発生器水張り流量					
補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計	原子炉格納容器内の水素濃度	格納容器内空間気水素濃度	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ出口圧力				
	電源		・ 4-3 (4) C1、C2、D1、D2 母線電圧計		格納容器内水素濃度 (D/W)	電源	・ 夜水器真空 (広域)		
			操作		—		格納容器内水素濃度 (S/C)	操作	・ 溶存酸素 1L、2L 電圧
原子炉圧力容器内の温度		・ 1次冷却材高温側温度計 (広域)		4-2C 母線電圧	原子炉圧力容器内の温度		・ 機壳幹線 1L、2L 電圧		
	・ 1次冷却材低温側温度計 (広域)	4-2D 母線電圧		・ 甲母線電圧、乙母線電圧					
	・ 炉心出口温度計	125V 直流主母線 2A 電圧	・ 6-C 1、C 2、D 母線電圧						
原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉格納容器内の温度	ドライウェル圧力	最終ヒートシンクの確保	・ 補助給水流量				
	・ 主蒸気圧力計		格納容器内空間気水素濃度		・ 夜水器真空 (広域)				
	・ 蒸気発生器水位計 (広域)		格納容器内水素濃度 (D/W)		・ 蒸気発生器水張り流量				
蒸気発生器補助給水流量計	・ 蒸気発生器補助給水流量計	原子炉格納容器内の水素濃度	残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系B系統格納容器冷却ライン洗浄流量)	補機監視機能	・ 補助給水流量				
	・ 蒸気発生器主給水流量計 (CRT)		格納容器内水素濃度 (D/W)		・ 夜水器真空 (広域)				
	・ 蒸気発生器水張り流量計 (CRT)		格納容器内水素濃度 (S/C)		・ 蒸気発生器水張り流量				
補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計	原子炉格納容器内の水素濃度	格納容器内空間気水素濃度	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ出口圧力				
	電源		・ 4-3 (4) C1、C2、D1、D2 母線電圧計		格納容器内水素濃度 (D/W)	電源	・ 夜水器真空 (広域)		
			操作		—		格納容器内水素濃度 (S/C)	操作	・ 溶存酸素 1L、2L 電圧
原子炉圧力容器内の温度		・ 1次冷却材高温側温度計 (広域)		4-2C 母線電圧	原子炉圧力容器内の温度		・ 機壳幹線 1L、2L 電圧		
	・ 1次冷却材低温側温度計 (広域)	4-2D 母線電圧		・ 甲母線電圧、乙母線電圧					
	・ 炉心出口温度計	125V 直流主母線 2A-1 電圧	・ 6-C 1、C 2、D 母線電圧						
原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉格納容器内の温度	ドライウェル温度	最終ヒートシンクの確保	・ 補助給水流量				
	・ 主蒸気圧力計		・ 原子炉格納容器下部空間気温度		・ 夜水器真空 (広域)				
	・ 蒸気発生器水位計 (広域)		格納容器内空間気水素濃度		・ 蒸気発生器水張り流量				
蒸気発生器補助給水流量計	・ 蒸気発生器補助給水流量計	原子炉格納容器内の水素濃度	格納容器内水素濃度 (D/W)	補機監視機能	・ 補助給水流量				
	・ 蒸気発生器主給水流量計 (CRT)		格納容器内水素濃度 (S/C)		・ 夜水器真空 (広域)				
	・ 蒸気発生器水張り流量計 (CRT)		格納容器内水素濃度 (S/C)		・ 蒸気発生器水張り流量				
補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計	原子炉格納容器内の水素濃度	格納容器内空間気水素濃度	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ出口圧力				
	電源		・ 4-3 (4) C1、C2、D1、D2 母線電圧計		格納容器内水素濃度 (D/W)	電源	・ 夜水器真空 (広域)		
			操作		—		格納容器内水素濃度 (S/C)	操作	・ 溶存酸素 1L、2L 電圧
原子炉圧力容器内の温度		・ 1次冷却材高温側温度計 (広域)		4-2C 母線電圧	原子炉圧力容器内の温度		・ 機壳幹線 1L、2L 電圧		
	・ 1次冷却材低温側温度計 (広域)	4-2D 母線電圧		・ 甲母線電圧、乙母線電圧					
	・ 炉心出口温度計	125V 直流主母線 2A-1 電圧	・ 6-C 1、C 2、D 母線電圧						
原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉格納容器内の温度	ドライウェル温度	最終ヒートシンクの確保	・ 補助給水流量				
	・ 主蒸気圧力計		・ 原子炉格納容器下部空間気温度		・ 夜水器真空 (広域)				
	・ 蒸気発生器水位計 (広域)		格納容器内空間気水素濃度		・ 蒸気発生器水張り流量				
蒸気発生器補助給水流量計	・ 蒸気発生器補助給水流量計	原子炉格納容器内の水素濃度	格納容器内水素濃度 (D/W)	補機監視機能	・ 補助給水流量				
	・ 蒸気発生器主給水流量計 (CRT)		格納容器内水素濃度 (S/C)		・ 夜水器真空 (広域)				
	・ 蒸気発生器水張り流量計 (CRT)		格納容器内水素濃度 (S/C)		・ 蒸気発生器水張り流量				
補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計	原子炉格納容器内の水素濃度	格納容器内空間気水素濃度	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ出口圧力				
	電源		・ 4-3 (4) C1、C2、D1、D2 母線電圧計		格納容器内水素濃度 (D/W)	電源	・ 夜水器真空 (広域)		
			操作		—		格納容器内水素濃度 (S/C)	操作	・ 溶存酸素 1L、2L 電圧
原子炉圧力容器内の温度		・ 1次冷却材高温側温度計 (広域)		4-2C 母線電圧	原子炉圧力容器内の温度		・ 機壳幹線 1L、2L 電圧		
	・ 1次冷却材低温側温度計 (広域)	4-2D 母線電圧		・ 甲母線電圧、乙母線電圧					
	・ 炉心出口温度計	125V 直流主母線 2A-1 電圧	・ 6-C 1、C 2、D 母線電圧						

—：通常の運転操作により対応する手順については、監視計器を記載しない。

—：通常の運転操作により対応する手順については、監視計器を記載しない。

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																
<p>監視計器一覧（22/48）</p> <table border="1" data-bbox="114 587 703 1015"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">操作</td> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・蒸気発生器水位計（広域） ・蒸気発生器水位計（狭域）</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td colspan="2">「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち1.5.2.1(3)a.「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内への注水量	・余熱除去流量計	操作	最終ヒートシンクの確保	・蒸気発生器水位計（広域） ・蒸気発生器水位計（狭域）	補機監視機能	・余熱除去ポンプ吐出圧力計	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち1.5.2.1(3)a.「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。			<p>監視計器一覧（26/61）</p> <table border="1" data-bbox="1384 598 2000 981"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">操作</td> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・蒸気発生器水位（広域） ・蒸気発生器水位（狭域） ・補助給水流量</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・余熱除去ポンプ出口圧力 ・余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td colspan="2">「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)a.「可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内への注水量	・低圧注入流量	操作	最終ヒートシンクの確保	・蒸気発生器水位（広域） ・蒸気発生器水位（狭域） ・補助給水流量	補機監視機能	・余熱除去ポンプ出口圧力 ・余熱除去ポンプ電流	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)a.「可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																	
1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合																																																			
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																			
e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計																																																
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																
		原子炉圧力容器内への注水量	・余熱除去流量計																																																
	操作	最終ヒートシンクの確保	・蒸気発生器水位計（広域） ・蒸気発生器水位計（狭域）																																																
		補機監視機能	・余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																
		「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち1.5.2.1(3)a.「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。																																																	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																	
1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順																																																			
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																			
e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度																																																
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）																																																
		原子炉圧力容器内への注水量	・低圧注入流量																																																
	操作	最終ヒートシンクの確保	・蒸気発生器水位（広域） ・蒸気発生器水位（狭域） ・補助給水流量																																																
		補機監視機能	・余熱除去ポンプ出口圧力 ・余熱除去ポンプ電流																																																
		「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)a.「可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。																																																	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																																																			
<p>監視計器一覧 (23/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 蒸気発生器2次側による炉心冷却 (注水)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材高温側温度計 (広域)</td> </tr> <tr> <td>・1次冷却材低温側温度計 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の炉心出口温度</td> <td>・炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・復水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・4-3 (4) A、B、C1、C2、D1、D2 母線電圧計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">補機監視機能</td> <td></td> <td>・原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>1.4.2.2(1)a.(a)と同様。</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 蒸気発生器2次側による炉心冷却 (注水)			(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計 (広域)	・1次冷却材低温側温度計 (広域)	原子炉圧力容器内の炉心出口温度	・炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内への注水量	・余熱除去流量計	水源の確保	・復水ビット水位計	電源	・4-3 (4) A、B、C1、C2、D1、D2 母線電圧計	補機監視機能		・原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT)		・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)		・余熱除去ポンプ吐出圧力計	操作	1.4.2.2(1)a.(a)と同様。		<p>監視計器一覧 (27/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却 (注水)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材温度 (広域-高温側)</td> </tr> <tr> <td>・1次冷却材温度 (広域-低温側)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の炉心出口温度</td> <td>・炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・補助給水ビット水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">電源</td> <td></td> <td>・油幹線 1 L、2 L 電圧</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・後志幹線 1 L、2 L 電圧</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・甲母線電圧、乙母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">補機監視機能</td> <td></td> <td>・6-A、B、C1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・余熱除去ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・原子炉補機冷却水供給母管流量</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">操作</td> <td></td> <td>・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center; margin-top: 20px;">監視計器一覧 (28/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却 (注水)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(b) SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材温度 (広域-高温側)</td> </tr> <tr> <td>・1次冷却材温度 (広域-低温側)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の炉心出口温度</td> <td>・炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・蒸気発生器水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・蒸気発生器水位 (狭域)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・補助給水流量</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・補助給水ビット水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">電源</td> <td></td> <td>・油幹線 1 L、2 L 電圧</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・後志幹線 1 L、2 L 電圧</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・甲母線電圧、乙母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">補機監視機能</td> <td></td> <td>・6-A、B、C1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・原子炉補機冷却水供給母管流量</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.1(2) b. 「SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却 (注水)			(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度 (広域-高温側)	・1次冷却材温度 (広域-低温側)	原子炉圧力容器内の炉心出口温度	・炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力 (広域)	原子炉圧力容器内への注水量	・低圧注入流量	水源の確保	・補助給水ビット水位	電源		・油幹線 1 L、2 L 電圧		・後志幹線 1 L、2 L 電圧		・甲母線電圧、乙母線電圧	補機監視機能		・6-A、B、C1、C2、D母線電圧		・余熱除去ポンプ出口圧力		・余熱除去ポンプ電流		・原子炉補機冷却水供給母管流量		・原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用)	操作		・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量		・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)		・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却 (注水)			(b) SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度 (広域-高温側)	・1次冷却材温度 (広域-低温側)	原子炉圧力容器内の炉心出口温度	・炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力 (広域)	最終ヒートシンクの確保	・蒸気発生器水位 (広域)		・蒸気発生器水位 (狭域)		・補助給水流量	水源の確保	・補助給水ビット水位	電源		・油幹線 1 L、2 L 電圧		・後志幹線 1 L、2 L 電圧		・甲母線電圧、乙母線電圧	補機監視機能		・6-A、B、C1、C2、D母線電圧		・原子炉補機冷却水供給母管流量		・原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用)		・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量		・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.1(2) b. 「SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。		<p style="text-align: center; margin-top: 20px;">【大阪】 設備の相違 (相違理由④)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																				
1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 蒸気発生器2次側による炉心冷却 (注水)																																																																																																																						
(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計 (広域)																																																																																																																				
		・1次冷却材低温側温度計 (広域)																																																																																																																				
	原子炉圧力容器内の炉心出口温度	・炉心出口温度計																																																																																																																				
	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																																																																				
	原子炉圧力容器内への注水量	・余熱除去流量計																																																																																																																				
水源の確保	・復水ビット水位計																																																																																																																					
電源	・4-3 (4) A、B、C1、C2、D1、D2 母線電圧計																																																																																																																					
補機監視機能		・原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT)																																																																																																																				
		・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)																																																																																																																				
		・余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																																																																																				
操作	1.4.2.2(1)a.(a)と同様。																																																																																																																					
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																				
1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却 (注水)																																																																																																																						
(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度 (広域-高温側)																																																																																																																				
		・1次冷却材温度 (広域-低温側)																																																																																																																				
	原子炉圧力容器内の炉心出口温度	・炉心出口温度																																																																																																																				
	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																																				
	原子炉圧力容器内への注水量	・低圧注入流量																																																																																																																				
	水源の確保	・補助給水ビット水位																																																																																																																				
	電源		・油幹線 1 L、2 L 電圧																																																																																																																			
			・後志幹線 1 L、2 L 電圧																																																																																																																			
			・甲母線電圧、乙母線電圧																																																																																																																			
	補機監視機能		・6-A、B、C1、C2、D母線電圧																																																																																																																			
		・余熱除去ポンプ出口圧力																																																																																																																				
		・余熱除去ポンプ電流																																																																																																																				
		・原子炉補機冷却水供給母管流量																																																																																																																				
		・原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用)																																																																																																																				
操作		・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量																																																																																																																				
		・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)																																																																																																																				
		・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)																																																																																																																				
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																				
1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却 (注水)																																																																																																																						
(b) SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度 (広域-高温側)																																																																																																																				
		・1次冷却材温度 (広域-低温側)																																																																																																																				
	原子炉圧力容器内の炉心出口温度	・炉心出口温度																																																																																																																				
	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																																				
	最終ヒートシンクの確保	・蒸気発生器水位 (広域)																																																																																																																				
		・蒸気発生器水位 (狭域)																																																																																																																				
		・補助給水流量																																																																																																																				
	水源の確保	・補助給水ビット水位																																																																																																																				
	電源		・油幹線 1 L、2 L 電圧																																																																																																																			
			・後志幹線 1 L、2 L 電圧																																																																																																																			
		・甲母線電圧、乙母線電圧																																																																																																																				
補機監視機能		・6-A、B、C1、C2、D母線電圧																																																																																																																				
		・原子炉補機冷却水供給母管流量																																																																																																																				
		・原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用)																																																																																																																				
		・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量																																																																																																																				
		・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)																																																																																																																				
操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.1(2) b. 「SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																																																																																																					

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																						
<p>(b) 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水</p> <table border="1" data-bbox="107 338 707 778"> <tr> <td rowspan="4">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計 </td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材圧力計 </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位計（広域） ・蒸気発生器水位計（狭域） ・蒸気発生器補助給水流量計 </td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・復水ピット水位計 </td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>電源</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計 </td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2"> 「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水」にて整備する。 </td> </tr> </table> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計 	原子炉压力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材圧力計 	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位計（広域） ・蒸気発生器水位計（狭域） ・蒸気発生器補助給水流量計 	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・復水ピット水位計 	補機監視機能	電源	<ul style="list-style-type: none"> ・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計 	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） 	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水」にて整備する。		<p>女川原子力発電所2号炉</p>	<p>泊発電所3号炉</p> <p>監視計器一覧 (29/61)</p> <table border="1" data-bbox="1384 478 1998 1098"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 蒸気発生器2次側からの給熱による発電用原子炉の冷却（注水）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(c) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td>判断基準</td> <td> 原子炉压力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度（広域－高圧側） ・ 1次冷却材温度（広域－低圧側） 最終ヒートシンクの確保 ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量 </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td> 「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)c.「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。 </td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(d) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td>判断基準</td> <td> 原子炉压力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度（広域－高圧側） ・ 1次冷却材温度（広域－低圧側） 最終ヒートシンクの確保 ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量 </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td> 「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)d.「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。 </td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(e) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td>判断基準</td> <td> 原子炉压力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度（広域－高圧側） ・ 1次冷却材温度（広域－低圧側） 最終ヒートシンクの確保 ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量 </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td> 「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)e.「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。 </td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 蒸気発生器2次側からの給熱による発電用原子炉の冷却（注水）			(c) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度（広域－高圧側） ・ 1次冷却材温度（広域－低圧側） 最終ヒートシンクの確保 ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)c.「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。	(d) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度（広域－高圧側） ・ 1次冷却材温度（広域－低圧側） 最終ヒートシンクの確保 ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)d.「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。	(e) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度（広域－高圧側） ・ 1次冷却材温度（広域－低圧側） 最終ヒートシンクの確保 ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)e.「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。	<p>【大飯】 設備の相違 (相違理由④)</p> <p>【大飯】 設備の相違 (相違理由④)</p>
判断基準		原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計 																																						
		原子炉压力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材圧力計 																																						
		最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位計（広域） ・蒸気発生器水位計（狭域） ・蒸気発生器補助給水流量計 																																						
	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・復水ピット水位計 																																							
補機監視機能	電源	<ul style="list-style-type: none"> ・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計 																																							
	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） 																																							
操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水」にて整備する。																																								
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																							
1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 蒸気発生器2次側からの給熱による発電用原子炉の冷却（注水）																																									
(c) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度（広域－高圧側） ・ 1次冷却材温度（広域－低圧側） 最終ヒートシンクの確保 ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量																																							
	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)c.「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																							
(d) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度（広域－高圧側） ・ 1次冷却材温度（広域－低圧側） 最終ヒートシンクの確保 ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量																																							
	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)d.「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																							
(e) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度（広域－高圧側） ・ 1次冷却材温度（広域－低圧側） 最終ヒートシンクの確保 ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量																																							
	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)e.「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																							

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																													
<p>監視計器一覧 (24/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) 主蒸気速がし弁（現場手動操作）による蒸気放出</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材低温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>・ 蒸気発生器水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 蒸気発生器水位計（狭域）</td> </tr> <tr> <td>・ 蒸気発生器補助給水流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電源</td> <td>・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち1.3.2.2(2)a.「主蒸気速がし弁（現場手動操作）による主蒸気速がし弁の機能回復」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			b. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）			(a) 主蒸気速がし弁（現場手動操作）による蒸気放出	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域）	・ 1次冷却材低温側温度計（広域）	原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度計	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計	・ 蒸気発生器水位計（広域）	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位計（狭域）	・ 蒸気発生器補助給水流量計	電源	・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計	操作	「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち1.3.2.2(2)a.「主蒸気速がし弁（現場手動操作）による主蒸気速がし弁の機能回復」にて整備する。			<p>監視計器一覧 (30/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 蒸気発生器2次側からの隔離による発電用原子炉の冷却（蒸気放出）</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) 主蒸気速がし弁の現場手動操作による蒸気放出</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側）</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材温度（広域-低温側）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>・ 蒸気発生器水位（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 蒸気発生器水位（狭域）</td> </tr> <tr> <td>・ 補助給水流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電源</td> <td>・ 汽機側1L、2L電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 後巻幹線1L、2L電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>・ 甲母線電圧、乙母線電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td>・ 余熱除去ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>・ 余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち、1.3.2.2(1)b.「現場手動操作による主蒸気速がし弁の機能回復」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順			(2) サポート系機能喪失時の対応手順			b. 蒸気発生器2次側からの隔離による発電用原子炉の冷却（蒸気放出）			(a) 主蒸気速がし弁の現場手動操作による蒸気放出	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側）	・ 1次冷却材温度（広域-低温側）	原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内への注水量	・ 低圧注入流量	・ 蒸気発生器水位（広域）	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位（狭域）	・ 補助給水流量	電源	・ 汽機側1L、2L電圧	・ 後巻幹線1L、2L電圧	補機監視機能	・ 甲母線電圧、乙母線電圧	・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧	操作	・ 余熱除去ポンプ出口圧力	・ 余熱除去ポンプ電流	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量	・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量（AM用）	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）	操作	「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち、1.3.2.2(1)b.「現場手動操作による主蒸気速がし弁の機能回復」の操作手順と同様である。		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																														
1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合																																																																																
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																																																
b. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）																																																																																
(a) 主蒸気速がし弁（現場手動操作）による蒸気放出	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域）																																																																														
		・ 1次冷却材低温側温度計（広域）																																																																														
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度計																																																																														
		・ 1次冷却材圧力計																																																																														
	原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計																																																																														
		・ 蒸気発生器水位計（広域）																																																																														
	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位計（狭域）																																																																														
		・ 蒸気発生器補助給水流量計																																																																														
	電源	・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計																																																																														
		・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）																																																																														
補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）																																																																															
	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																																															
操作	「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち1.3.2.2(2)a.「主蒸気速がし弁（現場手動操作）による主蒸気速がし弁の機能回復」にて整備する。																																																																															
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																														
1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順																																																																																
(2) サポート系機能喪失時の対応手順																																																																																
b. 蒸気発生器2次側からの隔離による発電用原子炉の冷却（蒸気放出）																																																																																
(a) 主蒸気速がし弁の現場手動操作による蒸気放出	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側）																																																																														
		・ 1次冷却材温度（広域-低温側）																																																																														
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度																																																																														
		・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																														
	原子炉圧力容器内への注水量	・ 低圧注入流量																																																																														
		・ 蒸気発生器水位（広域）																																																																														
	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位（狭域）																																																																														
		・ 補助給水流量																																																																														
	電源	・ 汽機側1L、2L電圧																																																																														
		・ 後巻幹線1L、2L電圧																																																																														
補機監視機能	・ 甲母線電圧、乙母線電圧																																																																															
	・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧																																																																															
操作	・ 余熱除去ポンプ出口圧力																																																																															
	・ 余熱除去ポンプ電流																																																																															
補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量																																																																															
	・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量（AM用）																																																																															
補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量																																																																															
	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）																																																																															
操作	「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち、1.3.2.2(1)b.「現場手動操作による主蒸気速がし弁の機能回復」の操作手順と同様である。																																																																															

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川 ^{原子力} 発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																														
<p>監視計器一覧 (25/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">c. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 蒸気発生器水位計 (広域) ・ 蒸気発生器水位計 (狭域)</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 4-3 (4) A、B、C1、C2、D1、D2 母線電圧計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">補機監視機能</td> <td></td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td></td> <td>「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち 1.5.2.1(3)a.「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			c. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位計 (広域) ・ 蒸気発生器水位計 (狭域)	電源	・ 4-3 (4) A、B、C1、C2、D1、D2 母線電圧計	補機監視機能		・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT)		・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)		・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計	操作		「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち 1.5.2.1(3)a.「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。		<p>監視計器一覧 (31/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">c. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 蒸気発生器水位 (広域) ・ 蒸気発生器水位 (狭域) ・ 補助給水流量</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 母線電圧 1L、2L 電圧 ・ 母線電圧 1L、2L 電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D 母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">補機監視機能</td> <td></td> <td>・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM 用)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM 用)</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td></td> <td>「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)a.「可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			c. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉圧力容器内への注水量	・ 低圧注入流量	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位 (広域) ・ 蒸気発生器水位 (狭域) ・ 補助給水流量	電源	・ 母線電圧 1L、2L 電圧 ・ 母線電圧 1L、2L 電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D 母線電圧	補機監視機能		・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流		・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM 用)		・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM 用)	操作		「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)a.「可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																															
1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合																																																																	
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																																	
c. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																														
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																														
		原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計																																																														
		最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位計 (広域) ・ 蒸気発生器水位計 (狭域)																																																														
		電源	・ 4-3 (4) A、B、C1、C2、D1、D2 母線電圧計																																																														
	補機監視機能		・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT)																																																														
			・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)																																																														
			・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																														
	操作		「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち 1.5.2.1(3)a.「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。																																																														
	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																														
1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順																																																																	
(2) サポート系故障時の対応手順																																																																	
c. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																														
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																														
		原子炉圧力容器内への注水量	・ 低圧注入流量																																																														
		最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位 (広域) ・ 蒸気発生器水位 (狭域) ・ 補助給水流量																																																														
		電源	・ 母線電圧 1L、2L 電圧 ・ 母線電圧 1L、2L 電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D 母線電圧																																																														
	補機監視機能		・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流																																																														
			・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM 用)																																																														
			・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM 用)																																																														
	操作		「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)a.「可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。																																																														

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																														
		<p>監視計器一覧 (32/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1370 497 1659 544">対応手段</th> <th data-bbox="1659 497 1771 544">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th data-bbox="1771 497 2013 544">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" data-bbox="1370 544 2013 560">1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="1370 560 2013 576">(2) サポート系統同時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="1370 576 2013 592">d. 復旧</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1370 592 1632 1050" rowspan="10">(a) 電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td data-bbox="1632 592 1659 1050" rowspan="10">判 照 基 準</td> <td data-bbox="1659 592 1771 655">原子炉圧力容器内の温度</td> <td data-bbox="1771 592 2013 655"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） ・ 炉心出口温度 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1659 655 1771 679">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td data-bbox="1771 655 2013 679"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力（広域） </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1659 679 1771 703">原子炉圧力容器内の水位</td> <td data-bbox="1771 679 2013 703"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1659 703 1771 735">原子炉圧力容器内への注水量</td> <td data-bbox="1771 703 2013 735"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 低圧注入流量 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1659 735 1771 831" rowspan="4">電源</td> <td data-bbox="1659 735 1771 759">泊幹線1L, 2L電圧</td> <td data-bbox="1771 735 2013 759"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 泊幹線1L, 2L電圧 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1659 759 1771 783">後志幹線1L, 2L電圧</td> <td data-bbox="1771 759 2013 783"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 後志幹線1L, 2L電圧 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1659 783 1771 807">甲母線電圧, 乙母線電圧</td> <td data-bbox="1771 783 2013 807"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 甲母線電圧, 乙母線電圧 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1659 807 1771 831">θ-A, B, C1, C2, D母線電圧</td> <td data-bbox="1771 807 2013 831"> <ul style="list-style-type: none"> ・ θ-A, B, C1, C2, D母線電圧 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1659 831 1771 991" rowspan="4">補機監視機能</td> <td data-bbox="1659 831 1771 855">余熱除去ポンプ出口圧力</td> <td data-bbox="1771 831 2013 855"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 余熱除去ポンプ出口圧力 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1659 855 1771 879">余熱除去ポンプ電流</td> <td data-bbox="1771 855 2013 879"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 余熱除去ポンプ電流 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1659 879 1771 903">原子炉補機冷却水供給母管流量</td> <td data-bbox="1771 879 2013 903"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用) </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1659 903 1771 927">原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量</td> <td data-bbox="1771 903 2013 927"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1659 927 1771 951">原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (AM用)</td> <td data-bbox="1771 927 2013 951"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (AM用) </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1659 951 1771 975">水源の確保</td> <td data-bbox="1771 951 2013 975"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 補助給水ビット水位 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1659 975 1771 1050">操作</td> <td data-bbox="1771 975 2013 1050"> 1.4.2.2(1) a. (a) 「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」と同様である。 </td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順			(2) サポート系統同時の対応手順			d. 復旧			(a) 電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判 照 基 準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） ・ 炉心出口温度 	原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力（広域） 	原子炉圧力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位 	原子炉圧力容器内への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 低圧注入流量 	電源	泊幹線1L, 2L電圧	<ul style="list-style-type: none"> ・ 泊幹線1L, 2L電圧 	後志幹線1L, 2L電圧	<ul style="list-style-type: none"> ・ 後志幹線1L, 2L電圧 	甲母線電圧, 乙母線電圧	<ul style="list-style-type: none"> ・ 甲母線電圧, 乙母線電圧 	θ-A, B, C1, C2, D母線電圧	<ul style="list-style-type: none"> ・ θ-A, B, C1, C2, D母線電圧 	補機監視機能	余熱除去ポンプ出口圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 余熱除去ポンプ出口圧力 	余熱除去ポンプ電流	<ul style="list-style-type: none"> ・ 余熱除去ポンプ電流 	原子炉補機冷却水供給母管流量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用) 	原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 	原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (AM用)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (AM用) 	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 補助給水ビット水位 	操作	1.4.2.2(1) a. (a) 「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」と同様である。	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																															
1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順																																																	
(2) サポート系統同時の対応手順																																																	
d. 復旧																																																	
(a) 電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判 照 基 準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） ・ 炉心出口温度 																																														
		原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力（広域） 																																														
		原子炉圧力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位 																																														
		原子炉圧力容器内への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 低圧注入流量 																																														
		電源	泊幹線1L, 2L電圧	<ul style="list-style-type: none"> ・ 泊幹線1L, 2L電圧 																																													
			後志幹線1L, 2L電圧	<ul style="list-style-type: none"> ・ 後志幹線1L, 2L電圧 																																													
			甲母線電圧, 乙母線電圧	<ul style="list-style-type: none"> ・ 甲母線電圧, 乙母線電圧 																																													
			θ-A, B, C1, C2, D母線電圧	<ul style="list-style-type: none"> ・ θ-A, B, C1, C2, D母線電圧 																																													
		補機監視機能	余熱除去ポンプ出口圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 余熱除去ポンプ出口圧力 																																													
			余熱除去ポンプ電流	<ul style="list-style-type: none"> ・ 余熱除去ポンプ電流 																																													
原子炉補機冷却水供給母管流量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用) 																																																
原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 																																																
原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (AM用)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (AM用) 																																																
水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 補助給水ビット水位 																																																
操作	1.4.2.2(1) a. (a) 「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」と同様である。																																																

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																																														
<p>監視計器一覧 (26/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ 1次冷却系統水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">水源の確保</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>・ 燃料取替用水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td>・ 復水ビット水位計 ・ ほう酸タンク水位計 ・ 1次系統水タンク水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">操作</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ 1次冷却系統水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">未境界の維持又は監視</td> <td>・ 出力領域中性子束計 ・ 中間領域中性子束計 ・ 中性子源領域中性子束計 ・ 中間領域起動率計 ・ 中性子源領域起動率計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ビット水位計 ・ 復水ビット水位計 ・ ほう酸タンク水位計 ・ 1次系統水タンク水位計 (CRT)</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			a. 炉心注水			判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計	原子炉压力容器内の注水量	・ 1次冷却系統水位計 (CRT)	水源の確保	・ 余熱除去流量計	・ 燃料取替用水ビット水位計	・ 復水ビット水位計 ・ ほう酸タンク水位計 ・ 1次系統水タンク水位計 (CRT)	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計	操作	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計	原子炉压力容器内の注水量	・ 1次冷却系統水位計 (CRT)	未境界の維持又は監視	・ 出力領域中性子束計 ・ 中間領域中性子束計 ・ 中性子源領域中性子束計 ・ 中間領域起動率計 ・ 中性子源領域起動率計	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位計 ・ 復水ビット水位計 ・ ほう酸タンク水位計 ・ 1次系統水タンク水位計 (CRT)	<p>監視計器一覧 (12/20)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 低圧代替注水</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(a) 低圧代替注水系 (常設) (復水移送ポンプ) による原子炉压力容器への注水</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書 (プラント停止中) 「崩壊熱除去機能喪失」等</td> <td rowspan="2">原子炉压力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (換熱域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定種時水車用)</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書 (設備別) 「復水移送ポンプによる原子炉注水」</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電源の確保</td> <td rowspan="2">電源の確保</td> <td>4-20 母線電圧 4-20 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧</td> </tr> <tr> <td>復水貯蔵タンク水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td>原子炉水位 (換熱域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定種時水車用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td>残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量) 残留熱除去系 B 系熱納容器冷却ライン洗浄流量</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>補機監視機能</td> <td>復水移送ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>水源の確保</td> <td>復水貯蔵タンク水位</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			a. 低圧代替注水			(a) 低圧代替注水系 (常設) (復水移送ポンプ) による原子炉压力容器への注水			非常時操作手順書 (プラント停止中) 「崩壊熱除去機能喪失」等	原子炉压力容器内の水位	原子炉水位 (換熱域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定種時水車用)	非常時操作手順書 (設備別) 「復水移送ポンプによる原子炉注水」	電源の確保	電源の確保	4-20 母線電圧 4-20 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧	復水貯蔵タンク水位	水源の確保	水源の確保	原子炉水位 (換熱域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定種時水車用)	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)	補機監視機能	原子炉压力容器への注水量	残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量) 残留熱除去系 B 系熱納容器冷却ライン洗浄流量	水源の確保	補機監視機能	復水移送ポンプ出口圧力	水源の確保	水源の確保	復水貯蔵タンク水位	<p>監視計器一覧 (33/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ビット水位</td> </tr> <tr> <td>・ ほう酸タンク水位 ・ 1次系統水タンク水位</td> </tr> <tr> <td>・ 余熱除去ポンプ吐出圧力</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">操作</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ 充てん流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ビット水位 ・ ほう酸タンク水位 ・ 1次系統水タンク水位</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 充てんライン圧力</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			a. 炉心注水			判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位	原子炉压力容器内の注水量	・ 低圧注入流量	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位	・ ほう酸タンク水位 ・ 1次系統水タンク水位	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ電流	操作	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位	原子炉压力容器内の注水量	・ 充てん流量	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位 ・ ほう酸タンク水位 ・ 1次系統水タンク水位	補機監視機能	・ 充てんライン圧力	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																															
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																																																																																	
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																																																																	
a. 炉心注水																																																																																																																	
判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																																															
	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																															
	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																																																															
	原子炉压力容器内の注水量	・ 1次冷却系統水位計 (CRT)																																																																																																															
	水源の確保	・ 余熱除去流量計																																																																																																															
		・ 燃料取替用水ビット水位計																																																																																																															
		・ 復水ビット水位計 ・ ほう酸タンク水位計 ・ 1次系統水タンク水位計 (CRT)																																																																																																															
	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																																																																															
	操作	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																																														
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																																																														
原子炉压力容器内の注水量		・ 1次冷却系統水位計 (CRT)																																																																																																															
未境界の維持又は監視		・ 出力領域中性子束計 ・ 中間領域中性子束計 ・ 中性子源領域中性子束計 ・ 中間領域起動率計 ・ 中性子源領域起動率計																																																																																																															
		水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位計 ・ 復水ビット水位計 ・ ほう酸タンク水位計 ・ 1次系統水タンク水位計 (CRT)																																																																																																														
			手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																																																																												
			1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順																																																																																																														
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																	
a. 低圧代替注水																																																																																																																	
(a) 低圧代替注水系 (常設) (復水移送ポンプ) による原子炉压力容器への注水																																																																																																																	
非常時操作手順書 (プラント停止中) 「崩壊熱除去機能喪失」等	原子炉压力容器内の水位	原子炉水位 (換熱域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定種時水車用)																																																																																																															
非常時操作手順書 (設備別) 「復水移送ポンプによる原子炉注水」																																																																																																																	
電源の確保	電源の確保	4-20 母線電圧 4-20 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧																																																																																																															
		復水貯蔵タンク水位																																																																																																															
水源の確保	水源の確保	原子炉水位 (換熱域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定種時水車用)																																																																																																															
		原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)																																																																																																															
補機監視機能	原子炉压力容器への注水量	残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量) 残留熱除去系 B 系熱納容器冷却ライン洗浄流量																																																																																																															
水源の確保	補機監視機能	復水移送ポンプ出口圧力																																																																																																															
水源の確保	水源の確保	復水貯蔵タンク水位																																																																																																															
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																															
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順																																																																																																																	
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																	
a. 炉心注水																																																																																																																	
判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																																															
	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位																																																																																																															
	原子炉压力容器内の注水量	・ 低圧注入流量																																																																																																															
	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位																																																																																																															
		・ ほう酸タンク水位 ・ 1次系統水タンク水位																																																																																																															
		・ 余熱除去ポンプ吐出圧力																																																																																																															
	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ電流																																																																																																															
	操作	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																																														
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位																																																																																																														
		原子炉压力容器内の注水量	・ 充てん流量																																																																																																														
水源の確保		・ 燃料取替用水ビット水位 ・ ほう酸タンク水位 ・ 1次系統水タンク水位																																																																																																															
		補機監視機能	・ 充てんライン圧力																																																																																																														

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																																																																			
<p>監視計器一覧 (27/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 充てん水流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 高圧注入流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 蓄圧タンク水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 蓄圧タンク水位計 (CRT)</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			a. 炉心注水			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)	原子炉圧力容器内への注水量	・ 充てん水流量計	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位計	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)	原子炉圧力容器内への注水量	・ 高圧注入流量計	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位計	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)	原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計	水源の確保	・ 蓄圧タンク水位計 (CRT)	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)	水源の確保	・ 蓄圧タンク水位計 (CRT)	<p>監視計器一覧 (13/20)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 低圧代替注水</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(b) 低圧代替注水系 (可搬型) による原子炉圧力容器への注水</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書 (プラント停止中) 「炉内熱除去機能喪失」等</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉水位 (供蓄域) 原子炉水位 (広蓄域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広蓄域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水運用)</td> </tr> <tr> <td>重大事故等対応要領書 「大容量送水ポンプ (タイプ1) による原子炉注水」 「大容量送水ポンプによる送水」</td> <td>電源の確保 4-20 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>操作</td> <td>淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td rowspan="3">操作</td> <td>原子炉水位 (供蓄域) 原子炉水位 (広蓄域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広蓄域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水運用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量) 残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td></td> <td>淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			a. 低圧代替注水			(b) 低圧代替注水系 (可搬型) による原子炉圧力容器への注水			非常時操作手順書 (プラント停止中) 「炉内熱除去機能喪失」等	判断基準	原子炉水位 (供蓄域) 原子炉水位 (広蓄域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広蓄域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水運用)	重大事故等対応要領書 「大容量送水ポンプ (タイプ1) による原子炉注水」 「大容量送水ポンプによる送水」	電源の確保 4-20 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧	水源の確保	操作	淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)	原子炉圧力容器内の水位	操作	原子炉水位 (供蓄域) 原子炉水位 (広蓄域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広蓄域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水運用)	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)	原子炉圧力容器への注水量	残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量) 残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量	水源の確保		淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)	<p>監視計器一覧 (34/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 充てん流量</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 充てんライン圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 高圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 高圧注入ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 高圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 高圧注入ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 高圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 高圧注入ポンプ出口圧力</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			a. 炉心注水			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位	原子炉圧力容器内への注水量	・ 充てん流量	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 充てんライン圧力	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位	原子炉圧力容器内への注水量	・ 高圧注入流量	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 高圧注入ポンプ出口圧力	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位	原子炉圧力容器内への注水量	・ 高圧注入流量	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 高圧注入ポンプ出口圧力	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位	原子炉圧力容器内への注水量	・ 高圧注入流量	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 高圧注入ポンプ出口圧力	<p>【大阪】 設備の相違 (相違理由⑨)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																																				
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																																																																																																						
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																																																																																						
a. 炉心注水																																																																																																																																						
判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																																																																				
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																																				
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)																																																																																																																																				
	原子炉圧力容器内への注水量	・ 充てん水流量計																																																																																																																																				
	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位計																																																																																																																																				
	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																																																																			
原子炉圧力容器内の水位		・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)																																																																																																																																				
原子炉圧力容器内への注水量		・ 高圧注入流量計																																																																																																																																				
水源の確保		・ 燃料取替用水ピット水位計																																																																																																																																				
判断基準		原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																																																																			
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																																			
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)																																																																																																																																				
	原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計																																																																																																																																				
	水源の確保	・ 蓄圧タンク水位計 (CRT)																																																																																																																																				
	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																																																																			
原子炉圧力容器内の水位		・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)																																																																																																																																				
水源の確保		・ 蓄圧タンク水位計 (CRT)																																																																																																																																				
手順書		重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																																																																																																			
1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順																																																																																																																																						
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																																						
a. 低圧代替注水																																																																																																																																						
(b) 低圧代替注水系 (可搬型) による原子炉圧力容器への注水																																																																																																																																						
非常時操作手順書 (プラント停止中) 「炉内熱除去機能喪失」等	判断基準	原子炉水位 (供蓄域) 原子炉水位 (広蓄域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広蓄域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水運用)																																																																																																																																				
重大事故等対応要領書 「大容量送水ポンプ (タイプ1) による原子炉注水」 「大容量送水ポンプによる送水」		電源の確保 4-20 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧																																																																																																																																				
水源の確保	操作	淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)																																																																																																																																				
原子炉圧力容器内の水位	操作	原子炉水位 (供蓄域) 原子炉水位 (広蓄域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広蓄域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水運用)																																																																																																																																				
原子炉圧力容器内の圧力		原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)																																																																																																																																				
原子炉圧力容器への注水量		残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量) 残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量																																																																																																																																				
水源の確保		淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)																																																																																																																																				
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																																				
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順																																																																																																																																						
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																																						
a. 炉心注水																																																																																																																																						
判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																																																																				
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位																																																																																																																																				
	原子炉圧力容器内への注水量	・ 充てん流量																																																																																																																																				
	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 充てんライン圧力																																																																																																																																				
	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																																																																			
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位																																																																																																																																			
原子炉圧力容器内への注水量		・ 高圧注入流量																																																																																																																																				
水源の確保		・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 高圧注入ポンプ出口圧力																																																																																																																																				
判断基準		原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																																																																			
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位																																																																																																																																			
	原子炉圧力容器内への注水量	・ 高圧注入流量																																																																																																																																				
	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 高圧注入ポンプ出口圧力																																																																																																																																				
	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																																																																			
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位																																																																																																																																			
原子炉圧力容器内への注水量		・ 高圧注入流量																																																																																																																																				
水源の確保		・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 高圧注入ポンプ出口圧力																																																																																																																																				
大阪 3 / 4号炉との比較対象なし																																																																																																																																						

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																																																																																		
<p>監視計器一覧 (28/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) 燃料取替用水ピットからの重力注水による代替炉心注水</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 1次冷却系統水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 高压注入流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 1次冷却系統水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(b) A格納容器スプレイポンプ (RHRS-CSS連絡ライン使用)による代替炉心注水</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ 1次冷却系統水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 蓄圧タンク水位計 (CRT) ・ 蓄圧タンク圧力計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>1.4.2.1(b)(a)と同様。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			b. 代替炉心注水			(a) 燃料取替用水ピットからの重力注水による代替炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域)	原子炉压力容器内の圧力	・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の水位	・ 1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内の注水量	・ 加圧器水位計	水源の確保	・ 1次冷却系統水位計 (CRT)	操作	原子炉压力容器内の温度	・ 高压注入流量計	原子炉压力容器内の圧力	・ 燃料取替用水ピット水位計	原子炉压力容器内の水位	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の注水量	・ 加圧器水位計	水源の確保	・ 1次冷却系統水位計 (CRT)	(b) A格納容器スプレイポンプ (RHRS-CSS連絡ライン使用)による代替炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 余熱除去流量計	原子炉压力容器内の圧力	・ 燃料取替用水ピット水位計	原子炉压力容器内の水位	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域)	原子炉压力容器内の注水量	・ 炉心出口温度計	水源の確保	・ 1次冷却材圧力計	操作	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計	原子炉压力容器内の注水量	・ 1次冷却系統水位計 (CRT)	水源の確保	・ 蓄圧タンク水位計 (CRT) ・ 蓄圧タンク圧力計 (CRT)	操作	1.4.2.1(b)(a)と同様。	<p>監視計器一覧 (14/20)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 低圧代替注水</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(a) 代替循環冷却系による原子炉压力容器への注水</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書 (プラント停止中) 「炉心熱除去機能喪失」等</td> <td rowspan="2">原子炉压力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (異常域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (空冷時水重用)</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書 (設備別) 「代替循環冷却ポンプによる原子炉注水」</td> <td>4-2C 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>原子炉循環冷却水系系統流量 (A系のみ) 残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量 (A系のみ)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>圧力制御室水位</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">判断基準</td> <td rowspan="4">原子炉压力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (異常域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (空冷時水重用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td>代替循環冷却ポンプ出口流量</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>代替循環冷却ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>圧力制御室水位</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			a. 低圧代替注水			(a) 代替循環冷却系による原子炉压力容器への注水			非常時操作手順書 (プラント停止中) 「炉心熱除去機能喪失」等	原子炉压力容器内の水位	原子炉水位 (異常域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (空冷時水重用)	非常時操作手順書 (設備別) 「代替循環冷却ポンプによる原子炉注水」	4-2C 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧	最終ヒートシンクの確保	原子炉循環冷却水系系統流量 (A系のみ) 残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量 (A系のみ)		水源の確保	圧力制御室水位		判断基準	原子炉压力容器内の水位	原子炉水位 (異常域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (空冷時水重用)	原子炉压力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)	原子炉压力容器への注水量	代替循環冷却ポンプ出口流量	補機監視機能	代替循環冷却ポンプ出口圧力	水源の確保	圧力制御室水位		<p>監視計器一覧 (35/81)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) 燃料取替用水ピットからの重力注水による原子炉容器への注水</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ 1次冷却系統ループ水位</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 高压注入流量 ・ 燃料取替用水ピット水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 高压注入ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(b) B格納容器スプレイポンプ (RHRS-CSS連絡ライン使用)による原子炉容器への注水</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ 高压注入流量 ・ 燃料取替用水ピット水位</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 高压注入ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(1) b. (a) 「B格納容器スプレイポンプ (RHRS-CSS連絡ライン使用) による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			b. 代替炉心注水			(a) 燃料取替用水ピットからの重力注水による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)	原子炉压力容器内の圧力	・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の水位	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉压力容器内の注水量	・ 1次冷却系統ループ水位	水源の確保	・ 高压注入流量 ・ 燃料取替用水ピット水位	操作	原子炉压力容器内の温度	・ 高压注入ポンプ出口圧力	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)	原子炉压力容器内の水位	・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の注水量	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位	(b) B格納容器スプレイポンプ (RHRS-CSS連絡ライン使用)による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位	原子炉压力容器内の注水量	・ 高压注入流量 ・ 燃料取替用水ピット水位	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 高压注入ポンプ出口圧力	操作	1.4.2.1(1) b. (a) 「B格納容器スプレイポンプ (RHRS-CSS連絡ライン使用) による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																																																			
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																																																																																																																					
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																																																																																																					
b. 代替炉心注水																																																																																																																																																					
(a) 燃料取替用水ピットからの重力注水による代替炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域)																																																																																																																																																		
		原子炉压力容器内の圧力	・ 炉心出口温度計																																																																																																																																																		
		原子炉压力容器内の水位	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																																																		
		原子炉压力容器内の注水量	・ 加圧器水位計																																																																																																																																																		
		水源の確保	・ 1次冷却系統水位計 (CRT)																																																																																																																																																		
	操作	原子炉压力容器内の温度	・ 高压注入流量計																																																																																																																																																		
		原子炉压力容器内の圧力	・ 燃料取替用水ピット水位計																																																																																																																																																		
		原子炉压力容器内の水位	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																																																																																		
		原子炉压力容器内の注水量	・ 加圧器水位計																																																																																																																																																		
		水源の確保	・ 1次冷却系統水位計 (CRT)																																																																																																																																																		
(b) A格納容器スプレイポンプ (RHRS-CSS連絡ライン使用)による代替炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 余熱除去流量計																																																																																																																																																		
		原子炉压力容器内の圧力	・ 燃料取替用水ピット水位計																																																																																																																																																		
		原子炉压力容器内の水位	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域)																																																																																																																																																		
		原子炉压力容器内の注水量	・ 炉心出口温度計																																																																																																																																																		
		水源の確保	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																																																		
	操作	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																																																		
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																																																																																																		
		原子炉压力容器内の注水量	・ 1次冷却系統水位計 (CRT)																																																																																																																																																		
		水源の確保	・ 蓄圧タンク水位計 (CRT) ・ 蓄圧タンク圧力計 (CRT)																																																																																																																																																		
		操作	1.4.2.1(b)(a)と同様。																																																																																																																																																		
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																																																																																																																			
1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順																																																																																																																																																					
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																																																					
a. 低圧代替注水																																																																																																																																																					
(a) 代替循環冷却系による原子炉压力容器への注水																																																																																																																																																					
非常時操作手順書 (プラント停止中) 「炉心熱除去機能喪失」等	原子炉压力容器内の水位	原子炉水位 (異常域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (空冷時水重用)																																																																																																																																																			
非常時操作手順書 (設備別) 「代替循環冷却ポンプによる原子炉注水」		4-2C 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧																																																																																																																																																			
最終ヒートシンクの確保	原子炉循環冷却水系系統流量 (A系のみ) 残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量 (A系のみ)																																																																																																																																																				
水源の確保	圧力制御室水位																																																																																																																																																				
判断基準	原子炉压力容器内の水位	原子炉水位 (異常域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (空冷時水重用)																																																																																																																																																			
		原子炉压力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)																																																																																																																																																		
		原子炉压力容器への注水量	代替循環冷却ポンプ出口流量																																																																																																																																																		
		補機監視機能	代替循環冷却ポンプ出口圧力																																																																																																																																																		
水源の確保	圧力制御室水位																																																																																																																																																				
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																																																			
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順																																																																																																																																																					
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																																																					
b. 代替炉心注水																																																																																																																																																					
(a) 燃料取替用水ピットからの重力注水による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)																																																																																																																																																		
		原子炉压力容器内の圧力	・ 炉心出口温度																																																																																																																																																		
		原子炉压力容器内の水位	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																																																																		
		原子炉压力容器内の注水量	・ 1次冷却系統ループ水位																																																																																																																																																		
		水源の確保	・ 高压注入流量 ・ 燃料取替用水ピット水位																																																																																																																																																		
	操作	原子炉压力容器内の温度	・ 高压注入ポンプ出口圧力																																																																																																																																																		
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)																																																																																																																																																		
		原子炉压力容器内の水位	・ 炉心出口温度																																																																																																																																																		
		原子炉压力容器内の注水量	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位																																																																																																																																																		
		水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位																																																																																																																																																		
(b) B格納容器スプレイポンプ (RHRS-CSS連絡ライン使用)による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)																																																																																																																																																		
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																																																																		
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位																																																																																																																																																		
		原子炉压力容器内の注水量	・ 高压注入流量 ・ 燃料取替用水ピット水位																																																																																																																																																		
		水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 高压注入ポンプ出口圧力																																																																																																																																																		
	操作	1.4.2.1(1) b. (a) 「B格納容器スプレイポンプ (RHRS-CSS連絡ライン使用) による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																																																																																																																																			

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																																																									
<p>監視計器一覧 (29/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">(c) 恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ A余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取扱用水ビット水位計 ・ 復水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td colspan="3">操作 1.4.2.1(1)b.(b)と同様。</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">(d) 電動消防ポンプ又はディーゼル消防ポンプによる代替炉心注水</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ N o. 2 淡水タンク水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td colspan="3">操作 1.4.2.1(1)b.(c)と同様。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			b. 代替炉心注水			(c) 恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)	原子炉压力容器内の注水量	・ A余熱除去流量計	水源の確保	・ 燃料取扱用水ビット水位計 ・ 復水ビット水位計	操作 1.4.2.1(1)b.(b)と同様。			(d) 電動消防ポンプ又はディーゼル消防ポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)	原子炉压力容器内の注水量	・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計	水源の確保	・ N o. 2 淡水タンク水位計 (CRT)	操作 1.4.2.1(1)b.(c)と同様。			<p>監視計器一覧 (15/20)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 低圧代替注水</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(b) ろ過水ポンプによる原子炉压力容器への注水</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書 (プラント停止中) 「崩壊熱除去機能喪失」等</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定積時水運用)</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書 (設備別) 「ろ過水ポンプによる原子炉注水」</td> <td>4-20 母線電圧 4-20 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2C-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>ろ過水タンク水位</td> <td>原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定積時水運用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td rowspan="2">操作</td> <td>原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量) 残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td>ろ過水ポンプ出口圧力</td> <td></td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>ろ過水タンク水位</td> <td></td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			a. 低圧代替注水			(b) ろ過水ポンプによる原子炉压力容器への注水			非常時操作手順書 (プラント停止中) 「崩壊熱除去機能喪失」等	判断基準	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定積時水運用)	非常時操作手順書 (設備別) 「ろ過水ポンプによる原子炉注水」	4-20 母線電圧 4-20 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2C-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧	水源の確保	ろ過水タンク水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定積時水運用)	原子炉压力容器内の水位	操作	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)	原子炉压力容器内の圧力	残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量) 残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量	原子炉压力容器への注水量	ろ過水ポンプ出口圧力		補機監視機能	ろ過水タンク水位		水源の確保			<p>監視計器一覧 (36/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">(c) 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取扱用水ビット水位 ・ 補助給水ビット水位</td> </tr> <tr> <td colspan="3">操作 1.4.2.1(1) b. (b) 「代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">(d) 電動機駆動消防ポンプ又はディーゼル駆動消防ポンプによる原子炉容器への注水</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ ろ過水タンク水位</td> </tr> <tr> <td colspan="3">操作 1.4.2.1(1) b. (c) 「電動機駆動消防ポンプ又はディーゼル駆動消防ポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			b. 代替炉心注水			(c) 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位	原子炉压力容器内の注水量	・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)	水源の確保	・ 燃料取扱用水ビット水位 ・ 補助給水ビット水位	操作 1.4.2.1(1) b. (b) 「代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。			(d) 電動機駆動消防ポンプ又はディーゼル駆動消防ポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位	原子炉压力容器内の注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	水源の確保	・ ろ過水タンク水位	操作 1.4.2.1(1) b. (c) 「電動機駆動消防ポンプ又はディーゼル駆動消防ポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。			
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																										
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																																																																																												
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																																																																												
b. 代替炉心注水																																																																																																																												
(c) 恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																																																									
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																									
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)																																																																																																																									
		原子炉压力容器内の注水量	・ A余熱除去流量計																																																																																																																									
		水源の確保	・ 燃料取扱用水ビット水位計 ・ 復水ビット水位計																																																																																																																									
操作 1.4.2.1(1)b.(b)と同様。																																																																																																																												
(d) 電動消防ポンプ又はディーゼル消防ポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																																																									
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																									
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)																																																																																																																									
		原子炉压力容器内の注水量	・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計																																																																																																																									
		水源の確保	・ N o. 2 淡水タンク水位計 (CRT)																																																																																																																									
操作 1.4.2.1(1)b.(c)と同様。																																																																																																																												
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																																																																																										
1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順																																																																																																																												
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																												
a. 低圧代替注水																																																																																																																												
(b) ろ過水ポンプによる原子炉压力容器への注水																																																																																																																												
非常時操作手順書 (プラント停止中) 「崩壊熱除去機能喪失」等	判断基準	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定積時水運用)																																																																																																																										
非常時操作手順書 (設備別) 「ろ過水ポンプによる原子炉注水」		4-20 母線電圧 4-20 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2C-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧																																																																																																																										
水源の確保	ろ過水タンク水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定積時水運用)																																																																																																																										
原子炉压力容器内の水位	操作	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)																																																																																																																										
原子炉压力容器内の圧力		残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量) 残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量																																																																																																																										
原子炉压力容器への注水量	ろ過水ポンプ出口圧力																																																																																																																											
補機監視機能	ろ過水タンク水位																																																																																																																											
水源の確保																																																																																																																												
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																										
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順																																																																																																																												
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																												
b. 代替炉心注水																																																																																																																												
(c) 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																																																									
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																																									
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位																																																																																																																									
		原子炉压力容器内の注水量	・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)																																																																																																																									
		水源の確保	・ 燃料取扱用水ビット水位 ・ 補助給水ビット水位																																																																																																																									
操作 1.4.2.1(1) b. (b) 「代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																																																																																																												
(d) 電動機駆動消防ポンプ又はディーゼル駆動消防ポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																																																									
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																																									
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位																																																																																																																									
		原子炉压力容器内の注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																																																																																																																									
		水源の確保	・ ろ過水タンク水位																																																																																																																									
操作 1.4.2.1(1) b. (c) 「電動機駆動消防ポンプ又はディーゼル駆動消防ポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																																																																																																												

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																																								
<p>監視計器一覧 (30/48)</p> <table border="1" data-bbox="112 335 705 742"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">(e) 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>1.4.2.1(1)b.(d)と同様。</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			b. 代替炉心注水			(e) 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)	原子炉圧力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計	操作	1.4.2.1(1)b.(d)と同様。	<p>監視計器一覧 (16/20)</p> <table border="1" data-bbox="750 502 1355 1069"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">c. 原子炉冷却材浄化系による発電用原子炉からの除熱</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(a) 原子炉冷却材浄化系による発電用原子炉からの除熱</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非常時操作手順書 (プラント停止中) 「継続熱除去機能喪失」</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水張用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>原子炉圧力容器温度</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非常時操作手順書 (設備切) 「原子炉冷却材浄化系による原子炉除熱」</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>電源の確保</td> <td>4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>原子炉補機冷却水系統流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水張用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>原子炉圧力容器温度</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>判断基準</td> <td>原子炉冷却材浄化系非再生熱交換器出口温度 原子炉冷却材浄化系入口流量 原子炉冷却材浄化系再生熱交換器入口温度</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			c. 原子炉冷却材浄化系による発電用原子炉からの除熱			(a) 原子炉冷却材浄化系による発電用原子炉からの除熱			非常時操作手順書 (プラント停止中) 「継続熱除去機能喪失」	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水張用)	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器温度	非常時操作手順書 (設備切) 「原子炉冷却材浄化系による原子炉除熱」	判断基準	電源の確保	4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧	補機監視機能	原子炉補機冷却水系統流量	操作	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水張用)	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器温度	補機監視機能	判断基準	原子炉冷却材浄化系非再生熱交換器出口温度 原子炉冷却材浄化系入口流量 原子炉冷却材浄化系再生熱交換器入口温度	<p>監視計器一覧 (37/61)</p> <table border="1" data-bbox="1388 422 2004 1125"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">(e) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 炉心出口温度 ・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>1.4.2.1(1)b.(d)「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">(f) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 炉心出口温度 ・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>1.4.2.1(1)b.(e)「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">(g) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 炉心出口温度 ・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>1.4.2.1(1)b.(f)「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			b. 代替炉心注水			(e) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)	原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度 ・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位	原子炉圧力容器内への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	操作	1.4.2.1(1)b.(d)「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。	(f) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)	原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度 ・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位	原子炉圧力容器内への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	操作	1.4.2.1(1)b.(e)「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。	(g) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)	原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度 ・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位	原子炉圧力容器内への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	操作	1.4.2.1(1)b.(f)「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。	<p>【大阪】 設備の相違 (相違理由③)</p> <p>【大阪】 設備の相違 (相違理由③)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																									
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																																																																											
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																																																											
b. 代替炉心注水																																																																																																											
(e) 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																																								
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																								
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)																																																																																																								
		原子炉圧力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計																																																																																																								
		操作	1.4.2.1(1)b.(d)と同様。																																																																																																								
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																																																																									
1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順																																																																																																											
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																											
c. 原子炉冷却材浄化系による発電用原子炉からの除熱																																																																																																											
(a) 原子炉冷却材浄化系による発電用原子炉からの除熱																																																																																																											
非常時操作手順書 (プラント停止中) 「継続熱除去機能喪失」	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水張用)																																																																																																								
		原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器温度																																																																																																								
非常時操作手順書 (設備切) 「原子炉冷却材浄化系による原子炉除熱」	判断基準	電源の確保	4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧																																																																																																								
		補機監視機能	原子炉補機冷却水系統流量																																																																																																								
操作	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水張用)																																																																																																								
		原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器温度																																																																																																								
補機監視機能	判断基準	原子炉冷却材浄化系非再生熱交換器出口温度 原子炉冷却材浄化系入口流量 原子炉冷却材浄化系再生熱交換器入口温度																																																																																																									
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																									
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順																																																																																																											
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																											
b. 代替炉心注水																																																																																																											
(e) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)																																																																																																								
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度 ・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																								
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位																																																																																																								
		原子炉圧力容器内への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																																																																																																								
		操作	1.4.2.1(1)b.(d)「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																																																																																								
(f) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)																																																																																																								
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度 ・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位																																																																																																								
		原子炉圧力容器内への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																																																																																																								
		操作	1.4.2.1(1)b.(e)「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																																																																																								
		(g) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)																																																																																																						
原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度 ・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位																																																																																																										
原子炉圧力容器内への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																																																																																																										
操作	1.4.2.1(1)b.(f)「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																																																																																										

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																										
<p>監視計器一覧 (31/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">c. 再循環運転</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td colspan="2">補機監視機能</td> <td>・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 原子炉水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 高圧注入流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td colspan="2">補機監視機能</td> <td>・ 高圧注入ポンプ吐出圧力計</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			c. 再循環運転			(a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）	原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）	補機監視機能		・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の水位	・ 原子炉水位計	原子炉圧力容器内への注水量	・ 高圧注入流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）	補機監視機能		・ 高圧注入ポンプ吐出圧力計	<p>女川原子力発電所 2号炉</p>	<p>監視計器一覧 (38/81)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">c. 再循環運転</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 高圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td colspan="2">補機監視機能</td> <td>・ 燃料取替用ホビット水位 ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td colspan="2">操作</td> <td>1.4.2.1(i) c. (a) 「高圧注入ポンプによる高圧再循環運転」の操作手順と同様である。</td> </tr> <tr> <td colspan="3">d. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">(a) B-格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 高圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ B-格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td colspan="2">補機監視機能</td> <td>・ 高圧注入ポンプ吐出圧力</td> </tr> <tr> <td colspan="2">操作</td> <td>1.4.2.1(i) d. (a) 「B-格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			c. 再循環運転			(a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位	原子炉圧力容器内への注水量	・ 高圧注入流量	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）	補機監視機能		・ 燃料取替用ホビット水位 ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流	操作		1.4.2.1(i) c. (a) 「高圧注入ポンプによる高圧再循環運転」の操作手順と同様である。	d. 代替再循環運転			(a) B-格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位	原子炉圧力容器内への注水量	・ 高圧注入流量	原子炉格納容器内の水位	・ B-格納容器再循環サンプ水位（広域）	補機監視機能		・ 高圧注入ポンプ吐出圧力	操作		1.4.2.1(i) d. (a) 「B-格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転」の操作手順と同様である。	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																											
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																																																													
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																																													
c. 再循環運転																																																																																													
(a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																																										
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																										
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）																																																																																										
		原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計																																																																																										
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																																										
	補機監視機能		・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																																																										
	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																																										
		原子炉圧力容器内の水位	・ 原子炉水位計																																																																																										
		原子炉圧力容器内への注水量	・ 高圧注入流量計																																																																																										
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																																										
補機監視機能		・ 高圧注入ポンプ吐出圧力計																																																																																											
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																											
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順																																																																																													
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																													
c. 再循環運転																																																																																													
(a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																																																										
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																																										
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位																																																																																										
		原子炉圧力容器内への注水量	・ 高圧注入流量																																																																																										
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																																										
	補機監視機能		・ 燃料取替用ホビット水位 ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流																																																																																										
	操作		1.4.2.1(i) c. (a) 「高圧注入ポンプによる高圧再循環運転」の操作手順と同様である。																																																																																										
	d. 代替再循環運転																																																																																												
	(a) B-格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																																																									
			原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																																									
原子炉圧力容器内の水位			・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位																																																																																										
原子炉圧力容器内への注水量			・ 高圧注入流量																																																																																										
原子炉格納容器内の水位			・ B-格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																																										
補機監視機能		・ 高圧注入ポンプ吐出圧力																																																																																											
操作		1.4.2.1(i) d. (a) 「B-格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転」の操作手順と同様である。																																																																																											
<p>監視計器一覧 (32/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">d. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">(a) A格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td colspan="2">補機監視機能</td> <td>・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td colspan="2">操作</td> <td>1.4.2.1(i) d. (a) と同様。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			d. 代替再循環運転			(a) A格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）	原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）	補機監視機能		・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計	操作		1.4.2.1(i) d. (a) と同様。																																																															
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																											
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																																																													
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																																													
d. 代替再循環運転																																																																																													
(a) A格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																																										
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																										
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）																																																																																										
		原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計																																																																																										
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																																										
	補機監視機能		・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																																																										
	操作		1.4.2.1(i) d. (a) と同様。																																																																																										

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																																					
<p>監視計器一覧 (33/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">e. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">(a) 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保 補機監視機能</td> <td>・ 復水ピット水位計 ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">(b) 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器水位計（狭域） ・ 蒸気発生器補助給水流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電源</td> <td>電源</td> <td>・ 4-3（4）C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 脱気器タンク水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>—：通常の運転操作により対応する手順については、監視計器を記載しない。</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			e. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）			(a) 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	操作	原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計	水源の確保 補機監視機能	・ 復水ピット水位計 ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計	(b) 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器水位計（狭域） ・ 蒸気発生器補助給水流量計	電源	電源	・ 4-3（4）C1、C2、D1、D2母線電圧計	水源の確保	・ 脱気器タンク水位計（CRT）	操作	—	—	<p>女川原子力発電所 2号炉</p>	<p>監視計器一覧 (38/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">e. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（注水）</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">(a) 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>水源の確保 補機監視機能</td> <td>・ 補助給水ピット水位 ・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">(b) 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電源</td> <td>電源</td> <td>・ 復水ピット 1L、2L電圧 ・ 炉心冷却 1L、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-C1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 脱気器タンク水位</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>—：通常の運転操作により対応する手順については、監視計器を記載しない。</p> <p>監視計器一覧 (40/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">e. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（注水）</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">(a) SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 主蒸気ライン圧力 ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 主給水ライン流量 ・ 蒸気発生器水取り流量</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 補助給水ピット水位</td> </tr> </tbody> </table> <p>「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b、「SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合			(1) フロントライン系故障時の対応手順			e. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（注水）			(a) 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	操作	原子炉圧力容器内への注水量	・ 低圧注入流量	水源の確保 補機監視機能	・ 補助給水ピット水位 ・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流	(b) 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量	電源	電源	・ 復水ピット 1L、2L電圧 ・ 炉心冷却 1L、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-C1、C2、D母線電圧	水源の確保	・ 脱気器タンク水位	操作	—	—	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合			(1) フロントライン系故障時の対応手順			e. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（注水）			(a) SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	操作	最終ヒートシンクの確保	・ 主蒸気ライン圧力 ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 主給水ライン流量 ・ 蒸気発生器水取り流量	水源の確保	・ 補助給水ピット水位	<p>【大阪】 設備の相違 (相違理由④)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																						
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																																																																								
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																																																								
e. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）																																																																																																								
(a) 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																																																					
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																					
	操作	原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計																																																																																																					
		水源の確保 補機監視機能	・ 復水ピット水位計 ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																																																																					
(b) 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																																																					
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																					
		最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器水位計（狭域） ・ 蒸気発生器補助給水流量計																																																																																																					
	電源	電源	・ 4-3（4）C1、C2、D1、D2母線電圧計																																																																																																					
		水源の確保	・ 脱気器タンク水位計（CRT）																																																																																																					
	操作	—	—																																																																																																					
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																						
1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合																																																																																																								
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																								
e. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（注水）																																																																																																								
(a) 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																																																																					
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																																																					
	操作	原子炉圧力容器内への注水量	・ 低圧注入流量																																																																																																					
		水源の確保 補機監視機能	・ 補助給水ピット水位 ・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流																																																																																																					
(b) 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																																																																					
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																																																					
		最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量																																																																																																					
	電源	電源	・ 復水ピット 1L、2L電圧 ・ 炉心冷却 1L、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-C1、C2、D母線電圧																																																																																																					
		水源の確保	・ 脱気器タンク水位																																																																																																					
	操作	—	—																																																																																																					
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																						
1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合																																																																																																								
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																								
e. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（注水）																																																																																																								
(a) SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																																																																					
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																																																					
	操作	最終ヒートシンクの確保	・ 主蒸気ライン圧力 ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 主給水ライン流量 ・ 蒸気発生器水取り流量																																																																																																					
		水源の確保	・ 補助給水ピット水位																																																																																																					
<p>泊3号炉との比較対象なし</p>																																																																																																								

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																														
<p>監視計器一覧 (34 / 48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">e. 蒸気発生器 2次側による炉心冷却 (注水)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">(c) 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ (電動) による蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計 </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力計 </td> </tr> <tr> <td rowspan="2">最終ヒートシンクの確保</td> <td></td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主蒸気圧力計 ・ 蒸気発生器水位計 (広域) ・ 蒸気発生器水位計 (狭域) ・ 蒸気発生器主給水流量計 (CRT) ・ 蒸気発生器水張り流量計 (CRT) </td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 復水ピット水位計 </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ(電動)による蒸気発生器への注水」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table> <p>泊3号炉との比較対象なし</p> <p>泊3号炉との比較対象なし</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			e. 蒸気発生器 2次側による炉心冷却 (注水)			(c) 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ (電動) による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計 	原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力計 	最終ヒートシンクの確保		<ul style="list-style-type: none"> ・ 主蒸気圧力計 ・ 蒸気発生器水位計 (広域) ・ 蒸気発生器水位計 (狭域) ・ 蒸気発生器主給水流量計 (CRT) ・ 蒸気発生器水張り流量計 (CRT) 	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 復水ピット水位計 	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ(電動)による蒸気発生器への注水」にて整備する。			<table border="1"> <thead> <tr> <th>判断基準</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(d) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td> <table border="1"> <tr> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位 (広域) ・ 蒸気発生器水位 (狭域) ・ 補助給水流量 </td> </tr> </table> <p>操作 「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)c.「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</p> </td> </tr> <tr> <td>(e) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td> <table border="1"> <tr> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位 (広域) ・ 蒸気発生器水位 (狭域) ・ 補助給水流量 </td> </tr> </table> <p>操作 「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)d.「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</p> </td> </tr> <tr> <td>(f) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td> <table border="1"> <tr> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位 (広域) ・ 蒸気発生器水位 (狭域) ・ 補助給水流量 </td> </tr> </table> <p>操作 「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)e.「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</p> </td> </tr> </tbody> </table> <p>【大飯】 設備の相違 (相違理由④)</p> <p>【大飯】 設備の相違 (相違理由④)</p>	判断基準	監視計器	(d) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	<table border="1"> <tr> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位 (広域) ・ 蒸気発生器水位 (狭域) ・ 補助給水流量 </td> </tr> </table> <p>操作 「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)c.「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</p>	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) 	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位 (広域) ・ 蒸気発生器水位 (狭域) ・ 補助給水流量 	(e) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	<table border="1"> <tr> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位 (広域) ・ 蒸気発生器水位 (狭域) ・ 補助給水流量 </td> </tr> </table> <p>操作 「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)d.「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</p>	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) 	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位 (広域) ・ 蒸気発生器水位 (狭域) ・ 補助給水流量 	(f) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	<table border="1"> <tr> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位 (広域) ・ 蒸気発生器水位 (狭域) ・ 補助給水流量 </td> </tr> </table> <p>操作 「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)e.「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</p>	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) 	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位 (広域) ・ 蒸気発生器水位 (狭域) ・ 補助給水流量 	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																															
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																	
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																	
e. 蒸気発生器 2次側による炉心冷却 (注水)																																																	
(c) 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ (電動) による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計 																																														
		原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力計 																																														
	最終ヒートシンクの確保		<ul style="list-style-type: none"> ・ 主蒸気圧力計 ・ 蒸気発生器水位計 (広域) ・ 蒸気発生器水位計 (狭域) ・ 蒸気発生器主給水流量計 (CRT) ・ 蒸気発生器水張り流量計 (CRT) 																																														
		水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 復水ピット水位計 																																														
操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ(電動)による蒸気発生器への注水」にて整備する。																																																
判断基準	監視計器																																																
(d) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	<table border="1"> <tr> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位 (広域) ・ 蒸気発生器水位 (狭域) ・ 補助給水流量 </td> </tr> </table> <p>操作 「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)c.「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</p>	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) 	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位 (広域) ・ 蒸気発生器水位 (狭域) ・ 補助給水流量 																																												
原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) 																																																
最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位 (広域) ・ 蒸気発生器水位 (狭域) ・ 補助給水流量 																																																
(e) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	<table border="1"> <tr> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位 (広域) ・ 蒸気発生器水位 (狭域) ・ 補助給水流量 </td> </tr> </table> <p>操作 「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)d.「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</p>	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) 	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位 (広域) ・ 蒸気発生器水位 (狭域) ・ 補助給水流量 																																												
原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) 																																																
最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位 (広域) ・ 蒸気発生器水位 (狭域) ・ 補助給水流量 																																																
(f) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	<table border="1"> <tr> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位 (広域) ・ 蒸気発生器水位 (狭域) ・ 補助給水流量 </td> </tr> </table> <p>操作 「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)e.「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</p>	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) 	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位 (広域) ・ 蒸気発生器水位 (狭域) ・ 補助給水流量 																																												
原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) 																																																
最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位 (広域) ・ 蒸気発生器水位 (狭域) ・ 補助給水流量 																																																

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																												
<p>1.4.2.3 運転停止中の場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 E 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">原子炉圧力容器内の温度</td> <td rowspan="2">・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計</td> <td rowspan="2">-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td rowspan="2">・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内への注水量</td> <td rowspan="2">・余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">最終ヒートシンクの確保</td> <td>・蒸気発生器水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>・蒸気発生器水位計（狭域）</td> </tr> <tr> <td>・蒸気発生器補助給水流量計 ・蒸気発生器主給水流量計（CRT） ・蒸気発生器水振り流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>—：通常の運転操作により対応する手順については、監視計器を記載しない。</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計	-	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内への注水量	・余熱除去流量計	最終ヒートシンクの確保	・蒸気発生器水位計（広域）	・蒸気発生器水位計（狭域）	・蒸気発生器補助給水流量計 ・蒸気発生器主給水流量計（CRT） ・蒸気発生器水振り流量計（CRT）	水源の確保	・余熱除去ポンプ吐出圧力計	操作	-	-	<p>1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合 (1) フロントライン系故障時の対応手順 E 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（蒸気放出）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">原子炉圧力容器内の温度</td> <td rowspan="2">・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計</td> <td rowspan="2">-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td rowspan="2">・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内への注水量</td> <td rowspan="2">・主蒸気圧力計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">最終ヒートシンクの確保</td> <td>・蒸気発生器水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>・蒸気発生器水位計（狭域）</td> </tr> <tr> <td>・蒸気発生器補助給水流量計 ・蒸気発生器主給水流量計（CRT） ・蒸気発生器水振り流量計（CRT） ・復水器真空度計（広域）</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・4-3（4）C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>—：通常の運転操作により対応する手順については、監視計器を記載しない。</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計	-	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内への注水量	・主蒸気圧力計	最終ヒートシンクの確保	・蒸気発生器水位計（広域）	・蒸気発生器水位計（狭域）	・蒸気発生器補助給水流量計 ・蒸気発生器主給水流量計（CRT） ・蒸気発生器水振り流量計（CRT） ・復水器真空度計（広域）	電源	・4-3（4）C1、C2、D1、D2母線電圧計	操作	-	-	<p>監視計器一覧（41/61）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合 (1) フロントライン系故障時の対応手順 E 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（蒸気放出）</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">原子炉圧力容器内の温度</td> <td rowspan="2">・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計</td> <td rowspan="2">-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td rowspan="2">・1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内への注水量</td> <td rowspan="2">・低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">最終ヒートシンクの確保</td> <td>・蒸気発生器水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>・蒸気発生器水位（狭域）</td> </tr> <tr> <td>・補助給水流量 ・主給水ライン流量 ・蒸気発生器水振り流量</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・余熱除去ポンプ出口圧力 ・余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合 (1) フロントライン系故障時の対応手順 E 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（蒸気放出）			原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計	-	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内への注水量	・低圧注入流量	最終ヒートシンクの確保	・蒸気発生器水位（広域）	・蒸気発生器水位（狭域）	・補助給水流量 ・主給水ライン流量 ・蒸気発生器水振り流量	補機監視機能	・余熱除去ポンプ出口圧力 ・余熱除去ポンプ電流	操作	-	-	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																													
原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計	-																																																													
			原子炉圧力容器内の圧力		・1次冷却材圧力計																																																										
	原子炉圧力容器内への注水量	・余熱除去流量計																																																													
			最終ヒートシンクの確保	・蒸気発生器水位計（広域）																																																											
・蒸気発生器水位計（狭域）																																																															
・蒸気発生器補助給水流量計 ・蒸気発生器主給水流量計（CRT） ・蒸気発生器水振り流量計（CRT）																																																															
水源の確保	・余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																														
操作	-	-																																																													
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																													
原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計	-																																																													
			原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																											
	原子炉圧力容器内への注水量	・主蒸気圧力計																																																													
			最終ヒートシンクの確保	・蒸気発生器水位計（広域）																																																											
・蒸気発生器水位計（狭域）																																																															
・蒸気発生器補助給水流量計 ・蒸気発生器主給水流量計（CRT） ・蒸気発生器水振り流量計（CRT） ・復水器真空度計（広域）																																																															
電源	・4-3（4）C1、C2、D1、D2母線電圧計																																																														
操作	-	-																																																													
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																													
1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合 (1) フロントライン系故障時の対応手順 E 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（蒸気放出）																																																															
原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計	-																																																													
			原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）																																																											
	原子炉圧力容器内への注水量	・低圧注入流量																																																													
			最終ヒートシンクの確保	・蒸気発生器水位（広域）																																																											
・蒸気発生器水位（狭域）																																																															
・補助給水流量 ・主給水ライン流量 ・蒸気発生器水振り流量																																																															
補機監視機能	・余熱除去ポンプ出口圧力 ・余熱除去ポンプ電流																																																														
操作	-	-																																																													
<p>監視計器一覧（35/48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 F 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">原子炉圧力容器内の温度</td> <td rowspan="2">・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計</td> <td rowspan="2">-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td rowspan="2">・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">最終ヒートシンクの確保</td> <td>・主蒸気圧力計</td> </tr> <tr> <td>・蒸気発生器水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>・蒸気発生器水位計（狭域） ・蒸気発生器補助給水流量計 ・蒸気発生器主給水流量計（CRT） ・蒸気発生器水振り流量計（CRT） ・復水器真空度計（広域）</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・4-3（4）C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>—：通常の運転操作により対応する手順については、監視計器を記載しない。</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 F 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）			原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計	-	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	最終ヒートシンクの確保	・主蒸気圧力計	・蒸気発生器水位計（広域）	・蒸気発生器水位計（狭域） ・蒸気発生器補助給水流量計 ・蒸気発生器主給水流量計（CRT） ・蒸気発生器水振り流量計（CRT） ・復水器真空度計（広域）	電源	・4-3（4）C1、C2、D1、D2母線電圧計	操作	-	-	<p>1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合 (1) フロントライン系機能喪失時の対応手順 F タービンバイパス弁による蒸気放出</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">原子炉圧力容器内の温度</td> <td rowspan="2">・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計</td> <td rowspan="2">-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td rowspan="2">・1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">最終ヒートシンクの確保</td> <td>・主蒸気ライン圧力</td> </tr> <tr> <td>・蒸気発生器水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>・蒸気発生器水位（狭域） ・補助給水流量 ・主給水ライン流量 ・蒸気発生器水振り流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電源</td> <td>・復水器真空（広域） ・高幹線1L、2L電圧</td> </tr> <tr> <td>・低幹線1L、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧 ・6-C1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>—：通常の運転操作により対応する手順については、監視計器を記載しない。</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計	-	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）	最終ヒートシンクの確保	・主蒸気ライン圧力	・蒸気発生器水位（広域）	・蒸気発生器水位（狭域） ・補助給水流量 ・主給水ライン流量 ・蒸気発生器水振り流量	電源	・復水器真空（広域） ・高幹線1L、2L電圧	・低幹線1L、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧 ・6-C1、C2、D母線電圧	操作	-	-	<p>監視計器一覧（41/61）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合 (1) フロントライン系故障時の対応手順 F タービンバイパス弁による蒸気放出</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">原子炉圧力容器内の温度</td> <td rowspan="2">・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計</td> <td rowspan="2">-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td rowspan="2">・1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">最終ヒートシンクの確保</td> <td>・主蒸気ライン圧力</td> </tr> <tr> <td>・蒸気発生器水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>・蒸気発生器水位（狭域） ・補助給水流量 ・主給水ライン流量 ・蒸気発生器水振り流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電源</td> <td>・復水器真空（広域） ・高幹線1L、2L電圧</td> </tr> <tr> <td>・低幹線1L、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧 ・6-C1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>—：通常の運転操作により対応する手順については、監視計器を記載しない。</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合 (1) フロントライン系故障時の対応手順 F タービンバイパス弁による蒸気放出			原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計	-	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）	最終ヒートシンクの確保	・主蒸気ライン圧力	・蒸気発生器水位（広域）	・蒸気発生器水位（狭域） ・補助給水流量 ・主給水ライン流量 ・蒸気発生器水振り流量	電源	・復水器真空（広域） ・高幹線1L、2L電圧	・低幹線1L、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧 ・6-C1、C2、D母線電圧	操作	-	-		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																													
1.4.2.3 運転停止中の場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 F 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）																																																															
原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計	-																																																													
			原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																											
	最終ヒートシンクの確保	・主蒸気圧力計																																																													
		・蒸気発生器水位計（広域）																																																													
・蒸気発生器水位計（狭域） ・蒸気発生器補助給水流量計 ・蒸気発生器主給水流量計（CRT） ・蒸気発生器水振り流量計（CRT） ・復水器真空度計（広域）																																																															
電源	・4-3（4）C1、C2、D1、D2母線電圧計																																																														
操作	-	-																																																													
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																													
原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計	-																																																													
			原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）																																																											
	最終ヒートシンクの確保	・主蒸気ライン圧力																																																													
		・蒸気発生器水位（広域）																																																													
・蒸気発生器水位（狭域） ・補助給水流量 ・主給水ライン流量 ・蒸気発生器水振り流量																																																															
電源	・復水器真空（広域） ・高幹線1L、2L電圧																																																														
	・低幹線1L、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧 ・6-C1、C2、D母線電圧																																																														
操作	-	-																																																													
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																													
1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合 (1) フロントライン系故障時の対応手順 F タービンバイパス弁による蒸気放出																																																															
原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計	-																																																													
			原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）																																																											
	最終ヒートシンクの確保	・主蒸気ライン圧力																																																													
		・蒸気発生器水位（広域）																																																													
・蒸気発生器水位（狭域） ・補助給水流量 ・主給水ライン流量 ・蒸気発生器水振り流量																																																															
電源	・復水器真空（広域） ・高幹線1L、2L電圧																																																														
	・低幹線1L、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧 ・6-C1、C2、D母線電圧																																																														
操作	-	-																																																													

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																								
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="5" style="width: 15%; text-align: center; vertical-align: middle;">g. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード</td> <td rowspan="5" style="width: 5%; text-align: center; vertical-align: middle;">判断基準</td> <td style="width: 20%;">原子炉圧力容器内の蒸気</td> <td style="width: 20%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計 </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力計 </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 余熱除去流量計 </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器水位計（狭域） </td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計 </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">操作</td> <td colspan="2"> 「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち 1.5.2.1(3)a.「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。 </td> </tr> </table>	g. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード	判断基準	原子炉圧力容器内の蒸気	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計 	原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力計 	原子炉圧力容器内への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 余熱除去流量計 	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器水位計（狭域） 	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計 	操作		「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち 1.5.2.1(3)a.「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。			<p>監視計器一覧（42/61）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 20%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 50%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン運転時の対応手段</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="vertical-align: top;">g. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却</td> <td rowspan="5" style="text-align: center; vertical-align: middle;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度 </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力（広域） </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 低圧注入流量 </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補機給水流量 </td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流 </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">操作</td> <td> 「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)a.「可搬型大型注水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。 </td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合			(1) フロントライン運転時の対応手段			g. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度 	原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力（広域） 	原子炉圧力容器内への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 低圧注入流量 	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補機給水流量 	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流 	操作		「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)a.「可搬型大型注水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。	
g. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード			判断基準	原子炉圧力容器内の蒸気	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計 																																						
				原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力計 																																						
				原子炉圧力容器内への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 余熱除去流量計 																																						
				最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器水位計（狭域） 																																						
	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計 																																									
操作		「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち 1.5.2.1(3)a.「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。																																									
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																									
1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合																																											
(1) フロントライン運転時の対応手段																																											
g. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度 																																								
		原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力（広域） 																																								
		原子炉圧力容器内への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 低圧注入流量 																																								
		最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補機給水流量 																																								
		補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流 																																								
操作		「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)a.「可搬型大型注水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。																																									

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																								
<p>監視計器一覧 (36/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) 燃料取替用水ピットからの重力注水による代替炉心注水</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度 ・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力 ・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位 ・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">電源</td> <td>原子炉圧力容器内への注水量 ・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保 ・ 燃料取替用水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td>電圧 ・ 4-3 (4) A, B, C1, C2, D1, D2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT) ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT) ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の温度 ・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力 ・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量 ・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保 ・ 燃料取替用水ピット水位計</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水			(a) 燃料取替用水ピットからの重力注水による代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度 ・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力 ・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位 ・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)	電源	原子炉圧力容器内への注水量 ・ 余熱除去流量計	水源の確保 ・ 燃料取替用水ピット水位計	電圧 ・ 4-3 (4) A, B, C1, C2, D1, D2母線電圧計	補機監視機能 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT) ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT) ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計	操作	原子炉圧力容器内の温度 ・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力 ・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)	原子炉圧力容器内への注水量 ・ 余熱除去流量計	水源の確保 ・ 燃料取替用水ピット水位計		<p>監視計器一覧 (43/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力 ・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位 ・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">電源</td> <td>原子炉圧力容器内への注水量 ・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>電圧 ・ 消熱機 1L, 2L電圧 ・ 後夜新機 1L, 2L電圧 ・ 甲母線電圧, 乙母線電圧 ・ 6-A, B, C1, C2, D母線電圧</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用) ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用) ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力 ・ 燃料取替用水ピット水位</td> </tr> <tr> <td>水源の確保 ・ 補給給水ピット水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(1) b, (b) 「代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替炉心注水			(a) 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力 ・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉圧力容器内の水位 ・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位	電源	原子炉圧力容器内への注水量 ・ 低圧注入流量	電圧 ・ 消熱機 1L, 2L電圧 ・ 後夜新機 1L, 2L電圧 ・ 甲母線電圧, 乙母線電圧 ・ 6-A, B, C1, C2, D母線電圧	補機監視機能 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用) ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用) ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力 ・ 燃料取替用水ピット水位	水源の確保 ・ 補給給水ピット水位	操作	1.4.2.1(1) b, (b) 「代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																									
1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水																																											
(a) 燃料取替用水ピットからの重力注水による代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度 ・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																									
		原子炉圧力容器内の圧力 ・ 1次冷却材圧力計																																									
		原子炉圧力容器内の水位 ・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)																																									
	電源	原子炉圧力容器内への注水量 ・ 余熱除去流量計																																									
		水源の確保 ・ 燃料取替用水ピット水位計																																									
		電圧 ・ 4-3 (4) A, B, C1, C2, D1, D2母線電圧計																																									
		補機監視機能 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT) ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT) ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計																																									
	操作	原子炉圧力容器内の温度 ・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																									
		原子炉圧力容器内の圧力 ・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)																																									
		原子炉圧力容器内への注水量 ・ 余熱除去流量計																																									
水源の確保 ・ 燃料取替用水ピット水位計																																											
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																									
1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替炉心注水																																											
(a) 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																									
		原子炉圧力容器内の圧力 ・ 1次冷却材圧力 (広域)																																									
		原子炉圧力容器内の水位 ・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位																																									
	電源	原子炉圧力容器内への注水量 ・ 低圧注入流量																																									
		電圧 ・ 消熱機 1L, 2L電圧 ・ 後夜新機 1L, 2L電圧 ・ 甲母線電圧, 乙母線電圧 ・ 6-A, B, C1, C2, D母線電圧																																									
		補機監視機能 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用) ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用) ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力 ・ 燃料取替用水ピット水位																																									
		水源の確保 ・ 補給給水ピット水位																																									
	操作	1.4.2.1(1) b, (b) 「代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																									
		<p>監視計器一覧 (37/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(b) 蓄圧タンクによる代替炉心注水</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度 ・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力 ・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT) ・ 蓄圧タンク水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">電源</td> <td>原子炉圧力容器内への注水量 ・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>電圧 ・ 4-3 (4) A, B, C1, C2, D1, D2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT) ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td colspan="2">1.4.2.3(1) a, (e)と同様。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水			(b) 蓄圧タンクによる代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度 ・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力 ・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT) ・ 蓄圧タンク水位計 (CRT)	電源	原子炉圧力容器内への注水量 ・ 余熱除去流量計	電圧 ・ 4-3 (4) A, B, C1, C2, D1, D2母線電圧計	補機監視機能 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT) ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)	操作	1.4.2.3(1) a, (e)と同様。			<p>監視計器一覧 (44/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(b) 燃料取替用水ピットからの重力注水による原子炉容器への注水</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力 ・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位 ・ 1次冷却系統ループ水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">電源</td> <td>原子炉圧力容器内への注水量 ・ 燃料取替用水ピット水位</td> </tr> <tr> <td>電圧 ・ 4-3 (4) A, B, C1, C2, D1, D2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT) ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td colspan="2">1.4.2.3(1) b, (a) 「燃料取替用水ピットからの重力注水による原子炉容器への注水」操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替炉心注水			(b) 燃料取替用水ピットからの重力注水による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力 ・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉圧力容器内の水位 ・ 1次冷却系統ループ水位	電源	原子炉圧力容器内への注水量 ・ 燃料取替用水ピット水位	電圧 ・ 4-3 (4) A, B, C1, C2, D1, D2母線電圧計	補機監視機能 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT) ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)	操作	1.4.2.3(1) b, (a) 「燃料取替用水ピットからの重力注水による原子炉容器への注水」操作手順と同様である。		<p>【大阪】 設備の相違 (相違理由⑨)</p>		
	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																								
1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水																																											
(b) 蓄圧タンクによる代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度 ・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																									
		原子炉圧力容器内の圧力 ・ 1次冷却材圧力計																																									
		原子炉圧力容器内の水位 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT) ・ 蓄圧タンク水位計 (CRT)																																									
	電源	原子炉圧力容器内への注水量 ・ 余熱除去流量計																																									
		電圧 ・ 4-3 (4) A, B, C1, C2, D1, D2母線電圧計																																									
		補機監視機能 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT) ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)																																									
		操作	1.4.2.3(1) a, (e)と同様。																																								
	対応手段		重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																							
	1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替炉心注水																																										
	(b) 燃料取替用水ピットからの重力注水による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																								
原子炉圧力容器内の圧力 ・ 1次冷却材圧力 (広域)																																											
原子炉圧力容器内の水位 ・ 1次冷却系統ループ水位																																											
電源		原子炉圧力容器内への注水量 ・ 燃料取替用水ピット水位																																									
		電圧 ・ 4-3 (4) A, B, C1, C2, D1, D2母線電圧計																																									
		補機監視機能 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT) ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)																																									
		操作	1.4.2.3(1) b, (a) 「燃料取替用水ピットからの重力注水による原子炉容器への注水」操作手順と同様である。																																								

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																		
<table border="1" data-bbox="116 603 696 975"> <tr> <td rowspan="7" style="vertical-align: middle;">(d) A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による代替炉心注水</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計 </td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材圧力計 </td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・加圧器水位計 ・1次冷却系統水位計（CRT） </td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">補機監視機能</td> <td>原子炉压力容器内への注水量</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・A余熱除去流量計 ・恒設代替低圧注水積算流量計 </td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・燃料取替用水ピット水位計 </td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(2)a.(b)と同様。</td> </tr> </table>	(d) A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による代替炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計 	原子炉压力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材圧力計 	原子炉压力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・加圧器水位計 ・1次冷却系統水位計（CRT） 	補機監視機能	原子炉压力容器内への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・A余熱除去流量計 ・恒設代替低圧注水積算流量計 	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・燃料取替用水ピット水位計 	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） 	操作	1.4.2.1(2)a.(b)と同様。			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">大飯3/4号炉との比較対象なし</div>	<p>【大飯】 設備の相違 （相違理由⑧）</p>
(d) A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による代替炉心注水			判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計 																
				原子炉压力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材圧力計 																
		原子炉压力容器内の水位		<ul style="list-style-type: none"> ・加圧器水位計 ・1次冷却系統水位計（CRT） 																	
		補機監視機能	原子炉压力容器内への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・A余熱除去流量計 ・恒設代替低圧注水積算流量計 																	
			水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・燃料取替用水ピット水位計 																	
			補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） 																	
	操作	1.4.2.1(2)a.(b)と同様。																			

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由												
<p>監視計器一覧（38 / 48）</p> <table border="1" data-bbox="114 544 701 1091"> <thead> <tr> <th data-bbox="114 544 353 592">対応手段</th> <th data-bbox="353 544 477 592">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th data-bbox="477 544 701 592">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="114 592 353 639">1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水</td> <td data-bbox="353 592 477 639"></td> <td data-bbox="477 592 701 639"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="114 639 353 1043">(e) 恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水</td> <td data-bbox="353 639 477 1043"> 判断基準 原子炉圧力容器内への注水量 水源の確保 原子炉圧力容器内の温度 原子炉圧力容器内の圧力 原子炉圧力容器内の水位 電源 補機監視機能 </td> <td data-bbox="477 639 701 1043"> ・余熱除去流量計 ・燃料取替用水ビット水位計 ・復水ビット水位計 ・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計 ・1次冷却材圧力計 ・加圧器水位計 ・1次冷却系統水位計（CRT） ・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計 ・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） </td> </tr> <tr> <td data-bbox="114 1043 353 1091">操作</td> <td data-bbox="353 1043 477 1091">1.4.2.1(d)(b)と同様。</td> <td data-bbox="477 1043 701 1091"></td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水			(e) 恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水	判断基準 原子炉圧力容器内への注水量 水源の確保 原子炉圧力容器内の温度 原子炉圧力容器内の圧力 原子炉圧力容器内の水位 電源 補機監視機能	・余熱除去流量計 ・燃料取替用水ビット水位計 ・復水ビット水位計 ・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計 ・1次冷却材圧力計 ・加圧器水位計 ・1次冷却系統水位計（CRT） ・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計 ・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）	操作	1.4.2.1(d)(b)と同様。				
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器													
1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水															
(e) 恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水	判断基準 原子炉圧力容器内への注水量 水源の確保 原子炉圧力容器内の温度 原子炉圧力容器内の圧力 原子炉圧力容器内の水位 電源 補機監視機能	・余熱除去流量計 ・燃料取替用水ビット水位計 ・復水ビット水位計 ・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計 ・1次冷却材圧力計 ・加圧器水位計 ・1次冷却系統水位計（CRT） ・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計 ・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）													
操作	1.4.2.1(d)(b)と同様。														

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉			女川原子力発電所 2号炉			泊発電所 3号炉			相違理由	
監視計器一覧 (39/48)						監視計器一覧 (45/61)				
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器				対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器		
1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水						1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替炉心注水				
(c) B充てんポンプ（自己冷却）による代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計			(c) B-充てんポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度	
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計					原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）	
		原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計 ・1次冷却系統水位計（CRT）					原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位 ・1次冷却系統ループ水位	
		原子炉圧力容器内への注水量	・A余熱除去流量計 ・恒設代替低圧注水種差流量計					原子炉圧力容器内への注水量	・代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・燃料取扱用水ビット水位	
		水源の確保	・燃料取扱用水ビット水位計					水源の確保	・燃料取扱用水ビット水位	
		電源	・4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計					電源	1.4.2.1(2) a、(b)「B-充てんポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。	
		補機監視機能	・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）					補機監視機能	・原子炉圧力容器内の温度 ・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度 ・原子炉圧力容器内の圧力 ・1次冷却材圧力（広域） ・加圧器水位 ・1次冷却系統ループ水位 ・充てん流量 ・消音機1L、2L電圧 ・機心管線1L、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧 ・6-A、B、C1、C2、D母線電圧	
操作	1.4.2.1(2)a.(c)と同様。			操作	1.4.2.1(2) a、(c)「B-格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHS-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。					
監視計器一覧 (40/48)						監視計器一覧 (40/48)				
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器				対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器		
1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水						1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水				
(d) A格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHS-CSS連絡ライン使用）による代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計			(d) B-格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHS-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度	
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計					原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）	
		原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計 ・1次冷却系統水位計（CRT）					原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位 ・1次冷却系統ループ水位	
		原子炉圧力容器内への注水量	・充てん流量計					原子炉圧力容器内への注水量	・充てん流量	
		水源の確保	・燃料取扱用水ビット水位計					水源の確保	・燃料取扱用水ビット水位	
		電源	・4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計					電源	1.4.2.1(2) a、(c)「B-格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHS-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。	
		補機監視機能	・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）					補機監視機能	・原子炉補機冷却水供給母管流量（M用） ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却器海水流量 ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却器海水流量（M用） ・充てんライン圧力	
操作	1.4.2.1(2)a.(d)と同様。			操作	1.4.2.1(2) a、(c)「B-格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHS-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。					

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																																																
<p>監視計器一覧 (41/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(g) ディーゼル消火ポンプ又は電動消火ポンプによる代替炉心注水</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ A余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ No. 2淡水タンク水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電源</td> <td></td> <td>・ 4-3 (4) A, B, C1, C2, D1, D2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT) ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(1)b.(g)と同様。</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(h) 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ A余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 4-3 (4) A, B, C1, C2, D1, D2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td></td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT) ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(1)b.(d)と同様。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			a. 代替炉心注水			(g) ディーゼル消火ポンプ又は電動消火ポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)	原子炉圧力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計	水源の確保	・ No. 2淡水タンク水位計 (CRT)	電源		・ 4-3 (4) A, B, C1, C2, D1, D2母線電圧計	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT) ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)	操作	1.4.2.1(1)b.(g)と同様。		(h) 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)	原子炉圧力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計	電源	・ 4-3 (4) A, B, C1, C2, D1, D2母線電圧計	補機監視機能		・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT) ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)	操作	1.4.2.1(1)b.(d)と同様。		<p>女川原子力発電所 2号炉</p>	<p>監視計器一覧 (46/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(e) ディーゼル駆動消火ポンプ又は電動駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 運転線 1L, 2L電圧 ・ 後志線 1L, 2L電圧 ・ 甲母線電圧, 乙母線電圧 ・ 6-A, B, C1, C2, D母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td></td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用) ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ ろ過水タンク水位</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(1)b.(e)「電動駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table> <p>監視計器一覧 (47/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(f) 海水を用いた可搬式大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 運転線 1L, 2L電圧 ・ 後志線 1L, 2L電圧 ・ 甲母線電圧, 乙母線電圧 ・ 6-A, B, C1, C2, D母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td></td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用) ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(1)b.(d)「海水を用いた可搬式大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合			(2) サポート系故障時の対応手順			a. 代替炉心注水			(e) ディーゼル駆動消火ポンプ又は電動駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位	原子炉圧力容器内への注水量	・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)	電源	・ 運転線 1L, 2L電圧 ・ 後志線 1L, 2L電圧 ・ 甲母線電圧, 乙母線電圧 ・ 6-A, B, C1, C2, D母線電圧	補機監視機能		・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用) ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)	水源の確保	・ ろ過水タンク水位	操作	1.4.2.1(1)b.(e)「電動駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。		対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合			(2) サポート系故障時の対応手順			a. 代替炉心注水			(f) 海水を用いた可搬式大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位	原子炉圧力容器内への注水量	・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)	電源	・ 運転線 1L, 2L電圧 ・ 後志線 1L, 2L電圧 ・ 甲母線電圧, 乙母線電圧 ・ 6-A, B, C1, C2, D母線電圧	補機監視機能		・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用) ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)	操作	1.4.2.1(1)b.(d)「海水を用いた可搬式大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																	
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																																																																																			
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																																																																																			
a. 代替炉心注水																																																																																																																			
(g) ディーゼル消火ポンプ又は電動消火ポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																																																
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)																																																																																																																
		原子炉圧力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計																																																																																																																
		水源の確保	・ No. 2淡水タンク水位計 (CRT)																																																																																																																
	電源		・ 4-3 (4) A, B, C1, C2, D1, D2母線電圧計																																																																																																																
		補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT) ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)																																																																																																																
	操作	1.4.2.1(1)b.(g)と同様。																																																																																																																	
	(h) 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																																															
			原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																															
原子炉圧力容器内の水位			・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)																																																																																																																
原子炉圧力容器内への注水量			・ A余熱除去流量計																																																																																																																
電源			・ 4-3 (4) A, B, C1, C2, D1, D2母線電圧計																																																																																																																
補機監視機能			・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT) ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)																																																																																																																
		操作	1.4.2.1(1)b.(d)と同様。																																																																																																																
対応手段		重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																
1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合																																																																																																																			
(2) サポート系故障時の対応手順																																																																																																																			
a. 代替炉心注水																																																																																																																			
(e) ディーゼル駆動消火ポンプ又は電動駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																																																
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																																
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位																																																																																																																
		原子炉圧力容器内への注水量	・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)																																																																																																																
		電源	・ 運転線 1L, 2L電圧 ・ 後志線 1L, 2L電圧 ・ 甲母線電圧, 乙母線電圧 ・ 6-A, B, C1, C2, D母線電圧																																																																																																																
	補機監視機能		・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用) ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)																																																																																																																
		水源の確保	・ ろ過水タンク水位																																																																																																																
	操作	1.4.2.1(1)b.(e)「電動駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																																																																																																	
	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																
	1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合																																																																																																																		
(2) サポート系故障時の対応手順																																																																																																																			
a. 代替炉心注水																																																																																																																			
(f) 海水を用いた可搬式大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																																																
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																																
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位																																																																																																																
		原子炉圧力容器内への注水量	・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)																																																																																																																
		電源	・ 運転線 1L, 2L電圧 ・ 後志線 1L, 2L電圧 ・ 甲母線電圧, 乙母線電圧 ・ 6-A, B, C1, C2, D母線電圧																																																																																																																
	補機監視機能		・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用) ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)																																																																																																																
		操作	1.4.2.1(1)b.(d)「海水を用いた可搬式大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																																																																																																

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																											
<p>監視計器一覧（42/48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 b. 代替再循環運転 (a) 運転停止中において全交流動力電源喪失が発生した場合</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="6">i. B高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材低温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却系統水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電源</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機冷却</td> <td>・ B高圧注入ポンプ電動機冷却水流量計</td> </tr> <tr> <td>・ B高圧注入ポンプ冷却水流量計</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>1.4.2.1(2)b.(a)Eと同様。</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 b. 代替再循環運転 (a) 運転停止中において全交流動力電源喪失が発生した場合			i. B高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域）	・ 1次冷却材低温側温度計（広域）	原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度計	・ 1次冷却材圧力計	原子炉格納容器内の水位	・ 加圧器水位計	・ 1次冷却系統水位計（CRT）	電源	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）	・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計	補機冷却	・ B高圧注入ポンプ電動機冷却水流量計	・ B高圧注入ポンプ冷却水流量計	操作	1.4.2.1(2)b.(a)Eと同様。			<p>監視計器一覧（49/61）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合 (2) サポート系故障時の対応手順 b. 代替再循環運転 (a) 発電用原子炉停止中において全交流動力電源喪失が発生した場合</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="10">1. 可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側）</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材温度（広域-低温側）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却系統ループ水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ A-格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>・ 泊幹線1L、2L電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電源</td> <td>・ 後志幹線1L、2L電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 甲母線電圧、乙母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機冷却</td> <td>・ B-A、B、C1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td>・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td>・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量</td> </tr> <tr> <td>・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1.4.2.1(2)b.(a)1.「可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>可搬型大型送水ポンプ車による冷却水通水については、「1.5最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)a.「可搬型大型送水ポンプ車によるA-高圧注入ポンプへの補機冷却水（海水）通水」の操作手順と同様である。</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合 (2) サポート系故障時の対応手順 b. 代替再循環運転 (a) 発電用原子炉停止中において全交流動力電源喪失が発生した場合			1. 可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側）	・ 1次冷却材温度（広域-低温側）	原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	・ 1次冷却系統ループ水位	原子炉格納容器内の水位	・ A-格納容器再循環サンプ水位（広域）	・ 泊幹線1L、2L電圧	電源	・ 後志幹線1L、2L電圧	・ 甲母線電圧、乙母線電圧	補機冷却	・ B-A、B、C1、C2、D母線電圧	・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（AM用）	操作	・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量	・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量（AM用）		1.4.2.1(2)b.(a)1.「可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。			可搬型大型送水ポンプ車による冷却水通水については、「1.5最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)a.「可搬型大型送水ポンプ車によるA-高圧注入ポンプへの補機冷却水（海水）通水」の操作手順と同様である。		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																												
1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 b. 代替再循環運転 (a) 運転停止中において全交流動力電源喪失が発生した場合																																																														
i. B高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域）																																																												
		・ 1次冷却材低温側温度計（広域）																																																												
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度計																																																												
		・ 1次冷却材圧力計																																																												
	原子炉格納容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																												
		・ 1次冷却系統水位計（CRT）																																																												
電源	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																													
	・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計																																																													
補機冷却	・ B高圧注入ポンプ電動機冷却水流量計																																																													
	・ B高圧注入ポンプ冷却水流量計																																																													
操作	1.4.2.1(2)b.(a)Eと同様。																																																													
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																												
1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合 (2) サポート系故障時の対応手順 b. 代替再循環運転 (a) 発電用原子炉停止中において全交流動力電源喪失が発生した場合																																																														
1. 可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側）																																																												
		・ 1次冷却材温度（広域-低温側）																																																												
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度																																																												
		・ 1次冷却材圧力（広域）																																																												
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																												
		・ 1次冷却系統ループ水位																																																												
	原子炉格納容器内の水位	・ A-格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																												
		・ 泊幹線1L、2L電圧																																																												
	電源	・ 後志幹線1L、2L電圧																																																												
		・ 甲母線電圧、乙母線電圧																																																												
補機冷却	・ B-A、B、C1、C2、D母線電圧																																																													
	・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（AM用）																																																													
操作	・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量																																																													
	・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量（AM用）																																																													
	1.4.2.1(2)b.(a)1.「可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。																																																													
	可搬型大型送水ポンプ車による冷却水通水については、「1.5最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)a.「可搬型大型送水ポンプ車によるA-高圧注入ポンプへの補機冷却水（海水）通水」の操作手順と同様である。																																																													

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																		
<p>監視計器一覧（43/48）</p> <table border="1" data-bbox="114 507 703 1094"> <thead> <tr> <th data-bbox="114 507 353 579">対応手段</th> <th data-bbox="353 507 479 579">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th data-bbox="479 507 703 579">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" data-bbox="114 579 703 603">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="114 603 703 627">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="114 627 703 651">b. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="114 651 703 675">(b) 運転停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合</td> </tr> <tr> <td data-bbox="114 675 320 1094" rowspan="6"> ① A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による低圧代替再循環運転 </td> <td data-bbox="320 675 479 738" rowspan="2"> 原子炉圧力容器内の霧度 </td> <td data-bbox="479 675 703 707">・1次冷却材高温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="479 707 703 738">・1次冷却材低温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="320 738 479 778"> 原子炉圧力容器内の圧力 </td> <td data-bbox="479 738 703 778">・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="320 778 479 818"> 原子炉圧力容器内の水位 </td> <td data-bbox="479 778 703 818">・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="320 818 479 882"> 原子炉格納容器内の水位 </td> <td data-bbox="479 818 703 882">・1次冷却系統水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="320 882 479 978"> 補機監視機能 </td> <td data-bbox="479 882 703 914">・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="320 978 479 1010"> 補機冷却 </td> <td data-bbox="479 978 703 1010">・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="320 1010 479 1042"> 補機冷却 </td> <td data-bbox="479 1010 703 1042">・A余熱除去ポンプ電動機冷却水流量計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="320 1042 479 1094"> 操作 </td> <td data-bbox="479 1042 703 1094"> 1.4.2.1(2)b.(b)と同様。 </td> <td data-bbox="479 1042 703 1094"></td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			b. 代替再循環運転			(b) 運転停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合			① A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による低圧代替再循環運転	原子炉圧力容器内の霧度	・1次冷却材高温側温度計（広域）	・1次冷却材低温側温度計（広域）	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計	原子炉格納容器内の水位	・1次冷却系統水位計（CRT）	補機監視機能	・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）	補機冷却	・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）	補機冷却	・A余熱除去ポンプ電動機冷却水流量計	操作	1.4.2.1(2)b.(b)と同様。			<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 10px;">大飯3/4号炉との比較対象なし</p>	<p>【大飯】 設備の相違 （相違理由⑧）</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																			
1.4.2.3 運転停止中の場合																																					
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																					
b. 代替再循環運転																																					
(b) 運転停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合																																					
① A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による低圧代替再循環運転	原子炉圧力容器内の霧度	・1次冷却材高温側温度計（広域）																																			
		・1次冷却材低温側温度計（広域）																																			
	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																			
	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計																																			
	原子炉格納容器内の水位	・1次冷却系統水位計（CRT）																																			
	補機監視機能	・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）																																			
補機冷却	・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）																																				
補機冷却	・A余熱除去ポンプ電動機冷却水流量計																																				
操作	1.4.2.1(2)b.(b)と同様。																																				

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																								
<p>監視計器一覧 (44/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(b) 運転停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">注 B 高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転</td> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計 </td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 1次冷却系統水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ A 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">補機監視機能</td> <td>原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</td> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>A 余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> <td>・ A 余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機冷却</td> <td>B 高圧注入ポンプ電動機冷却水流量計</td> <td>・ B 高圧注入ポンプ電動機冷却水流量計</td> </tr> <tr> <td>B 高圧注入ポンプ冷却水流量計</td> <td>・ B 高圧注入ポンプ冷却水流量計</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(2)b.(a)と同等。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			b. 代替再循環運転			(b) 運転停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合			注 B 高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計 	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計	原子炉格納容器内の水位	・ 1次冷却系統水位計（CRT）	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）	原子炉压力容器内の注水量	・ A 余熱除去流量計	補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）	原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）	・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）	A 余熱除去ポンプ吐出圧力計	・ A 余熱除去ポンプ吐出圧力計	補機冷却	B 高圧注入ポンプ電動機冷却水流量計	・ B 高圧注入ポンプ電動機冷却水流量計	B 高圧注入ポンプ冷却水流量計	・ B 高圧注入ポンプ冷却水流量計	操作	1.4.2.1(2)b.(a)と同等。			<p>監視計器一覧 (50/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(b) 発電用原子炉停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">1. 可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転</td> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度 </td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 1次冷却系統ループ水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ A-格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">補機監視機能</td> <td>原子炉補機冷却水供給母管流量</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（船用）</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量</td> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（船用）</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量</td> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（船用）</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">補機冷却</td> <td>A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量</td> <td>・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（船用）</td> </tr> <tr> <td>A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量</td> <td>・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（船用）</td> </tr> <tr> <td>A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量</td> <td>・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量（船用）</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(2)b.(a)1、「可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。 可搬型大型送水ポンプ車による冷却水通水については、「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)a.「可搬型大型送水ポンプ車による A-高圧注入ポンプへの補機冷却水（海水）通水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合			(2) サポート系故障時の対応手順			b. 代替再循環運転			(b) 発電用原子炉停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合			1. 可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度 	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉格納容器内の水位	・ 1次冷却系統ループ水位	原子炉格納容器内の水位	・ A-格納容器再循環サンプ水位（広域）	補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（船用）	原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（船用）	原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（船用）	補機冷却	A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量	・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（船用）	A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量	・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（船用）	A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量	・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量（船用）	操作	1.4.2.1(2)b.(a)1、「可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。 可搬型大型送水ポンプ車による冷却水通水については、「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)a.「可搬型大型送水ポンプ車による A-高圧注入ポンプへの補機冷却水（海水）通水」の操作手順と同様である。		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																									
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																																																											
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																																																											
b. 代替再循環運転																																																																																											
(b) 運転停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合																																																																																											
注 B 高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計 																																																																																								
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																								
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																																								
		原子炉格納容器内の水位	・ 1次冷却系統水位計（CRT）																																																																																								
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																																								
		原子炉压力容器内の注水量	・ A 余熱除去流量計																																																																																								
		補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）																																																																																							
			原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）	・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）																																																																																							
			A 余熱除去ポンプ吐出圧力計	・ A 余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																																																							
		補機冷却	B 高圧注入ポンプ電動機冷却水流量計	・ B 高圧注入ポンプ電動機冷却水流量計																																																																																							
B 高圧注入ポンプ冷却水流量計	・ B 高圧注入ポンプ冷却水流量計																																																																																										
操作	1.4.2.1(2)b.(a)と同等。																																																																																										
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																									
1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合																																																																																											
(2) サポート系故障時の対応手順																																																																																											
b. 代替再循環運転																																																																																											
(b) 発電用原子炉停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合																																																																																											
1. 可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度 																																																																																								
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																																								
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																																								
		原子炉格納容器内の水位	・ 1次冷却系統ループ水位																																																																																								
		原子炉格納容器内の水位	・ A-格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																																								
		補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（船用）																																																																																							
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（船用）																																																																																							
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（船用）																																																																																							
		補機冷却	A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量	・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（船用）																																																																																							
			A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量	・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（船用）																																																																																							
A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量	・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量（船用）																																																																																										
操作	1.4.2.1(2)b.(a)1、「可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。 可搬型大型送水ポンプ車による冷却水通水については、「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)a.「可搬型大型送水ポンプ車による A-高圧注入ポンプへの補機冷却水（海水）通水」の操作手順と同様である。																																																																																										

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																														
<p>監視計器一覧 (45 / 48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 c. 蒸気発生器2次側からの除熱による炉心冷却 (注水)</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="3">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域)</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材低温側温度計 (広域)</td> </tr> <tr> <td>・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 復水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 4-3 (4) A, B, C1, C2, D1, D2 母線電圧計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">補機監視機能</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td>・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.3(a)と同様。</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 c. 蒸気発生器2次側からの除熱による炉心冷却 (注水)			(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域)	・ 1次冷却材低温側温度計 (広域)	・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計	水源の確保	・ 復水ビット水位計	電源	・ 4-3 (4) A, B, C1, C2, D1, D2 母線電圧計	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT)	・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計	操作	1.4.2.3(a)と同様。		<p>監視計器一覧 (51 / 61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合 (2) サポート系故障時の対応手順 c. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却 (注水)</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="3">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)</td> </tr> <tr> <td>・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 復水注入流量</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 補助給水ビット水位</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 油断線 1 L, 2 L 電圧 ・ 復志断線 1 L, 2 L 電圧 ・ 甲母線電圧, 乙母線電圧 ・ 6-A, B, C1, C2, D 母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">補機監視機能</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.3(1) a, (a)「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合 (2) サポート系故障時の対応手順 c. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却 (注水)			(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)	・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)	・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉圧力容器内への注水量	・ 復水注入流量	水源の確保	・ 補助給水ビット水位	電源	・ 油断線 1 L, 2 L 電圧 ・ 復志断線 1 L, 2 L 電圧 ・ 甲母線電圧, 乙母線電圧 ・ 6-A, B, C1, C2, D 母線電圧	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)	操作	1.4.2.3(1) a, (a)「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。		<p>監視計器一覧 (52 / 61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合 (2) サポート系故障時の対応手順 c. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却 (注水)</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(b) SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="3">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)</td> </tr> <tr> <td>・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 蒸気発生器水位 (狭域) ・ 蒸気発生器水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 補助給水流量</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 油断線 1 L, 2 L 電圧 ・ 復志断線 1 L, 2 L 電圧 ・ 甲母線電圧, 乙母線電圧 ・ 6-A, B, C1, C2, D 母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">補機監視機能</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) b, 「SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合 (2) サポート系故障時の対応手順 c. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却 (注水)			(b) SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)	・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)	・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位 (狭域) ・ 蒸気発生器水位 (広域)	水源の確保	・ 補助給水流量	電源	・ 油断線 1 L, 2 L 電圧 ・ 復志断線 1 L, 2 L 電圧 ・ 甲母線電圧, 乙母線電圧 ・ 6-A, B, C1, C2, D 母線電圧	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) b, 「SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。		<p>【大阪】 設備の相違 (相違理由④)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																															
1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 c. 蒸気発生器2次側からの除熱による炉心冷却 (注水)																																																																																	
(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域)																																																																															
		・ 1次冷却材低温側温度計 (広域)																																																																															
		・ 炉心出口温度計																																																																															
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																															
	原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計																																																																															
	水源の確保	・ 復水ビット水位計																																																																															
	電源	・ 4-3 (4) A, B, C1, C2, D1, D2 母線電圧計																																																																															
	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT)																																																																															
		・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)																																																																															
		・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																																															
操作	1.4.2.3(a)と同様。																																																																																
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																															
1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合 (2) サポート系故障時の対応手順 c. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却 (注水)																																																																																	
(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)																																																																															
		・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)																																																																															
		・ 炉心出口温度																																																																															
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																															
	原子炉圧力容器内への注水量	・ 復水注入流量																																																																															
	水源の確保	・ 補助給水ビット水位																																																																															
	電源	・ 油断線 1 L, 2 L 電圧 ・ 復志断線 1 L, 2 L 電圧 ・ 甲母線電圧, 乙母線電圧 ・ 6-A, B, C1, C2, D 母線電圧																																																																															
	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量																																																																															
		・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)																																																																															
		・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)																																																																															
操作	1.4.2.3(1) a, (a)「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																																																																
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																															
1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合 (2) サポート系故障時の対応手順 c. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却 (注水)																																																																																	
(b) SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)																																																																															
		・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)																																																																															
		・ 炉心出口温度																																																																															
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																															
	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位 (狭域) ・ 蒸気発生器水位 (広域)																																																																															
	水源の確保	・ 補助給水流量																																																																															
	電源	・ 油断線 1 L, 2 L 電圧 ・ 復志断線 1 L, 2 L 電圧 ・ 甲母線電圧, 乙母線電圧 ・ 6-A, B, C1, C2, D 母線電圧																																																																															
	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量																																																																															
		・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)																																																																															
		・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)																																																																															
操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) b, 「SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																																																																

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																												
<p>(b) 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水</p> <table border="1" data-bbox="107 359 705 813"> <tr> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">最終ヒートシンクの確保</td> <td>蒸気発生器水位計（狭域）</td> <td>・ 蒸気発生器水位計（狭域）</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器水位計（広域）</td> <td>・ 蒸気発生器水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td>蒸気発生器補助給水流量計</td> <td>・ 蒸気発生器補助給水流量計</td> </tr> <tr> <td>復水ピット水位計</td> <td>・ 復水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電源</td> <td>4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> <td>・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水」にて整備する。</td> </tr> </table> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	最終ヒートシンクの確保	蒸気発生器水位計（狭域）	・ 蒸気発生器水位計（狭域）	蒸気発生器水位計（広域）	・ 蒸気発生器水位計（広域）	水源の確保	蒸気発生器補助給水流量計	・ 蒸気発生器補助給水流量計	復水ピット水位計	・ 復水ピット水位計	電源	4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計	・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水」にて整備する。		<p>女川原子力発電所 2号炉</p>	<p>泊発電所 3号炉</p> <p>監視計器一覧 (53/61)</p> <table border="1" data-bbox="1388 494 1993 1117"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合 (2) サポート系放熱時の対応手順 c. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（注水）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(c) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td>判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） 最終ヒートシンクの確保 ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 補助給水流量</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)c.「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(d) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td>判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） 最終ヒートシンクの確保 ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 補助給水流量</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)d.「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(e) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td>判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） 最終ヒートシンクの確保 ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 補助給水流量</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)e.「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">【大飯】 設備の相違 (相違理由④)</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">【大飯】 設備の相違 (相違理由④)</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合 (2) サポート系放熱時の対応手順 c. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（注水）			(c) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） 最終ヒートシンクの確保 ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 補助給水流量	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)c.「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。	(d) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） 最終ヒートシンクの確保 ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 補助給水流量	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)d.「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。	(e) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） 最終ヒートシンクの確保 ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 補助給水流量	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)e.「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。	
判断基準		原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																												
	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																													
最終ヒートシンクの確保	蒸気発生器水位計（狭域）	・ 蒸気発生器水位計（狭域）																																													
	蒸気発生器水位計（広域）	・ 蒸気発生器水位計（広域）																																													
水源の確保	蒸気発生器補助給水流量計	・ 蒸気発生器補助給水流量計																																													
	復水ピット水位計	・ 復水ピット水位計																																													
電源	4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計	・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計																																													
	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）																																													
操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水」にて整備する。																																														
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																													
1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合 (2) サポート系放熱時の対応手順 c. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（注水）																																															
(c) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） 最終ヒートシンクの確保 ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 補助給水流量																																													
	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)c.「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																													
(d) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） 最終ヒートシンクの確保 ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 補助給水流量																																													
	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)d.「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																													
(e) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） 最終ヒートシンクの確保 ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 補助給水流量																																													
	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)e.「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																													

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																						
<p>監視計器一覧 (46/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="114 496 353 564">対応手段</th> <th data-bbox="353 496 477 564">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th data-bbox="477 496 701 564">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" data-bbox="114 564 701 592">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="114 592 701 619">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="114 619 701 646">d. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="114 646 322 1107" rowspan="7">(a) 主蒸気逃がし弁（現場手動操作）による蒸気放出</td> <td data-bbox="322 646 477 703" rowspan="2">原子炉压力容器内の程度</td> <td data-bbox="477 646 701 673">・ 1次冷却材高温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="477 673 701 703">・ 1次冷却材低温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="322 703 477 761" rowspan="2">原子炉压力容器内の圧力</td> <td data-bbox="477 703 701 761">・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="477 761 701 804">・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="322 804 477 861">原子炉压力容器内への注水量</td> <td data-bbox="477 804 701 861">・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="322 861 477 919" rowspan="3">最終ヒートシンクの確保</td> <td data-bbox="477 861 701 888">・ 蒸気発生器水位計（狭域）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="477 888 701 916">・ 蒸気発生器水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="477 916 701 943">・ 蒸気発生器補助給水流量計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="322 943 477 1034" rowspan="2">電源</td> <td data-bbox="477 943 701 1000">・ 4-3 (4) A、B、C1、C2、D1、D2 母線電圧計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="477 1000 701 1034">・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="322 1034 477 1107" rowspan="3">補機監視機能</td> <td data-bbox="477 1034 701 1091">・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="477 1091 701 1118">・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="477 1118 701 1145">・ 余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td data-bbox="322 1145 477 1107">操作</td> <td data-bbox="477 1145 701 1107">「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち 1.3.2(2)a. 「主蒸気逃がし弁（現場手動操作）による主蒸気逃がし弁の機能回復」にて整備する。</td> <td data-bbox="1370 135 2013 1444"> <p>監視計器一覧 (54/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1370 496 1637 564">対応手段</th> <th data-bbox="1637 496 1771 564">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th data-bbox="1771 496 2013 564">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" data-bbox="1370 564 2013 592">1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="1370 592 2013 619">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="1370 619 2013 646">d. 蒸気発生器2次側からの経熱による発電用原子炉の冷却（蒸気放出）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1370 646 1637 1091" rowspan="10">(a) 主蒸気逃がし弁の現場手動操作による蒸気放出</td> <td data-bbox="1637 646 1771 703" rowspan="2">原子炉压力容器内の温度</td> <td data-bbox="1771 646 2013 673">・ 1次冷却材温度（広域-高温側）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1771 673 2013 703">・ 1次冷却材温度（広域-低温側）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1637 703 1771 761" rowspan="2">原子炉压力容器内の圧力</td> <td data-bbox="1771 703 2013 761">・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1771 761 2013 804">・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1637 804 1771 861">原子炉压力容器内への注水量</td> <td data-bbox="1771 804 2013 861">・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1637 861 1771 919" rowspan="3">最終ヒートシンクの確保</td> <td data-bbox="1771 861 2013 888">・ 蒸気発生器水位（狭域）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1771 888 2013 916">・ 蒸気発生器水位（広域）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1771 916 2013 943">・ 補助給水流量</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1637 943 1771 1034" rowspan="4">電源</td> <td data-bbox="1771 943 2013 970">・ 消灯線 1L、2L 電圧</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1771 970 2013 997">・ 後志幹線 1L、2L 電圧</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1771 997 2013 1024">・ 甲自給電圧、乙自給電圧</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1771 1024 2013 1051">・ 6-A、B、C1、C2、D 母線電圧</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1637 1051 1771 1091" rowspan="5">補機監視機能</td> <td data-bbox="1771 1051 2013 1078">・ 原子炉補機冷却水供給母管流量</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1771 1078 2013 1106">・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（加用）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1771 1106 2013 1133">・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1771 1133 2013 1160">・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AMPI)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1771 1160 2013 1187">・ 余熱除去ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1637 1187 1771 1091">操作</td> <td data-bbox="1771 1187 2013 1091">「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち、1.3.2(2)b. 「現場手動操作による主蒸気逃がし弁の機能回復」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table> </td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			d. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）			(a) 主蒸気逃がし弁（現場手動操作）による蒸気放出	原子炉压力容器内の程度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域）	・ 1次冷却材低温側温度計（広域）	原子炉压力容器内の圧力	・ 炉心出口温度計	・ 1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位計（狭域）	・ 蒸気発生器水位計（広域）	・ 蒸気発生器補助給水流量計	電源	・ 4-3 (4) A、B、C1、C2、D1、D2 母線電圧計	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT)	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計	・ 余熱除去ポンプ電流	操作	「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち 1.3.2(2)a. 「主蒸気逃がし弁（現場手動操作）による主蒸気逃がし弁の機能回復」にて整備する。	<p>監視計器一覧 (54/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1370 496 1637 564">対応手段</th> <th data-bbox="1637 496 1771 564">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th data-bbox="1771 496 2013 564">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" data-bbox="1370 564 2013 592">1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="1370 592 2013 619">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="1370 619 2013 646">d. 蒸気発生器2次側からの経熱による発電用原子炉の冷却（蒸気放出）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1370 646 1637 1091" rowspan="10">(a) 主蒸気逃がし弁の現場手動操作による蒸気放出</td> <td data-bbox="1637 646 1771 703" rowspan="2">原子炉压力容器内の温度</td> <td data-bbox="1771 646 2013 673">・ 1次冷却材温度（広域-高温側）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1771 673 2013 703">・ 1次冷却材温度（広域-低温側）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1637 703 1771 761" rowspan="2">原子炉压力容器内の圧力</td> <td data-bbox="1771 703 2013 761">・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1771 761 2013 804">・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1637 804 1771 861">原子炉压力容器内への注水量</td> <td data-bbox="1771 804 2013 861">・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1637 861 1771 919" rowspan="3">最終ヒートシンクの確保</td> <td data-bbox="1771 861 2013 888">・ 蒸気発生器水位（狭域）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1771 888 2013 916">・ 蒸気発生器水位（広域）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1771 916 2013 943">・ 補助給水流量</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1637 943 1771 1034" rowspan="4">電源</td> <td data-bbox="1771 943 2013 970">・ 消灯線 1L、2L 電圧</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1771 970 2013 997">・ 後志幹線 1L、2L 電圧</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1771 997 2013 1024">・ 甲自給電圧、乙自給電圧</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1771 1024 2013 1051">・ 6-A、B、C1、C2、D 母線電圧</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1637 1051 1771 1091" rowspan="5">補機監視機能</td> <td data-bbox="1771 1051 2013 1078">・ 原子炉補機冷却水供給母管流量</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1771 1078 2013 1106">・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（加用）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1771 1106 2013 1133">・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1771 1133 2013 1160">・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AMPI)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1771 1160 2013 1187">・ 余熱除去ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1637 1187 1771 1091">操作</td> <td data-bbox="1771 1187 2013 1091">「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち、1.3.2(2)b. 「現場手動操作による主蒸気逃がし弁の機能回復」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合			(2) サポート系故障時の対応手順			d. 蒸気発生器2次側からの経熱による発電用原子炉の冷却（蒸気放出）			(a) 主蒸気逃がし弁の現場手動操作による蒸気放出	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側）	・ 1次冷却材温度（広域-低温側）	原子炉压力容器内の圧力	・ 炉心出口温度	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉压力容器内への注水量	・ 低圧注入流量	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位（狭域）	・ 蒸気発生器水位（広域）	・ 補助給水流量	電源	・ 消灯線 1L、2L 電圧	・ 後志幹線 1L、2L 電圧	・ 甲自給電圧、乙自給電圧	・ 6-A、B、C1、C2、D 母線電圧	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（加用）	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AMPI)	・ 余熱除去ポンプ出口圧力	操作	「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち、1.3.2(2)b. 「現場手動操作による主蒸気逃がし弁の機能回復」の操作手順と同様である。
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																							
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																																									
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																																									
d. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）																																																																									
(a) 主蒸気逃がし弁（現場手動操作）による蒸気放出	原子炉压力容器内の程度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域）																																																																							
		・ 1次冷却材低温側温度計（広域）																																																																							
	原子炉压力容器内の圧力	・ 炉心出口温度計																																																																							
		・ 1次冷却材圧力計																																																																							
	原子炉压力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計																																																																							
	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位計（狭域）																																																																							
		・ 蒸気発生器水位計（広域）																																																																							
・ 蒸気発生器補助給水流量計																																																																									
電源	・ 4-3 (4) A、B、C1、C2、D1、D2 母線電圧計																																																																								
	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT)																																																																								
補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)																																																																								
	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																																								
	・ 余熱除去ポンプ電流																																																																								
操作	「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち 1.3.2(2)a. 「主蒸気逃がし弁（現場手動操作）による主蒸気逃がし弁の機能回復」にて整備する。	<p>監視計器一覧 (54/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1370 496 1637 564">対応手段</th> <th data-bbox="1637 496 1771 564">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th data-bbox="1771 496 2013 564">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" data-bbox="1370 564 2013 592">1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="1370 592 2013 619">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="1370 619 2013 646">d. 蒸気発生器2次側からの経熱による発電用原子炉の冷却（蒸気放出）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1370 646 1637 1091" rowspan="10">(a) 主蒸気逃がし弁の現場手動操作による蒸気放出</td> <td data-bbox="1637 646 1771 703" rowspan="2">原子炉压力容器内の温度</td> <td data-bbox="1771 646 2013 673">・ 1次冷却材温度（広域-高温側）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1771 673 2013 703">・ 1次冷却材温度（広域-低温側）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1637 703 1771 761" rowspan="2">原子炉压力容器内の圧力</td> <td data-bbox="1771 703 2013 761">・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1771 761 2013 804">・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1637 804 1771 861">原子炉压力容器内への注水量</td> <td data-bbox="1771 804 2013 861">・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1637 861 1771 919" rowspan="3">最終ヒートシンクの確保</td> <td data-bbox="1771 861 2013 888">・ 蒸気発生器水位（狭域）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1771 888 2013 916">・ 蒸気発生器水位（広域）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1771 916 2013 943">・ 補助給水流量</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1637 943 1771 1034" rowspan="4">電源</td> <td data-bbox="1771 943 2013 970">・ 消灯線 1L、2L 電圧</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1771 970 2013 997">・ 後志幹線 1L、2L 電圧</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1771 997 2013 1024">・ 甲自給電圧、乙自給電圧</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1771 1024 2013 1051">・ 6-A、B、C1、C2、D 母線電圧</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1637 1051 1771 1091" rowspan="5">補機監視機能</td> <td data-bbox="1771 1051 2013 1078">・ 原子炉補機冷却水供給母管流量</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1771 1078 2013 1106">・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（加用）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1771 1106 2013 1133">・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1771 1133 2013 1160">・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AMPI)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1771 1160 2013 1187">・ 余熱除去ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1637 1187 1771 1091">操作</td> <td data-bbox="1771 1187 2013 1091">「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち、1.3.2(2)b. 「現場手動操作による主蒸気逃がし弁の機能回復」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合			(2) サポート系故障時の対応手順			d. 蒸気発生器2次側からの経熱による発電用原子炉の冷却（蒸気放出）			(a) 主蒸気逃がし弁の現場手動操作による蒸気放出	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側）	・ 1次冷却材温度（広域-低温側）	原子炉压力容器内の圧力	・ 炉心出口温度	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉压力容器内への注水量	・ 低圧注入流量	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位（狭域）	・ 蒸気発生器水位（広域）	・ 補助給水流量	電源	・ 消灯線 1L、2L 電圧	・ 後志幹線 1L、2L 電圧	・ 甲自給電圧、乙自給電圧	・ 6-A、B、C1、C2、D 母線電圧	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（加用）	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AMPI)	・ 余熱除去ポンプ出口圧力	操作	「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち、1.3.2(2)b. 「現場手動操作による主蒸気逃がし弁の機能回復」の操作手順と同様である。																																	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																							
1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合																																																																									
(2) サポート系故障時の対応手順																																																																									
d. 蒸気発生器2次側からの経熱による発電用原子炉の冷却（蒸気放出）																																																																									
(a) 主蒸気逃がし弁の現場手動操作による蒸気放出	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側）																																																																							
		・ 1次冷却材温度（広域-低温側）																																																																							
	原子炉压力容器内の圧力	・ 炉心出口温度																																																																							
		・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																							
	原子炉压力容器内への注水量	・ 低圧注入流量																																																																							
	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位（狭域）																																																																							
		・ 蒸気発生器水位（広域）																																																																							
		・ 補助給水流量																																																																							
	電源	・ 消灯線 1L、2L 電圧																																																																							
		・ 後志幹線 1L、2L 電圧																																																																							
・ 甲自給電圧、乙自給電圧																																																																									
・ 6-A、B、C1、C2、D 母線電圧																																																																									
補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量																																																																								
	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（加用）																																																																								
	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量																																																																								
	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AMPI)																																																																								
	・ 余熱除去ポンプ出口圧力																																																																								
操作	「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち、1.3.2(2)b. 「現場手動操作による主蒸気逃がし弁の機能回復」の操作手順と同様である。																																																																								

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																		
<p>監視計器一覧 (47/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電源</td> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 蒸気発生器水位計 (広域) ・ 蒸気発生器水位計 (狭域)</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 4-3 (4) A, B, C1, C2, D1, D2 母線電圧計 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT) ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT) ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち 1.5.2.1(3)a. 「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計	電源	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位計 (広域) ・ 蒸気発生器水位計 (狭域)	補機監視機能	・ 4-3 (4) A, B, C1, C2, D1, D2 母線電圧計 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT) ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT) ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計	操作	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち 1.5.2.1(3)a. 「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。			<p>監視計器一覧 (55/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電源</td> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 高気圧発生器水位 (狭域) ・ 蒸気発生器水位 (広域) ・ 補助給水流量</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 母線電圧 1L, 2L電圧 ・ 低圧幹線 1L, 2L電圧 ・ 甲母線電圧, 乙母線電圧 ・ 6-A, B, C1, C2, D 母線電圧 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用) ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用) ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用) ・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)a. 「可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合			(2) サポート系故障時の対応手順			e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉圧力容器内への注水量	・ 低圧注入流量	電源	最終ヒートシンクの確保	・ 高気圧発生器水位 (狭域) ・ 蒸気発生器水位 (広域) ・ 補助給水流量	補機監視機能	・ 母線電圧 1L, 2L電圧 ・ 低圧幹線 1L, 2L電圧 ・ 甲母線電圧, 乙母線電圧 ・ 6-A, B, C1, C2, D 母線電圧 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用) ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用) ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用) ・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流	操作	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)a. 「可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																			
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																					
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																					
e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																		
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																		
		原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計																																																		
	電源	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位計 (広域) ・ 蒸気発生器水位計 (狭域)																																																		
		補機監視機能	・ 4-3 (4) A, B, C1, C2, D1, D2 母線電圧計 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT) ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT) ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																		
	操作	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち 1.5.2.1(3)a. 「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。																																																			
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																			
1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合																																																					
(2) サポート系故障時の対応手順																																																					
e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																		
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																		
		原子炉圧力容器内への注水量	・ 低圧注入流量																																																		
	電源	最終ヒートシンクの確保	・ 高気圧発生器水位 (狭域) ・ 蒸気発生器水位 (広域) ・ 補助給水流量																																																		
		補機監視機能	・ 母線電圧 1L, 2L電圧 ・ 低圧幹線 1L, 2L電圧 ・ 甲母線電圧, 乙母線電圧 ・ 6-A, B, C1, C2, D 母線電圧 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用) ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用) ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用) ・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流																																																		
	操作	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)a. 「可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。																																																			

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																			
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>監視計器一覧 (17/20)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">手順書</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 復旧 (a) 残留熱除去系電源復旧後の発電用原子炉からの除熱</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非常時操作手順書(プラント停止中) 「崩壊熱除去機能喪失」等 非常時操作手順書(設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉停止時冷却運転」</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水張用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力 原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">可 断 基 準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>原子炉圧力容器温度 残留熱除去系熱交換器入口温度</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>原子炉補機冷却水系統流量 残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電 源 の 確 保</td> <td rowspan="2">電源の確保</td> <td>6-2C 母線電圧 6-2D 母線電圧 4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧</td> </tr> <tr> <td>操作</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操 作</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水張用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>原子炉圧力容器温度</td> <td></td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>残留熱除去系ポンプ出口圧力(A, B系のみ) 残留熱除去系熱交換器冷却水出口温度</td> <td></td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>残留熱除去系熱交換器入口温度 残留熱除去系熱交換器出口温度 残留熱除去系ポンプ出口流量(A, B系のみ)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 復旧 (a) 残留熱除去系電源復旧後の発電用原子炉からの除熱			非常時操作手順書(プラント停止中) 「崩壊熱除去機能喪失」等 非常時操作手順書(設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉停止時冷却運転」	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水張用)	原子炉圧力容器内の圧力 原子炉圧力 (SA)	可 断 基 準	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器温度 残留熱除去系熱交換器入口温度	補機監視機能	原子炉補機冷却水系統流量 残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量	電 源 の 確 保	電源の確保	6-2C 母線電圧 6-2D 母線電圧 4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧	操作	操 作	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水張用)	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器温度		補機監視機能	残留熱除去系ポンプ出口圧力(A, B系のみ) 残留熱除去系熱交換器冷却水出口温度		最終ヒートシンクの確保	残留熱除去系熱交換器入口温度 残留熱除去系熱交換器出口温度 残留熱除去系ポンプ出口流量(A, B系のみ)		<p>監視計器一覧 (56/61)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合 (2) サポート系故障時の対応手順 f. 復旧</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(a) B-充てんポンプ(自己冷却)による原子炉容器への注水</td> <td rowspan="2">可 断 基 準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度 原子炉圧力容器内の圧力 原子炉圧力容器内の水位 原子炉格納容器内の水位</td> </tr> <tr> <td>電源</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操 作</td> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>水源の確保 燃料貯蔵管水ビット水位 油封線 1 L, 2 L 電圧 後志幹線 1 L, 2 L 電圧 甲母線電圧, 乙母線電圧 6-A, B, C1, C2, D 母線電圧 原子炉補機冷却水供給母管流量 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用) 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (AM用)</td> </tr> <tr> <td>操作</td> </tr> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1(2) a. (b) B-充てんポンプ(自己冷却)による原子炉容器への注水の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table> <p>監視計器一覧 (57/61)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合 (2) サポート系故障時の対応手順 f. 復旧</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(b) 可断型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧送水ポンプによる高圧代替再循環運転</td> <td rowspan="2">可 断 基 準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度 原子炉圧力容器内の圧力 原子炉圧力容器内の水位 原子炉格納容器内の水位</td> </tr> <tr> <td>電源</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操 作</td> <td rowspan="2">補機冷却</td> <td>A-高圧送水ポンプ及び冷却器補機冷却水流量 A-高圧送水ポンプ電動機補機冷却水流量 (AM用) A-高圧送水ポンプ電動機補機冷却水流量 (AM用)</td> </tr> <tr> <td>操作</td> </tr> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1(2) b. (a) i. 「可断型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧送水ポンプによる高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合 (2) サポート系故障時の対応手順 f. 復旧			(a) B-充てんポンプ(自己冷却)による原子炉容器への注水	可 断 基 準	原子炉圧力容器内の温度 原子炉圧力容器内の圧力 原子炉圧力容器内の水位 原子炉格納容器内の水位	電源	操 作	補機監視機能	水源の確保 燃料貯蔵管水ビット水位 油封線 1 L, 2 L 電圧 後志幹線 1 L, 2 L 電圧 甲母線電圧, 乙母線電圧 6-A, B, C1, C2, D 母線電圧 原子炉補機冷却水供給母管流量 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用) 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (AM用)	操作	1.4.2.1(2) a. (b) B-充てんポンプ(自己冷却)による原子炉容器への注水の操作手順と同様である。			対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合 (2) サポート系故障時の対応手順 f. 復旧			(b) 可断型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧送水ポンプによる高圧代替再循環運転	可 断 基 準	原子炉圧力容器内の温度 原子炉圧力容器内の圧力 原子炉圧力容器内の水位 原子炉格納容器内の水位	電源	操 作	補機冷却	A-高圧送水ポンプ及び冷却器補機冷却水流量 A-高圧送水ポンプ電動機補機冷却水流量 (AM用) A-高圧送水ポンプ電動機補機冷却水流量 (AM用)	操作	1.4.2.1(2) b. (a) i. 「可断型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧送水ポンプによる高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。			<p>【大阪】記載方針の相違(女川実績の反映) ・大阪は「1.4.2.4 復旧に係る手順等」に整理しているが、泊は女川と同様に各手段の項目に「復旧」を設けている。</p>
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																																				
1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 復旧 (a) 残留熱除去系電源復旧後の発電用原子炉からの除熱																																																																						
非常時操作手順書(プラント停止中) 「崩壊熱除去機能喪失」等 非常時操作手順書(設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉停止時冷却運転」	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水張用)																																																																				
		原子炉圧力容器内の圧力 原子炉圧力 (SA)																																																																				
可 断 基 準	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器温度 残留熱除去系熱交換器入口温度																																																																				
	補機監視機能	原子炉補機冷却水系統流量 残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量																																																																				
電 源 の 確 保	電源の確保	6-2C 母線電圧 6-2D 母線電圧 4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧																																																																				
		操作																																																																				
操 作	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水張用)																																																																				
	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)																																																																				
原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器温度																																																																					
補機監視機能	残留熱除去系ポンプ出口圧力(A, B系のみ) 残留熱除去系熱交換器冷却水出口温度																																																																					
最終ヒートシンクの確保	残留熱除去系熱交換器入口温度 残留熱除去系熱交換器出口温度 残留熱除去系ポンプ出口流量(A, B系のみ)																																																																					
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																				
1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合 (2) サポート系故障時の対応手順 f. 復旧																																																																						
(a) B-充てんポンプ(自己冷却)による原子炉容器への注水	可 断 基 準	原子炉圧力容器内の温度 原子炉圧力容器内の圧力 原子炉圧力容器内の水位 原子炉格納容器内の水位																																																																				
		電源																																																																				
操 作	補機監視機能	水源の確保 燃料貯蔵管水ビット水位 油封線 1 L, 2 L 電圧 後志幹線 1 L, 2 L 電圧 甲母線電圧, 乙母線電圧 6-A, B, C1, C2, D 母線電圧 原子炉補機冷却水供給母管流量 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用) 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (AM用)																																																																				
		操作																																																																				
1.4.2.1(2) a. (b) B-充てんポンプ(自己冷却)による原子炉容器への注水の操作手順と同様である。																																																																						
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																				
1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合 (2) サポート系故障時の対応手順 f. 復旧																																																																						
(b) 可断型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧送水ポンプによる高圧代替再循環運転	可 断 基 準	原子炉圧力容器内の温度 原子炉圧力容器内の圧力 原子炉圧力容器内の水位 原子炉格納容器内の水位																																																																				
		電源																																																																				
操 作	補機冷却	A-高圧送水ポンプ及び冷却器補機冷却水流量 A-高圧送水ポンプ電動機補機冷却水流量 (AM用) A-高圧送水ポンプ電動機補機冷却水流量 (AM用)																																																																				
		操作																																																																				
1.4.2.1(2) b. (a) i. 「可断型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧送水ポンプによる高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。																																																																						

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																
		<p>監視計器一覧 (58/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1370 528 1653 571">対応手順</th> <th data-bbox="1653 528 1765 571">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th data-bbox="1765 528 2011 571">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" data-bbox="1370 571 2011 619">1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合 (2) サボート取扱時の対応手順 f. 復旧</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1370 619 1653 1082" rowspan="10">(c) 電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td data-bbox="1653 619 1765 683" rowspan="3">原子炉圧力容器内の温度</td> <td data-bbox="1765 619 2011 643">・ 1次冷却材温度（広域-高温側）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1765 643 2011 667">・ 1次冷却材温度（広域-低温側）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1765 667 2011 691">・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1653 683 1765 707">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td data-bbox="1765 683 2011 707">・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1653 707 1765 738">原子炉圧力容器内の水位</td> <td data-bbox="1765 707 2011 738">・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1653 738 1765 770">原子炉圧力容器内への送水量</td> <td data-bbox="1765 738 2011 770">・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1653 770 1765 858" rowspan="4">電源</td> <td data-bbox="1765 770 2011 794">・ 油幹線 1 L, 2 L 電圧</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1765 794 2011 818">・ 後形幹線 1 L, 2 L 電圧</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1765 818 2011 842">・ 甲母線電圧, 乙母線電圧</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1765 842 2011 866">・ 6-A, B, C1, C2, D母線電圧</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1653 858 1765 1026" rowspan="4">補機監視機能</td> <td data-bbox="1765 858 2011 882">・ 余熱除去ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1765 882 2011 906">・ 余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1765 906 2011 930">・ 原子炉補機冷却水供給母管流量</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1765 930 2011 954">・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1653 1026 1765 1082" rowspan="2">水源の確保</td> <td data-bbox="1765 1026 2011 1050">・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1765 1050 2011 1074">・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (AM用)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1653 1074 1765 1098">操作</td> <td data-bbox="1765 1074 2011 1098">1.4.2.2(1) a. (a) 「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手順	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合 (2) サボート取扱時の対応手順 f. 復旧			(c) 電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側）	・ 1次冷却材温度（広域-低温側）	・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉圧力容器内への送水量	・ 低圧注入流量	電源	・ 油幹線 1 L, 2 L 電圧	・ 後形幹線 1 L, 2 L 電圧	・ 甲母線電圧, 乙母線電圧	・ 6-A, B, C1, C2, D母線電圧	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ出口圧力	・ 余熱除去ポンプ電流	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用)	水源の確保	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (AM用)	操作	1.4.2.2(1) a. (a) 「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」と同様である。	
対応手順	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																	
1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合 (2) サボート取扱時の対応手順 f. 復旧																																			
(c) 電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側）																																	
		・ 1次冷却材温度（広域-低温側）																																	
		・ 炉心出口温度																																	
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																	
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																																	
	原子炉圧力容器内への送水量	・ 低圧注入流量																																	
	電源	・ 油幹線 1 L, 2 L 電圧																																	
		・ 後形幹線 1 L, 2 L 電圧																																	
		・ 甲母線電圧, 乙母線電圧																																	
		・ 6-A, B, C1, C2, D母線電圧																																	
補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ出口圧力																																		
	・ 余熱除去ポンプ電流																																		
	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量																																		
	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用)																																		
水源の確保	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量																																		
	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (AM用)																																		
操作	1.4.2.2(1) a. (a) 「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」と同様である。																																		

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																							
<p>監視計器一覧（48/48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(3) 原子炉格納容器内の作業員を退避させる手順等</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>未臨界の維持又は監視</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・中性子源領域中性子束計 ・中性子源領域起動率計 ・原子炉補給水補給流量積算制御器積算カウンタ </td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・1次系冷却材圧力計 </td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・加圧器水位計 ・1次冷却系統水位計（CRT） </td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・余熱除去流量計 </td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・格納容器内温度計 </td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・格納容器圧力計（広域） ・AM用格納容器圧力計 </td> </tr> <tr> <td>判断基準</td> <td>原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ） ・格納容器ガスモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器エアロック区域エリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ </td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>信号</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・停止時SR中性子束高逸脱警報作動警報 </td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>補機監視機能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・余熱除去ポンプ吐出圧力計 ・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） </td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>電源</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計 </td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>LOCAの監視</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・格納容器サンプ水位計 ・格納容器サンプ水位増加率計 </td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>操作</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>—：操作に伴う監視計器がないため記載しない。</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(3) 原子炉格納容器内の作業員を退避させる手順等			—	未臨界の維持又は監視	<ul style="list-style-type: none"> ・中性子源領域中性子束計 ・中性子源領域起動率計 ・原子炉補給水補給流量積算制御器積算カウンタ 	—	原子炉压力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・1次系冷却材圧力計 	—	原子炉压力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・加圧器水位計 ・1次冷却系統水位計（CRT） 	—	原子炉压力容器内の注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・余熱除去流量計 	—	原子炉格納容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・格納容器内温度計 	—	原子炉格納容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・格納容器圧力計（広域） ・AM用格納容器圧力計 	判断基準	原子炉格納容器内の放射線量率	<ul style="list-style-type: none"> ・格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ） ・格納容器ガスモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器エアロック区域エリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ 	—	信号	<ul style="list-style-type: none"> ・停止時SR中性子束高逸脱警報作動警報 	—	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・余熱除去ポンプ吐出圧力計 ・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） 	—	電源	<ul style="list-style-type: none"> ・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計 	—	LOCAの監視	<ul style="list-style-type: none"> ・格納容器サンプ水位計 ・格納容器サンプ水位増加率計 	—	操作	—		<p>監視計器一覧（59/61）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>未臨界の維持又は監視</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・中性子源領域中性子束 ・中性子源領域起動率 ・1次系純水補給ライン流量制御 ・1次系純水補給ライン流量積算制御 </td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材圧力（広域） </td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・加圧器水位 ・1次冷却系統ループ水位 </td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・低圧注入流量 </td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・格納容器内温度 </td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力（AM用） </td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ） ・格納容器ガスモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・エアロックエリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ </td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>信号</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・SR0停止時中性子束高（N31）警報 ・SR0停止時中性子束高（N32）警報 </td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>補機監視機能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・余熱除去ポンプ出口圧力 ・余熱除去ポンプ電流 ・原子炉補機冷却水供給母管流量 ・原子炉補機冷却水冷却器母管流量（AM用） ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却器流量 ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却器流量（AM用） </td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>電源</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・消音機1L、2L電圧 ・後志発電機1L、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧 ・6-A、B、C1、C2、D母線電圧 </td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>DOCAの監視</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・格納容器サンプ水位 ・格納容器サンプ水位上昇率 </td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>操作</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>—：操作に伴う監視計器がないため記載しない。</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合			—	未臨界の維持又は監視	<ul style="list-style-type: none"> ・中性子源領域中性子束 ・中性子源領域起動率 ・1次系純水補給ライン流量制御 ・1次系純水補給ライン流量積算制御 	—	原子炉压力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材圧力（広域） 	—	原子炉压力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・加圧器水位 ・1次冷却系統ループ水位 	—	原子炉压力容器内の注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・低圧注入流量 	—	原子炉格納容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・格納容器内温度 	—	原子炉格納容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力（AM用） 	—	原子炉格納容器内の放射線量率	<ul style="list-style-type: none"> ・格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ） ・格納容器ガスモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・エアロックエリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ 	—	信号	<ul style="list-style-type: none"> ・SR0停止時中性子束高（N31）警報 ・SR0停止時中性子束高（N32）警報 	—	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・余熱除去ポンプ出口圧力 ・余熱除去ポンプ電流 ・原子炉補機冷却水供給母管流量 ・原子炉補機冷却水冷却器母管流量（AM用） ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却器流量 ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却器流量（AM用） 	—	電源	<ul style="list-style-type: none"> ・消音機1L、2L電圧 ・後志発電機1L、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧 ・6-A、B、C1、C2、D母線電圧 	—	DOCAの監視	<ul style="list-style-type: none"> ・格納容器サンプ水位 ・格納容器サンプ水位上昇率 	—	操作	—	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																								
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																																																										
(3) 原子炉格納容器内の作業員を退避させる手順等																																																																																										
—	未臨界の維持又は監視	<ul style="list-style-type: none"> ・中性子源領域中性子束計 ・中性子源領域起動率計 ・原子炉補給水補給流量積算制御器積算カウンタ 																																																																																								
—	原子炉压力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・1次系冷却材圧力計 																																																																																								
—	原子炉压力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・加圧器水位計 ・1次冷却系統水位計（CRT） 																																																																																								
—	原子炉压力容器内の注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・余熱除去流量計 																																																																																								
—	原子炉格納容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・格納容器内温度計 																																																																																								
—	原子炉格納容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・格納容器圧力計（広域） ・AM用格納容器圧力計 																																																																																								
判断基準	原子炉格納容器内の放射線量率	<ul style="list-style-type: none"> ・格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ） ・格納容器ガスモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器エアロック区域エリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ 																																																																																								
—	信号	<ul style="list-style-type: none"> ・停止時SR中性子束高逸脱警報作動警報 																																																																																								
—	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・余熱除去ポンプ吐出圧力計 ・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） 																																																																																								
—	電源	<ul style="list-style-type: none"> ・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計 																																																																																								
—	LOCAの監視	<ul style="list-style-type: none"> ・格納容器サンプ水位計 ・格納容器サンプ水位増加率計 																																																																																								
—	操作	—																																																																																								
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																								
1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合																																																																																										
—	未臨界の維持又は監視	<ul style="list-style-type: none"> ・中性子源領域中性子束 ・中性子源領域起動率 ・1次系純水補給ライン流量制御 ・1次系純水補給ライン流量積算制御 																																																																																								
—	原子炉压力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材圧力（広域） 																																																																																								
—	原子炉压力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・加圧器水位 ・1次冷却系統ループ水位 																																																																																								
—	原子炉压力容器内の注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・低圧注入流量 																																																																																								
—	原子炉格納容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・格納容器内温度 																																																																																								
—	原子炉格納容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力（AM用） 																																																																																								
—	原子炉格納容器内の放射線量率	<ul style="list-style-type: none"> ・格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ） ・格納容器ガスモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・エアロックエリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ 																																																																																								
—	信号	<ul style="list-style-type: none"> ・SR0停止時中性子束高（N31）警報 ・SR0停止時中性子束高（N32）警報 																																																																																								
—	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・余熱除去ポンプ出口圧力 ・余熱除去ポンプ電流 ・原子炉補機冷却水供給母管流量 ・原子炉補機冷却水冷却器母管流量（AM用） ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却器流量 ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却器流量（AM用） 																																																																																								
—	電源	<ul style="list-style-type: none"> ・消音機1L、2L電圧 ・後志発電機1L、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧 ・6-A、B、C1、C2、D母線電圧 																																																																																								
—	DOCAの監視	<ul style="list-style-type: none"> ・格納容器サンプ水位 ・格納容器サンプ水位上昇率 																																																																																								
—	操作	—																																																																																								

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																																																																																										
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>監視計器一覧 (18/20)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 重大事故等対応設備 (設計基準拡張) による対応手順 (1) 残留熱除去系 (低圧注水モード) による原子炉圧力容器への注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非常時操作手順書 (継続ベース) 「水位確保」等</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (狭帯域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (広帯域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非常時操作手順書 (設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉注水」</td> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>原子炉水位 (燃料域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (SA 広帯域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">電源の確保</td> <td>原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (燃料域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>原子炉水位 (SA 広帯域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器への注水量</td> <td>原子炉圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>残留熱除去系ポンプ出口流量</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td>圧力制御室水位</td> </tr> <tr> <td>圧力制御室水位</td> </tr> </tbody> </table> <p>監視計器一覧 (19/20)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 重大事故等対応設備 (設計基準拡張) による対応手順 (2) 低圧炉心スプレー系による原子炉圧力容器への注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非常時操作手順書 (継続ベース) 「水位確保」等</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (狭帯域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (広帯域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非常時操作手順書 (設備別) 「低圧炉心スプレー系ポンプによる原子炉注水」</td> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>原子炉水位 (燃料域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (SA 広帯域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">電源の確保</td> <td>原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (燃料域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>原子炉水位 (SA 広帯域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器への注水量</td> <td>原子炉圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>低圧炉心スプレー系ポンプ出口流量</td> </tr> <tr> <td>低圧炉心スプレー系ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td>圧力制御室水位</td> </tr> <tr> <td>圧力制御室水位</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.3 重大事故等対応設備 (設計基準拡張) による対応手順 (1) 残留熱除去系 (低圧注水モード) による原子炉圧力容器への注水			非常時操作手順書 (継続ベース) 「水位確保」等	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域)	原子炉水位 (広帯域)	非常時操作手順書 (設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉注水」	補機監視機能	原子炉水位 (燃料域)	原子炉水位 (SA 広帯域)		電源の確保	原子炉水位 (SA 燃料域)	原子炉水位 (SA 燃料域)		水源の確保	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (燃料域)		原子炉圧力容器内の圧力	原子炉水位 (SA 広帯域)	原子炉水位 (SA 燃料域)		原子炉圧力容器への注水量	原子炉圧力	原子炉圧力 (SA)		補機監視機能	残留熱除去系ポンプ出口流量	残留熱除去系ポンプ出口圧力		水源の確保	圧力制御室水位	圧力制御室水位	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.3 重大事故等対応設備 (設計基準拡張) による対応手順 (2) 低圧炉心スプレー系による原子炉圧力容器への注水			非常時操作手順書 (継続ベース) 「水位確保」等	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域)	原子炉水位 (広帯域)	非常時操作手順書 (設備別) 「低圧炉心スプレー系ポンプによる原子炉注水」	補機監視機能	原子炉水位 (燃料域)	原子炉水位 (SA 広帯域)		電源の確保	原子炉水位 (SA 燃料域)	原子炉水位 (SA 燃料域)		水源の確保	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (燃料域)		原子炉圧力容器内の圧力	原子炉水位 (SA 広帯域)	原子炉水位 (SA 燃料域)		原子炉圧力容器への注水量	原子炉圧力	原子炉圧力 (SA)		補機監視機能	低圧炉心スプレー系ポンプ出口流量	低圧炉心スプレー系ポンプ出口圧力		水源の確保	圧力制御室水位	圧力制御室水位	<p>監視計器一覧 (60/61)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.4 重大事故等対応設備 (設計基準拡張) による対応手順</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(1) 高圧注入ポンプによる原子炉圧力容器への注水</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>信号</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.4 重大事故等対応設備 (設計基準拡張) による対応手順			(1) 高圧注入ポンプによる原子炉圧力容器への注水	判断基準	信号	原子炉圧力容器内の水位		操作	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力容器内の圧力		判断基準	原子炉圧力容器内の水位	原子炉圧力容器内の水位		操作	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力容器内の圧力		判断基準	原子炉圧力容器内の水位	原子炉圧力容器内の水位		操作	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力容器内の圧力		判断基準	原子炉圧力容器内の水位	原子炉圧力容器内の水位		操作	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力容器内の圧力		判断基準	原子炉圧力容器内の水位	原子炉圧力容器内の水位		操作	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力容器内の圧力		判断基準	原子炉圧力容器内の水位	原子炉圧力容器内の水位		操作	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力容器内の圧力		判断基準	原子炉圧力容器内の水位	原子炉圧力容器内の水位		操作	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力容器内の圧力		判断基準	原子炉圧力容器内の水位	原子炉圧力容器内の水位		操作	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力容器内の圧力		判断基準	原子炉圧力容器内の水位	原子炉圧力容器内の水位		操作	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力容器内の圧力	<p>【本飯】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映)。 ・泊は、重大事故等対応設備 (設計基準拡張) による対応手順を整理している。</p>
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																																																																																																																											
1.4.2.3 重大事故等対応設備 (設計基準拡張) による対応手順 (1) 残留熱除去系 (低圧注水モード) による原子炉圧力容器への注水																																																																																																																																																													
非常時操作手順書 (継続ベース) 「水位確保」等	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域)																																																																																																																																																											
		原子炉水位 (広帯域)																																																																																																																																																											
非常時操作手順書 (設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉注水」	補機監視機能	原子炉水位 (燃料域)																																																																																																																																																											
		原子炉水位 (SA 広帯域)																																																																																																																																																											
	電源の確保	原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																																																																																											
		原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																																																																																											
	水源の確保	原子炉圧力容器内の水位																																																																																																																																																											
		原子炉水位 (燃料域)																																																																																																																																																											
	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉水位 (SA 広帯域)																																																																																																																																																											
		原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																																																																																											
	原子炉圧力容器への注水量	原子炉圧力																																																																																																																																																											
		原子炉圧力 (SA)																																																																																																																																																											
	補機監視機能	残留熱除去系ポンプ出口流量																																																																																																																																																											
		残留熱除去系ポンプ出口圧力																																																																																																																																																											
	水源の確保	圧力制御室水位																																																																																																																																																											
		圧力制御室水位																																																																																																																																																											
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																																																																																																																											
1.4.2.3 重大事故等対応設備 (設計基準拡張) による対応手順 (2) 低圧炉心スプレー系による原子炉圧力容器への注水																																																																																																																																																													
非常時操作手順書 (継続ベース) 「水位確保」等	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域)																																																																																																																																																											
		原子炉水位 (広帯域)																																																																																																																																																											
非常時操作手順書 (設備別) 「低圧炉心スプレー系ポンプによる原子炉注水」	補機監視機能	原子炉水位 (燃料域)																																																																																																																																																											
		原子炉水位 (SA 広帯域)																																																																																																																																																											
	電源の確保	原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																																																																																											
		原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																																																																																											
	水源の確保	原子炉圧力容器内の水位																																																																																																																																																											
		原子炉水位 (燃料域)																																																																																																																																																											
	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉水位 (SA 広帯域)																																																																																																																																																											
		原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																																																																																											
	原子炉圧力容器への注水量	原子炉圧力																																																																																																																																																											
		原子炉圧力 (SA)																																																																																																																																																											
	補機監視機能	低圧炉心スプレー系ポンプ出口流量																																																																																																																																																											
		低圧炉心スプレー系ポンプ出口圧力																																																																																																																																																											
	水源の確保	圧力制御室水位																																																																																																																																																											
		圧力制御室水位																																																																																																																																																											
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																																																											
1.4.2.4 重大事故等対応設備 (設計基準拡張) による対応手順																																																																																																																																																													
(1) 高圧注入ポンプによる原子炉圧力容器への注水	判断基準	信号																																																																																																																																																											
		原子炉圧力容器内の水位																																																																																																																																																											
	操作	原子炉圧力容器内の圧力																																																																																																																																																											
		原子炉圧力容器内の圧力																																																																																																																																																											
	判断基準	原子炉圧力容器内の水位																																																																																																																																																											
		原子炉圧力容器内の水位																																																																																																																																																											
	操作	原子炉圧力容器内の圧力																																																																																																																																																											
		原子炉圧力容器内の圧力																																																																																																																																																											
	判断基準	原子炉圧力容器内の水位																																																																																																																																																											
		原子炉圧力容器内の水位																																																																																																																																																											
	操作	原子炉圧力容器内の圧力																																																																																																																																																											
		原子炉圧力容器内の圧力																																																																																																																																																											
	判断基準	原子炉圧力容器内の水位																																																																																																																																																											
		原子炉圧力容器内の水位																																																																																																																																																											
	操作	原子炉圧力容器内の圧力																																																																																																																																																											
		原子炉圧力容器内の圧力																																																																																																																																																											
	判断基準	原子炉圧力容器内の水位																																																																																																																																																											
		原子炉圧力容器内の水位																																																																																																																																																											
	操作	原子炉圧力容器内の圧力																																																																																																																																																											
		原子炉圧力容器内の圧力																																																																																																																																																											
	判断基準	原子炉圧力容器内の水位																																																																																																																																																											
		原子炉圧力容器内の水位																																																																																																																																																											
	操作	原子炉圧力容器内の圧力																																																																																																																																																											
		原子炉圧力容器内の圧力																																																																																																																																																											
	判断基準	原子炉圧力容器内の水位																																																																																																																																																											
		原子炉圧力容器内の水位																																																																																																																																																											
	操作	原子炉圧力容器内の圧力																																																																																																																																																											
		原子炉圧力容器内の圧力																																																																																																																																																											
	判断基準	原子炉圧力容器内の水位																																																																																																																																																											
		原子炉圧力容器内の水位																																																																																																																																																											
	操作	原子炉圧力容器内の圧力																																																																																																																																																											
		原子炉圧力容器内の圧力																																																																																																																																																											
	判断基準	原子炉圧力容器内の水位																																																																																																																																																											
		原子炉圧力容器内の水位																																																																																																																																																											
	操作	原子炉圧力容器内の圧力																																																																																																																																																											
		原子炉圧力容器内の圧力																																																																																																																																																											

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																								
<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>監視計器一覧 (20/20)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">手順書</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 50%;">監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 重大事故等対処設備 (設計基準拡張) による対応手順 (3) 残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード) による発電用原子炉からの除熱</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非常時操作手順書 (稼働ベース) 「減圧冷却」等</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (供蒸機)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (広蒸機)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非常時操作手順書 (設備側) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉停止時冷却運転」</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>原子炉水位 (燃料機)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (SA 広蒸機)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">判断基準</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>原子炉水位 (SA 燃料機)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (停止機)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>原子炉水位 (定検時水運用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電源の確保</td> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器温度</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">最終ヒートシンクの確保</td> <td rowspan="2">最終ヒートシンクの確保</td> <td>残留熱除去系熱交換器入口温度</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系熱交換器出口温度</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">最終ヒートシンクの確保</td> <td rowspan="2">最終ヒートシンクの確保</td> <td>残留熱除去系熱交換器冷却水出口流量</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系熱交換器出口流量 (A, B 系のみ)</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.3 重大事故等対処設備 (設計基準拡張) による対応手順 (3) 残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード) による発電用原子炉からの除熱			非常時操作手順書 (稼働ベース) 「減圧冷却」等	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (供蒸機)	原子炉水位 (広蒸機)	非常時操作手順書 (設備側) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉停止時冷却運転」	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉水位 (燃料機)	原子炉水位 (SA 広蒸機)	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	原子炉水位 (SA 燃料機)	原子炉水位 (停止機)	補機監視機能	補機監視機能	原子炉水位 (定検時水運用)	原子炉圧力	電源の確保	補機監視機能	原子炉圧力 (SA)	原子炉圧力容器温度	最終ヒートシンクの確保	最終ヒートシンクの確保	残留熱除去系熱交換器入口温度	残留熱除去系熱交換器出口温度	最終ヒートシンクの確保	最終ヒートシンクの確保	残留熱除去系熱交換器冷却水出口流量	残留熱除去系熱交換器出口流量 (A, B 系のみ)	<p>監視計器一覧 (61/61)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 20%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 50%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.4 重大事故等対処設備 (設計基準拡張) による対応手順</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(4) 余熱除去ポンプによる低圧再循環運転</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>水源の確保</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(5) 余熱除去ポンプによる発電用原子炉からの除熱</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.4 重大事故等対処設備 (設計基準拡張) による対応手順			(4) 余熱除去ポンプによる低圧再循環運転	判断基準	水源の確保	原子炉圧力容器内の温度	操作	補機監視機能	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力容器内の水位	(5) 余熱除去ポンプによる発電用原子炉からの除熱	判断基準	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力容器内の温度	操作	補機監視機能	原子炉圧力容器内の温度	水源の確保	<p>【大阪】 記載方針の相違 (女川審査実績の 反映) ・泊は、重大事故等 対処設備 (設計 基準拡張) に基 ける対応手順を整 理している。</p>
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																									
1.4.2.3 重大事故等対処設備 (設計基準拡張) による対応手順 (3) 残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード) による発電用原子炉からの除熱																																																											
非常時操作手順書 (稼働ベース) 「減圧冷却」等	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (供蒸機)																																																									
		原子炉水位 (広蒸機)																																																									
非常時操作手順書 (設備側) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉停止時冷却運転」	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉水位 (燃料機)																																																									
		原子炉水位 (SA 広蒸機)																																																									
判断基準	原子炉圧力容器内の温度	原子炉水位 (SA 燃料機)																																																									
		原子炉水位 (停止機)																																																									
補機監視機能	補機監視機能	原子炉水位 (定検時水運用)																																																									
		原子炉圧力																																																									
電源の確保	補機監視機能	原子炉圧力 (SA)																																																									
		原子炉圧力容器温度																																																									
最終ヒートシンクの確保	最終ヒートシンクの確保	残留熱除去系熱交換器入口温度																																																									
		残留熱除去系熱交換器出口温度																																																									
最終ヒートシンクの確保	最終ヒートシンクの確保	残留熱除去系熱交換器冷却水出口流量																																																									
		残留熱除去系熱交換器出口流量 (A, B 系のみ)																																																									
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																									
1.4.2.4 重大事故等対処設備 (設計基準拡張) による対応手順																																																											
(4) 余熱除去ポンプによる低圧再循環運転	判断基準	水源の確保																																																									
		原子炉圧力容器内の温度																																																									
操作	補機監視機能	原子炉圧力容器内の圧力																																																									
		原子炉圧力容器内の水位																																																									
(5) 余熱除去ポンプによる発電用原子炉からの除熱	判断基準	原子炉圧力容器内の圧力																																																									
		原子炉圧力容器内の温度																																																									
操作	補機監視機能	原子炉圧力容器内の温度																																																									
		水源の確保																																																									

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉

女川原子力発電所 2号炉

泊発電所 3号炉

相違理由

第1.4.8表 審査基準における要求事項ごとの給電対象設備

対象条文	供給対象設備	給電元
【1.4】 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等	A 格納容器スプレイポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線
	B 格納容器スプレイポンプ	4-3(4)B 非常用高圧母線
	恒設代替低圧注水ポンプ	空冷式非常用発電装置
	A 格納容器スプレイポンプ再循環サブ側入口格納容器隔離弁	A 1 原子炉コントロールセンタ
	A 充てんポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線
	B 充てんポンプ	4-3(4)B 非常用高圧母線
	A 高圧注入ポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線
	B 高圧注入ポンプ	4-3(4)B 非常用高圧母線
	A 電動補助給水ポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線
	B 電動補助給水ポンプ	4-3(4)B 非常用高圧母線
	A 主蒸気逃がし弁	A 1 ソレノイド分電盤
	B 主蒸気逃がし弁	A 1 ソレノイド分電盤
	C 主蒸気逃がし弁	B 1 ソレノイド分電盤
	D 主蒸気逃がし弁	B 1 ソレノイド分電盤

第 1.4-3 表 「審査基準」における要求事項ごとの給電対象設備

対象条文	供給対象設備	供給元	
		設備	母線
【1.4】 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等	常設代替交流電源設備	非常用低圧母線 MCC 2C 系	非常用低圧母線 MCC 2D 系
		非常用低圧母線 MCC 2E 系	非常用低圧母線 MCC 2G 系
	可搬型代替交流電源設備	非常用低圧母線 MCC 2C 系	非常用低圧母線 MCC 2D 系
		非常用低圧母線 MCC 2E 系	非常用低圧母線 MCC 2G 系
	常設代替交流電源設備	125V 直流主母線 2B-1	125V 直流主母線 2B-1
		可搬型代替交流電源設備	125V 直流主母線 2B-1
	所内常設蓄電池式直流電源設備	125V 直流主母線 2B-1	125V 直流主母線 2B-1
		常設代替交流電源設備	250V 直流主母線
	可搬型代替交流電源設備	250V 直流主母線	250V 直流主母線
		常設代替交流電源設備	250V 直流主母線
	直流駆動低圧注水系ポンプ	常設代替交流電源設備	125V 直流主母線 2A-1
		可搬型代替交流電源設備	125V 直流主母線 2A-1
	所内常設蓄電池式直流電源設備	125V 直流主母線 2A-1	125V 直流主母線 2A-1
		常設代替交流電源設備	非常用高圧母線 2C 系
	残留熱除去系ポンプ	非常用高圧母線 2D 系	非常用高圧母線 2D 系
		常設代替交流電源設備	非常用低圧母線 MCC 2C 系
残留熱除去系 弁	非常用低圧母線 MCC 2D 系	非常用低圧母線 MCC 2D 系	
	可搬型代替交流電源設備	非常用低圧母線 MCC 2D 系	
代替循環冷却ポンプ	非常用低圧母線 MCC 2C 系	非常用低圧母線 MCC 2C 系	
	常設代替交流電源設備	非常用高圧母線 2C 系	
低圧炉心スプレイ系ポンプ	非常用低圧母線 MCC 2C 系	非常用低圧母線 MCC 2C 系	
	常設代替交流電源設備	非常用低圧母線 MCC 2C 系	
原子炉再循環系 弁	非常用低圧母線 MCC 2C 系	非常用低圧母線 MCC 2C 系	
	常設代替交流電源設備	非常用低圧母線 MCC 2D 系	
計測用電源*	可搬型代替交流電源設備	非常用低圧母線 MCC 2C 系	
	所内常設蓄電池式直流電源設備	非常用低圧母線 MCC 2D 系	
		125V 直流主母線 2B	

※：供給負荷は監視計器

第 1.4.3 表 審査基準における要求事項ごとの給電対象設備 (1/2)

対象条文	供給対象設備	給電元	
		設備	母線
【1.4】 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等	非常用交流電源設備	非常用交流電源設備	非常用高圧母線
		非常用交流電源設備	非常用高圧母線
	常設代替交流電源設備	常設代替交流電源設備	非常用高圧母線
		常設代替交流電源設備	非常用高圧母線
	非常用交流電源設備	非常用交流電源設備	非常用高圧母線
		非常用交流電源設備	非常用高圧母線
	非常用交流電源設備	非常用交流電源設備	非常用高圧母線
		非常用交流電源設備	非常用高圧母線
	非常用交流電源設備	非常用交流電源設備	非常用高圧母線
		非常用交流電源設備	非常用高圧母線
	非常用交流電源設備	非常用交流電源設備	非常用高圧母線
		非常用交流電源設備	非常用高圧母線
	非常用交流電源設備	非常用交流電源設備	非常用高圧母線
		非常用交流電源設備	非常用高圧母線
	非常用交流電源設備	非常用交流電源設備	非常用高圧母線
		非常用交流電源設備	非常用高圧母線
非常用交流電源設備	非常用交流電源設備	非常用高圧母線	
	非常用交流電源設備	非常用高圧母線	

第 1.4.3 表 審査基準における要求事項ごとの給電対象設備 (2/2)

対象条文	供給対象設備	給電元	
		設備	母線
【1.4】 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等	2.高圧母線（燃料系設備）ポンプ*	非常用交流電源設備	非常用高圧母線
		非常用交流電源設備	非常用高圧母線
	2.高圧母線（注水設備）弁	非常用交流電源設備	非常用高圧母線
		非常用交流電源設備	非常用高圧母線
	代替循環冷却ポンプ	非常用交流電源設備	非常用高圧母線
		非常用交流電源設備	非常用高圧母線
	計測用電源*	非常用交流電源設備	非常用高圧母線
		非常用交流電源設備	非常用高圧母線
	非常用交流電源設備	非常用交流電源設備	非常用高圧母線
		非常用交流電源設備	非常用高圧母線
	非常用交流電源設備	非常用交流電源設備	非常用高圧母線
		非常用交流電源設備	非常用高圧母線
	非常用交流電源設備	非常用交流電源設備	非常用高圧母線
		非常用交流電源設備	非常用高圧母線
	非常用交流電源設備	非常用交流電源設備	非常用高圧母線
		非常用交流電源設備	非常用高圧母線
非常用交流電源設備	非常用交流電源設備	非常用高圧母線	
	非常用交流電源設備	非常用高圧母線	
非常用交流電源設備	非常用交流電源設備	非常用高圧母線	
	非常用交流電源設備	非常用高圧母線	

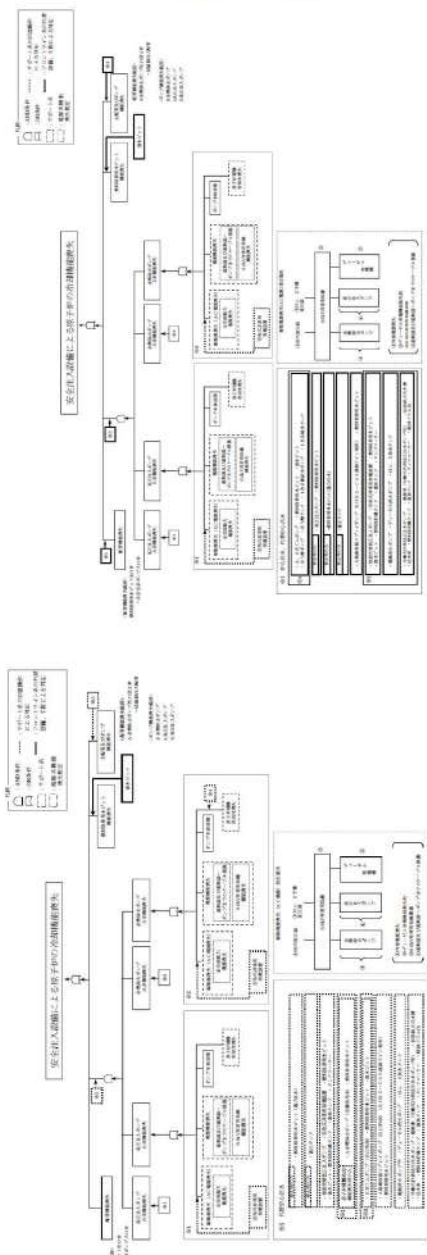
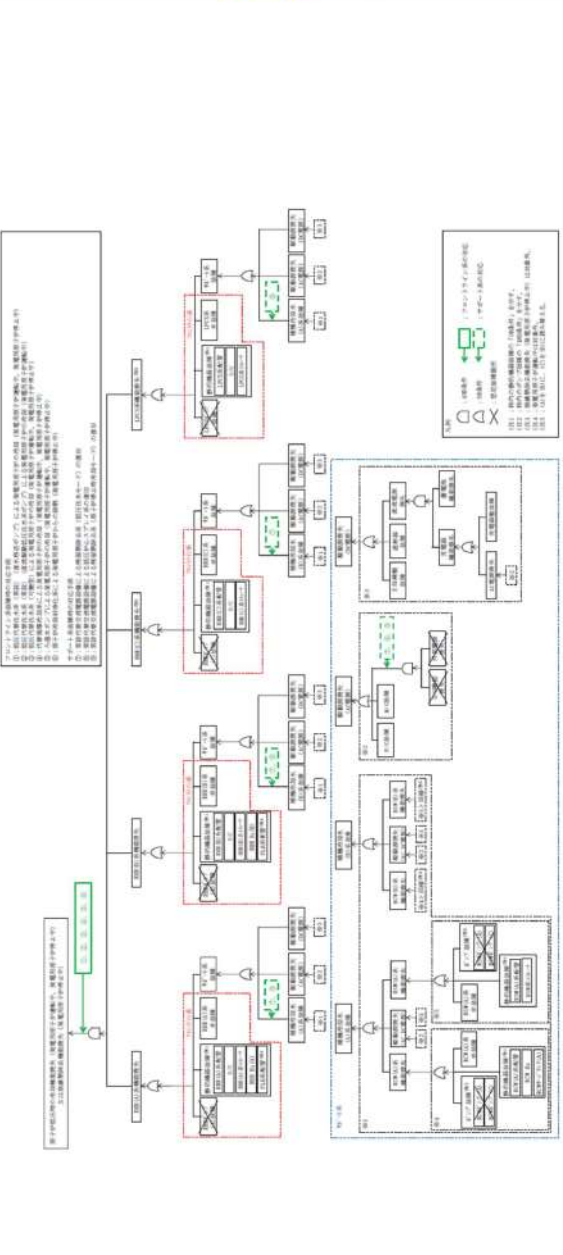
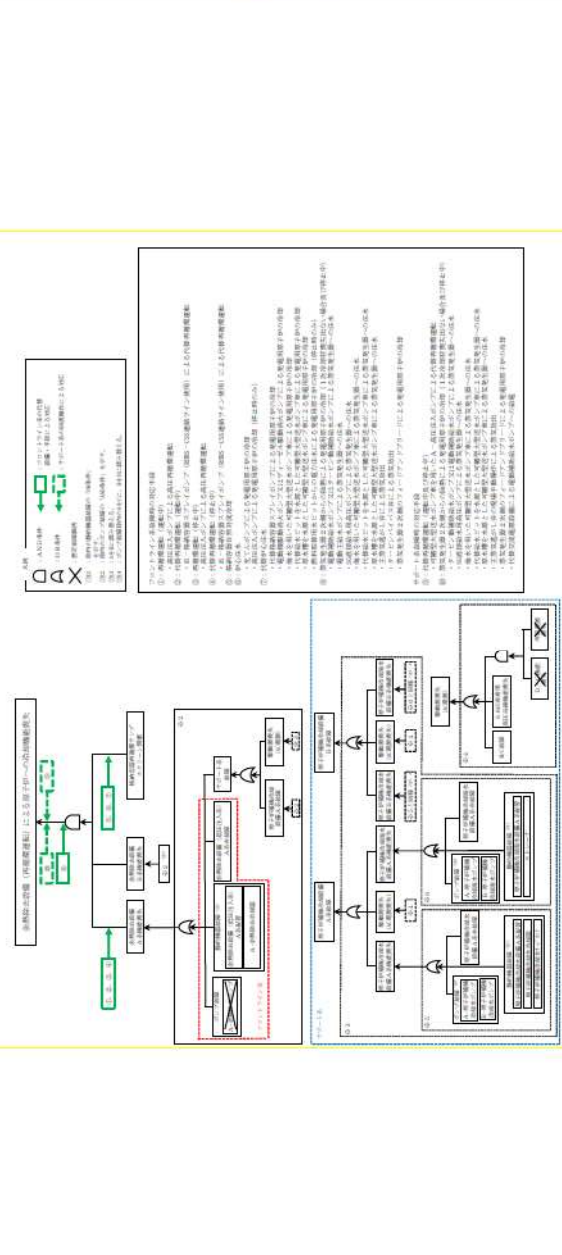
【大阪】
記載方針の相違
（女川審査実績の反映）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

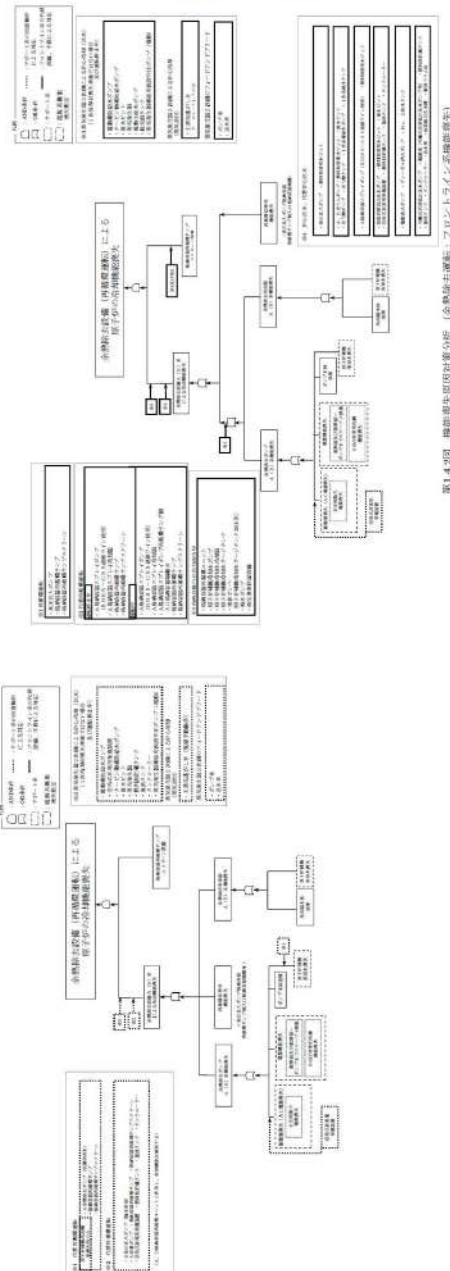

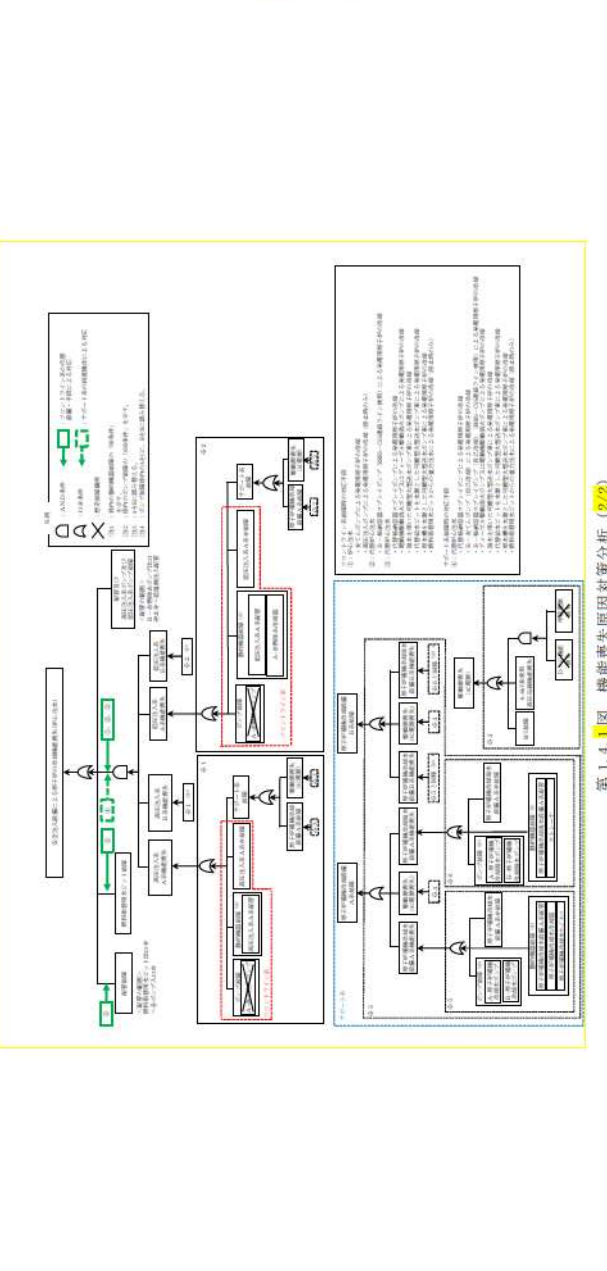
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p>第1.4.1図 機能喪失原因対策分析（炉心注水：フロントライン系統故障時）</p> <p>第1.4.2図 機能喪失原因対策分析（炉心注水：サボート系統機能喪失）</p>	 <p>第1.4-1図 機能喪失原因対策分析</p>	 <p>第1.4.1図 機能喪失原因対策分析（1/2）</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・フロントライン系の故障等を赤点線、サボート系の故障等を青点線で枠囲い。 ・対応手段を緑枠（実線、点線）とした。 ・故障想定箇所を×印で記載。 ・フロントライン系の故障、サボート系の故障を1つの図に記載している。</p>

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p>第1.4.4.3図 機能喪失原因対策分析（余熱除去運転時：フロントライン系機能喪失）</p> <p>第1.4.4.4図 機能喪失原因対策分析（余熱除去運転時：サポート系機能喪失）</p>	 <p>第1.4.4.3図 機能喪失原因対策分析（余熱除去運転時：フロントライン系機能喪失）</p> <p>第1.4.4.4図 機能喪失原因対策分析（余熱除去運転時：サポート系機能喪失）</p>	 <p>第1.4.4.3図 機能喪失原因対策分析（余熱除去運転時：フロントライン系機能喪失）</p> <p>第1.4.4.4図 機能喪失原因対策分析（余熱除去運転時：サポート系機能喪失）</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・フロントライン系の故障等を赤点線、サポート系の故障等を青点線で枠囲い。 ・対応手段を緑枠（実線、点線）とした。 ・故障想定箇所を×印で記載。 ・フロントライン系の故障、サポート系の故障を1つの図に記載している。</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div data-bbox="748 320 1357 938" style="border: 1px solid black; height: 387px; width: 272px; margin: 0 auto;"></div> <p data-bbox="763 963 1341 986">第1.4-2図 非常時操作手順書（徴候ベース）「水位確保」における対応フロー</p> <div data-bbox="945 1235 1357 1262" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 10px auto; width: 184px;"> 特開みの内容は商業機密の観点から公開できません。 </div>	<div data-bbox="1473 756 1912 799" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 196px; margin: 0 auto;"> 女川2号炉との比較対象なし </div>	<p data-bbox="2024 683 2168 906"> 【女川】 記載方針の相違 ・ 泊の対応手順ブ ロ一は重大事故 等時の対応手段 選択フローチャ ートにて示す。 （大飯と同様） </p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div data-bbox="757 320 1364 927" style="border: 1px solid black; height: 380px; width: 271px; margin: 0 auto;"></div> <p data-bbox="770 954 1350 975">第1.4-3図 非常時操作手順書（敷設ベース）「減圧冷却」における対応フロー</p> <div data-bbox="954 1241 1364 1267" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 10px auto; width: 183px;"> 枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。 </div>	<div data-bbox="1473 756 1912 799" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 196px; margin: 0 auto;"> 女川2号炉との比較対象なし </div>	<p data-bbox="2024 683 2168 906"> 【女川】 記載方針の相違 ・泊の対応手順ブ ローは重大事故 等時の対応手段 選択フローチャ ートにて示す。 （大飯と同様） </p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div data-bbox="750 316 1361 1066" style="border: 1px solid black; height: 470px; width: 273px; margin: 0 auto;"></div> <p data-bbox="766 1093 1346 1114">第1.4-4図 非常時操作手順書（微候ベース）「水位回復」における対応フロー</p> <div data-bbox="952 1241 1361 1264" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 10px auto; width: 183px;"> 枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。 </div>	<div data-bbox="1473 758 1915 801" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 197px; margin: 0 auto;"> 女川2号炉との比較対象なし </div>	<p data-bbox="2027 683 2168 906"> 【女川】 記載方針の相違 ・ 泊の対応手順フローは重大事故等時の対応手段選択フローチャートにて示す。（大飯と同様） </p>

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
	<div data-bbox="750 316 1361 1109" style="border: 1px solid black; height: 497px; width: 273px; margin: 0 auto;"></div> <p data-bbox="779 1136 1321 1182">第 1.4-5 図 非常時操作手順書（プラント停止中）「崩壊熱除去機能喪失」における対応フロー</p> <div data-bbox="949 1236 1352 1262" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。</p> </div>	<div data-bbox="1473 756 1912 799" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>女川 2号炉との比較対象なし</p> </div>	<p data-bbox="2024 683 2168 906">【女川】 記載方針の相違 ・ 泊の対応手順フローは重大事故等時の対応手段選択フローチャートにて示す。 (大飯と同様)</p>

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
	<div data-bbox="757 327 1355 1077" style="border: 1px solid black; height: 470px; margin-bottom: 10px;"></div> <div data-bbox="801 1109 1310 1157" style="text-align: center;"> 第1.4-6図 非常時操作手順書（プラント停止中）「原子炉冷却材喪失」における対応フロー </div> <div data-bbox="952 1228 1355 1252" style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center; margin-top: 10px;"> 枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。 </div>	<div data-bbox="1473 758 1915 798" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 女川2号炉との比較対象なし </div>	<p>【女川】 記載方針の相違 ・泊の対応手順フローは重大事故等時の対応手段選択フローチャートにて示す。（大飯と同様）</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

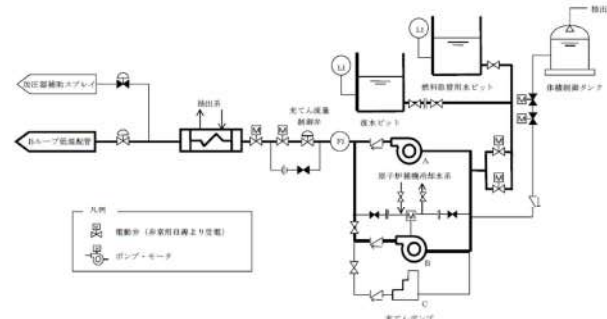
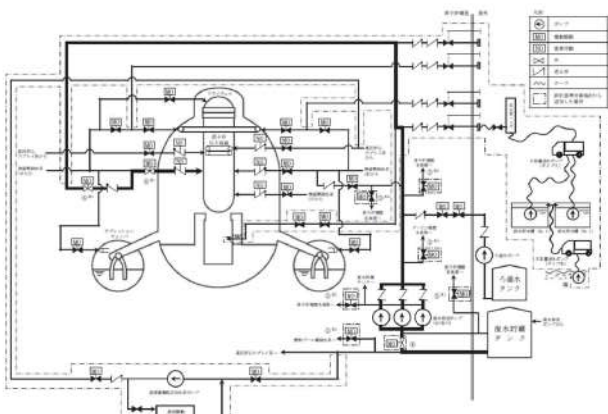
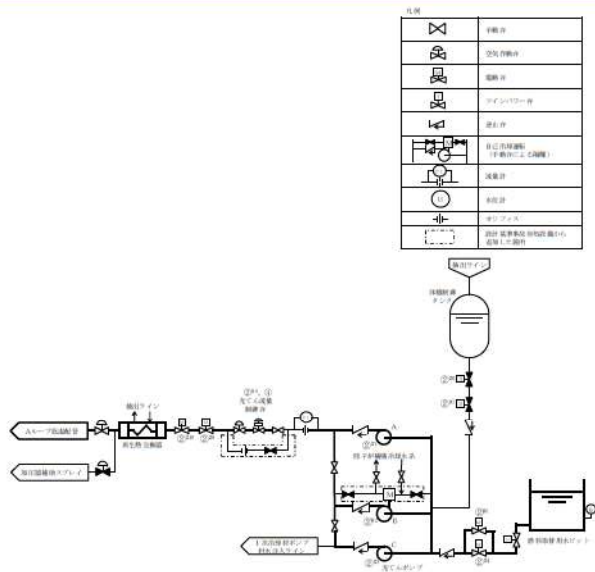
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div data-bbox="750 311 1366 869" style="border: 1px solid black; height: 350px; width: 100%;"></div> <p data-bbox="772 893 1332 941">第1.4-7図 非常時操作手順書（シビアアクシデント）「注水ストラテジ-4」における対応フロー</p> <div data-bbox="952 1244 1355 1268" style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。 </div>	<div data-bbox="1467 758 1915 798" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 女川2号炉との比較対象なし </div>	<p data-bbox="2027 678 2161 901"> 【女川】 記載方針の相違 ・ 泊の対応手順フローは重大事故等時の対応手段選択フローチャートにて示す。 （大飯と同様） </p>

1.4 原子炉冷却材圧カバウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																														
 <p>第 1.4.5 図 充電ポンプによる炉心注水 概略系統</p>	 <p>第 1.4-8 図 低圧代替注水系（常設）（復水移送ポンプ）による原子炉圧力容器への注水 概要図（1/2）</p> <table border="1" data-bbox="851 901 1254 1117"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>弁名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>①*</td><td>CED 復水入口弁</td></tr> <tr><td>②*</td><td>蒸気 サンプリング 取出し止め弁</td></tr> <tr><td>③*</td><td>FFWD ポンプ送込弁</td></tr> <tr><td>④*</td><td>1/B 緊急時隔離弁</td></tr> <tr><td>⑤*</td><td>R/B 1/F 緊急時隔離弁</td></tr> <tr><td>⑥*</td><td>R/B 1/F 緊急時隔離弁</td></tr> <tr><td>⑦</td><td>復水貯留タンク 常用、非常用給水管連絡ライン止め弁</td></tr> <tr><td>⑧*</td><td>3階 4 系 LPCI 注入隔離弁</td></tr> <tr><td>⑨*</td><td>3階 ヘッドスプレイライン 洗浄装置調整弁</td></tr> </tbody> </table> <p>※1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する弁があることを示す。</p> <p>第 1.4-8 図 低圧代替注水系（常設）（復水移送ポンプ）による原子炉圧力容器への注水 概要図（2/2）</p>	操作手順	弁名称	①*	CED 復水入口弁	②*	蒸気 サンプリング 取出し止め弁	③*	FFWD ポンプ送込弁	④*	1/B 緊急時隔離弁	⑤*	R/B 1/F 緊急時隔離弁	⑥*	R/B 1/F 緊急時隔離弁	⑦	復水貯留タンク 常用、非常用給水管連絡ライン止め弁	⑧*	3階 4 系 LPCI 注入隔離弁	⑨*	3階 ヘッドスプレイライン 洗浄装置調整弁	 <p>第 1.4.2 図 充電ポンプによる原子炉容器への注水 概要図</p> <table border="1" data-bbox="1433 949 1948 1165"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>①*</td><td>Aー充電ポンプ</td><td>起動確認</td></tr> <tr><td>②*</td><td>Bー充電ポンプ</td><td>起動確認</td></tr> <tr><td>③*</td><td>Cー充電ポンプ</td><td>起動確認</td></tr> <tr><td>④*</td><td>充電ポンプ入口燃料取替用水ビット側入口弁 A</td><td>全閉→全開</td></tr> <tr><td>⑤*</td><td>充電ポンプ入口燃料取替用水ビット側入口弁 B</td><td>全閉→全開</td></tr> <tr><td>⑥*</td><td>圧縮継手タンク 出口第 1 止め弁</td><td>全開→全閉</td></tr> <tr><td>⑦*</td><td>圧縮継手タンク 出口第 2 止め弁</td><td>全開→全閉</td></tr> <tr><td>⑧*</td><td>充電ポンプ 調整弁</td><td>調整閉→全閉</td></tr> <tr><td>⑨*</td><td>充電ポンプ 調整弁</td><td>調整閉→全閉</td></tr> <tr><td>⑩*</td><td>充電ポンプ 調整弁</td><td>全閉→全開</td></tr> <tr><td>⑪*</td><td>充電ポンプ 調整弁</td><td>全閉→全開</td></tr> <tr><td>⑫</td><td>充電ポンプ 調整弁</td><td>全閉→全開</td></tr> <tr><td>⑬</td><td>充電ポンプ 調整弁</td><td>全閉→調整閉</td></tr> </tbody> </table> <p>※1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	①*	Aー充電ポンプ	起動確認	②*	Bー充電ポンプ	起動確認	③*	Cー充電ポンプ	起動確認	④*	充電ポンプ入口燃料取替用水ビット側入口弁 A	全閉→全開	⑤*	充電ポンプ入口燃料取替用水ビット側入口弁 B	全閉→全開	⑥*	圧縮継手タンク 出口第 1 止め弁	全開→全閉	⑦*	圧縮継手タンク 出口第 2 止め弁	全開→全閉	⑧*	充電ポンプ 調整弁	調整閉→全閉	⑨*	充電ポンプ 調整弁	調整閉→全閉	⑩*	充電ポンプ 調整弁	全閉→全開	⑪*	充電ポンプ 調整弁	全閉→全開	⑫	充電ポンプ 調整弁	全閉→全開	⑬	充電ポンプ 調整弁	全閉→調整閉	<p>【大阪】 記載方針の相違 （女川審査表紙の反映） ・凡例の記載内容 充実 ・概要図と操作内容を紐づけ</p> <p>【女川】 設備の相違（BWR 固有の対応手段）</p>
操作手順	弁名称																																																																
①*	CED 復水入口弁																																																																
②*	蒸気 サンプリング 取出し止め弁																																																																
③*	FFWD ポンプ送込弁																																																																
④*	1/B 緊急時隔離弁																																																																
⑤*	R/B 1/F 緊急時隔離弁																																																																
⑥*	R/B 1/F 緊急時隔離弁																																																																
⑦	復水貯留タンク 常用、非常用給水管連絡ライン止め弁																																																																
⑧*	3階 4 系 LPCI 注入隔離弁																																																																
⑨*	3階 ヘッドスプレイライン 洗浄装置調整弁																																																																
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																																															
①*	Aー充電ポンプ	起動確認																																																															
②*	Bー充電ポンプ	起動確認																																																															
③*	Cー充電ポンプ	起動確認																																																															
④*	充電ポンプ入口燃料取替用水ビット側入口弁 A	全閉→全開																																																															
⑤*	充電ポンプ入口燃料取替用水ビット側入口弁 B	全閉→全開																																																															
⑥*	圧縮継手タンク 出口第 1 止め弁	全開→全閉																																																															
⑦*	圧縮継手タンク 出口第 2 止め弁	全開→全閉																																																															
⑧*	充電ポンプ 調整弁	調整閉→全閉																																																															
⑨*	充電ポンプ 調整弁	調整閉→全閉																																																															
⑩*	充電ポンプ 調整弁	全閉→全開																																																															
⑪*	充電ポンプ 調整弁	全閉→全開																																																															
⑫	充電ポンプ 調整弁	全閉→全開																																																															
⑬	充電ポンプ 調整弁	全閉→調整閉																																																															

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

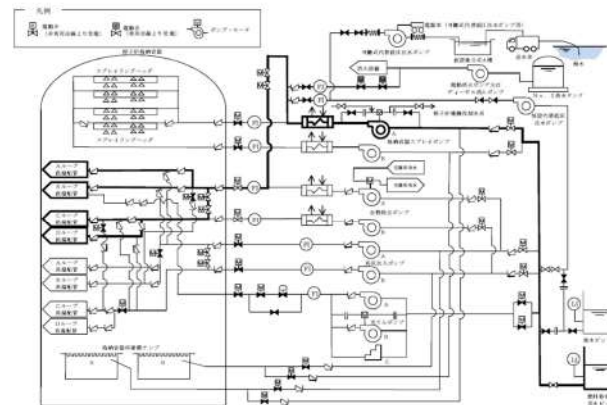
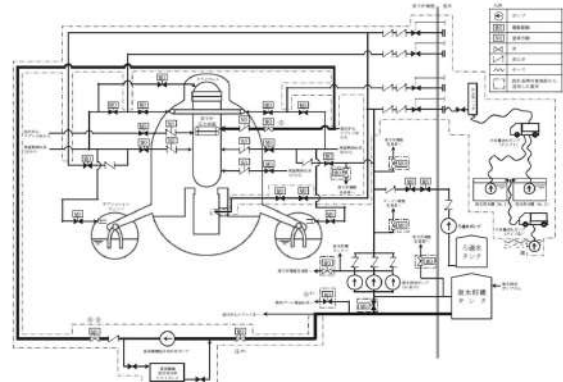
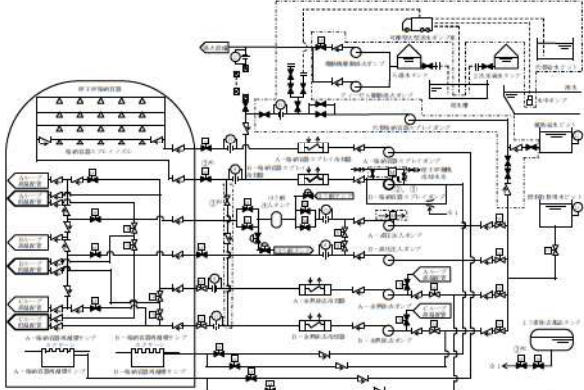
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div style="text-align: center;"> <p>第1.4-9 図 低圧代替注水系（常設）（復水移送ポンプ）による原子炉圧力容器への注水 タイムチャート</p> </div>		<p>【女川】 設備の相違(BWR固有の対応手段)</p>

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																	
 <p>第1.4.6図 A格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替炉心注水 概略系統</p>	 <p>第1.4-10図 低圧代替注水系（常設）（直流駆動低圧注水系ポンプ）による原子炉圧力容器への注水 概要図（1/2）</p> <table border="1" data-bbox="873 941 1232 1037"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作名称</th> <th>装置名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>注1</td> <td>注水圧力調整弁</td> <td></td> </tr> <tr> <td>注2</td> <td>注水ポンプ運転弁</td> <td></td> </tr> <tr> <td>注3</td> <td>DCIポンプ運転弁</td> <td></td> </tr> <tr> <td>注4</td> <td>DCI自入流量調整弁</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する旨があることを示す。</p> <p>第1.4-10図 低圧代替注水系（常設）（直流駆動低圧注水系ポンプ）による原子炉圧力容器への注水 概要図（2/2）</p>	操作手順	操作名称	装置名	注1	注水圧力調整弁		注2	注水ポンプ運転弁		注3	DCIポンプ運転弁		注4	DCI自入流量調整弁		 <p>第1.4.3図 B-格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水 概要図</p> <table border="1" data-bbox="1433 1053 1948 1157"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>B-格納容器スプレイポンプ</td> <td>起動→停止</td> </tr> <tr> <td>②^注</td> <td>B-格納容器スプレイ冷身器出入口IC/外機隔離弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>③^注</td> <td>上り蒸気除去薬品タンク注入ライン止め弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>④^注</td> <td>B-全熱除去冷身器出口格納容器スプレイ水注入ライン止め弁（SA対策）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>B-格納容器スプレイポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	①	B-格納容器スプレイポンプ	起動→停止	② ^注	B-格納容器スプレイ冷身器出入口IC/外機隔離弁	全閉→全開	③ ^注	上り蒸気除去薬品タンク注入ライン止め弁	全開→全閉	④ ^注	B-全熱除去冷身器出口格納容器スプレイ水注入ライン止め弁（SA対策）	全開→全閉	⑤	B-格納容器スプレイポンプ	停止→起動	<p>【大飯】 記載方針の相違 （女川審査表紙の反映） ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を紐づけ</p> <p>【女川】 設備の相違（BWR固有の対応手段）</p>
操作手順	操作名称	装置名																																		
注1	注水圧力調整弁																																			
注2	注水ポンプ運転弁																																			
注3	DCIポンプ運転弁																																			
注4	DCI自入流量調整弁																																			
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																		
①	B-格納容器スプレイポンプ	起動→停止																																		
② ^注	B-格納容器スプレイ冷身器出入口IC/外機隔離弁	全閉→全開																																		
③ ^注	上り蒸気除去薬品タンク注入ライン止め弁	全開→全閉																																		
④ ^注	B-全熱除去冷身器出口格納容器スプレイ水注入ライン止め弁（SA対策）	全開→全閉																																		
⑤	B-格納容器スプレイポンプ	停止→起動																																		

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

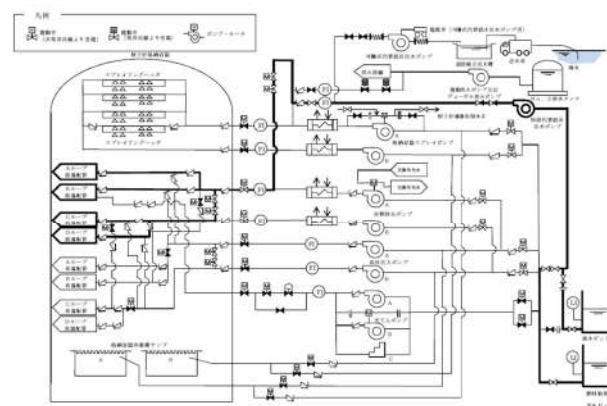
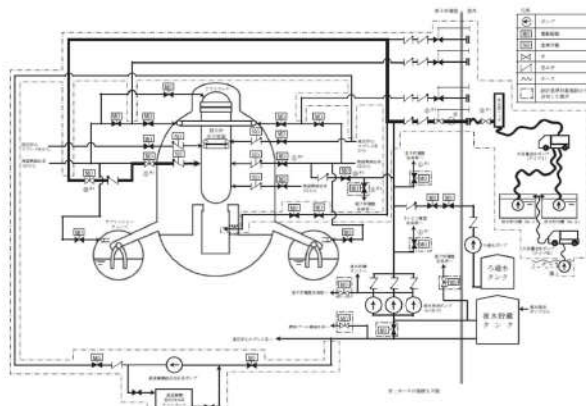
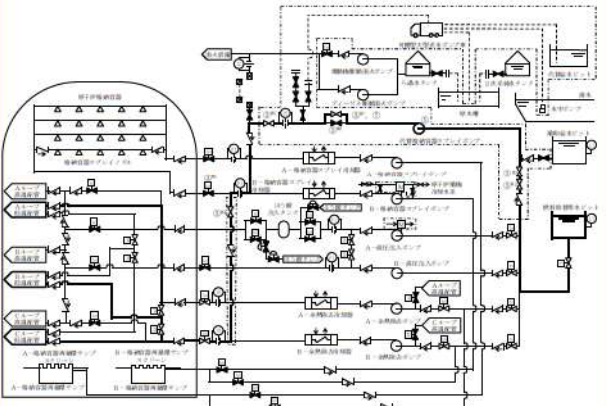
大阪発電所3 / 4号炉	女川原子炉発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>大阪発電所3 / 4号炉</p> <p>第1.4.7図 A格納容器スプレイポンプ (RHRS-CSS連絡ライン使用) による代替炉心注水 タイムチャート</p> <p>※：現象移動時間には防犯装置動作時間を含む。</p>	<p>女川原子炉発電所2号炉</p> <p>第1.4-11図 低圧代替注水系 (常設) (直流駆動低圧注水系ポンプ) による原子炉圧力容器への注水 タイムチャート</p> <p>※1：中央制御室での状況確認に必要な経過時間 ※2：機器の動作時間及び動作時間に見込まれた時間 ※3：中央制御室から機器操作場所までの移動時間及び機器の動作時間に見込まれた時間</p>	<p>泊発電所3号炉</p> <p>第1.4.4図 B一格納容器スプレイポンプ (RHRS-CSS連絡ライン使用) による原子炉圧力容器への注水 タイムチャート</p> <p>※1：機器の動作時間及び動作時間に見込まれた時間 ※2：中央制御室から機器操作場所までの移動時間及び機器の動作時間に見込まれた時間 ※3：機器の動作時間に見込まれた時間</p>	<p>相違理由</p> <ul style="list-style-type: none"> 【大阪】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映) ・タイムチャートと操作手順表を参照 ・補足の充実 ・備考欄の追加 【女川】 設備の相違 (BWR固有の対応手段)

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																		
 <p>第 1.4.8 図 代替格納圧注水ポンプによる代替炉心注水 概略系統</p>	 <p>第 1.4-12 図 低圧代替注水系（可搬型）による原子炉圧力容器への注水 概要図（1/2）</p> <table border="1" data-bbox="817 869 1288 1109"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>装置名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>④^{#1}</td> <td>T/B 緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>④^{#2}</td> <td>R/B B1F 緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>④^{#3}</td> <td>R/B 1F 緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑤^{#1}</td> <td>R/R A 系 LPCI 注入隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑤^{#2}</td> <td>R/R B 系 LPCI 注入隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑥^{#1}</td> <td>原子炉・格納容器下部注水弁</td> </tr> <tr> <td>⑥^{#2}</td> <td>緊急時原子炉東側外部注水入口弁</td> </tr> <tr> <td>⑦^{#1}</td> <td>R/R ヘッドスプレイライン洗浄流量調整弁</td> </tr> <tr> <td>⑧^{#1}</td> <td>R/R B 系格納容器冷却ライン洗浄流量調整弁</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する旨があることを示す。</p> <p>第 1.4-12 図 低圧代替注水系（可搬型）による原子炉圧力容器への注水 概要図（2/2）</p>	操作手順	装置名称	④ ^{#1}	T/B 緊急時隔離弁	④ ^{#2}	R/B B1F 緊急時隔離弁	④ ^{#3}	R/B 1F 緊急時隔離弁	⑤ ^{#1}	R/R A 系 LPCI 注入隔離弁	⑤ ^{#2}	R/R B 系 LPCI 注入隔離弁	⑥ ^{#1}	原子炉・格納容器下部注水弁	⑥ ^{#2}	緊急時原子炉東側外部注水入口弁	⑦ ^{#1}	R/R ヘッドスプレイライン洗浄流量調整弁	⑧ ^{#1}	R/R B 系格納容器冷却ライン洗浄流量調整弁	 <p>第 1.4.5 図 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水 概要図</p> <table border="1" data-bbox="1422 1037 1982 1204"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>④^{#1}</td> <td>H-格納容器スプレイポンプ出口H/C7外側隔離弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>④^{#2}</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ入口第1止め弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>④^{#3}</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ入口第2止め弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>④^{#4}</td> <td>H-全熱源冷却器出口格納容器スプレイ水注入ライン止め弁（SA弁部）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>④^{#5}</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ接続ライン止め弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>④^{#6}</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ出口格納容器スプレイ用絞り弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>④^{#7}</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ出口炉心注水用絞り弁</td> <td>全閉→調整開</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ出口炉心注水用絞り弁</td> <td>調整開</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	④ ^{#1}	H-格納容器スプレイポンプ出口H/C7外側隔離弁	全閉→全開	④ ^{#2}	代替格納容器スプレイポンプ入口第1止め弁	全閉→全開	④ ^{#3}	代替格納容器スプレイポンプ入口第2止め弁	全閉→全開	④ ^{#4}	H-全熱源冷却器出口格納容器スプレイ水注入ライン止め弁（SA弁部）	全閉→全開	④ ^{#5}	代替格納容器スプレイポンプ接続ライン止め弁	全閉→全開	④ ^{#6}	代替格納容器スプレイポンプ出口格納容器スプレイ用絞り弁	全閉→全開	④ ^{#7}	代替格納容器スプレイポンプ出口炉心注水用絞り弁	全閉→調整開	⑤	代替格納容器スプレイポンプ	停止→起動	⑥	代替格納容器スプレイポンプ出口炉心注水用絞り弁	調整開	<p>相違理由</p> <ul style="list-style-type: none"> 【大阪】記載方針の相違（女川審査表紙の反映） ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を紐づけ 【女川】設備の相違（BWR固有の対応手段）
操作手順	装置名称																																																				
④ ^{#1}	T/B 緊急時隔離弁																																																				
④ ^{#2}	R/B B1F 緊急時隔離弁																																																				
④ ^{#3}	R/B 1F 緊急時隔離弁																																																				
⑤ ^{#1}	R/R A 系 LPCI 注入隔離弁																																																				
⑤ ^{#2}	R/R B 系 LPCI 注入隔離弁																																																				
⑥ ^{#1}	原子炉・格納容器下部注水弁																																																				
⑥ ^{#2}	緊急時原子炉東側外部注水入口弁																																																				
⑦ ^{#1}	R/R ヘッドスプレイライン洗浄流量調整弁																																																				
⑧ ^{#1}	R/R B 系格納容器冷却ライン洗浄流量調整弁																																																				
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																																			
④ ^{#1}	H-格納容器スプレイポンプ出口H/C7外側隔離弁	全閉→全開																																																			
④ ^{#2}	代替格納容器スプレイポンプ入口第1止め弁	全閉→全開																																																			
④ ^{#3}	代替格納容器スプレイポンプ入口第2止め弁	全閉→全開																																																			
④ ^{#4}	H-全熱源冷却器出口格納容器スプレイ水注入ライン止め弁（SA弁部）	全閉→全開																																																			
④ ^{#5}	代替格納容器スプレイポンプ接続ライン止め弁	全閉→全開																																																			
④ ^{#6}	代替格納容器スプレイポンプ出口格納容器スプレイ用絞り弁	全閉→全開																																																			
④ ^{#7}	代替格納容器スプレイポンプ出口炉心注水用絞り弁	全閉→調整開																																																			
⑤	代替格納容器スプレイポンプ	停止→起動																																																			
⑥	代替格納容器スプレイポンプ出口炉心注水用絞り弁	調整開																																																			

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉

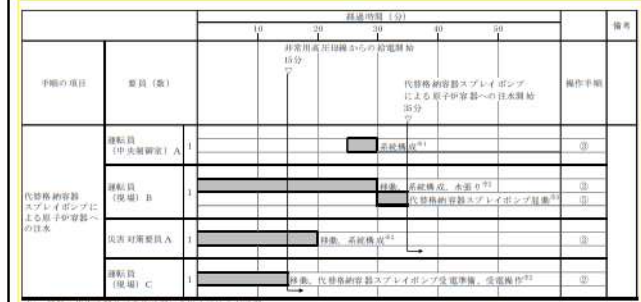
女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由



フロントライン系故障時



サポート系故障時



第1.4.6 図 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水 タイムチャート

【大阪】
 設備の相違
 (相違理由②)

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

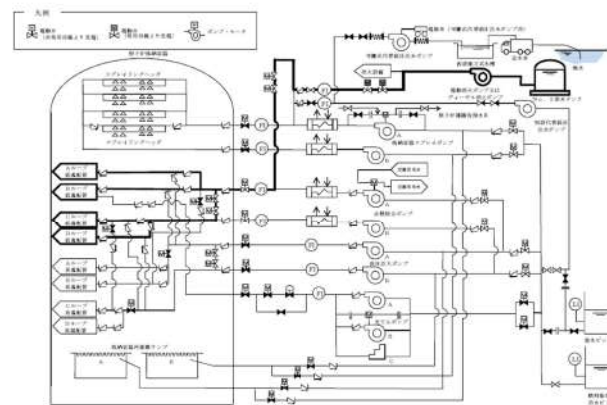
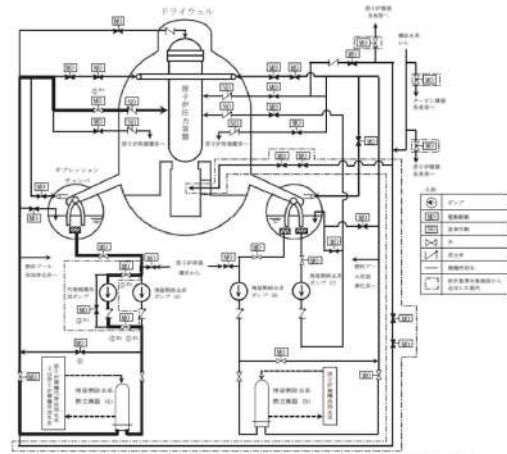
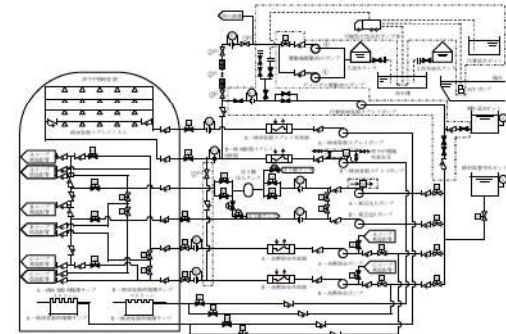
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由															
<div data-bbox="203 770 613 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>		<div data-bbox="1451 225 1809 1305" style="border: 2px solid yellow; padding: 10px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">手順の項目</th> <th rowspan="2">要員(数)</th> <th colspan="3">経過時間(分)</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>10</th> <th>20</th> <th>30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器への注水(原子炉格納容器注水から原子炉格納容器注水への切替え)</td> <td>運転員 (中央制御室) A 1 運転員 (現場) B 1</td> <td></td> <td style="text-align: center;">25分 ▽</td> <td style="text-align: center;">30</td> <td>代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器から原子炉格納容器への注水切替え完了 ② 移動、系統構成^{※2} ②</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small; margin-top: 5px;">※1：機器の操作時間及び動作時間に見込んである時間 ※2：中央制御室から機器操作場所までの移動時間及び機器の操作時間</p> </div> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">第 1.4.7 図 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器への注水 (原子炉格納容器注水から原子炉格納容器への注水切替え) タイムチャート</p>	手順の項目	要員(数)	経過時間(分)			備考	10	20	30	代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器への注水(原子炉格納容器注水から原子炉格納容器注水への切替え)	運転員 (中央制御室) A 1 運転員 (現場) B 1		25分 ▽	30	代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器から原子炉格納容器への注水切替え完了 ② 移動、系統構成 ^{※2} ②	<div data-bbox="2024 754 2130 834" style="border: 1px solid yellow; padding: 2px; display: inline-block;">【大飯】 設備の相違 (相違理由①)</div>
手順の項目	要員(数)	経過時間(分)			備考													
		10	20	30														
代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器への注水(原子炉格納容器注水から原子炉格納容器注水への切替え)	運転員 (中央制御室) A 1 運転員 (現場) B 1		25分 ▽	30	代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器から原子炉格納容器への注水切替え完了 ② 移動、系統構成 ^{※2} ②													

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																												
 <p>第1.4.10図 電動消火ポンプ又はディーゼル消火ポンプによる代替炉心注水 概略系統</p>	 <p>第1.4-16図 代替循環冷却系による原子炉压力容器への注水 概要図 (1/2)</p> <table border="1" data-bbox="784 925 1332 1093"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>弁名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>③^{#1}</td> <td>代替循環冷却ポンプバイパス弁</td> </tr> <tr> <td>③^{#2} ⑤^{#2}</td> <td>代替循環冷却ポンプ流量調整弁</td> </tr> <tr> <td>④^{#3}</td> <td>代替循環冷却ポンプ吸込弁</td> </tr> <tr> <td>⑤^{#1}</td> <td>RBR A系 LPCI 注入隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>超臨熱交換器 (A) バイパス弁</td> </tr> </tbody> </table> <p>#1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する弁があることを示す。</p> <p>第1.4-16図 代替循環冷却系による原子炉压力容器への注水 概要図 (2/2)</p>	操作手順	弁名称	③ ^{#1}	代替循環冷却ポンプバイパス弁	③ ^{#2} ⑤ ^{#2}	代替循環冷却ポンプ流量調整弁	④ ^{#3}	代替循環冷却ポンプ吸込弁	⑤ ^{#1}	RBR A系 LPCI 注入隔離弁	⑥	超臨熱交換器 (A) バイパス弁	 <p>第1.4.8図 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水 概要図</p> <table border="1" data-bbox="1780 383 1971 686"> <thead> <tr> <th>凡例</th> <th>手動弁</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>電動弁</td> </tr> <tr> <td></td> <td>グインバスター弁</td> </tr> <tr> <td></td> <td>遮断弁</td> </tr> <tr> <td></td> <td>可動型ボース</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高圧計</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水位計</td> </tr> <tr> <td></td> <td>分岐弁</td> </tr> <tr> <td></td> <td>接続口</td> </tr> <tr> <td></td> <td>自力噴射機組 (10m以上昇降機)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>代替循環冷却</td> </tr> <tr> <td></td> <td>送水系等から別の送水系から送水した箇所</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="1444 1029 1960 1165"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>②^{#1}</td> <td>可動型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>②^{#2}</td> <td>短時間消火水供給ライン1止め弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>②^{#3}</td> <td>短時間消火水供給ライン2止め弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>②^{#4}</td> <td>100%熱除去液層層出口熱納容部スプレイ水注入ライン止め弁 (SA対策)</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>②^{#5}</td> <td>短時間消火水供給ライン第1止め弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>電動機駆動消火ポンプ*</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>ディーゼル駆動消火ポンプ*</td> <td>停止→起動</td> </tr> </tbody> </table> <p>*1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。 ※：どちらか一方を起動する。</p>	凡例	手動弁		電動弁		グインバスター弁		遮断弁		可動型ボース		高圧計		水位計		分岐弁		接続口		自力噴射機組 (10m以上昇降機)		代替循環冷却		送水系等から別の送水系から送水した箇所	操作手順	操作対象機器	状態の変化	② ^{#1}	可動型ボース	ボース接続	② ^{#2}	短時間消火水供給ライン1止め弁	全閉→全開	② ^{#3}	短時間消火水供給ライン2止め弁	全閉→全開	② ^{#4}	100%熱除去液層層出口熱納容部スプレイ水注入ライン止め弁 (SA対策)	全閉→全開	② ^{#5}	短時間消火水供給ライン第1止め弁	全閉→全開	③	電動機駆動消火ポンプ*	停止→起動	④	ディーゼル駆動消火ポンプ*	停止→起動	<p>【大飯】 記載方針の相違 (女川審査表紙の反映) ・凡例の記載内容 充実 ・概要図と操作内容を紐づけ</p> <p>【女川】 設備の相違(BWR固有の対応手段)</p>
操作手順	弁名称																																																														
③ ^{#1}	代替循環冷却ポンプバイパス弁																																																														
③ ^{#2} ⑤ ^{#2}	代替循環冷却ポンプ流量調整弁																																																														
④ ^{#3}	代替循環冷却ポンプ吸込弁																																																														
⑤ ^{#1}	RBR A系 LPCI 注入隔離弁																																																														
⑥	超臨熱交換器 (A) バイパス弁																																																														
凡例	手動弁																																																														
	電動弁																																																														
	グインバスター弁																																																														
	遮断弁																																																														
	可動型ボース																																																														
	高圧計																																																														
	水位計																																																														
	分岐弁																																																														
	接続口																																																														
	自力噴射機組 (10m以上昇降機)																																																														
	代替循環冷却																																																														
	送水系等から別の送水系から送水した箇所																																																														
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																																													
② ^{#1}	可動型ボース	ボース接続																																																													
② ^{#2}	短時間消火水供給ライン1止め弁	全閉→全開																																																													
② ^{#3}	短時間消火水供給ライン2止め弁	全閉→全開																																																													
② ^{#4}	100%熱除去液層層出口熱納容部スプレイ水注入ライン止め弁 (SA対策)	全閉→全開																																																													
② ^{#5}	短時間消火水供給ライン第1止め弁	全閉→全開																																																													
③	電動機駆動消火ポンプ*	停止→起動																																																													
④	ディーゼル駆動消火ポンプ*	停止→起動																																																													

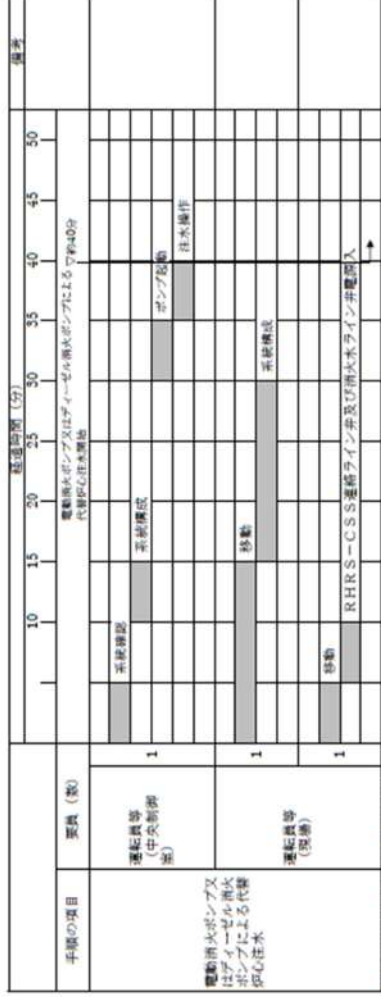
1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

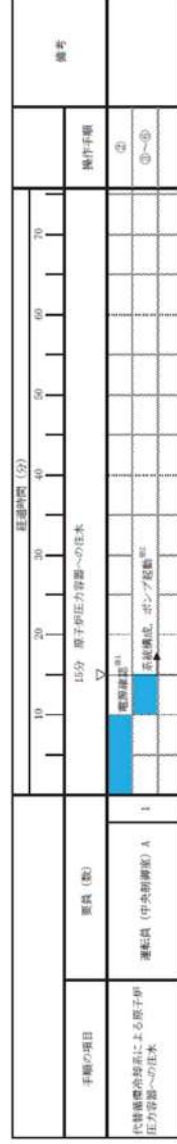
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉



※：現場移動時間には対応係員専用時間を含み、

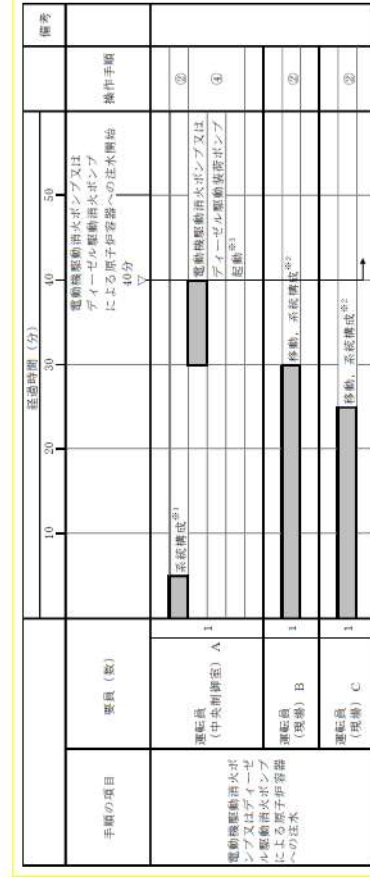
女川原子力発電所2号炉



※1：中央制御室での状況確認に必要な準備時間
 ※2：機器の操作時間及び動作時間(余裕を見込んだ時間)

第1.4.17図 代替循環冷却系による原子炉圧力容器への注水 タイムチャート

泊発電所3号炉



第1.4.9図 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる

原子炉容器への注水 タイムチャート

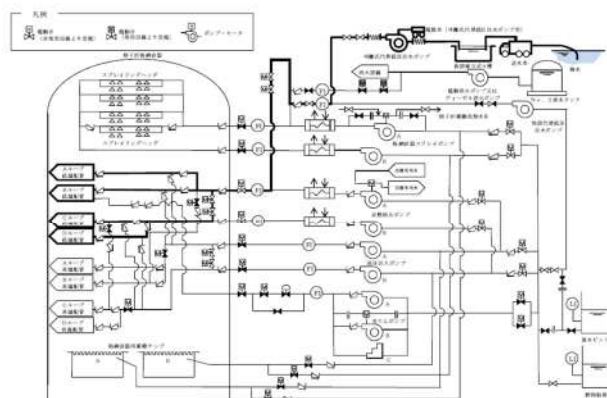
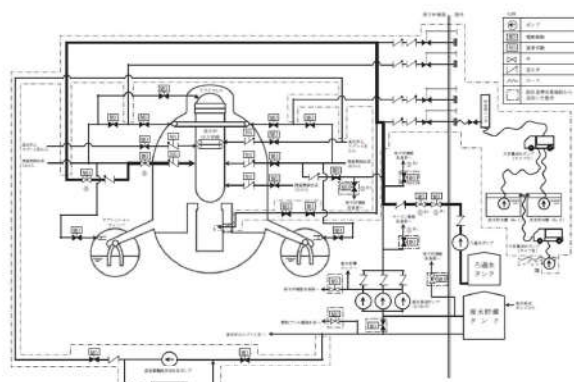
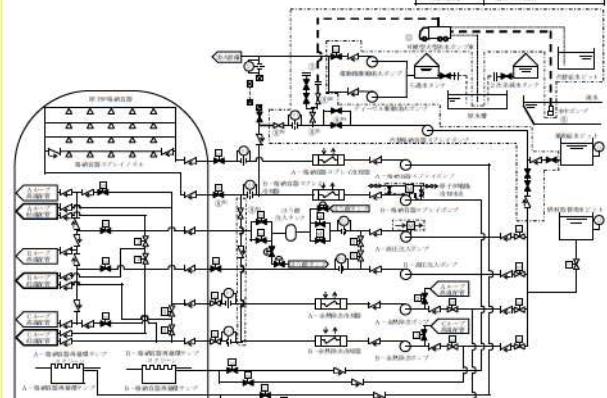
- 【大阪】
- 記載方針の相違 (女川審査実績の反映)
- ・タイムチャートと操作手順書とを紐づけ
- ・補足の充実
- ・備考欄の追加

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
 <p>第1.4.12図 可搬式代替高圧注水ポンプによる代替炉心注水 概略系統</p>	 <p>第1.4-18図 ろ過水ポンプによる原子炉圧力容器への注水 概要図 (1/2)</p> <table border="1" data-bbox="784 869 1332 1093"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①#1</td> <td>T/B緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>①#2</td> <td>R/B BIP緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>①#3</td> <td>R/B IP緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>②#1</td> <td>FW系連絡第一弁</td> </tr> <tr> <td>②#2</td> <td>FW系連絡第二弁</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>R/R A系 LPVI 注入隔離弁</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>R/R ヘッドスプレイライン洗浄流量調整弁</td> </tr> </tbody> </table> <p>#1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する年があることを示す。</p> <p>第1.4-18図 ろ過水ポンプによる原子炉圧力容器への注水 概要図 (2/2)</p>	操作手順	名称	①#1	T/B緊急時隔離弁	①#2	R/B BIP緊急時隔離弁	①#3	R/B IP緊急時隔離弁	②#1	FW系連絡第一弁	②#2	FW系連絡第二弁	③	R/R A系 LPVI 注入隔離弁	④	R/R ヘッドスプレイライン洗浄流量調整弁	 <p>第1.4.10図 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水 概要図</p> <table border="1" data-bbox="1422 1029 1960 1181"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>③#1</td> <td>第一熱源容器スプレイ冷却器出力11C9各種隔離弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>③#2</td> <td>冷却熱源容器スプレイ冷却器出力11C9各種隔離弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#1</td> <td>第一熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#2</td> <td>第一熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#3</td> <td>冷却熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#4</td> <td>冷却熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#5</td> <td>冷却熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#6</td> <td>冷却熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#7</td> <td>冷却熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#8</td> <td>冷却熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#9</td> <td>冷却熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#10</td> <td>冷却熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#11</td> <td>冷却熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#12</td> <td>冷却熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#13</td> <td>冷却熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#14</td> <td>冷却熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#15</td> <td>冷却熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#16</td> <td>冷却熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#17</td> <td>冷却熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#18</td> <td>冷却熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#19</td> <td>冷却熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#20</td> <td>冷却熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#21</td> <td>冷却熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#22</td> <td>冷却熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#23</td> <td>冷却熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#24</td> <td>冷却熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#25</td> <td>冷却熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#26</td> <td>冷却熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#27</td> <td>冷却熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#28</td> <td>冷却熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#29</td> <td>冷却熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#30</td> <td>冷却熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#31</td> <td>冷却熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#32</td> <td>冷却熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#33</td> <td>冷却熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#34</td> <td>冷却熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#35</td> <td>冷却熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#36</td> <td>冷却熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#37</td> <td>冷却熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#38</td> <td>冷却熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#39</td> <td>冷却熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#40</td> <td>冷却熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#41</td> <td>冷却熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#42</td> <td>冷却熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#43</td> <td>冷却熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#44</td> <td>冷却熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#45</td> <td>冷却熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#46</td> <td>冷却熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#47</td> <td>冷却熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#48</td> <td>冷却熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#49</td> <td>冷却熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#50</td> <td>冷却熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#51</td> <td>冷却熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#52</td> <td>冷却熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#53</td> <td>冷却熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#54</td> <td>冷却熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#55</td> <td>冷却熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#56</td> <td>冷却熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#57</td> <td>冷却熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#58</td> <td>冷却熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#59</td> <td>冷却熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#60</td> <td>冷却熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#61</td> <td>冷却熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#62</td> <td>冷却熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#63</td> <td>冷却熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#64</td> <td>冷却熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#65</td> <td>冷却熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#66</td> <td>冷却熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#67</td> <td>冷却熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#68</td> <td>冷却熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#69</td> <td>冷却熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#70</td> <td>冷却熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#71</td> <td>冷却熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#72</td> <td>冷却熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#73</td> <td>冷却熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#74</td> <td>冷却熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#75</td> <td>冷却熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#76</td> <td>冷却熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#77</td> <td>冷却熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#78</td> <td>冷却熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#79</td> <td>冷却熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#80</td> <td>冷却熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#81</td> <td>冷却熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#82</td> <td>冷却熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#83</td> <td>冷却熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#84</td> <td>冷却熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#85</td> <td>冷却熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#86</td> <td>冷却熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#87</td> <td>冷却熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#88</td> <td>冷却熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#89</td> <td>冷却熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#90</td> <td>冷却熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#91</td> <td>冷却熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#92</td> <td>冷却熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#93</td> <td>冷却熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#94</td> <td>冷却熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#95</td> <td>冷却熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#96</td> <td>冷却熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#97</td> <td>冷却熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#98</td> <td>冷却熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#99</td> <td>冷却熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#100</td> <td>冷却熱源容器注水調整弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> </tbody> </table> <p>#1～：同一操作手順号内に複数の操作又は確認を実施する種別があることを示す。</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	①	可搬型ボース	ボース接続	②	可搬型ボース	ボース接続	③#1	第一熱源容器スプレイ冷却器出力11C9各種隔離弁	全閉確認	③#2	冷却熱源容器スプレイ冷却器出力11C9各種隔離弁	全閉確認	④#1	第一熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#2	第一熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#3	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#4	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#5	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#6	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#7	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#8	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#9	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#10	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#11	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#12	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#13	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#14	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#15	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#16	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#17	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#18	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#19	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#20	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#21	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#22	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#23	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#24	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#25	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#26	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#27	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#28	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#29	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#30	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#31	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#32	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#33	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#34	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#35	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#36	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#37	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#38	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#39	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#40	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#41	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#42	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#43	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#44	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#45	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#46	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#47	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#48	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#49	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#50	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#51	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#52	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#53	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#54	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#55	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#56	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#57	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#58	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#59	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#60	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#61	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#62	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#63	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#64	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#65	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#66	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#67	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#68	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#69	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#70	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#71	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#72	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#73	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#74	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#75	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#76	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#77	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#78	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#79	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#80	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#81	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#82	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#83	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#84	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#85	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#86	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#87	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#88	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#89	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#90	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#91	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#92	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#93	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#94	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#95	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#96	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#97	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#98	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#99	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認	④#100	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認	<p>【本飯】 記載方針の相違 (女川審査実証の 反映) ・凡例の記載内容 変更 ・概要図と操作内 容を紐づけ</p>
操作手順	名称																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
①#1	T/B緊急時隔離弁																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
①#2	R/B BIP緊急時隔離弁																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
①#3	R/B IP緊急時隔離弁																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
②#1	FW系連絡第一弁																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
②#2	FW系連絡第二弁																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
③	R/R A系 LPVI 注入隔離弁																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
④	R/R ヘッドスプレイライン洗浄流量調整弁																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
①	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
②	可搬型ボース	ボース接続																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
③#1	第一熱源容器スプレイ冷却器出力11C9各種隔離弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
③#2	冷却熱源容器スプレイ冷却器出力11C9各種隔離弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#1	第一熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#2	第一熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#3	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#4	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#5	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#6	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#7	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#8	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#9	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#10	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#11	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#12	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#13	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#14	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#15	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#16	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#17	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#18	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#19	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#20	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#21	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#22	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#23	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#24	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#25	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#26	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#27	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#28	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#29	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#30	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#31	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#32	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#33	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#34	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#35	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#36	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#37	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#38	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#39	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#40	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#41	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#42	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#43	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#44	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#45	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#46	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#47	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#48	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#49	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#50	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#51	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#52	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#53	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#54	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#55	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#56	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#57	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#58	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#59	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#60	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#61	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#62	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#63	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#64	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#65	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#66	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#67	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#68	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#69	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#70	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#71	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#72	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#73	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#74	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#75	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#76	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#77	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#78	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#79	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#80	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#81	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#82	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#83	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#84	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#85	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#86	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#87	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#88	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#89	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#90	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#91	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#92	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#93	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#94	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#95	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#96	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#97	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#98	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#99	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
④#100	冷却熱源容器注水調整弁	全閉確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

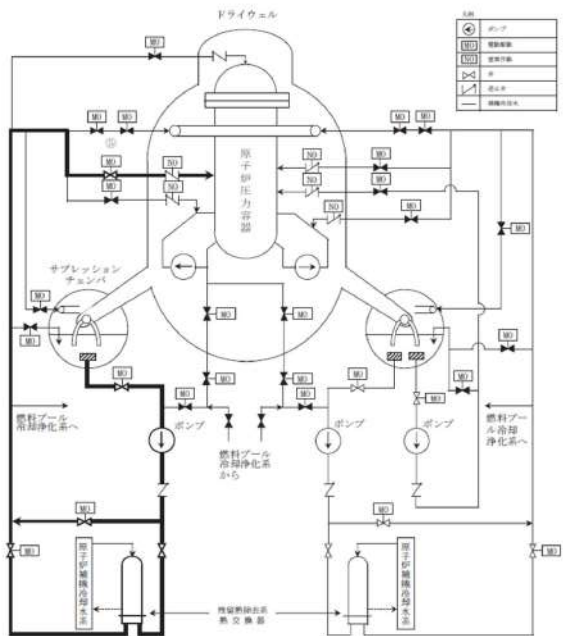
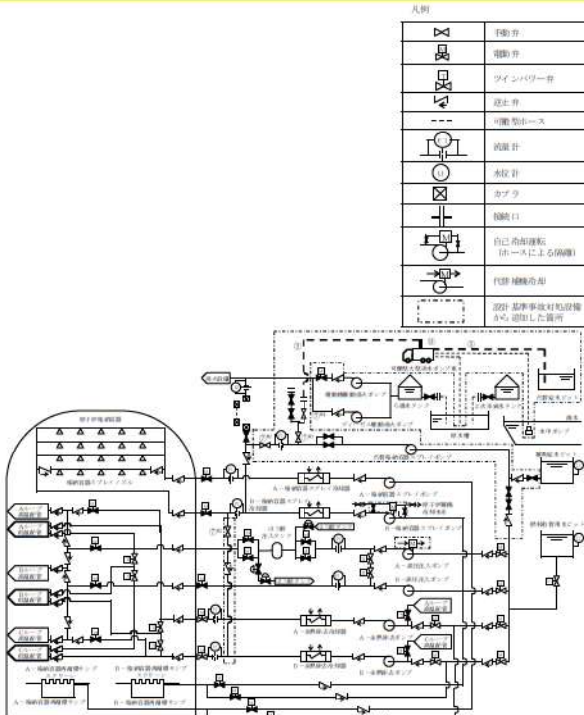
大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>図1.4-15 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替低圧注水 タイムチャート</p>	<p>図1.4-19 ろ過水ポンプによる原子炉圧力容器への注水 タイムチャート</p>	<p>図1.4-11 海水を用いた可搬式大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水 タイムチャート</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映) ・タイムチャート を操作手順番号 を紐づけ ・補足の充実 ・備考欄の追加</p>

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	 <p style="text-align: center;">第1.4-20図 残留熱除去系電源復旧後の原子炉圧力容器への注水 概要図</p>	 <p style="text-align: center;">第1.4.12図 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水 概要図</p>	<p>【大飯】 設備の相違 (相違理由③)</p>

1.4 原子炉冷却材圧カバウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

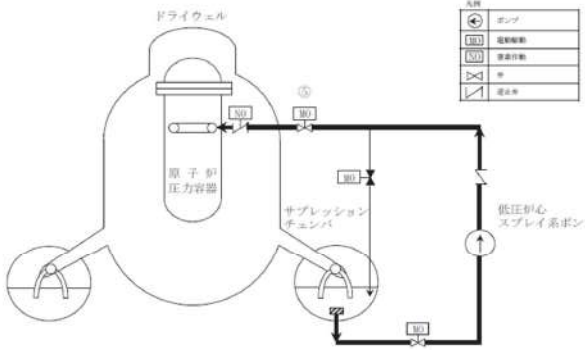
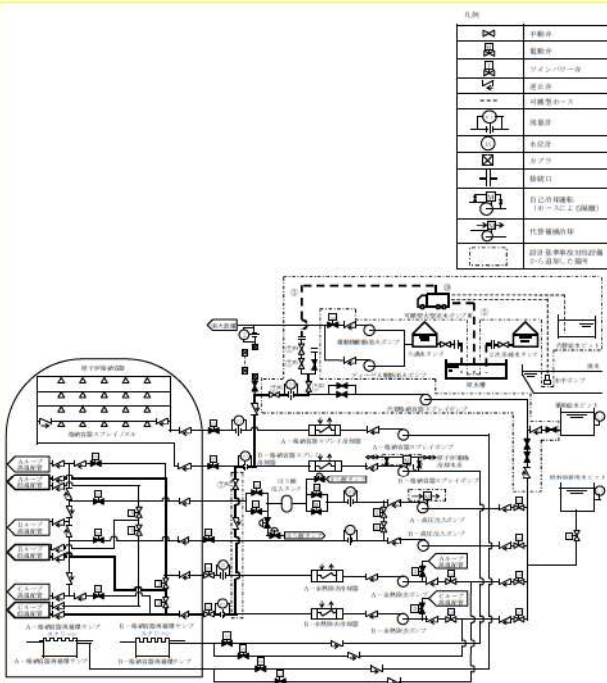
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<div style="text-align: center;"> <p>第1.4-21図 残留熱除去系電源復旧後の原子炉圧力容器への注水 タイムチャート</p> </div>	<div style="text-align: center;"> <p>第1.4-13図 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水 タイムチャート</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 【大飯】 設備の相違 (相違理由③) </div>

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																											
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	 <p style="text-align: center;">第1.4-22図 低圧炉心スプレイ系電源復旧後の原子炉圧力容器への注水 概要図</p>	 <table border="1" data-bbox="1433 1013 1960 1157"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>可搬型ホース</td> <td>ホース接続</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>可搬型ホース</td> <td>ホース接続</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>汽相物脱除スプレイング装置ライン止め弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>圧入熱除去器脱出口格納管スプレイ水注入ライン止め弁 (3A対策)</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>汽相物脱除スプレイング出口可搬型注水ポンプ接続ライン止め弁 (3A対策)</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>圧入熱除去器脱出口格納管スプレイ水注入ライン止め弁 (3A対策)</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑦</td> <td>補助注水センター燃料箱管用水ビード除水装置ライン止め弁 (3A対策)</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑧</td> <td>可搬型大型送水ポンプ車</td> <td>停止→起動</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">①～⑧ 同一操作手順書内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	①	可搬型ホース	ホース接続	②	可搬型ホース	ホース接続	③	汽相物脱除スプレイング装置ライン止め弁	全閉→全開	④	圧入熱除去器脱出口格納管スプレイ水注入ライン止め弁 (3A対策)	全閉→全開	⑤	汽相物脱除スプレイング出口可搬型注水ポンプ接続ライン止め弁 (3A対策)	全閉→全開	⑥	圧入熱除去器脱出口格納管スプレイ水注入ライン止め弁 (3A対策)	全閉→全開	⑦	補助注水センター燃料箱管用水ビード除水装置ライン止め弁 (3A対策)	全閉→全開	⑧	可搬型大型送水ポンプ車	停止→起動	<p>【大飯】 設備の相違 (相違理由③)</p>
操作手順	操作対象機器	状態の変化																												
①	可搬型ホース	ホース接続																												
②	可搬型ホース	ホース接続																												
③	汽相物脱除スプレイング装置ライン止め弁	全閉→全開																												
④	圧入熱除去器脱出口格納管スプレイ水注入ライン止め弁 (3A対策)	全閉→全開																												
⑤	汽相物脱除スプレイング出口可搬型注水ポンプ接続ライン止め弁 (3A対策)	全閉→全開																												
⑥	圧入熱除去器脱出口格納管スプレイ水注入ライン止め弁 (3A対策)	全閉→全開																												
⑦	補助注水センター燃料箱管用水ビード除水装置ライン止め弁 (3A対策)	全閉→全開																												
⑧	可搬型大型送水ポンプ車	停止→起動																												

第1.4.14図 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による

原子炉容器への注水 概要図

1.4 原子炉冷却材圧カバウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<p style="text-align: center;">第 1.4-23 図 低圧圧心スプレイス系電源復旧後の原子炉圧力容器への注水 タイムチャート</p> <p style="font-size: small;">注1：中央制御室での圧力調整に必要となる作業時間 注2：燃料格納容器内の水位を監視するための時間</p>	<p style="font-size: small;">注1：機器の動作時間及び動作開始時刻を見込んだ時間 注2：中央制御室から機器操作計画までの稼働時間及び機器の稼働時間を見込んだ時間 注3：可搬型大型送水ポンプ車の位置は3a(赤線)、車庫エリア、2号炉車庫1b(青線)及び3号炉車庫1b(赤線)のいずれかである。 可搬型大型送水ポンプ車の位置は3a(赤線)、車庫エリア、2号炉車庫1b(青線)及び3号炉車庫1b(赤線)のいずれかである。 注4：中央制御室から616貯車・車庫エリアまでの稼働を想定した稼働時間を見込んだ時間 注5：可搬型大型送水ポンプ車の稼働時間として、3a(赤線)、車庫エリアから取水槽までを想定した稼働時間及び可搬型大型送水ポンプ車の稼働時間を見込んだ時間 注6：可搬型大型送水ポンプ車の稼働時間として、3a(赤線)、車庫エリアから取水槽までを想定した稼働時間及び可搬型大型送水ポンプ車の稼働時間を見込んだ時間 注7：可搬型大型送水ポンプ車の稼働時間を考慮した作業時間を見込んだ時間</p>	<p>【大飯】 設備の相違 (相違理由③)</p>

第 1.4.15 図 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による

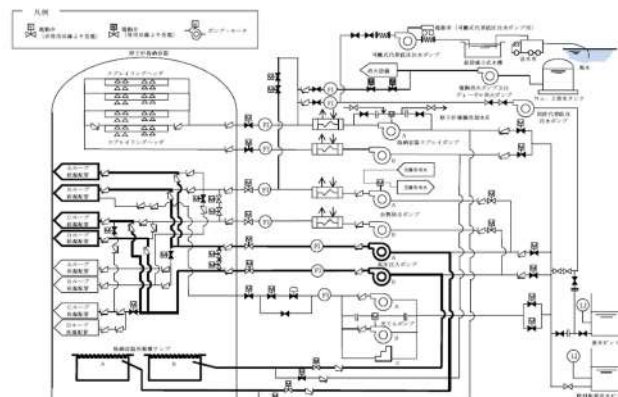
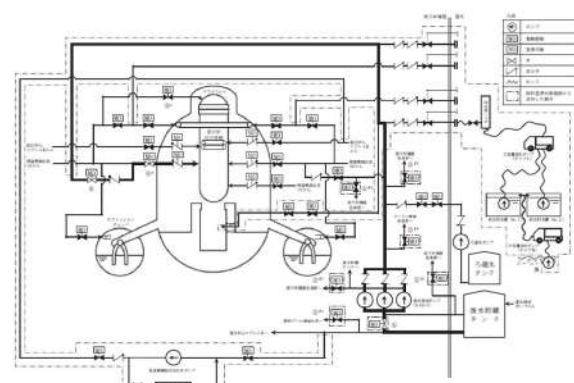
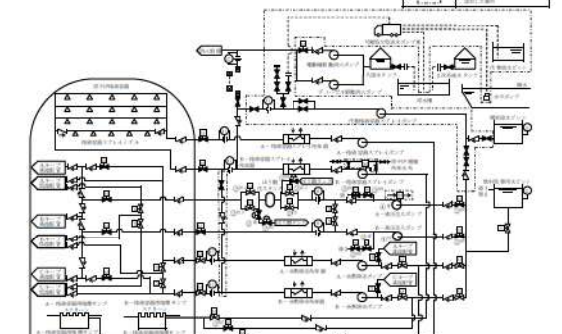
原子炉容器への注水 タイムチャート

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容


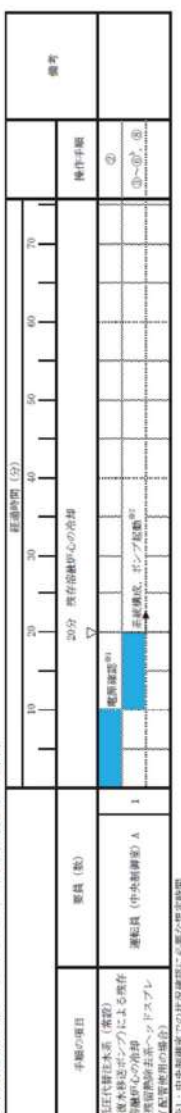
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																												
 <p>凡例 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿</p> <p>第1.4.14図 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転 概略系統</p>	 <p>第1.4-24図 低圧代替注水系（常設）（復水移送ポンプ）による残存溶融炉心の冷却 概要図（1/2）</p> <table border="1" data-bbox="851 861 1265 1101"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>弁名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>①[※]</td><td>C/D 復水入口弁</td></tr> <tr><td>②[※]</td><td>融解 サンプラインダ取止め弁</td></tr> <tr><td>③[※]</td><td>同融解 ポンプ吸込弁</td></tr> <tr><td>④[※]</td><td>T/B 緊急時隔離弁</td></tr> <tr><td>⑤[※]</td><td>R/B B/F 緊急時隔離弁</td></tr> <tr><td>⑥[※]</td><td>R/B J/F 緊急時隔離弁</td></tr> <tr><td>⑦</td><td>復水貯蔵タンク常用、非常用給水管連絡ライン止め弁</td></tr> <tr><td>⑧[*]</td><td>融解 A系 LPCI 注入隔離弁</td></tr> <tr><td>⑨[*]</td><td>融解 ヘッドスプレーイ注入隔離弁</td></tr> <tr><td>⑩</td><td>融解 ヘッドスプレーイライン洗浄流量調整弁</td></tr> </tbody> </table> <p>※1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機番があることを示す。</p> <p>第1.4-24図 低圧代替注水系（常設）（復水移送ポンプ）による残存溶融炉心の冷却 概要図（2/2）</p>	操作手順	弁名称	① [※]	C/D 復水入口弁	② [※]	融解 サンプラインダ取止め弁	③ [※]	同融解 ポンプ吸込弁	④ [※]	T/B 緊急時隔離弁	⑤ [※]	R/B B/F 緊急時隔離弁	⑥ [※]	R/B J/F 緊急時隔離弁	⑦	復水貯蔵タンク常用、非常用給水管連絡ライン止め弁	⑧ [*]	融解 A系 LPCI 注入隔離弁	⑨ [*]	融解 ヘッドスプレーイ注入隔離弁	⑩	融解 ヘッドスプレーイライン洗浄流量調整弁	 <p>凡例 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿</p> <p>第1.4.16図 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転 概要図</p> <table border="1" data-bbox="1444 909 1937 1220"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>①[※]</td><td>ほう酸注入タンク循環ライン入口止め弁</td><td>全閉→全開</td></tr> <tr><td>②[※]</td><td>ほう酸注入タンク循環ライン出口第1止め弁</td><td>全閉→全開</td></tr> <tr><td>③[※]</td><td>ほう酸注入タンク循環ライン出口第2止め弁</td><td>全閉→全開</td></tr> <tr><td>④[※]</td><td>Aー高圧注入ポンプ燃料取扱用排水ヒット 挿入ロキ</td><td>全閉→全開</td></tr> <tr><td>⑤[※]</td><td>Bー高圧注入ポンプ燃料取扱用排水ヒット 挿入ロキ</td><td>全閉→全開</td></tr> <tr><td>⑥[※]</td><td>Aー高圧注入ポンプ第1ミニブロー弁</td><td>全閉→全開</td></tr> <tr><td>⑦[※]</td><td>Bー高圧注入ポンプ第1ミニブロー弁</td><td>全閉→全開</td></tr> <tr><td>⑧[※]</td><td>Aー高圧注入ポンプ第2ミニブロー弁</td><td>全閉→全開</td></tr> <tr><td>⑨[※]</td><td>Bー高圧注入ポンプ第2ミニブロー弁</td><td>全閉→全開</td></tr> <tr><td>⑩[※]</td><td>Aー安全注入ポンプ再循環サンプ挿入口Cの外側隔離弁</td><td>全閉→全開</td></tr> <tr><td>⑪[※]</td><td>Bー安全注入ポンプ再循環サンプ挿入口Cの外側隔離弁</td><td>全閉→全開</td></tr> <tr><td>⑫[※]</td><td>ほう酸注入タンク入口弁 A</td><td>全閉→全開</td></tr> <tr><td>⑬[※]</td><td>ほう酸注入タンク入口弁 B</td><td>全閉→全開</td></tr> <tr><td>⑭[※]</td><td>ほう酸注入タンク出口Cの外側隔離弁A</td><td>全閉→全開</td></tr> <tr><td>⑮[※]</td><td>ほう酸注入タンク出口Cの外側隔離弁B</td><td>全閉→全開</td></tr> <tr><td>⑯[※]</td><td>Aー高圧注入ポンプ</td><td>停止→起動</td></tr> <tr><td>⑰[※]</td><td>Bー高圧注入ポンプ</td><td>停止→起動</td></tr> </tbody> </table> <p>※1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機番があることを示す。</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	① [※]	ほう酸注入タンク循環ライン入口止め弁	全閉→全開	② [※]	ほう酸注入タンク循環ライン出口第1止め弁	全閉→全開	③ [※]	ほう酸注入タンク循環ライン出口第2止め弁	全閉→全開	④ [※]	Aー高圧注入ポンプ燃料取扱用排水ヒット 挿入ロキ	全閉→全開	⑤ [※]	Bー高圧注入ポンプ燃料取扱用排水ヒット 挿入ロキ	全閉→全開	⑥ [※]	Aー高圧注入ポンプ第1ミニブロー弁	全閉→全開	⑦ [※]	Bー高圧注入ポンプ第1ミニブロー弁	全閉→全開	⑧ [※]	Aー高圧注入ポンプ第2ミニブロー弁	全閉→全開	⑨ [※]	Bー高圧注入ポンプ第2ミニブロー弁	全閉→全開	⑩ [※]	Aー安全注入ポンプ再循環サンプ挿入口Cの外側隔離弁	全閉→全開	⑪ [※]	Bー安全注入ポンプ再循環サンプ挿入口Cの外側隔離弁	全閉→全開	⑫ [※]	ほう酸注入タンク入口弁 A	全閉→全開	⑬ [※]	ほう酸注入タンク入口弁 B	全閉→全開	⑭ [※]	ほう酸注入タンク出口Cの外側隔離弁A	全閉→全開	⑮ [※]	ほう酸注入タンク出口Cの外側隔離弁B	全閉→全開	⑯ [※]	Aー高圧注入ポンプ	停止→起動	⑰ [※]	Bー高圧注入ポンプ	停止→起動	<p>【大阪】 記載方針の相違 （女川審査実証の 反映） ・凡例の記載内容 変更 ・概要図と操作内 容を並びけ</p>
操作手順	弁名称																																																																														
① [※]	C/D 復水入口弁																																																																														
② [※]	融解 サンプラインダ取止め弁																																																																														
③ [※]	同融解 ポンプ吸込弁																																																																														
④ [※]	T/B 緊急時隔離弁																																																																														
⑤ [※]	R/B B/F 緊急時隔離弁																																																																														
⑥ [※]	R/B J/F 緊急時隔離弁																																																																														
⑦	復水貯蔵タンク常用、非常用給水管連絡ライン止め弁																																																																														
⑧ [*]	融解 A系 LPCI 注入隔離弁																																																																														
⑨ [*]	融解 ヘッドスプレーイ注入隔離弁																																																																														
⑩	融解 ヘッドスプレーイライン洗浄流量調整弁																																																																														
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																																																													
① [※]	ほう酸注入タンク循環ライン入口止め弁	全閉→全開																																																																													
② [※]	ほう酸注入タンク循環ライン出口第1止め弁	全閉→全開																																																																													
③ [※]	ほう酸注入タンク循環ライン出口第2止め弁	全閉→全開																																																																													
④ [※]	Aー高圧注入ポンプ燃料取扱用排水ヒット 挿入ロキ	全閉→全開																																																																													
⑤ [※]	Bー高圧注入ポンプ燃料取扱用排水ヒット 挿入ロキ	全閉→全開																																																																													
⑥ [※]	Aー高圧注入ポンプ第1ミニブロー弁	全閉→全開																																																																													
⑦ [※]	Bー高圧注入ポンプ第1ミニブロー弁	全閉→全開																																																																													
⑧ [※]	Aー高圧注入ポンプ第2ミニブロー弁	全閉→全開																																																																													
⑨ [※]	Bー高圧注入ポンプ第2ミニブロー弁	全閉→全開																																																																													
⑩ [※]	Aー安全注入ポンプ再循環サンプ挿入口Cの外側隔離弁	全閉→全開																																																																													
⑪ [※]	Bー安全注入ポンプ再循環サンプ挿入口Cの外側隔離弁	全閉→全開																																																																													
⑫ [※]	ほう酸注入タンク入口弁 A	全閉→全開																																																																													
⑬ [※]	ほう酸注入タンク入口弁 B	全閉→全開																																																																													
⑭ [※]	ほう酸注入タンク出口Cの外側隔離弁A	全閉→全開																																																																													
⑮ [※]	ほう酸注入タンク出口Cの外側隔離弁B	全閉→全開																																																																													
⑯ [※]	Aー高圧注入ポンプ	停止→起動																																																																													
⑰ [※]	Bー高圧注入ポンプ	停止→起動																																																																													

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

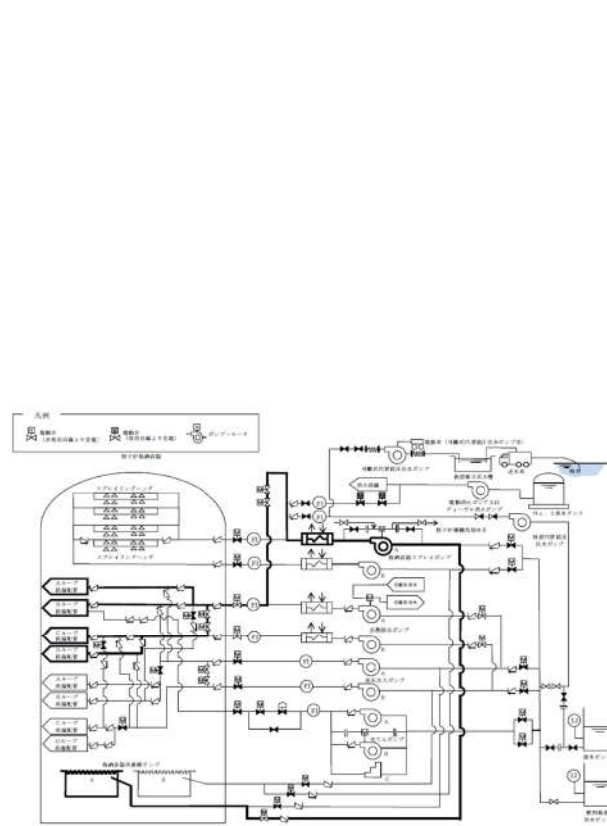
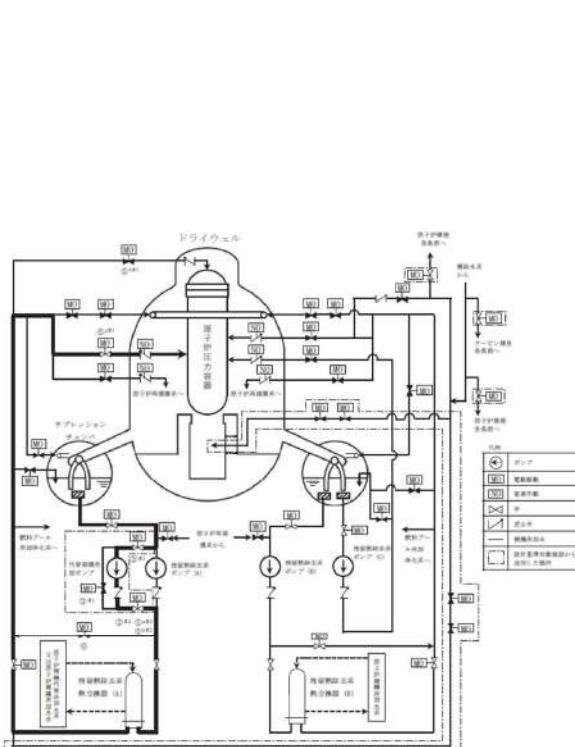
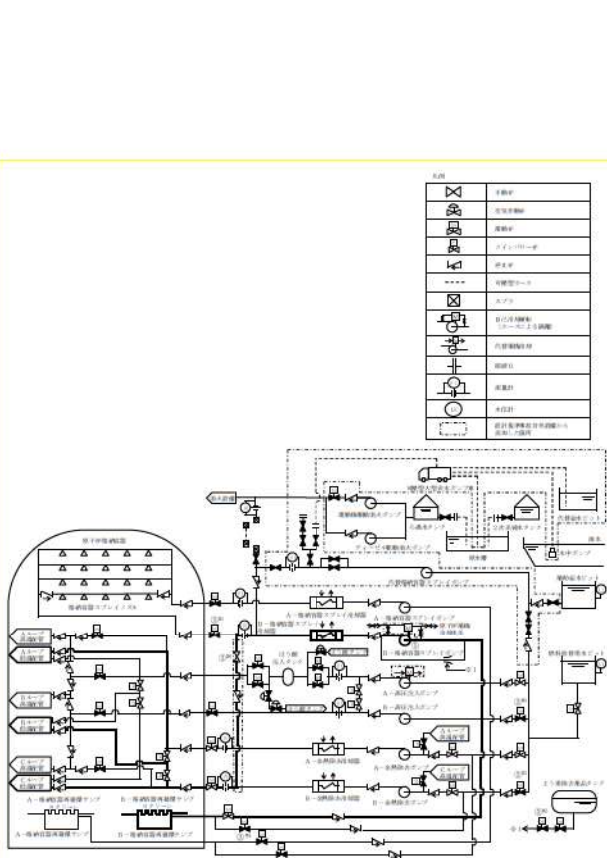
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>残留熱除去系 (A) 又は (B) 注入配管使用の場合</p>  <p>残留熱除去系ヘッドスプレイ配管使用の場合</p> 	<p>第 1.4-25 図 低圧代替注水系 (常設) (復水移送ポンプ) による既存溶融炉心の冷却 タイムチャート</p>	

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																						
 <p>第 1.4-15 図 A格納容器スプレイポンプ (R(HRS-CSS)連絡ライン使用) による代替循環運転 概略図</p>	 <p>第 1.4-26 図 代替循環冷却系による残存溶融炉心の冷却 概要図 (1/2)</p> <table border="1" data-bbox="784 957 1321 1157"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>寄名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①^{#1}</td> <td>代替循環冷却ポンプバイパス弁</td> </tr> <tr> <td>③^{#2} ⑤^{#2} ⑤^{#2}</td> <td>代替循環冷却ポンプ流量調整弁</td> </tr> <tr> <td>③^{#3}</td> <td>代替循環冷却ポンプ吸込弁</td> </tr> <tr> <td>⑤^{#4}</td> <td>RHR A系 LPCI 注入隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑤^{#5}</td> <td>RHR ヘッドスプレイ注入隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>RHR 熱交換器 (A) バイパス弁</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する必要があることを示す。</p> <p>第 1.4-26 図 代替循環冷却系による残存溶融炉心の冷却 概要図 (2/2)</p>	操作手順	寄名称	① ^{#1}	代替循環冷却ポンプバイパス弁	③ ^{#2} ⑤ ^{#2} ⑤ ^{#2}	代替循環冷却ポンプ流量調整弁	③ ^{#3}	代替循環冷却ポンプ吸込弁	⑤ ^{#4}	RHR A系 LPCI 注入隔離弁	⑤ ^{#5}	RHR ヘッドスプレイ注入隔離弁	⑥	RHR 熱交換器 (A) バイパス弁	 <p>第 1.4-17 図 B-格納容器スプレイポンプ (RHR-CSS 連絡ライン使用) による代替再循環運転 概要図</p> <table border="1" data-bbox="1411 1029 1971 1165"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>⑤^{#1}</td> <td>B-格納容器スプレイポンプ出口LIC外種隔離弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑤^{#2}</td> <td>上ラゲリ除染タンク注入ライン止め弁後弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑤^{#3}</td> <td>B-全熱除上ポンプRHS吸入弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>⑤^{#4}</td> <td>B-全熱除上ポンプ再循環タンク吸入弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑤^{#5}</td> <td>B-高圧注入ポンプ燃料取替用本ビット投入弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>⑤^{#6}</td> <td>B-全熱除上ポンプ出口格納容器スプレイ水注入ライン止め弁 (SAI弁)</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑤^{#7}</td> <td>B-格納容器スプレイポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	⑤ ^{#1}	B-格納容器スプレイポンプ出口LIC外種隔離弁	全閉→全開	⑤ ^{#2}	上ラゲリ除染タンク注入ライン止め弁後弁	全閉→全開	⑤ ^{#3}	B-全熱除上ポンプRHS吸入弁	全閉確認	⑤ ^{#4}	B-全熱除上ポンプ再循環タンク吸入弁	全閉→全開	⑤ ^{#5}	B-高圧注入ポンプ燃料取替用本ビット投入弁	全閉確認	⑤ ^{#6}	B-全熱除上ポンプ出口格納容器スプレイ水注入ライン止め弁 (SAI弁)	全閉→全開	⑤ ^{#7}	B-格納容器スプレイポンプ	停止→起動	<p>【本飯】 記載方針の相違 (女川審査実証の 反映) ・凡例の記載内容 変更 ・概要図と操作内 容を紐づけ</p>
操作手順	寄名称																																								
① ^{#1}	代替循環冷却ポンプバイパス弁																																								
③ ^{#2} ⑤ ^{#2} ⑤ ^{#2}	代替循環冷却ポンプ流量調整弁																																								
③ ^{#3}	代替循環冷却ポンプ吸込弁																																								
⑤ ^{#4}	RHR A系 LPCI 注入隔離弁																																								
⑤ ^{#5}	RHR ヘッドスプレイ注入隔離弁																																								
⑥	RHR 熱交換器 (A) バイパス弁																																								
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																							
⑤ ^{#1}	B-格納容器スプレイポンプ出口LIC外種隔離弁	全閉→全開																																							
⑤ ^{#2}	上ラゲリ除染タンク注入ライン止め弁後弁	全閉→全開																																							
⑤ ^{#3}	B-全熱除上ポンプRHS吸入弁	全閉確認																																							
⑤ ^{#4}	B-全熱除上ポンプ再循環タンク吸入弁	全閉→全開																																							
⑤ ^{#5}	B-高圧注入ポンプ燃料取替用本ビット投入弁	全閉確認																																							
⑤ ^{#6}	B-全熱除上ポンプ出口格納容器スプレイ水注入ライン止め弁 (SAI弁)	全閉→全開																																							
⑤ ^{#7}	B-格納容器スプレイポンプ	停止→起動																																							

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉

手順の項目	要員(数)	経過時間(分)										備考	
		5	10	15	20	25	30	35	40	45			
A格納容器スプレイポンプ(RHRS-CSS接続ライン使用)による代替再循環運転	運転員等(中央制御室) 1												
	運転員等(現場) 1												

※ 変更移動時には防災準備員専用時間を含む。

第1.4.16図 A格納容器スプレイポンプ(RHRS-CSS接続ライン使用)による代替再循環運転 タイムチャート

残留熱除去系(A) 注入配管使用の場合

手順の項目	要員(数)	経過時間(分)										備考	
		10	20	30	40	50	60	70					
代替再循環系による残留熱除去系(A) 注入配管使用の場合	運転員(中央制御室) A 1												

※1：中央制御室での状況確認に必要な想定時間

※2：機器の操作時間及び動作時間に余裕を見込んだ時間

残留熱除去系ヘッドスプレイ配管使用の場合

手順の項目	要員(数)	経過時間(分)										備考	
		10	20	30	40	50	60	70					
代替再循環系による残留熱除去系ヘッドスプレイ配管使用の場合	運転員(中央制御室) A 1												

※1：中央制御室での状況確認に必要な想定時間

※2：機器の操作時間及び動作時間に余裕を見込んだ時間

第1.4-27図 代替循環冷却系による残留熱除去系ヘッドスプレイ配管使用の場合 タイムチャート

泊発電所3号炉

手順の項目	要員(数)	経過時間(分)										備考	
		10	20	30	40	50							
B-格納容器スプレイポンプ(RHRS-CSS接続ライン使用)による代替再循環運転	運転員(中央制御室) A 1 運転員(現場) B 1												

※1：機器の操作時間及び動作時間に余裕を見込んだ時間

※2：中央制御室から機器操作場所までの移動時間と作業時間までの移動時間と余裕を見込んだ時間

※3：機器の操作時間に余裕を見込んだ時間

第1.4.18図 B-格納容器スプレイポンプ(RHRS-CSS接続ライン使用)による代替再循環運転 タイムチャート

相違理由

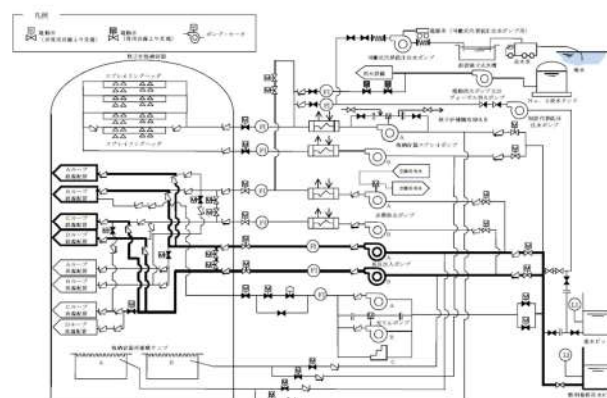
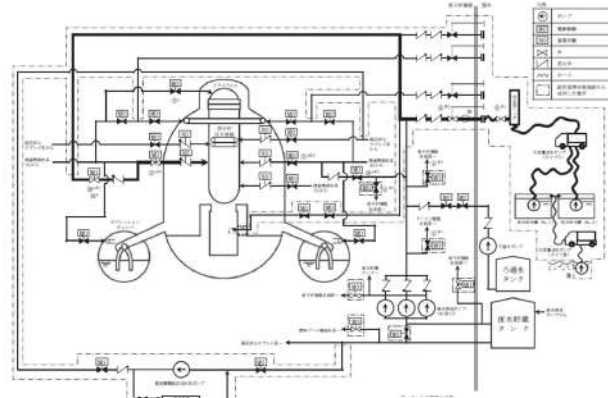
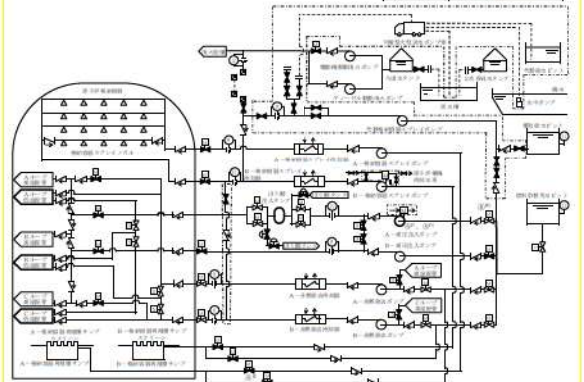
- 【大阪】
 記載方針の相違
 (女川審査実録の
 反復)
 ・タイムチャート
 の操作手順番号
 を並べ替え
 ・補充の充実
 ・備考欄の追加

1.4 原子炉冷却材圧カバウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																															
 <p>第1.4.17図 高圧注入ポンプによる炉心注水 概要図</p>	 <p>第1.4-28図 低圧代替注水系（可搬型）による残存溶融炉心の冷却 概要図（1/2）</p> <table border="1" data-bbox="795 861 1299 1141"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>赤名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>④^{R1}</td> <td>T/D 緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>④^{R2}</td> <td>R/B B/F 緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>④^{R3}</td> <td>R/D 1/F 緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑤^{R1}</td> <td>R/R A系 LPCI 注入隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑤^{R2}</td> <td>R/R B系 LPCI 注入隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑤^R</td> <td>R/R ヘッドスプレイ注入隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑥^{R1}</td> <td>原子炉・格納容器下部注水弁</td> </tr> <tr> <td>⑥^{R2}</td> <td>緊急時原子炉東側外部注水入口弁</td> </tr> <tr> <td>⑧^{R1}、⑧^R</td> <td>R/R ヘッドスプレイライン洗冷流量調整弁</td> </tr> <tr> <td>⑧^{R2}</td> <td>R/R B系格納容器冷却ライン洗冷流量調整弁</td> </tr> </tbody> </table> <p>②1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する弁があることを示す。</p> <p>第1.4-28図 低圧代替注水系（可搬型）による残存溶融炉心の冷却 概要図（2/2）</p>	操作手順	赤名称	④ ^{R1}	T/D 緊急時隔離弁	④ ^{R2}	R/B B/F 緊急時隔離弁	④ ^{R3}	R/D 1/F 緊急時隔離弁	⑤ ^{R1}	R/R A系 LPCI 注入隔離弁	⑤ ^{R2}	R/R B系 LPCI 注入隔離弁	⑤ ^R	R/R ヘッドスプレイ注入隔離弁	⑥ ^{R1}	原子炉・格納容器下部注水弁	⑥ ^{R2}	緊急時原子炉東側外部注水入口弁	⑧ ^{R1} 、⑧ ^R	R/R ヘッドスプレイライン洗冷流量調整弁	⑧ ^{R2}	R/R B系格納容器冷却ライン洗冷流量調整弁	 <p>第1.4.19図 格納容器再循環サンプスクリーン閉塞の徴候が見られた場合の手順（高圧注入ポンプによる原子炉容器への注水） 概要図</p> <table border="1" data-bbox="1769 343 1960 638"> <thead> <tr> <th>凡例</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td></td><td>手動弁</td></tr> <tr><td></td><td>遠隔操作弁</td></tr> <tr><td></td><td>隔離弁</td></tr> <tr><td></td><td>ワイヤレトリバブル</td></tr> <tr><td></td><td>遮断弁</td></tr> <tr><td></td><td>隔離弁</td></tr> <tr><td></td><td>隔離弁</td></tr> <tr><td></td><td>弁</td></tr> <tr><td></td><td>自立式浮動弁（弁一側に止り機構）</td></tr> <tr><td></td><td>注水機</td></tr> <tr><td></td><td>注水機</td></tr> <tr><td></td><td>注水機</td></tr> <tr><td></td><td>注水機</td></tr> <tr><td></td><td>注水機</td></tr> <tr><td></td><td>注水機</td></tr> <tr><td></td><td>注水機</td></tr> <tr><td></td><td>注水機</td></tr> <tr><td></td><td>注水機</td></tr> <tr><td></td><td>注水機</td></tr> <tr><td></td><td>注水機</td></tr> <tr><td></td><td>注水機</td></tr> <tr><td></td><td>注水機</td></tr> <tr><td></td><td>注水機</td></tr> <tr><td></td><td>注水機</td></tr> <tr><td></td><td>注水機</td></tr> <tr><td></td><td>注水機</td></tr> <tr><td></td><td>注水機</td></tr> <tr><td></td><td>注水機</td></tr> <tr><td></td><td>注水機</td></tr> <tr><td></td><td>注水機</td></tr> <tr><td></td><td>注水機</td></tr> <tr><td></td><td>注水機</td></tr> <tr><td></td><td>注水機</td></tr> <tr><td></td><td>注水機</td></tr> <tr><td></td><td>注水機</td></tr> <tr><td></td><td>注水機</td></tr> <tr><td></td><td>注水機</td></tr> <tr><td></td><td>注水機</td></tr> <tr><td></td><td>注水機</td></tr> <tr><td></td><td>注水機</td></tr> <tr><td></td><td>注水機</td></tr> <tr><td></td><td>注水機</td></tr> <tr><td></td><td>注水機</td></tr> <tr><td></td><td>注水機</td></tr> <tr><td></td><td>注水機</td></tr> <tr><td></td><td>注水機</td></tr> <tr><td></td><td>注水機</td></tr> <tr><td></td><td>注水機</td></tr> <tr><td></td><td>注水機</td></tr> <tr><td></td><td>注水機</td></tr> <tr><td></td><td>注水機</td></tr> <tr><td></td><td>注水機</td></tr> <tr><td></td><td>注水機</td></tr> <tr><td></td><td>注水機</td></tr> <tr><td></td><td>注水機</td></tr> <tr><td></td><td>注水機</td></tr> <tr><td></td><td>注水機</td></tr> <tr><td></td><td>注水機</td></tr> <tr><td></td><td>注水機</td></tr> <tr><td></td><td>注水機</td></tr> <tr><td></td><td>注水機</td></tr> <tr><td></td><td>注水機</td></tr> <tr><td></td><td>注水機</td></tr> <tr><td></td><td>注水機</td></tr> <tr><td></td><td>注水機</td></tr> <tr><td></td><td>注水機</td></tr> <tr><td></td><td>注水機</td></tr> <tr><td></td><td>注水機</td></tr> <tr><td></td><td>注水機</td></tr> <tr><td></td><td>注水機</td></tr> <tr><td></td><td>注水機</td></tr> <tr><td></td><td>注水機</td></tr> <tr><td></td><td>注水機</td></tr> <tr><td></td><td>注水機</td></tr> <tr><td></td><td>注水機</td></tr> <tr><td></td><td>注水機</td></tr> <tr><td></td><td>注水機</td></tr> <tr><td></td><td>注水機</td></tr> <tr><td></td><td>注水機</td></tr> <tr><td></td><td>注水機</td></tr> <tr><td></td><td>注水機</td></tr> <tr><td></td><td>注水機</td></tr> <tr><td></td><td>注水機</td></tr> <tr><td></td><td>注水機</td></tr> <tr><td></td><td>注水機</td></tr> <tr><td></td><td>注水機</td></tr> <tr><td></td><td>注水機</td></tr> <tr><td></td><td>注水機</td></tr> <tr><td></td><td>注水機</td></tr> <tr><td></td><td>注水機</td></tr> <tr><td></td><td>注水機</td></tr> <tr><td></td><td>注水機</td></tr> <tr><td></td><td>注水機</td></tr> <tr><td></td><td>注水機</td></tr> <tr><td></td><td>注水機</td></tr> <tr><td></td><td>注水機</td></tr> <tr><td></td><td>注水機</td></tr> <tr><td></td><td>注水機</td></tr> <tr><td></td><td>注水機</td></tr> <tr><td></td><td>注水機</td></tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="1422 1029 1937 1133"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>⑤^{R1}</td> <td>A-高圧注入ポンプ</td> <td>起動→停止</td> </tr> <tr> <td>⑤^{R2}</td> <td>A-安全注入ポンプ再循環サンプ側入口CV外周隔離弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑤^{R3}</td> <td>A-高圧注入ポンプ燃料取扱用水ビット側入口弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑤^{R4}</td> <td>A-高圧注入ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> </tbody> </table> <p>②1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p>	凡例			手動弁		遠隔操作弁		隔離弁		ワイヤレトリバブル		遮断弁		隔離弁		隔離弁		弁		自立式浮動弁（弁一側に止り機構）		注水機		注水機		注水機		注水機		注水機		注水機		注水機		注水機		注水機		注水機		注水機		注水機		注水機		注水機		注水機		注水機		注水機		注水機		注水機		注水機		注水機		注水機		注水機		注水機		注水機		注水機		注水機		注水機		注水機		注水機		注水機		注水機		注水機		注水機		注水機		注水機		注水機		注水機		注水機		注水機		注水機		注水機		注水機		注水機		注水機		注水機		注水機		注水機		注水機		注水機		注水機		注水機		注水機		注水機		注水機		注水機		注水機		注水機		注水機		注水機		注水機		注水機		注水機		注水機		注水機		注水機		注水機		注水機		注水機		注水機		注水機		注水機		注水機		注水機		注水機		注水機		注水機		注水機		注水機		注水機		注水機		注水機		注水機		注水機		注水機		注水機		注水機		注水機		注水機		注水機		注水機	操作手順	操作対象機器	状態の変化	⑤ ^{R1}	A-高圧注入ポンプ	起動→停止	⑤ ^{R2}	A-安全注入ポンプ再循環サンプ側入口CV外周隔離弁	全開→全閉	⑤ ^{R3}	A-高圧注入ポンプ燃料取扱用水ビット側入口弁	全開→全閉	⑤ ^{R4}	A-高圧注入ポンプ	停止→起動	<p>【大阪】 記載方針の相違 （女川審査実録の 抜粋） ・凡例の記載内容 充実 ・概要図と操作内 容を紐づけ</p>
操作手順	赤名称																																																																																																																																																																																																																																																	
④ ^{R1}	T/D 緊急時隔離弁																																																																																																																																																																																																																																																	
④ ^{R2}	R/B B/F 緊急時隔離弁																																																																																																																																																																																																																																																	
④ ^{R3}	R/D 1/F 緊急時隔離弁																																																																																																																																																																																																																																																	
⑤ ^{R1}	R/R A系 LPCI 注入隔離弁																																																																																																																																																																																																																																																	
⑤ ^{R2}	R/R B系 LPCI 注入隔離弁																																																																																																																																																																																																																																																	
⑤ ^R	R/R ヘッドスプレイ注入隔離弁																																																																																																																																																																																																																																																	
⑥ ^{R1}	原子炉・格納容器下部注水弁																																																																																																																																																																																																																																																	
⑥ ^{R2}	緊急時原子炉東側外部注水入口弁																																																																																																																																																																																																																																																	
⑧ ^{R1} 、⑧ ^R	R/R ヘッドスプレイライン洗冷流量調整弁																																																																																																																																																																																																																																																	
⑧ ^{R2}	R/R B系格納容器冷却ライン洗冷流量調整弁																																																																																																																																																																																																																																																	
凡例																																																																																																																																																																																																																																																		
	手動弁																																																																																																																																																																																																																																																	
	遠隔操作弁																																																																																																																																																																																																																																																	
	隔離弁																																																																																																																																																																																																																																																	
	ワイヤレトリバブル																																																																																																																																																																																																																																																	
	遮断弁																																																																																																																																																																																																																																																	
	隔離弁																																																																																																																																																																																																																																																	
	隔離弁																																																																																																																																																																																																																																																	
	弁																																																																																																																																																																																																																																																	
	自立式浮動弁（弁一側に止り機構）																																																																																																																																																																																																																																																	
	注水機																																																																																																																																																																																																																																																	
	注水機																																																																																																																																																																																																																																																	
	注水機																																																																																																																																																																																																																																																	
	注水機																																																																																																																																																																																																																																																	
	注水機																																																																																																																																																																																																																																																	
	注水機																																																																																																																																																																																																																																																	
	注水機																																																																																																																																																																																																																																																	
	注水機																																																																																																																																																																																																																																																	
	注水機																																																																																																																																																																																																																																																	
	注水機																																																																																																																																																																																																																																																	
	注水機																																																																																																																																																																																																																																																	
	注水機																																																																																																																																																																																																																																																	
	注水機																																																																																																																																																																																																																																																	
	注水機																																																																																																																																																																																																																																																	
	注水機																																																																																																																																																																																																																																																	
	注水機																																																																																																																																																																																																																																																	
	注水機																																																																																																																																																																																																																																																	
	注水機																																																																																																																																																																																																																																																	
	注水機																																																																																																																																																																																																																																																	
	注水機																																																																																																																																																																																																																																																	
	注水機																																																																																																																																																																																																																																																	
	注水機																																																																																																																																																																																																																																																	
	注水機																																																																																																																																																																																																																																																	
	注水機																																																																																																																																																																																																																																																	
	注水機																																																																																																																																																																																																																																																	
	注水機																																																																																																																																																																																																																																																	
	注水機																																																																																																																																																																																																																																																	
	注水機																																																																																																																																																																																																																																																	
	注水機																																																																																																																																																																																																																																																	
	注水機																																																																																																																																																																																																																																																	
	注水機																																																																																																																																																																																																																																																	
	注水機																																																																																																																																																																																																																																																	
	注水機																																																																																																																																																																																																																																																	
	注水機																																																																																																																																																																																																																																																	
	注水機																																																																																																																																																																																																																																																	
	注水機																																																																																																																																																																																																																																																	
	注水機																																																																																																																																																																																																																																																	
	注水機																																																																																																																																																																																																																																																	
	注水機																																																																																																																																																																																																																																																	
	注水機																																																																																																																																																																																																																																																	
	注水機																																																																																																																																																																																																																																																	
	注水機																																																																																																																																																																																																																																																	
	注水機																																																																																																																																																																																																																																																	
	注水機																																																																																																																																																																																																																																																	
	注水機																																																																																																																																																																																																																																																	
	注水機																																																																																																																																																																																																																																																	
	注水機																																																																																																																																																																																																																																																	
	注水機																																																																																																																																																																																																																																																	
	注水機																																																																																																																																																																																																																																																	
	注水機																																																																																																																																																																																																																																																	
	注水機																																																																																																																																																																																																																																																	
	注水機																																																																																																																																																																																																																																																	
	注水機																																																																																																																																																																																																																																																	
	注水機																																																																																																																																																																																																																																																	
	注水機																																																																																																																																																																																																																																																	
	注水機																																																																																																																																																																																																																																																	
	注水機																																																																																																																																																																																																																																																	
	注水機																																																																																																																																																																																																																																																	
	注水機																																																																																																																																																																																																																																																	
	注水機																																																																																																																																																																																																																																																	
	注水機																																																																																																																																																																																																																																																	
	注水機																																																																																																																																																																																																																																																	
	注水機																																																																																																																																																																																																																																																	
	注水機																																																																																																																																																																																																																																																	
	注水機																																																																																																																																																																																																																																																	
	注水機																																																																																																																																																																																																																																																	
	注水機																																																																																																																																																																																																																																																	
	注水機																																																																																																																																																																																																																																																	
	注水機																																																																																																																																																																																																																																																	
	注水機																																																																																																																																																																																																																																																	
	注水機																																																																																																																																																																																																																																																	
	注水機																																																																																																																																																																																																																																																	
	注水機																																																																																																																																																																																																																																																	
	注水機																																																																																																																																																																																																																																																	
	注水機																																																																																																																																																																																																																																																	
	注水機																																																																																																																																																																																																																																																	
	注水機																																																																																																																																																																																																																																																	
	注水機																																																																																																																																																																																																																																																	
	注水機																																																																																																																																																																																																																																																	
	注水機																																																																																																																																																																																																																																																	
	注水機																																																																																																																																																																																																																																																	
	注水機																																																																																																																																																																																																																																																	
	注水機																																																																																																																																																																																																																																																	
	注水機																																																																																																																																																																																																																																																	
	注水機																																																																																																																																																																																																																																																	
	注水機																																																																																																																																																																																																																																																	
	注水機																																																																																																																																																																																																																																																	
	注水機																																																																																																																																																																																																																																																	
	注水機																																																																																																																																																																																																																																																	
	注水機																																																																																																																																																																																																																																																	
	注水機																																																																																																																																																																																																																																																	
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																																																																																																																																																																																																																																
⑤ ^{R1}	A-高圧注入ポンプ	起動→停止																																																																																																																																																																																																																																																
⑤ ^{R2}	A-安全注入ポンプ再循環サンプ側入口CV外周隔離弁	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																
⑤ ^{R3}	A-高圧注入ポンプ燃料取扱用水ビット側入口弁	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																																
⑤ ^{R4}	A-高圧注入ポンプ	停止→起動																																																																																																																																																																																																																																																

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

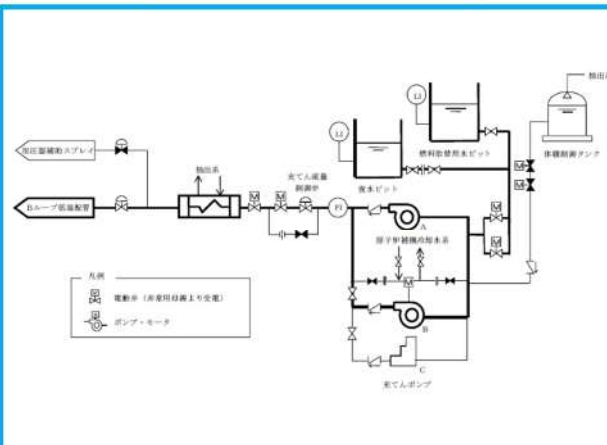
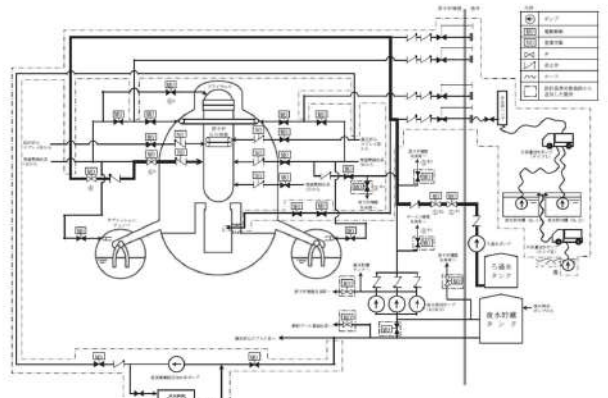
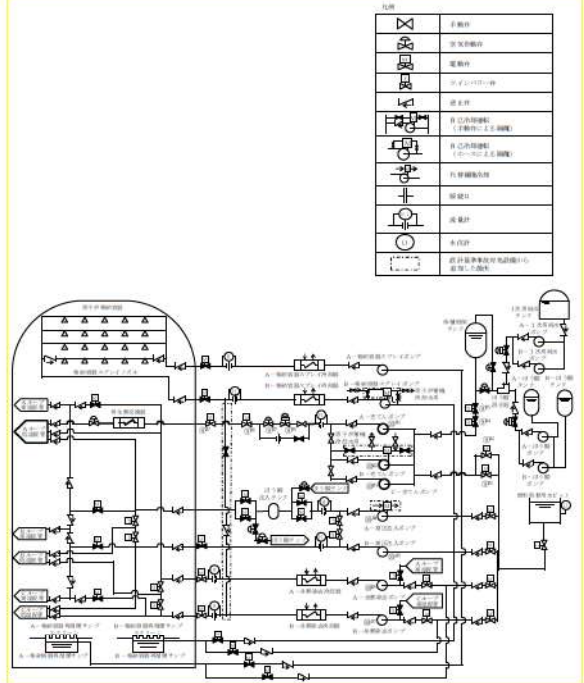
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>第1.4-29図 低圧代替注水系（可搬型）による残存溶融炉心の冷却 タイムチャート</p> <p>第1.4-29図 低圧代替注水系（可搬型）による残存溶融炉心の冷却 タイムチャート</p> <p>第1.4-29図 低圧代替注水系（可搬型）による残存溶融炉心の冷却 タイムチャート</p>		
	<p>第1.4-30図 低圧代替注水系（可搬型）による残存溶融炉心の冷却 タイムチャート</p> <p>第1.4-30図 低圧代替注水系（可搬型）による残存溶融炉心の冷却 タイムチャート</p> <p>第1.4-30図 低圧代替注水系（可搬型）による残存溶融炉心の冷却 タイムチャート</p>		

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																		
<p>大阪発電所3/4号炉</p>  <p>【比較のため、第1.4.5図を再掲】</p> <p>第1.4.5図 充電ポンプによる炉心注水 概略系統</p>	<p>女川原子力発電所2号炉</p>  <p>第1.4-31図 ろ過ポンプによる残存溶融炉心の冷却 概要図 (1/2)</p> <table border="1" data-bbox="750 869 1355 1149"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>弁名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>③#1</td> <td>T/B 緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>③#2</td> <td>R/B B1F 緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>③#3</td> <td>R/B 1F 緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑤#1</td> <td>FW 系連絡第一弁</td> </tr> <tr> <td>⑤#2</td> <td>FW 系連絡第二弁</td> </tr> <tr> <td>⑥#1</td> <td>R/R A系 LPCI 注入隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑥#2</td> <td>R/R ヘッドスプレイ注入隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑧</td> <td>R/R ヘッドスプレイライン洗浄流量調整弁</td> </tr> </tbody> </table> <p>#1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する弁があることを示す。</p> <p>第1.4-31図 ろ過ポンプによる残存溶融炉心の冷却 概要図 (2/2)</p>	操作手順	弁名称	③#1	T/B 緊急時隔離弁	③#2	R/B B1F 緊急時隔離弁	③#3	R/B 1F 緊急時隔離弁	⑤#1	FW 系連絡第一弁	⑤#2	FW 系連絡第二弁	⑥#1	R/R A系 LPCI 注入隔離弁	⑥#2	R/R ヘッドスプレイ注入隔離弁	⑧	R/R ヘッドスプレイライン洗浄流量調整弁	<p>泊発電所3号炉</p>  <p>第1.4.20図 格納容器再循環サンプスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順（燃料取替用水ビットを水源とした充電ポンプによる原子炉容器への注水）概要図 (1/2)</p> <table border="1" data-bbox="1422 1029 1960 1316"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①#1</td> <td>充電ポンプ入口燃料取替用水ビット投入口弁A</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>①#2</td> <td>充電ポンプ入口燃料取替用水ビット投入口弁B</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>①#3</td> <td>圧降制御タンク出口第1止め弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>①#4</td> <td>圧降制御タンク出口第2止め弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>②#1</td> <td>充電ライン流量制御弁</td> <td>調整値→全閉</td> </tr> <tr> <td>②#2</td> <td>充電ラインCの閉止弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>②#3</td> <td>充電ラインCの外部隔離弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>②#4</td> <td>充電ライン流量制御弁</td> <td>全閉→調整値</td> </tr> <tr> <td>③#1</td> <td>A-充電ポンプ</td> <td>起動→停止</td> </tr> <tr> <td>③#2</td> <td>B-充電ポンプ</td> <td>起動→停止</td> </tr> <tr> <td>③#3</td> <td>C-充電ポンプ</td> <td>起動→停止</td> </tr> <tr> <td>④#1</td> <td>A-高圧注入ポンプ</td> <td>起動→停止</td> </tr> <tr> <td>④#2</td> <td>B-高圧注入ポンプ</td> <td>起動→停止</td> </tr> <tr> <td>④#3</td> <td>A-余熱除去ポンプ</td> <td>起動→停止</td> </tr> <tr> <td>④#4</td> <td>B-余熱除去ポンプ</td> <td>起動→停止</td> </tr> </tbody> </table> <p>#1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p> <p>第1.4.20図 格納容器再循環サンプスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順（燃料取替用水ビットを水源とした充電ポンプによる原子炉容器への注水）概要図 (2/2)</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	①#1	充電ポンプ入口燃料取替用水ビット投入口弁A	全閉確認	①#2	充電ポンプ入口燃料取替用水ビット投入口弁B	全閉確認	①#3	圧降制御タンク出口第1止め弁	全閉確認	①#4	圧降制御タンク出口第2止め弁	全閉確認	②#1	充電ライン流量制御弁	調整値→全閉	②#2	充電ラインCの閉止弁	全閉→全開	②#3	充電ラインCの外部隔離弁	全閉→全開	②#4	充電ライン流量制御弁	全閉→調整値	③#1	A-充電ポンプ	起動→停止	③#2	B-充電ポンプ	起動→停止	③#3	C-充電ポンプ	起動→停止	④#1	A-高圧注入ポンプ	起動→停止	④#2	B-高圧注入ポンプ	起動→停止	④#3	A-余熱除去ポンプ	起動→停止	④#4	B-余熱除去ポンプ	起動→停止	<p>相違理由</p> <p>【大阪】 記載方針の相違（女川審査実録の反映） ・凡例の記載内容 変更 ・概要図と操作内容を並び分け</p>
操作手順	弁名称																																																																				
③#1	T/B 緊急時隔離弁																																																																				
③#2	R/B B1F 緊急時隔離弁																																																																				
③#3	R/B 1F 緊急時隔離弁																																																																				
⑤#1	FW 系連絡第一弁																																																																				
⑤#2	FW 系連絡第二弁																																																																				
⑥#1	R/R A系 LPCI 注入隔離弁																																																																				
⑥#2	R/R ヘッドスプレイ注入隔離弁																																																																				
⑧	R/R ヘッドスプレイライン洗浄流量調整弁																																																																				
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																																																			
①#1	充電ポンプ入口燃料取替用水ビット投入口弁A	全閉確認																																																																			
①#2	充電ポンプ入口燃料取替用水ビット投入口弁B	全閉確認																																																																			
①#3	圧降制御タンク出口第1止め弁	全閉確認																																																																			
①#4	圧降制御タンク出口第2止め弁	全閉確認																																																																			
②#1	充電ライン流量制御弁	調整値→全閉																																																																			
②#2	充電ラインCの閉止弁	全閉→全開																																																																			
②#3	充電ラインCの外部隔離弁	全閉→全開																																																																			
②#4	充電ライン流量制御弁	全閉→調整値																																																																			
③#1	A-充電ポンプ	起動→停止																																																																			
③#2	B-充電ポンプ	起動→停止																																																																			
③#3	C-充電ポンプ	起動→停止																																																																			
④#1	A-高圧注入ポンプ	起動→停止																																																																			
④#2	B-高圧注入ポンプ	起動→停止																																																																			
④#3	A-余熱除去ポンプ	起動→停止																																																																			
④#4	B-余熱除去ポンプ	起動→停止																																																																			

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

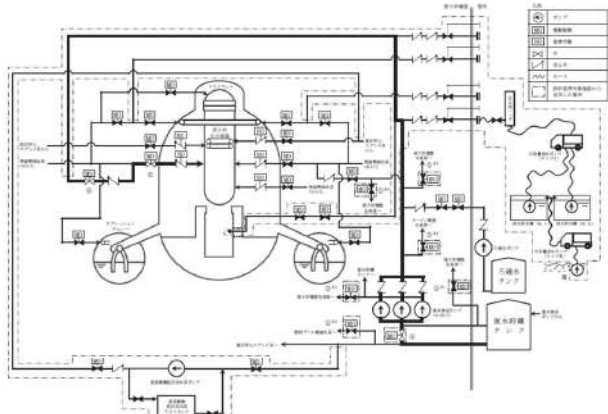
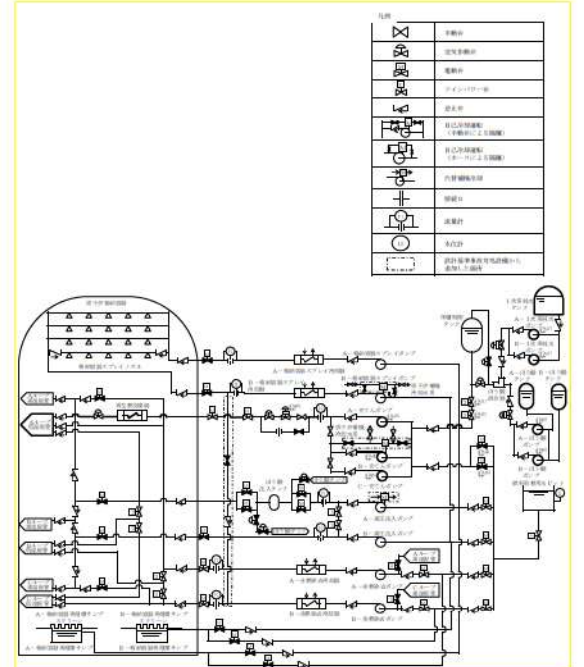
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div style="text-align: center;"> <p>第1.4-32図 ろ過水ポンプによる残存溶融炉心の冷却 タイムチャート</p> </div> <p>表1：中央制御室での状況確認に必要な想定時間 表2：機器の操作時間及び動作時間に見込んだ時間</p>		

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																							
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	<p style="text-align: center;">第1.4-33図 低圧代替注水系（常設）（復水移送ポンプ）による原子炉圧力容器への注水 概要図（1/2）</p>  <p style="text-align: center;">第1.4-33図 低圧代替注水系（常設）（復水移送ポンプ）による原子炉圧力容器への注水 概要図（2/2）</p> <table border="1" data-bbox="851 901 1254 1117"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>変更点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①*</td> <td>CRD復水入口弁</td> </tr> <tr> <td>②*</td> <td>格納タンク出口閉止弁</td> </tr> <tr> <td>③*</td> <td>付随ポンプ送達弁</td> </tr> <tr> <td>④*</td> <td>圧力緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑤*</td> <td>圧力計緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑥*</td> <td>圧力計緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑦</td> <td>復水貯蔵タンク常引、非常用給水管連絡ライン止め弁</td> </tr> <tr> <td>⑧</td> <td>格納A系及び注入隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑨</td> <td>格納ヘッドスペース内高流量調整弁</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">※1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する旨があることを示す。</p> <p style="text-align: center;">第1.4-33図 低圧代替注水系（常設）（復水移送ポンプ）による原子炉圧力容器への注水 概要図（2/2）</p>	操作手順	変更点	①*	CRD復水入口弁	②*	格納タンク出口閉止弁	③*	付随ポンプ送達弁	④*	圧力緊急時隔離弁	⑤*	圧力計緊急時隔離弁	⑥*	圧力計緊急時隔離弁	⑦	復水貯蔵タンク常引、非常用給水管連絡ライン止め弁	⑧	格納A系及び注入隔離弁	⑨	格納ヘッドスペース内高流量調整弁	<p style="text-align: center;">第1.4-21図 格納容器再循環サンプスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順（1次純水タンク及びほう酸タンクを水源とした充てんポンプによる原子炉容器への注水） 概要図（1/2）</p>  <p style="text-align: center;">第1.4-21図 格納容器再循環サンプスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順（1次純水タンク及びほう酸タンクを水源とした充てんポンプによる原子炉容器への注水） 概要図（2/2）</p> <table border="1" data-bbox="1467 1045 1937 1252"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①*</td> <td>格納貯蔵タンク出口第1止め弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>②*</td> <td>格納貯蔵タンク出口第2止め弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>③*</td> <td>充てんポンプ入口燃料調整用水セレクト入口弁A</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>④*</td> <td>充てんポンプ入口燃料調整用水セレクト入口弁B</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">⑤*</td> <td>A→充てんポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>B→充てんポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>C→充てんポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">⑥*</td> <td>A→ほう酸ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>B→ほう酸ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">⑦*</td> <td>A→1次系補給水ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>B→1次系補給水ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>⑧*</td> <td>注水流量調整弁</td> <td>調整調整</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">※1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する旨があることを示す。 ※1：1方向を起動する。 ※2：どちらか一方を起動する。</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	①*	格納貯蔵タンク出口第1止め弁	全閉→全開	②*	格納貯蔵タンク出口第2止め弁	全閉→全開	③*	充てんポンプ入口燃料調整用水セレクト入口弁A	全閉→全開	④*	充てんポンプ入口燃料調整用水セレクト入口弁B	全閉→全開	⑤*	A→充てんポンプ	停止→起動	B→充てんポンプ	停止→起動	C→充てんポンプ	停止→起動	⑥*	A→ほう酸ポンプ	停止→起動	B→ほう酸ポンプ	停止→起動	⑦*	A→1次系補給水ポンプ	停止→起動	B→1次系補給水ポンプ	停止→起動	⑧*	注水流量調整弁	調整調整	<p style="text-align: center;">【大阪】 記載方針の相違 ・泊3号炉は1次純水タンク及びほう酸タンクを水源とした充てんポンプによる炉心注水の状態を示す概略系統を第1.4-21図に整理した。</p>
操作手順	変更点																																																									
①*	CRD復水入口弁																																																									
②*	格納タンク出口閉止弁																																																									
③*	付随ポンプ送達弁																																																									
④*	圧力緊急時隔離弁																																																									
⑤*	圧力計緊急時隔離弁																																																									
⑥*	圧力計緊急時隔離弁																																																									
⑦	復水貯蔵タンク常引、非常用給水管連絡ライン止め弁																																																									
⑧	格納A系及び注入隔離弁																																																									
⑨	格納ヘッドスペース内高流量調整弁																																																									
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																																								
①*	格納貯蔵タンク出口第1止め弁	全閉→全開																																																								
②*	格納貯蔵タンク出口第2止め弁	全閉→全開																																																								
③*	充てんポンプ入口燃料調整用水セレクト入口弁A	全閉→全開																																																								
④*	充てんポンプ入口燃料調整用水セレクト入口弁B	全閉→全開																																																								
⑤*	A→充てんポンプ	停止→起動																																																								
	B→充てんポンプ	停止→起動																																																								
	C→充てんポンプ	停止→起動																																																								
⑥*	A→ほう酸ポンプ	停止→起動																																																								
	B→ほう酸ポンプ	停止→起動																																																								
⑦*	A→1次系補給水ポンプ	停止→起動																																																								
	B→1次系補給水ポンプ	停止→起動																																																								
⑧*	注水流量調整弁	調整調整																																																								

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>第 1.4-34 図 低圧代替注水系（常設）（復水移送ポンプ）による原子炉圧力容器への注水 タイムチャート</p> <p>※1：中央制御室での状況確認に必要な想定時間 ※2：機器の動作時間及び動作時間に余裕を見込んだ時間</p>		

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

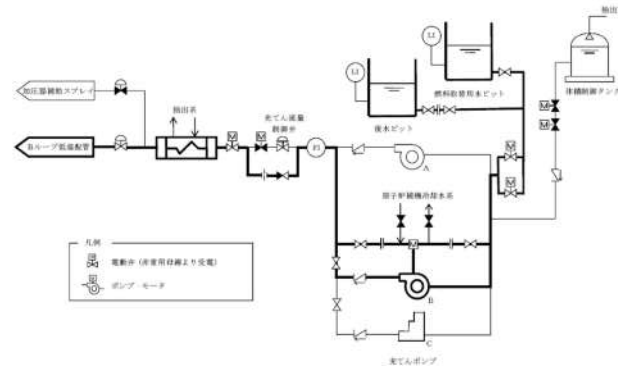
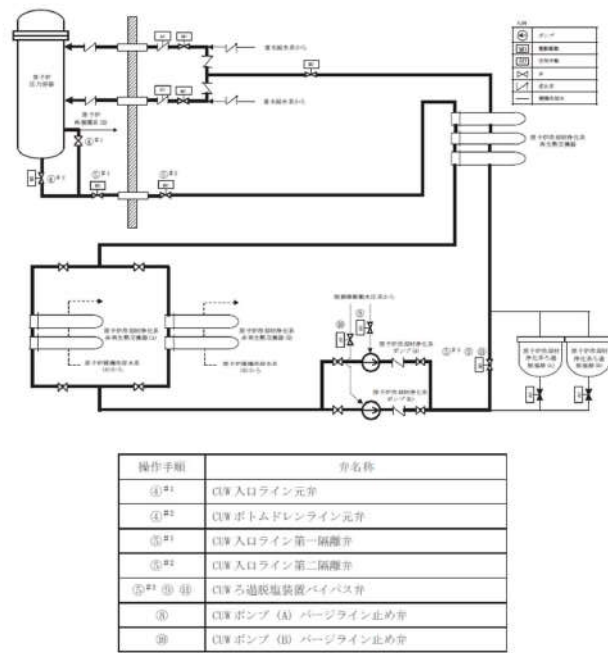
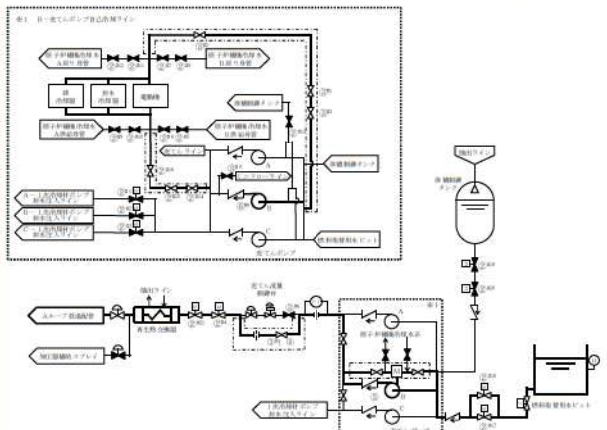
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>図 1.4.21 図 A弁閉鎖去ボンプ（空潤用冷水）による代替中心注水 概略系統</p>		<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">大飯3/4号炉との比較対象なし</p>	<p>【大飯】 設備の相違 (相違理由⑧)</p>

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																
 <p>図 1.4.22 図 B-充てんポンプ（自己冷却）による代替給水注水 概略図</p>	 <table border="1" data-bbox="862 877 1254 1085"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>寄名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>④#1</td> <td>CW 入口ライン元弁</td> </tr> <tr> <td>④#2</td> <td>CW ボトムドレナライン元弁</td> </tr> <tr> <td>⑤#1</td> <td>CW 入口ライン第一隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑤#2</td> <td>CW 入口ライン第二隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑥#1 ⑥#2</td> <td>CW ろ過装置バイパス弁</td> </tr> <tr> <td>⑦</td> <td>CW ポンプ (A) パージライン止め弁</td> </tr> <tr> <td>⑧</td> <td>CW ポンプ (B) パージライン止め弁</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する弁があることを示す。</p> <p>第 1.4-35 図 原子炉冷却材浄化系による発電用原子炉からの除熱 概要図</p>	操作手順	寄名称	④#1	CW 入口ライン元弁	④#2	CW ボトムドレナライン元弁	⑤#1	CW 入口ライン第一隔離弁	⑤#2	CW 入口ライン第二隔離弁	⑥#1 ⑥#2	CW ろ過装置バイパス弁	⑦	CW ポンプ (A) パージライン止め弁	⑧	CW ポンプ (B) パージライン止め弁	 <p>第 1.4.22 図 B-充てんポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水 概要図（1/2）</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違 （女川審査実証の 反映） ・凡例の記載内容 変更 ・概要図と操作内 容を紐づけ</p>
操作手順	寄名称																		
④#1	CW 入口ライン元弁																		
④#2	CW ボトムドレナライン元弁																		
⑤#1	CW 入口ライン第一隔離弁																		
⑤#2	CW 入口ライン第二隔離弁																		
⑥#1 ⑥#2	CW ろ過装置バイパス弁																		
⑦	CW ポンプ (A) パージライン止め弁																		
⑧	CW ポンプ (B) パージライン止め弁																		

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																										
<div data-bbox="203 770 613 810" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>		<div data-bbox="1413 520 1966 1066" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <table border="1"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>②[※]</td><td>A-1次冷却材ポンプ封水注入ラインのV外側隔離弁</td><td>全開→全閉</td></tr> <tr><td>②[※]</td><td>B-1次冷却材ポンプ封水注入ラインのV外側隔離弁</td><td>全開→全閉</td></tr> <tr><td>②[※]</td><td>C-1次冷却材ポンプ封水注入ラインのV外側隔離弁</td><td>全開→全閉</td></tr> <tr><td>②[※]</td><td>充てんラインCV外側止め弁</td><td>全開→全閉</td></tr> <tr><td>②[※]</td><td>B-充てんポンプ、電動機補機冷却水B供給ライン第1切替弁</td><td>全開→全閉</td></tr> <tr><td>②[※]</td><td>B-充てんポンプ、電動機補機冷却水B供給ライン第2切替弁</td><td>全開→全閉</td></tr> <tr><td>②[※]</td><td>B-充てんポンプ、電動機補機冷却水B戻りライン第1切替弁</td><td>全開→全閉</td></tr> <tr><td>②[※]</td><td>B-充てんポンプ、電動機補機冷却水B戻りライン第2切替弁</td><td>全開→全閉</td></tr> <tr><td>②[※]</td><td>B-充てんポンプ、電動機補機冷却水A供給ライン第1切替弁</td><td>全開確認</td></tr> <tr><td>②^{※10}</td><td>B-充てんポンプ、電動機補機冷却水A供給ライン第2切替弁</td><td>全開確認</td></tr> <tr><td>②^{※11}</td><td>B-充てんポンプ、電動機補機冷却水A戻りライン第1切替弁</td><td>全開確認</td></tr> <tr><td>②^{※12}</td><td>B-充てんポンプ、電動機補機冷却水A戻りライン第2切替弁</td><td>全開確認</td></tr> <tr><td>②^{※13}</td><td>充てんポンプ入口ベントライン止め弁</td><td>全開→全閉</td></tr> <tr><td>②^{※14}</td><td>B-充てんポンプ自冷水供給ライン絞り弁 (SA対策)</td><td>全開→全閉</td></tr> <tr><td>②^{※15}</td><td>B-充てんポンプ自冷水供給ライン止め弁 (SA対策)</td><td>全開→全閉</td></tr> <tr><td>②^{※16}</td><td>B-充てんポンプ自冷水入口弁 (SA対策)</td><td>全開→全閉</td></tr> <tr><td>②^{※17}</td><td>充てんポンプ入口燃料取扱用水ピット側入口弁A</td><td>全開→全閉</td></tr> <tr><td>②^{※18}</td><td>充てんポンプ入口燃料取扱用水ピット側入口弁B</td><td>全開→全閉</td></tr> <tr><td>②^{※19}</td><td>圧縮機排気タンク出口第1止め弁</td><td>全開→全閉</td></tr> <tr><td>②^{※20}</td><td>圧縮機排気タンク出口第2止め弁</td><td>全開→全閉</td></tr> <tr><td>②^{※21}</td><td>充てんラインCV外側隔離弁</td><td>全開→全閉</td></tr> <tr><td>②[※]</td><td>B-充てんポンプ自冷水戻りライン第2止め弁 (SA対策)</td><td>全開→全閉</td></tr> <tr><td>②[※]</td><td>B-充てんポンプ自冷水出口弁 (SA対策)</td><td>全開→全閉</td></tr> <tr><td>②[※]</td><td>B-充てんポンプ自冷水戻りライン第1止め弁 (SA対策)</td><td>全開→全閉</td></tr> <tr><td>②[※]</td><td>充てんライン流量制御弁第2バイパスライン絞り弁 (SA対策)</td><td>全開→調整開</td></tr> <tr><td>②[※]</td><td>B-充てんポンプ流量制御弁前弁</td><td>全開→全閉</td></tr> <tr><td>②[※]</td><td>充てんライン流量制御弁前弁</td><td>全開→全閉</td></tr> <tr><td>②</td><td>B-充てんポンプ</td><td>停止→起動</td></tr> <tr><td>②</td><td>充てんライン流量制御弁第2バイパスライン絞り弁 (SA対策)</td><td>流量調整</td></tr> </tbody> </table> <p>※1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p> </div>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	② [※]	A-1次冷却材ポンプ封水注入ラインのV外側隔離弁	全開→全閉	② [※]	B-1次冷却材ポンプ封水注入ラインのV外側隔離弁	全開→全閉	② [※]	C-1次冷却材ポンプ封水注入ラインのV外側隔離弁	全開→全閉	② [※]	充てんラインCV外側止め弁	全開→全閉	② [※]	B-充てんポンプ、電動機補機冷却水B供給ライン第1切替弁	全開→全閉	② [※]	B-充てんポンプ、電動機補機冷却水B供給ライン第2切替弁	全開→全閉	② [※]	B-充てんポンプ、電動機補機冷却水B戻りライン第1切替弁	全開→全閉	② [※]	B-充てんポンプ、電動機補機冷却水B戻りライン第2切替弁	全開→全閉	② [※]	B-充てんポンプ、電動機補機冷却水A供給ライン第1切替弁	全開確認	② ^{※10}	B-充てんポンプ、電動機補機冷却水A供給ライン第2切替弁	全開確認	② ^{※11}	B-充てんポンプ、電動機補機冷却水A戻りライン第1切替弁	全開確認	② ^{※12}	B-充てんポンプ、電動機補機冷却水A戻りライン第2切替弁	全開確認	② ^{※13}	充てんポンプ入口ベントライン止め弁	全開→全閉	② ^{※14}	B-充てんポンプ自冷水供給ライン絞り弁 (SA対策)	全開→全閉	② ^{※15}	B-充てんポンプ自冷水供給ライン止め弁 (SA対策)	全開→全閉	② ^{※16}	B-充てんポンプ自冷水入口弁 (SA対策)	全開→全閉	② ^{※17}	充てんポンプ入口燃料取扱用水ピット側入口弁A	全開→全閉	② ^{※18}	充てんポンプ入口燃料取扱用水ピット側入口弁B	全開→全閉	② ^{※19}	圧縮機排気タンク出口第1止め弁	全開→全閉	② ^{※20}	圧縮機排気タンク出口第2止め弁	全開→全閉	② ^{※21}	充てんラインCV外側隔離弁	全開→全閉	② [※]	B-充てんポンプ自冷水戻りライン第2止め弁 (SA対策)	全開→全閉	② [※]	B-充てんポンプ自冷水出口弁 (SA対策)	全開→全閉	② [※]	B-充てんポンプ自冷水戻りライン第1止め弁 (SA対策)	全開→全閉	② [※]	充てんライン流量制御弁第2バイパスライン絞り弁 (SA対策)	全開→調整開	② [※]	B-充てんポンプ流量制御弁前弁	全開→全閉	② [※]	充てんライン流量制御弁前弁	全開→全閉	②	B-充てんポンプ	停止→起動	②	充てんライン流量制御弁第2バイパスライン絞り弁 (SA対策)	流量調整	<p>【本飯】 記載方針の相違 （女川審査実証の 反映） ・ 凡例の記載内容 変更 ・ 概要図と操作内 容を紐づけ</p>
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																																																																											
② [※]	A-1次冷却材ポンプ封水注入ラインのV外側隔離弁	全開→全閉																																																																																											
② [※]	B-1次冷却材ポンプ封水注入ラインのV外側隔離弁	全開→全閉																																																																																											
② [※]	C-1次冷却材ポンプ封水注入ラインのV外側隔離弁	全開→全閉																																																																																											
② [※]	充てんラインCV外側止め弁	全開→全閉																																																																																											
② [※]	B-充てんポンプ、電動機補機冷却水B供給ライン第1切替弁	全開→全閉																																																																																											
② [※]	B-充てんポンプ、電動機補機冷却水B供給ライン第2切替弁	全開→全閉																																																																																											
② [※]	B-充てんポンプ、電動機補機冷却水B戻りライン第1切替弁	全開→全閉																																																																																											
② [※]	B-充てんポンプ、電動機補機冷却水B戻りライン第2切替弁	全開→全閉																																																																																											
② [※]	B-充てんポンプ、電動機補機冷却水A供給ライン第1切替弁	全開確認																																																																																											
② ^{※10}	B-充てんポンプ、電動機補機冷却水A供給ライン第2切替弁	全開確認																																																																																											
② ^{※11}	B-充てんポンプ、電動機補機冷却水A戻りライン第1切替弁	全開確認																																																																																											
② ^{※12}	B-充てんポンプ、電動機補機冷却水A戻りライン第2切替弁	全開確認																																																																																											
② ^{※13}	充てんポンプ入口ベントライン止め弁	全開→全閉																																																																																											
② ^{※14}	B-充てんポンプ自冷水供給ライン絞り弁 (SA対策)	全開→全閉																																																																																											
② ^{※15}	B-充てんポンプ自冷水供給ライン止め弁 (SA対策)	全開→全閉																																																																																											
② ^{※16}	B-充てんポンプ自冷水入口弁 (SA対策)	全開→全閉																																																																																											
② ^{※17}	充てんポンプ入口燃料取扱用水ピット側入口弁A	全開→全閉																																																																																											
② ^{※18}	充てんポンプ入口燃料取扱用水ピット側入口弁B	全開→全閉																																																																																											
② ^{※19}	圧縮機排気タンク出口第1止め弁	全開→全閉																																																																																											
② ^{※20}	圧縮機排気タンク出口第2止め弁	全開→全閉																																																																																											
② ^{※21}	充てんラインCV外側隔離弁	全開→全閉																																																																																											
② [※]	B-充てんポンプ自冷水戻りライン第2止め弁 (SA対策)	全開→全閉																																																																																											
② [※]	B-充てんポンプ自冷水出口弁 (SA対策)	全開→全閉																																																																																											
② [※]	B-充てんポンプ自冷水戻りライン第1止め弁 (SA対策)	全開→全閉																																																																																											
② [※]	充てんライン流量制御弁第2バイパスライン絞り弁 (SA対策)	全開→調整開																																																																																											
② [※]	B-充てんポンプ流量制御弁前弁	全開→全閉																																																																																											
② [※]	充てんライン流量制御弁前弁	全開→全閉																																																																																											
②	B-充てんポンプ	停止→起動																																																																																											
②	充てんライン流量制御弁第2バイパスライン絞り弁 (SA対策)	流量調整																																																																																											

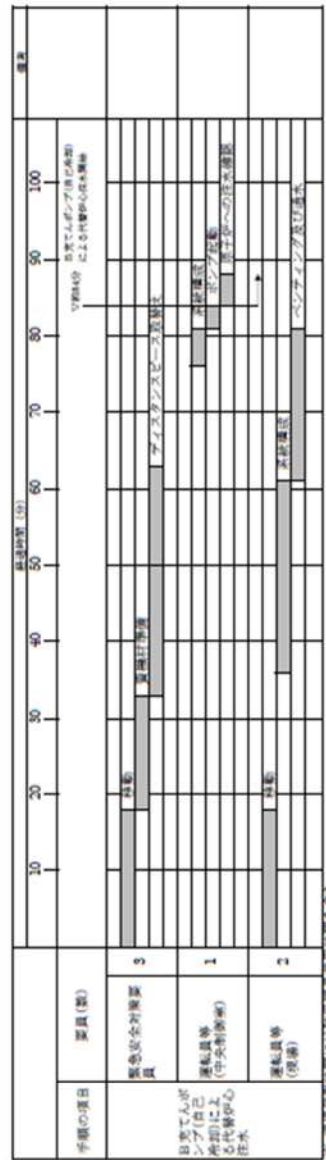
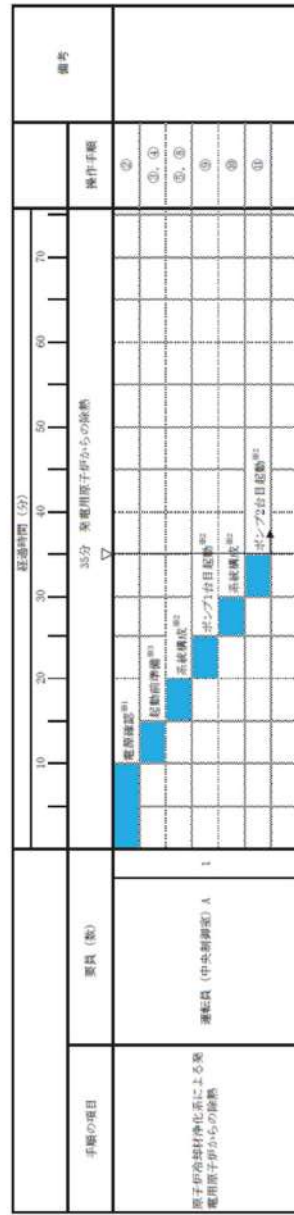
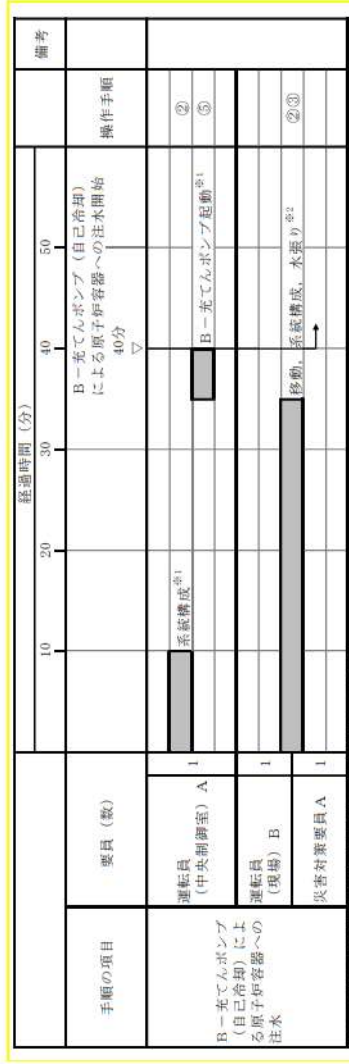
第1.4.22図 B-充てんポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水 概要図（2/2）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

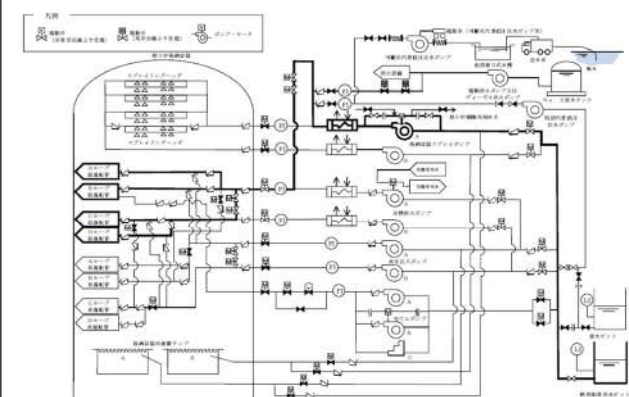
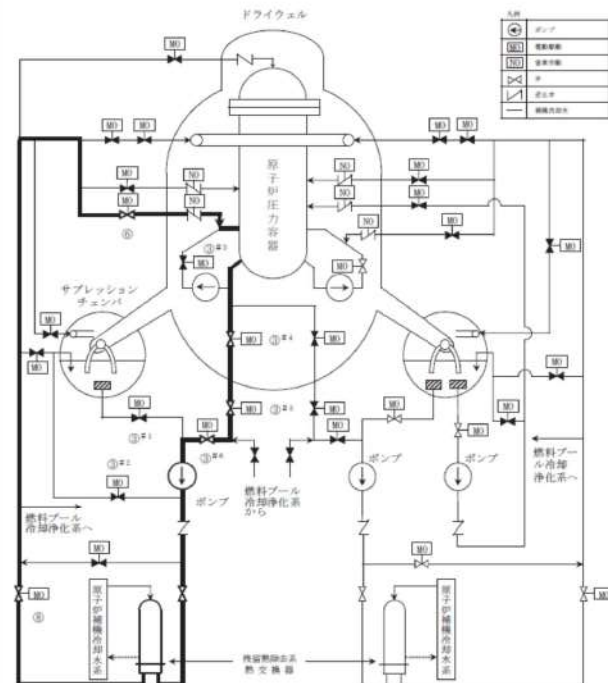
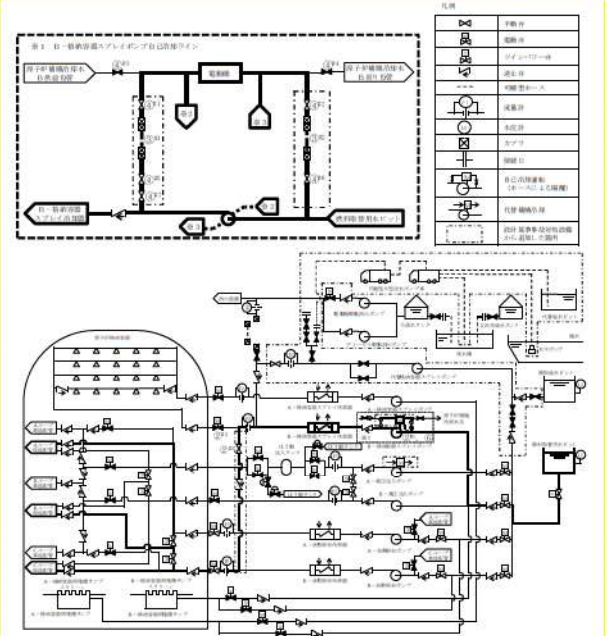
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>大阪発電所3/4号炉</p>  <p>図1.4.23B B-充てんポンプ（自己冷却）による代替中心圧水 タイムチャート</p> <p>各 稼働時間は防衛措置開始時間を含む。</p>	<p>女川原子力発電所2号炉</p>  <p>第 1.4-36 図 原子炉冷却材浄化系による発電用原子炉からの除熱 タイムチャート</p> <p>※1：中央制御室での除熱確認に必要な確認時間 ※2：機器の稼働時間及び動作時間（余裕を見込んだ時間） ※3：機器の稼働時間に余裕を見込んだ時間</p>	<p>泊発電所3号炉</p>  <p>第 1.4.23 図 B-充てんポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水 タイムチャート</p> <p>※1：機器の稼働時間及び動作時間（余裕を見込んだ時間） ※2：中央制御室から機器操作場所までの移動時間及び機器の稼働時間に余裕を見込んだ時間</p>	<p>相違理由</p> <p>【大阪】 記載方針の相違 （女川審査実録の 反表） ・タイムチャート を操作手順番号 を紐づけ ・補充の充実 ・備考欄の追加</p>

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																									
 <p>図 1.4-24 図 A格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替炉心注水 概略系統</p>	 <table border="1" data-bbox="828 989 1276 1244"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>弁名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>③¹⁾</td> <td>RHRポンプ(A)S/C吸込弁</td> </tr> <tr> <td>③²⁾</td> <td>RHRポンプ(A)ミニマムフロー弁</td> </tr> <tr> <td>③³⁾</td> <td>原子炉再循環ポンプ(A)吐出弁</td> </tr> <tr> <td>③⁴⁾</td> <td>RHR A系停止時冷却吸込第一隔離弁</td> </tr> <tr> <td>③⁵⁾</td> <td>RHR A系停止時冷却吸込第二隔離弁</td> </tr> <tr> <td>③⁶⁾</td> <td>RHRポンプ(A)停止時冷却吸込弁</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>RHR A系停止時冷却注入隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>RHR熱交換器(A)出口弁</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する弁があることを示す。</p> <p>第 1.4-37 図 残留熱除去系電源復旧後の発電用原子炉からの除熱 概要図</p>	操作手順	弁名称	③ ¹⁾	RHRポンプ(A)S/C吸込弁	③ ²⁾	RHRポンプ(A)ミニマムフロー弁	③ ³⁾	原子炉再循環ポンプ(A)吐出弁	③ ⁴⁾	RHR A系停止時冷却吸込第一隔離弁	③ ⁵⁾	RHR A系停止時冷却吸込第二隔離弁	③ ⁶⁾	RHRポンプ(A)停止時冷却吸込弁	④	RHR A系停止時冷却注入隔離弁	⑤	RHR熱交換器(A)出口弁	 <table border="1" data-bbox="1433 957 1926 1181"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>③¹⁾</td> <td>B-格納容器スプレイポンプ</td> <td>起動→停止</td> </tr> <tr> <td>③²⁾</td> <td>B-格納容器スプレイポンプ冷却回路(C)内外隔離弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>③³⁾</td> <td>B-残留熱除去冷却回路出口格納容器スプレイ水注入ライン止め弁 (SA設置)</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>③⁴⁾</td> <td>可動型ホース</td> <td>ホース接続</td> </tr> <tr> <td>③⁵⁾</td> <td>B-格納容器スプレイポンプ(自力水注入)弁 (SA設置)</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>③⁶⁾</td> <td>B-格納容器スプレイポンプ(自力水注入)弁 (SA設置)</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>④¹⁾</td> <td>B-格納容器スプレイポンプ電動機機械油注入止め弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>④²⁾</td> <td>B-格納容器スプレイポンプ(自力水供給ライン)止め弁 (SA設置)</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>④³⁾</td> <td>B-格納容器スプレイポンプ(自力水供給ライン)止め弁 (SA設置)</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>④⁴⁾</td> <td>B-格納容器スプレイポンプ(自力水供給ライン)止め弁 (SA設置)</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>④⁵⁾</td> <td>B-格納容器スプレイポンプ(自力水供給ライン)止め弁 (SA設置)</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>④⁶⁾</td> <td>B-格納容器スプレイポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p> <p>第 1.4.24 図 B-格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水 概要図</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	③ ¹⁾	B-格納容器スプレイポンプ	起動→停止	③ ²⁾	B-格納容器スプレイポンプ冷却回路(C)内外隔離弁	全閉→全開	③ ³⁾	B-残留熱除去冷却回路出口格納容器スプレイ水注入ライン止め弁 (SA設置)	全開→全閉	③ ⁴⁾	可動型ホース	ホース接続	③ ⁵⁾	B-格納容器スプレイポンプ(自力水注入)弁 (SA設置)	全開→全閉	③ ⁶⁾	B-格納容器スプレイポンプ(自力水注入)弁 (SA設置)	全開→全閉	④ ¹⁾	B-格納容器スプレイポンプ電動機機械油注入止め弁	全開→全閉	④ ²⁾	B-格納容器スプレイポンプ(自力水供給ライン)止め弁 (SA設置)	全開→全閉	④ ³⁾	B-格納容器スプレイポンプ(自力水供給ライン)止め弁 (SA設置)	全開→全閉	④ ⁴⁾	B-格納容器スプレイポンプ(自力水供給ライン)止め弁 (SA設置)	全開→全閉	④ ⁵⁾	B-格納容器スプレイポンプ(自力水供給ライン)止め弁 (SA設置)	全開→全閉	④ ⁶⁾	B-格納容器スプレイポンプ	停止→起動	<p>【本飯】 記載方針の相違 （女川審査実証の 反映） ・ 凡例の記載内容 変更 ・ 概要図と操作内 容を紐づけ</p>
操作手順	弁名称																																																											
③ ¹⁾	RHRポンプ(A)S/C吸込弁																																																											
③ ²⁾	RHRポンプ(A)ミニマムフロー弁																																																											
③ ³⁾	原子炉再循環ポンプ(A)吐出弁																																																											
③ ⁴⁾	RHR A系停止時冷却吸込第一隔離弁																																																											
③ ⁵⁾	RHR A系停止時冷却吸込第二隔離弁																																																											
③ ⁶⁾	RHRポンプ(A)停止時冷却吸込弁																																																											
④	RHR A系停止時冷却注入隔離弁																																																											
⑤	RHR熱交換器(A)出口弁																																																											
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																																										
③ ¹⁾	B-格納容器スプレイポンプ	起動→停止																																																										
③ ²⁾	B-格納容器スプレイポンプ冷却回路(C)内外隔離弁	全閉→全開																																																										
③ ³⁾	B-残留熱除去冷却回路出口格納容器スプレイ水注入ライン止め弁 (SA設置)	全開→全閉																																																										
③ ⁴⁾	可動型ホース	ホース接続																																																										
③ ⁵⁾	B-格納容器スプレイポンプ(自力水注入)弁 (SA設置)	全開→全閉																																																										
③ ⁶⁾	B-格納容器スプレイポンプ(自力水注入)弁 (SA設置)	全開→全閉																																																										
④ ¹⁾	B-格納容器スプレイポンプ電動機機械油注入止め弁	全開→全閉																																																										
④ ²⁾	B-格納容器スプレイポンプ(自力水供給ライン)止め弁 (SA設置)	全開→全閉																																																										
④ ³⁾	B-格納容器スプレイポンプ(自力水供給ライン)止め弁 (SA設置)	全開→全閉																																																										
④ ⁴⁾	B-格納容器スプレイポンプ(自力水供給ライン)止め弁 (SA設置)	全開→全閉																																																										
④ ⁵⁾	B-格納容器スプレイポンプ(自力水供給ライン)止め弁 (SA設置)	全開→全閉																																																										
④ ⁶⁾	B-格納容器スプレイポンプ	停止→起動																																																										

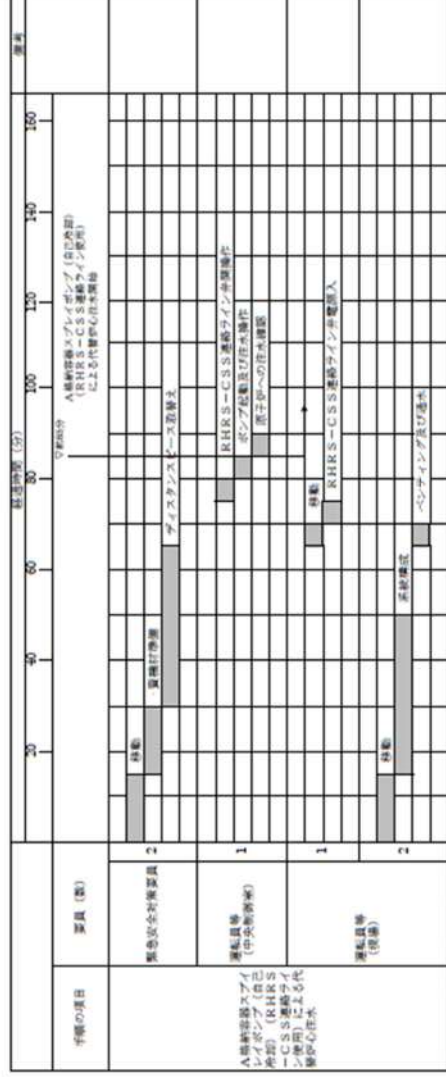
1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

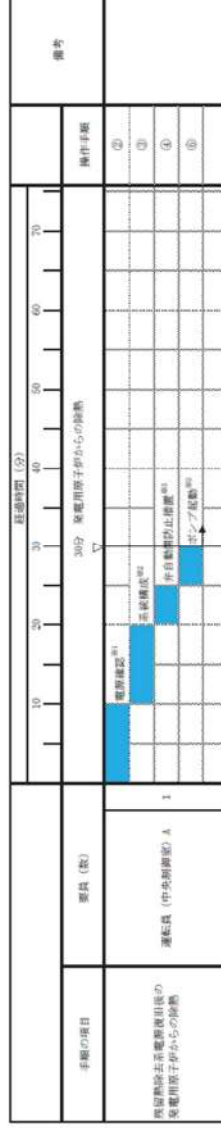
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉



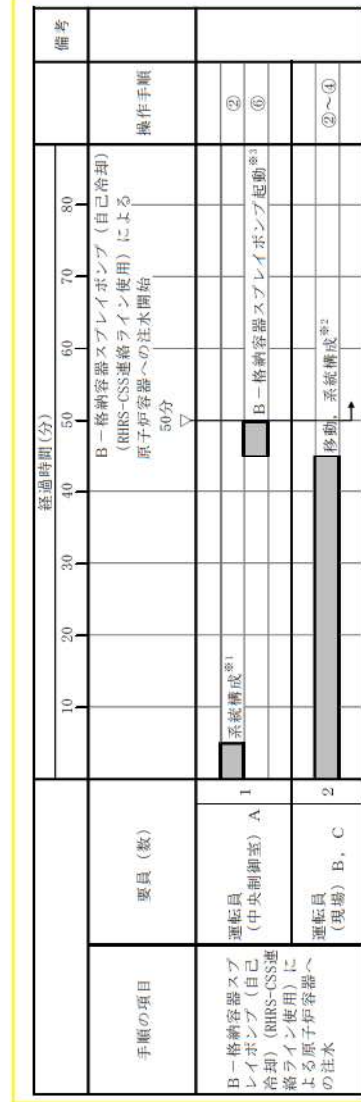
第1.4.25図 A格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替炉心注水 タイムチャート

女川原子力発電所2号炉



第1.4-38図 残留熱除去系電源復旧後の発電用原子炉からの除熱 タイムチャート

泊発電所3号炉



第1.4.25図 B一格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡

ライン使用）による原子炉容器への注水 タイムチャート

- 【大阪】
 記載方針の相違
 （女川審査実施の
 反復）
 ・タイムチャート
 の操作手順番号
 を紐づけ
 ・補足の充実
 ・備考欄の追加

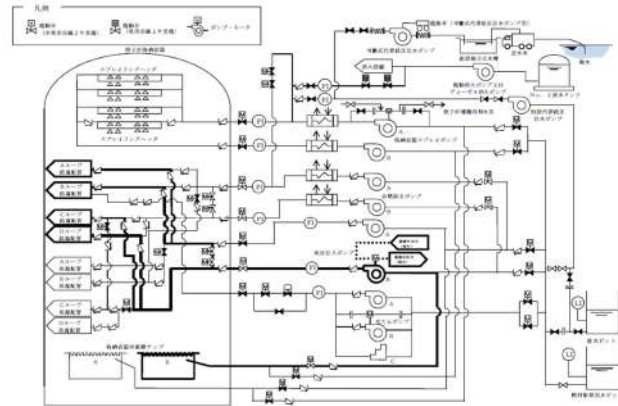
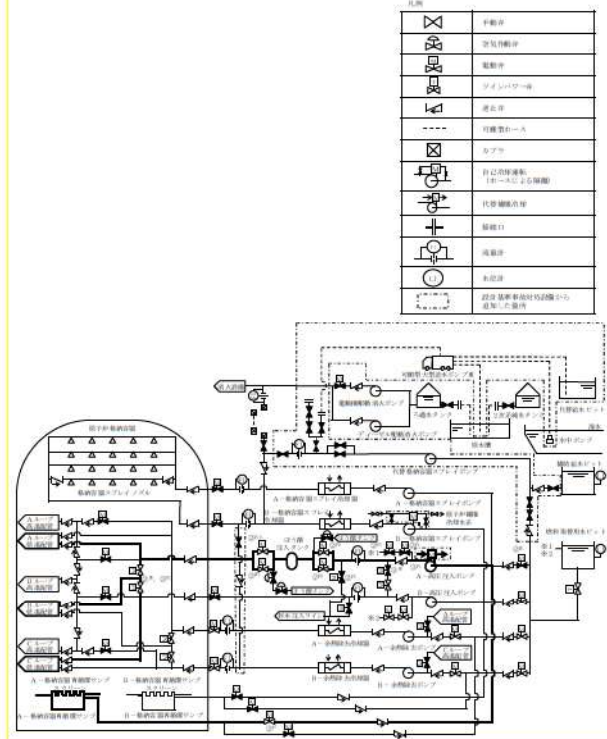
相違理由

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																										
 <p>第 1.4.26 図 B 高圧注入ポンプ（海水希釈）による高圧代替再循環運転 概略系統</p>		 <p>第 1.4.26 図 可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転 概要図 (1/2)</p> <table border="1" data-bbox="1411 1085 1971 1356"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>A-高圧注入ポンプ第1ミニフロー弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>A-高圧注入ポンプ第2ミニフロー弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>A-高圧注入ポンプ燃料取得用水ビット側入口弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>A-高圧注入ポンプ出口C/V外側連絡弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>A-高圧注入ポンプ封水注入ライン止め弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>B-高圧注入ポンプ出口C/V内側連絡弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑦</td> <td>A-安全注入ポンプ西循環タンク側入口C/V外側隔離弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑧</td> <td>ほう酸注入タンク入口弁A</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>⑨</td> <td>ほう酸注入タンク入口弁B</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>⑩</td> <td>ほう酸注入タンク出口C/V外側隔離弁A</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>⑪</td> <td>ほう酸注入タンク出口C/V外側隔離弁B</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>⑫</td> <td>A-高圧注入ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>⑬</td> <td>B-高圧注入ポンプ出口C/V内側連絡弁</td> <td>全開→全開</td> </tr> </tbody> </table> <p>⑪～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p> <p>第 1.4.26 図 可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転 概要図 (2/2)</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	①	A-高圧注入ポンプ第1ミニフロー弁	全開→全閉	②	A-高圧注入ポンプ第2ミニフロー弁	全開→全閉	③	A-高圧注入ポンプ燃料取得用水ビット側入口弁	全開→全閉	④	A-高圧注入ポンプ出口C/V外側連絡弁	全開→全閉	⑤	A-高圧注入ポンプ封水注入ライン止め弁	全開→全閉	⑥	B-高圧注入ポンプ出口C/V内側連絡弁	全開→全閉	⑦	A-安全注入ポンプ西循環タンク側入口C/V外側隔離弁	全開→全閉	⑧	ほう酸注入タンク入口弁A	全開→全開	⑨	ほう酸注入タンク入口弁B	全開→全開	⑩	ほう酸注入タンク出口C/V外側隔離弁A	全開→全開	⑪	ほう酸注入タンク出口C/V外側隔離弁B	全開→全開	⑫	A-高圧注入ポンプ	停止→起動	⑬	B-高圧注入ポンプ出口C/V内側連絡弁	全開→全開	<p>【大飯】 記載方針の相違 （女川審査表紙の反映） ・凡例の記載内容 充実 ・概要図と操作内容を紐づけ</p>
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																											
①	A-高圧注入ポンプ第1ミニフロー弁	全開→全閉																																											
②	A-高圧注入ポンプ第2ミニフロー弁	全開→全閉																																											
③	A-高圧注入ポンプ燃料取得用水ビット側入口弁	全開→全閉																																											
④	A-高圧注入ポンプ出口C/V外側連絡弁	全開→全閉																																											
⑤	A-高圧注入ポンプ封水注入ライン止め弁	全開→全閉																																											
⑥	B-高圧注入ポンプ出口C/V内側連絡弁	全開→全閉																																											
⑦	A-安全注入ポンプ西循環タンク側入口C/V外側隔離弁	全開→全閉																																											
⑧	ほう酸注入タンク入口弁A	全開→全開																																											
⑨	ほう酸注入タンク入口弁B	全開→全開																																											
⑩	ほう酸注入タンク出口C/V外側隔離弁A	全開→全開																																											
⑪	ほう酸注入タンク出口C/V外側隔離弁B	全開→全開																																											
⑫	A-高圧注入ポンプ	停止→起動																																											
⑬	B-高圧注入ポンプ出口C/V内側連絡弁	全開→全開																																											

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

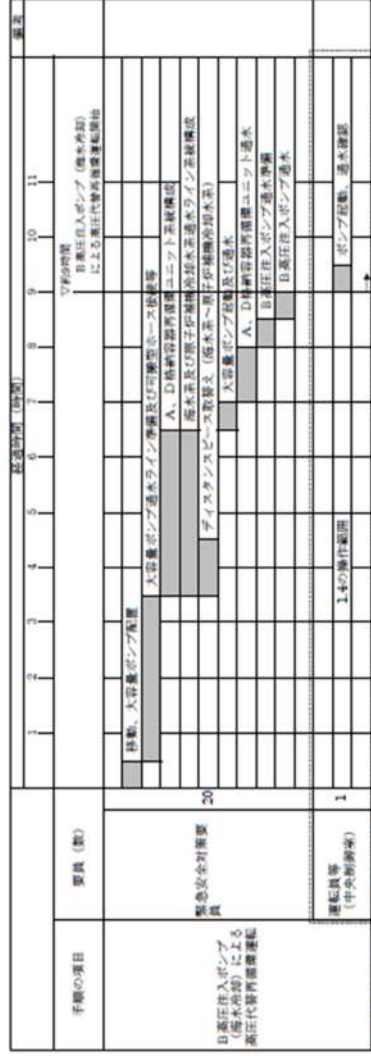
1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉

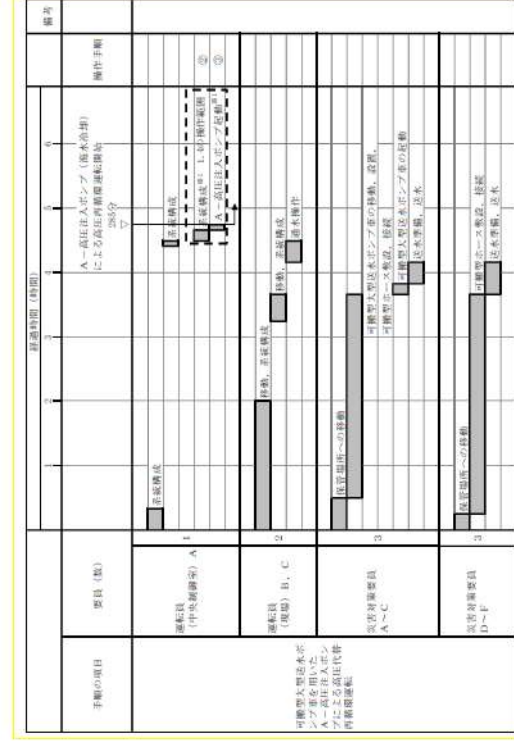
女川原子力発電所 2号炉

泊発電所 3号炉

相違理由



第1.4.27図 B高圧注入ポンプ(海水冷却)による高圧代替循環運転 タイムチャート



第1.4.27図 可搬型大型送水ポンプ車を用いたAー高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転 タイムチャート

- 【大阪】記載方針の相違（女川審査実績の反映）
- ・タイムチャートと操作手順番号を紐づけ
- ・補足の充実
- ・備考欄の追加

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>図 1.4.28 図 Δ余熱除去ポンプ（空潤滑冷水）による低圧代替器用循環運転： 凝縮蒸気</p>		<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">大飯3/4号炉との比較対象なし</p>	<p>【大飯】 設備の相違 (相違理由③)</p>

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>大飯発電所3/4号炉</p> <p>※ 視覚移動時間には防護員専用時間を含む。 第1.4.29図 格納容器隔離弁の閉止（1次冷却材ポンプ隔離弁等閉操作） タイムチャート</p>	<p>女川原子力発電所2号炉</p>	<p>※1：中央側隔壁から機器撤出作業までの移動時間及び機器の操作時間に余裕を見込んだ時間 ※2：機器の操作時間及び動作時間に余裕を見込んだ時間</p>	<p>相違理由</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 （女川審査実績の反映） ・タイムチャートと操作手順番号を紐づけ ・補足の充実 ・備考欄の追加</p>

第1.4.28図 原子炉格納容器隔離弁の閉止

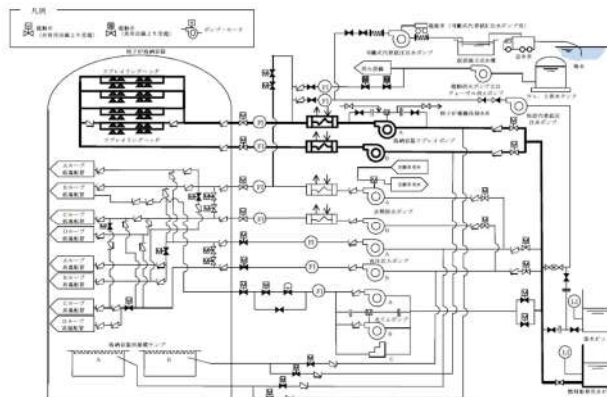
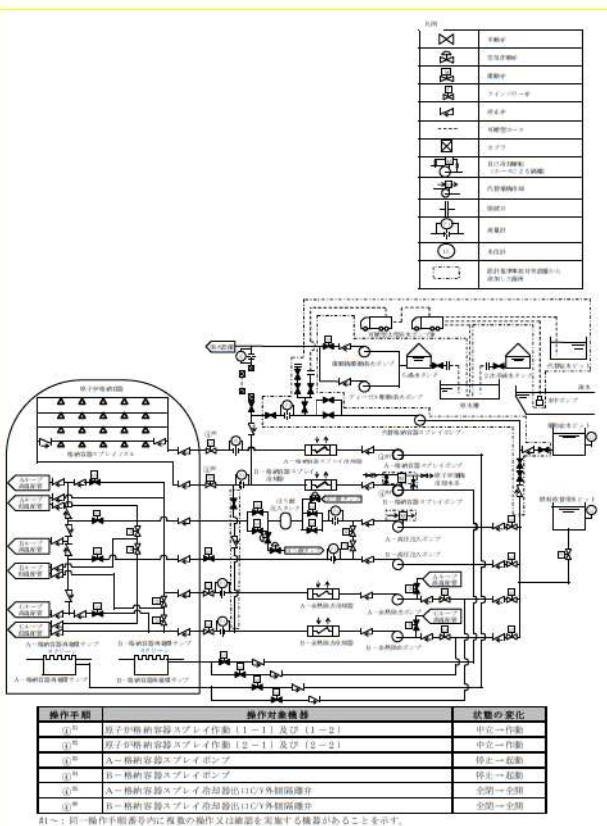
（1次系冷却材ポンプ隔離弁等閉止操作） タイムチャート

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

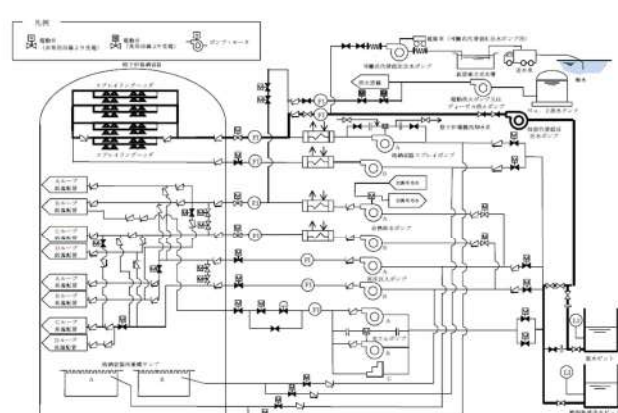
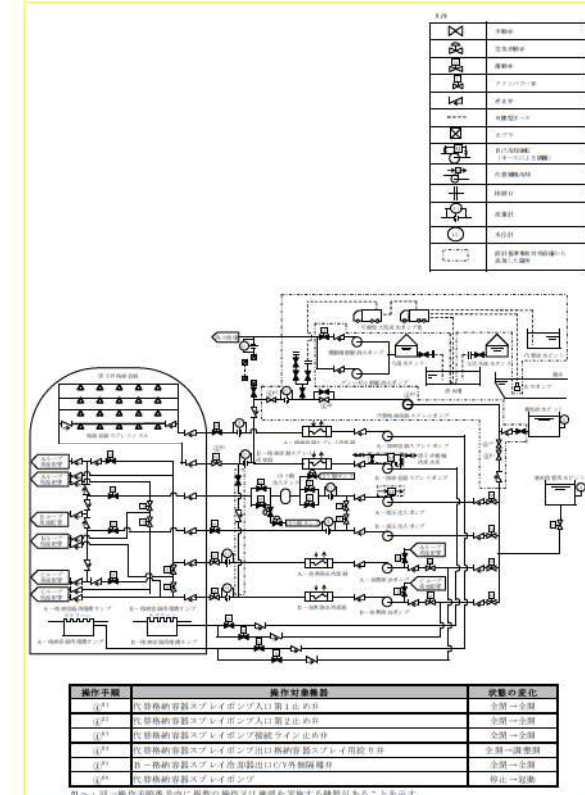
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																					
 <p>図 1.4.22 図 溶融炉心が原子炉容器に残存する場合の応急 運転系統 (格納容器スプレイポンプによる格納容器スプレイ)</p>		 <table border="1" data-bbox="1411 1037 1926 1149"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1)※</td> <td>原子炉格納容器スプレイ作動(1号・11号及び12号)</td> <td>停止→作動</td> </tr> <tr> <td>(2)※</td> <td>原子炉格納容器スプレイ作動(2号・11号及び12号)</td> <td>停止→作動</td> </tr> <tr> <td>(3)※</td> <td>A-格納容器スプレイポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>(4)※</td> <td>B-格納容器スプレイポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>(5)※</td> <td>A-格納容器スプレイ冷却器出口の9外熱交換器</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>(6)※</td> <td>B-格納容器スプレイ冷却器出口の9外熱交換器</td> <td>全閉→全開</td> </tr> </tbody> </table> <p>註：同一操作手順番号内に複数の操作又は機器を並列する機器があることを示す。</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	(1)※	原子炉格納容器スプレイ作動(1号・11号及び12号)	停止→作動	(2)※	原子炉格納容器スプレイ作動(2号・11号及び12号)	停止→作動	(3)※	A-格納容器スプレイポンプ	停止→起動	(4)※	B-格納容器スプレイポンプ	停止→起動	(5)※	A-格納容器スプレイ冷却器出口の9外熱交換器	全閉→全開	(6)※	B-格納容器スプレイ冷却器出口の9外熱交換器	全閉→全開	<p>【本飯】 記載方針の相違 (女川審査実証の 反映) ・凡例の記載内容 変更 ・概要図と操作内 容を紐づけ</p>
操作手順	操作対象機器	状態の変化																						
(1)※	原子炉格納容器スプレイ作動(1号・11号及び12号)	停止→作動																						
(2)※	原子炉格納容器スプレイ作動(2号・11号及び12号)	停止→作動																						
(3)※	A-格納容器スプレイポンプ	停止→起動																						
(4)※	B-格納容器スプレイポンプ	停止→起動																						
(5)※	A-格納容器スプレイ冷却器出口の9外熱交換器	全閉→全開																						
(6)※	B-格納容器スプレイ冷却器出口の9外熱交換器	全閉→全開																						

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																					
 <p>図 1.4.30 図 溶融炉心が原子炉容器に残存する場合の冷却 概略系統 (仮設代替格納容器スプレイによる代替格納容器スプレイ)</p>		 <table border="1" data-bbox="1433 1021 1926 1133"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ入口第1止め弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ入口第2止め弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ配管ライン止弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ出口格納容器スプレイ用絞り弁</td> <td>全閉→調整</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>圧力調整格納容器スプレイ高圧出口の弁閉鎖操作</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> </tbody> </table> <p>注：同一操作手順等内には複数の操作又は確認を必要とする機器があることを示す。</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	①	代替格納容器スプレイポンプ入口第1止め弁	全閉→全開	②	代替格納容器スプレイポンプ入口第2止め弁	全閉→全開	③	代替格納容器スプレイポンプ配管ライン止弁	全閉→全開	④	代替格納容器スプレイポンプ出口格納容器スプレイ用絞り弁	全閉→調整	⑤	圧力調整格納容器スプレイ高圧出口の弁閉鎖操作	全閉→全開	⑥	代替格納容器スプレイポンプ	停止→起動	<p>【大阪】 記載方針の相違 (女川審査実証の 反映) ・凡例の記載内容 変更 ・概要図と操作内 容を紐づけ</p>
操作手順	操作対象機器	状態の変化																						
①	代替格納容器スプレイポンプ入口第1止め弁	全閉→全開																						
②	代替格納容器スプレイポンプ入口第2止め弁	全閉→全開																						
③	代替格納容器スプレイポンプ配管ライン止弁	全閉→全開																						
④	代替格納容器スプレイポンプ出口格納容器スプレイ用絞り弁	全閉→調整																						
⑤	圧力調整格納容器スプレイ高圧出口の弁閉鎖操作	全閉→全開																						
⑥	代替格納容器スプレイポンプ	停止→起動																						

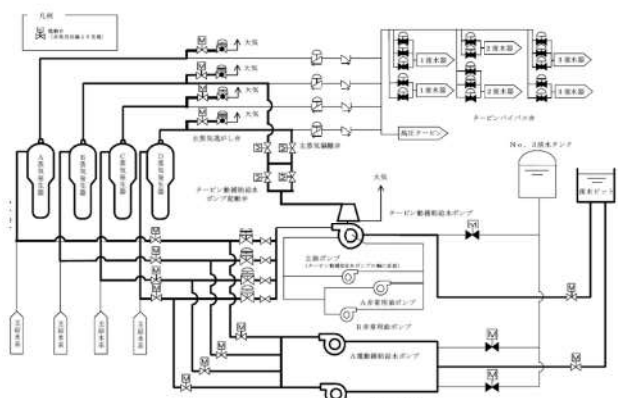
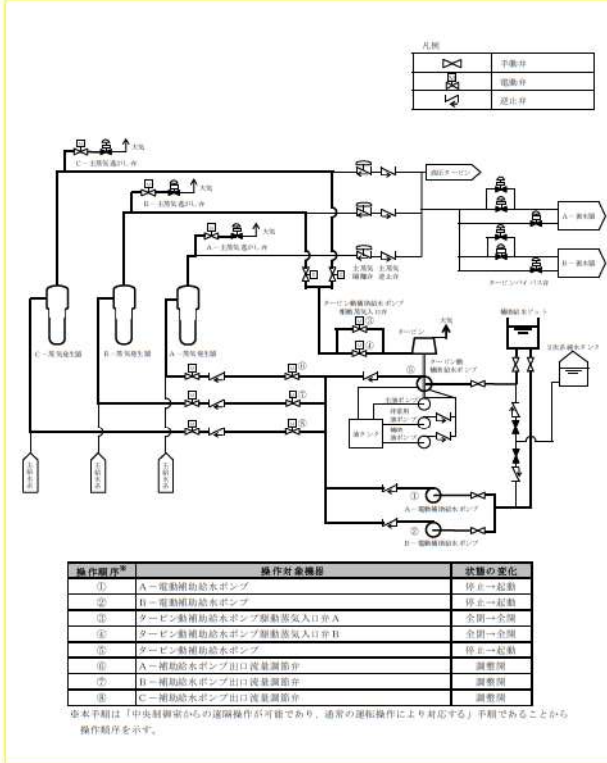
第 1.4.30 図 溶融炉心が原子炉容器内に残存する場合の対応手段 概要図
 (代替格納容器スプレイによる残存溶融炉心の冷却)

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																											
 <p>図 1.4.45 回 補助給水ポンプ及び蒸気発生器2次側による炉心冷却 概略系統</p>		 <table border="1" data-bbox="1444 925 1915 1077"> <thead> <tr> <th>操作順序*</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>A-電動補助給水ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>B-電動補助給水ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>タービン動補助給水ポンプ駆動蒸気入口弁A</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>タービン動補助給水ポンプ駆動蒸気入口弁B</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>タービン動補助給水ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>A-補助給水ポンプ出口流量調整弁</td> <td>調整中</td> </tr> <tr> <td>⑦</td> <td>B-補助給水ポンプ出口流量調整弁</td> <td>調整中</td> </tr> <tr> <td>⑧</td> <td>C-補助給水ポンプ出口流量調整弁</td> <td>調整中</td> </tr> </tbody> </table> <p>※見字順は「中央制御室からの遠隔操作が可能であり、通常の運転操作により対応する」手順であることから操作順序を示す。</p>	操作順序*	操作対象機器	状態の変化	①	A-電動補助給水ポンプ	停止→起動	②	B-電動補助給水ポンプ	停止→起動	③	タービン動補助給水ポンプ駆動蒸気入口弁A	全閉→全開	④	タービン動補助給水ポンプ駆動蒸気入口弁B	全閉→全開	⑤	タービン動補助給水ポンプ	停止→起動	⑥	A-補助給水ポンプ出口流量調整弁	調整中	⑦	B-補助給水ポンプ出口流量調整弁	調整中	⑧	C-補助給水ポンプ出口流量調整弁	調整中	<p>【大阪】 記載方針の相違 （女川審査実証の 反映） ・凡例の記載内容 変更 ・概要図と操作内 容を紐づけ</p>
操作順序*	操作対象機器	状態の変化																												
①	A-電動補助給水ポンプ	停止→起動																												
②	B-電動補助給水ポンプ	停止→起動																												
③	タービン動補助給水ポンプ駆動蒸気入口弁A	全閉→全開																												
④	タービン動補助給水ポンプ駆動蒸気入口弁B	全閉→全開																												
⑤	タービン動補助給水ポンプ	停止→起動																												
⑥	A-補助給水ポンプ出口流量調整弁	調整中																												
⑦	B-補助給水ポンプ出口流量調整弁	調整中																												
⑧	C-補助給水ポンプ出口流量調整弁	調整中																												
<p>第 1.4. 81 図 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水 概要図</p>																														

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																	
<div data-bbox="203 770 613 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>		<div data-bbox="1379 424 2002 1193" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <table border="1" data-bbox="1816 456 1995 533" style="margin-bottom: 10px;"> <caption>凡例</caption> <tr><td></td><td>弁</td></tr> <tr><td></td><td>ポンプ</td></tr> <tr><td></td><td>流</td></tr> <tr><td></td><td>戻</td></tr> </table> <p style="text-align: center;">電動主給水のポンプ</p> <table border="1" data-bbox="1429 1038 1917 1098"> <thead> <tr> <th>操作順序</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>電動主給水のポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>戻り弁の出口弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">※本手順は「中央制御室からの遠隔操作が可能であり、通常の運転操作により対応する」手順であることから、操作順序を示す。</p> </div>		弁		ポンプ		流		戻	操作順序	操作対象機器	状態の変化	①	電動主給水のポンプ	停止→起動	②	戻り弁の出口弁	全閉→全開	<div data-bbox="2024 740 2145 820" style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">【大飯】 記載方針の相違 (相違理由⑤)</div>
	弁																			
	ポンプ																			
	流																			
	戻																			
操作順序	操作対象機器	状態の変化																		
①	電動主給水のポンプ	停止→起動																		
②	戻り弁の出口弁	全閉→全開																		

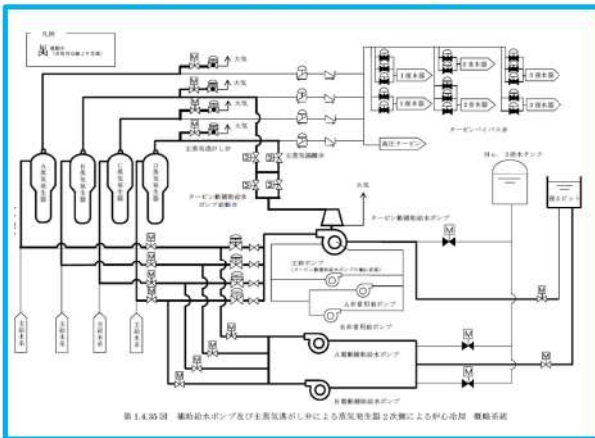
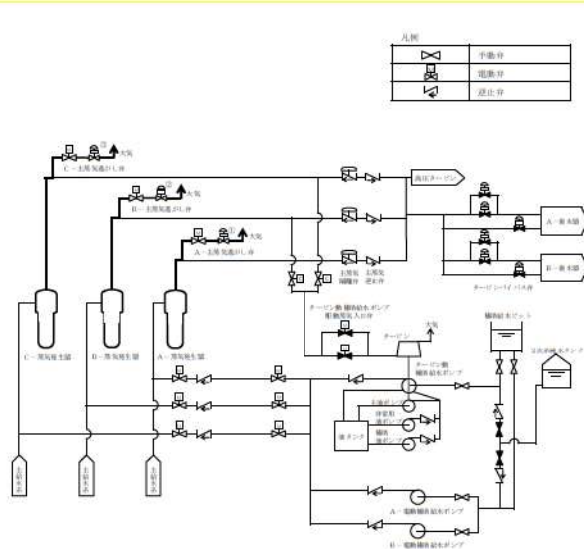
第 1.4.32 図 電動主給水のポンプによる蒸気発生器への注水 概要図

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

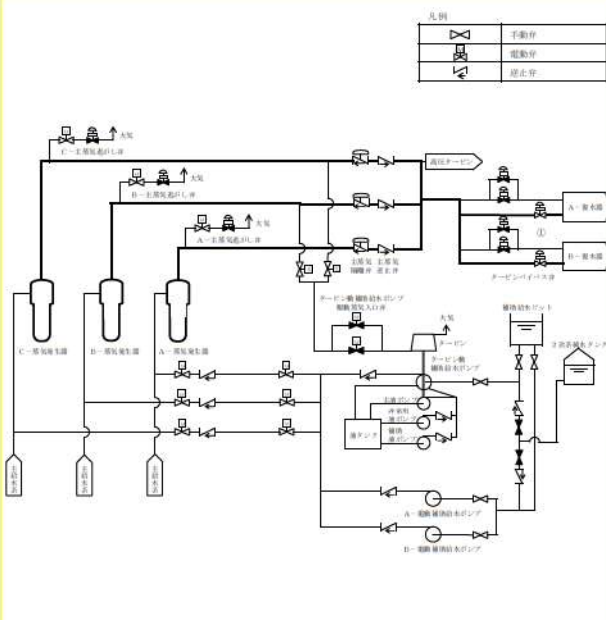
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由												
<p style="text-align: center;">【比較のため、第1.4.35図を再掲】</p>  <p style="text-align: center;">第1.4.35図 補助給水ポンプ及び主蒸気逃がし弁による蒸気発生器2次側による炉心冷却 概略図</p>		 <table border="1" data-bbox="1433 1013 1892 1077"> <thead> <tr> <th>操作順序*</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>A-主蒸気逃がし弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>B-主蒸気逃がし弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>C-主蒸気逃がし弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">*本手順は「中央制御室からの遠隔操作が可能であり、通常の運転操作により対応する」手順であることから、操作順序を示す。</p> <p style="text-align: center;">第1.4.33図 主蒸気逃がし弁による蒸気放出 概要図</p>	操作順序*	操作対象機器	状態の変化	①	A-主蒸気逃がし弁	全閉→全開	②	B-主蒸気逃がし弁	全閉→全開	③	C-主蒸気逃がし弁	全閉→全開	<p>【大飯】 記載方針の相違 （女川審査実績の反映） ・凡例の記載内容 充実 ・概要図と操作内 容を紐づけ</p>
操作順序*	操作対象機器	状態の変化													
①	A-主蒸気逃がし弁	全閉→全開													
②	B-主蒸気逃がし弁	全閉→全開													
③	C-主蒸気逃がし弁	全閉→全開													

1.4 原子炉冷却材圧カバウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

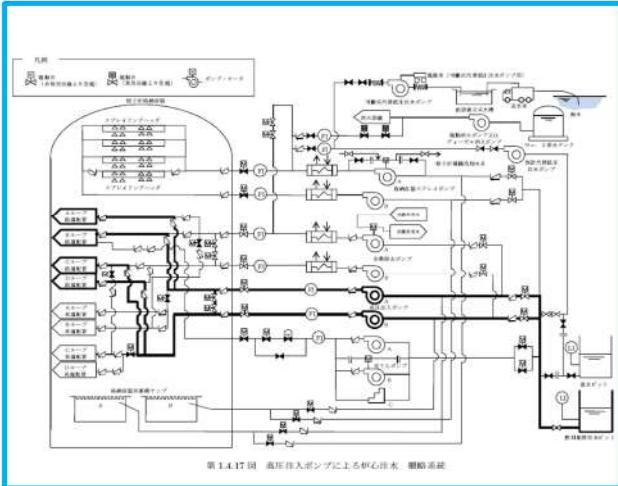
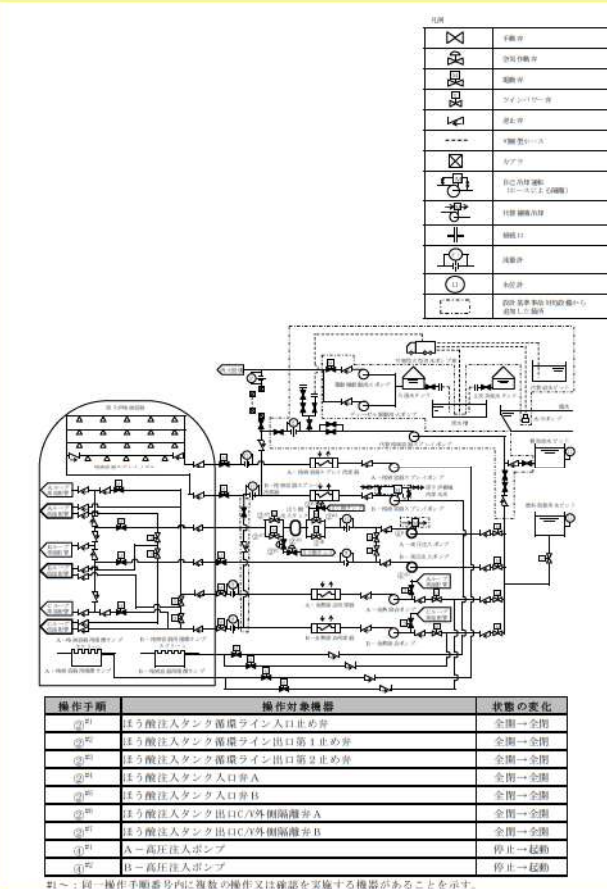
大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由						
<div data-bbox="203 767 613 810" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>		<div data-bbox="1384 373 2002 1139" style="border: 1px solid black; padding: 10px;">  <table border="1" data-bbox="1420 1011 1951 1050"> <thead> <tr> <th>操作順序[※]</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>タービンバイパス弁</td> <td>全開→調整開</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="1420 1050 1899 1082">※本手順は「中央制御室からの遠隔操作が可能であり、通常の運転操作により対応する」手順であることから操作順序を示す。</p> </div>	操作順序 [※]	操作対象機器	状態の変化	①	タービンバイパス弁	全開→調整開	<div data-bbox="2024 751 2145 831" style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">【大飯】 記載方針の相違 (相違理由⑤)</div>
操作順序 [※]	操作対象機器	状態の変化							
①	タービンバイパス弁	全開→調整開							

第 1.4.34 図 タービンバイパス弁による蒸気放出 概要図

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																														
<p>【比較のため、第 1.4.17 図を再掲】</p>  <p>第 1.4.17 図 高圧注入ポンプによる炉心注水 概略系統</p>		 <table border="1" data-bbox="1422 1029 1960 1204"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の遷移</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>②²¹</td> <td>ほう酸注入タンク蓄積ライン入口止め弁</td> <td>全閉→全閉</td> </tr> <tr> <td>②²²</td> <td>ほう酸注入タンク蓄積ライン出口第1止め弁</td> <td>全閉→全閉</td> </tr> <tr> <td>②²³</td> <td>ほう酸注入タンク蓄積ライン出口第2止め弁</td> <td>全閉→全閉</td> </tr> <tr> <td>②²⁴</td> <td>ほう酸注入タンク入口弁 A</td> <td>全閉→全閉</td> </tr> <tr> <td>②²⁵</td> <td>ほう酸注入タンク入口弁 B</td> <td>全閉→全閉</td> </tr> <tr> <td>②²⁶</td> <td>ほう酸注入タンク出口Cの外側隔離弁 A</td> <td>全閉→全閉</td> </tr> <tr> <td>②²⁷</td> <td>ほう酸注入タンク出口Cの外側隔離弁 B</td> <td>全閉→全閉</td> </tr> <tr> <td>④²¹</td> <td>A-高圧注入ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>④²²</td> <td>B-高圧注入ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p> <p>第 1.4.35 図 高圧注入ポンプによる原子炉容器への注水 概要図</p>	操作手順	操作対象機器	状態の遷移	② ²¹	ほう酸注入タンク蓄積ライン入口止め弁	全閉→全閉	② ²²	ほう酸注入タンク蓄積ライン出口第1止め弁	全閉→全閉	② ²³	ほう酸注入タンク蓄積ライン出口第2止め弁	全閉→全閉	② ²⁴	ほう酸注入タンク入口弁 A	全閉→全閉	② ²⁵	ほう酸注入タンク入口弁 B	全閉→全閉	② ²⁶	ほう酸注入タンク出口Cの外側隔離弁 A	全閉→全閉	② ²⁷	ほう酸注入タンク出口Cの外側隔離弁 B	全閉→全閉	④ ²¹	A-高圧注入ポンプ	停止→起動	④ ²²	B-高圧注入ポンプ	停止→起動	<p>【本飯】 記載方針の相違 （女川審査実証の 反映） ・凡例の記載内容 充実 ・概要図と操作内 容を紐づけ</p>
操作手順	操作対象機器	状態の遷移																															
② ²¹	ほう酸注入タンク蓄積ライン入口止め弁	全閉→全閉																															
② ²²	ほう酸注入タンク蓄積ライン出口第1止め弁	全閉→全閉																															
② ²³	ほう酸注入タンク蓄積ライン出口第2止め弁	全閉→全閉																															
② ²⁴	ほう酸注入タンク入口弁 A	全閉→全閉																															
② ²⁵	ほう酸注入タンク入口弁 B	全閉→全閉																															
② ²⁶	ほう酸注入タンク出口Cの外側隔離弁 A	全閉→全閉																															
② ²⁷	ほう酸注入タンク出口Cの外側隔離弁 B	全閉→全閉																															
④ ²¹	A-高圧注入ポンプ	停止→起動																															
④ ²²	B-高圧注入ポンプ	停止→起動																															

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>図 1.4.38 図 蓄圧タンクによる炉心注水（概略示記）</p>		<p style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">大飯3/4号炉との比較対象なし</p>	<p>【大飯】 設備の相違 (相違理由⑨)</p>

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

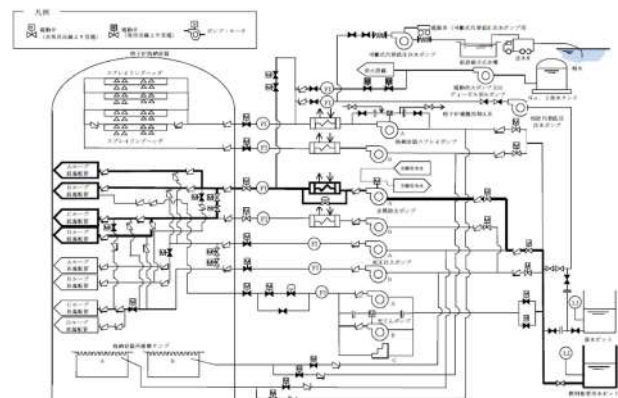
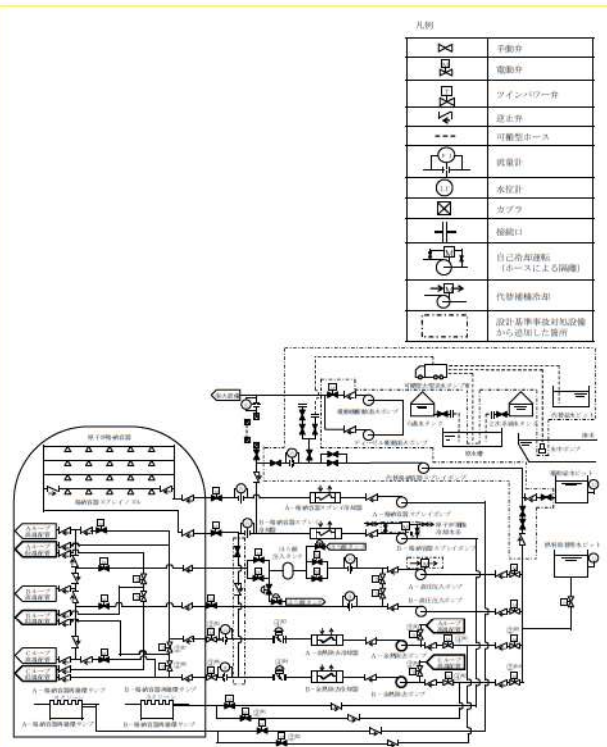
大飯発電所3 / 4号炉		女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																								
手順の項目	要員(数)																																																																											
	運転員等(中央制御室)	1																																																																										
蓄圧タンクによる炉心注水	要員(数)	1																																																																										
	運転員等(現番)	1																																																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>経過時間(分)</th> <th>10</th> <th>15</th> <th>20</th> <th>25</th> <th>30</th> <th>35</th> <th>40</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受電状態確認</td> <td>■</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1基目 出口弁開操作</td> <td></td> <td></td> <td>■</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2基目 出口弁開操作</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>■</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3基目 出口弁開操作</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>■</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4基目 出口弁開操作</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>■</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>移動</td> <td>■</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出口弁閉鎖入</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		経過時間(分)	10	15	20	25	30	35	40	備考	受電状態確認	■								1基目 出口弁開操作			■						2基目 出口弁開操作				■					3基目 出口弁開操作					■				4基目 出口弁開操作						■			移動	■								出口弁閉鎖入											
経過時間(分)	10	15	20	25	30	35	40	備考																																																																				
受電状態確認	■																																																																											
1基目 出口弁開操作			■																																																																									
2基目 出口弁開操作				■																																																																								
3基目 出口弁開操作					■																																																																							
4基目 出口弁開操作						■																																																																						
移動	■																																																																											
出口弁閉鎖入																																																																												
<p>※ 要員移動時間には防護器具着脱時間を含む。</p> <p>第1.4.39図 蓄圧タンクによる炉心注水 タイムチャート</p>																																																																												
			大飯3 / 4号炉との比較対象なし	【大飯】 設備の相違 (相違理由⑨)																																																																								

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																					
 <p>図 1.4.40 燃料取替用水ピットからの重力注水による代替炉心注水 概略系統</p>		 <p>凡例</p> <table border="1"> <tr><td></td><td>手動弁</td></tr> <tr><td></td><td>電動弁</td></tr> <tr><td></td><td>ラインバロー弁</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁</td></tr> <tr><td></td><td>可動型ホース</td></tr> <tr><td></td><td>流量計</td></tr> <tr><td></td><td>水位計</td></tr> <tr><td></td><td>カブタ</td></tr> <tr><td></td><td>接続口</td></tr> <tr><td></td><td>自己防凍運転（ボースによる隔離）</td></tr> <tr><td></td><td>代替種補給弁</td></tr> <tr><td></td><td>設計基準事故時対応設備から隔離した設備</td></tr> </table> <p>第 1.4.36 図 燃料取替用水ピットからの重力注水による原子炉容器への注水 概要図 (1/2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>②²</td><td>A-全熱除去ポンプ再循環サンブ投入弁</td><td>全閉確認</td></tr> <tr><td>②²</td><td>B-全熱除去ポンプ再循環サンブ投入弁</td><td>全閉確認</td></tr> <tr><td>②²</td><td>A-全熱除去ポンプ入口CV内側隔離弁</td><td>全開確認</td></tr> <tr><td>②²</td><td>B-全熱除去ポンプ入口CV内側隔離弁</td><td>全開確認</td></tr> <tr><td>②²</td><td>全熱除去AラインCV外側隔離弁</td><td>全開確認</td></tr> <tr><td>②²</td><td>全熱除去BラインCV外側隔離弁</td><td>全開確認</td></tr> <tr><td>②²</td><td>A-全熱除去冷却器出口CV内側連絡弁</td><td>全開確認</td></tr> <tr><td>②²</td><td>B-全熱除去冷却器出口CV内側連絡弁</td><td>全開確認</td></tr> <tr><td>②²</td><td>A-全熱除去ポンプRSP投入弁</td><td>全開確認</td></tr> <tr><td>②²</td><td>B-全熱除去ポンプRSP投入弁</td><td>全開確認</td></tr> <tr><td>③²</td><td>A-全熱除去ポンプRSP/再循環サンブ投入弁</td><td>全閉→全開</td></tr> <tr><td>③²</td><td>B-全熱除去ポンプRSP/再循環サンブ投入弁</td><td>全閉→全開</td></tr> <tr><td>④²</td><td>A-全熱除去冷却器出口流量調節弁</td><td>全開→調整開</td></tr> <tr><td>④²</td><td>B-全熱除去冷却器出口流量調節弁</td><td>全開→調整開</td></tr> </tbody> </table> <p>註：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p> <p>第 1.4.36 図 燃料取替用水ピットからの重力注水による原子炉容器への注水 概要図 (2/2)</p>		手動弁		電動弁		ラインバロー弁		逆止弁		可動型ホース		流量計		水位計		カブタ		接続口		自己防凍運転（ボースによる隔離）		代替種補給弁		設計基準事故時対応設備から隔離した設備	操作手順	操作対象機器	状態の変化	② ²	A-全熱除去ポンプ再循環サンブ投入弁	全閉確認	② ²	B-全熱除去ポンプ再循環サンブ投入弁	全閉確認	② ²	A-全熱除去ポンプ入口CV内側隔離弁	全開確認	② ²	B-全熱除去ポンプ入口CV内側隔離弁	全開確認	② ²	全熱除去AラインCV外側隔離弁	全開確認	② ²	全熱除去BラインCV外側隔離弁	全開確認	② ²	A-全熱除去冷却器出口CV内側連絡弁	全開確認	② ²	B-全熱除去冷却器出口CV内側連絡弁	全開確認	② ²	A-全熱除去ポンプRSP投入弁	全開確認	② ²	B-全熱除去ポンプRSP投入弁	全開確認	③ ²	A-全熱除去ポンプRSP/再循環サンブ投入弁	全閉→全開	③ ²	B-全熱除去ポンプRSP/再循環サンブ投入弁	全閉→全開	④ ²	A-全熱除去冷却器出口流量調節弁	全開→調整開	④ ²	B-全熱除去冷却器出口流量調節弁	全開→調整開	<p>【大飯】 記載方針の相違 （女川審査表紙の反映） 凡例の記載内容 充実 概要図と操作内容を紐づけ</p>
	手動弁																																																																							
	電動弁																																																																							
	ラインバロー弁																																																																							
	逆止弁																																																																							
	可動型ホース																																																																							
	流量計																																																																							
	水位計																																																																							
	カブタ																																																																							
	接続口																																																																							
	自己防凍運転（ボースによる隔離）																																																																							
	代替種補給弁																																																																							
	設計基準事故時対応設備から隔離した設備																																																																							
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																																																						
② ²	A-全熱除去ポンプ再循環サンブ投入弁	全閉確認																																																																						
② ²	B-全熱除去ポンプ再循環サンブ投入弁	全閉確認																																																																						
② ²	A-全熱除去ポンプ入口CV内側隔離弁	全開確認																																																																						
② ²	B-全熱除去ポンプ入口CV内側隔離弁	全開確認																																																																						
② ²	全熱除去AラインCV外側隔離弁	全開確認																																																																						
② ²	全熱除去BラインCV外側隔離弁	全開確認																																																																						
② ²	A-全熱除去冷却器出口CV内側連絡弁	全開確認																																																																						
② ²	B-全熱除去冷却器出口CV内側連絡弁	全開確認																																																																						
② ²	A-全熱除去ポンプRSP投入弁	全開確認																																																																						
② ²	B-全熱除去ポンプRSP投入弁	全開確認																																																																						
③ ²	A-全熱除去ポンプRSP/再循環サンブ投入弁	全閉→全開																																																																						
③ ²	B-全熱除去ポンプRSP/再循環サンブ投入弁	全閉→全開																																																																						
④ ²	A-全熱除去冷却器出口流量調節弁	全開→調整開																																																																						
④ ²	B-全熱除去冷却器出口流量調節弁	全開→調整開																																																																						

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

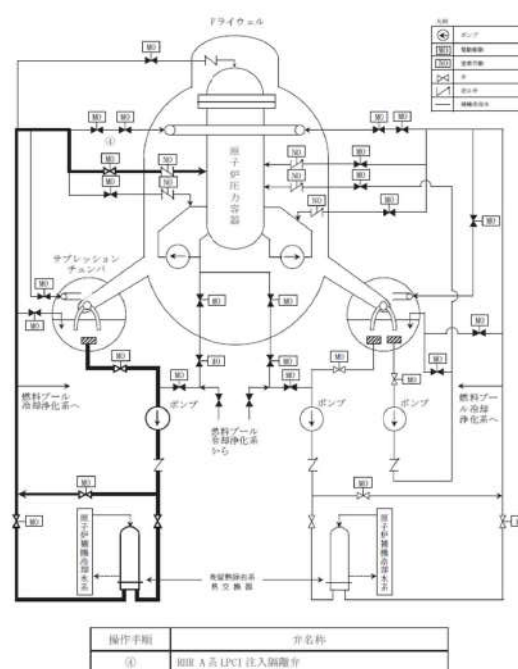
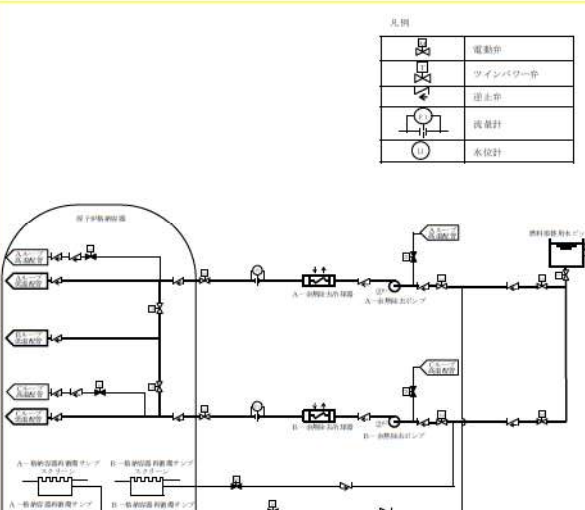
1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<div style="text-align: center;"> <p>第1.4.42図 燃料取替用水ピットからの重力注水による代替炉心注水 タイムチャート</p> <p>※ 取替移動時間には防保護員専用時間を含む。</p> </div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> 大飯 3 / 4号炉との比較対象なし </div>	<p>【大飯】 運用の相違 (相違理由③)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大飯3/4号炉は、空冷式非常用発電装置からの給電前に実施する手順であり、電動弁の現場手動操作により注水を実施する。 ・泊3号炉は、代替非常用発電機からの給電後に実施する手順であり、電動弁を中央制御室にて操作することから、フロントライン系機能喪失時の手順と同様。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由													
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	 <table border="1" data-bbox="851 1037 1232 1085"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>弁名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>④</td> <td>R08 A系 LPCI 注入隔離弁</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">第 1.4-39 図 残留熱除去系（低圧注水モード）による原子炉圧力容器への注水 概要図</p>	操作手順	弁名称	④	R08 A系 LPCI 注入隔離弁	 <table border="1" data-bbox="1388 1117 1948 1181"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>②¹⁾</td> <td>A-余熱除去ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>③²⁾</td> <td>B-余熱除去ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">第 1.4.37 図 余熱除去ポンプによる原子炉容器への注水 概要図</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	② ¹⁾	A-余熱除去ポンプ	停止→起動	③ ²⁾	B-余熱除去ポンプ	停止→起動	<p>【大飯】 記載方針の相違 （女川審査実績の反映） ・泊は、重大事故等 対応設備（設計 基準拡張）の手 順を整理してい る。</p>
操作手順	弁名称															
④	R08 A系 LPCI 注入隔離弁															
操作手順	操作対象機器	状態の変化														
② ¹⁾	A-余熱除去ポンプ	停止→起動														
③ ²⁾	B-余熱除去ポンプ	停止→起動														

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

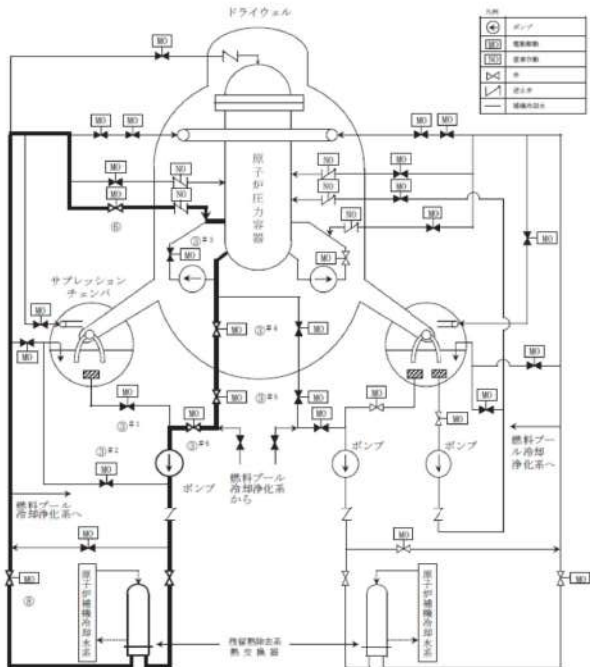
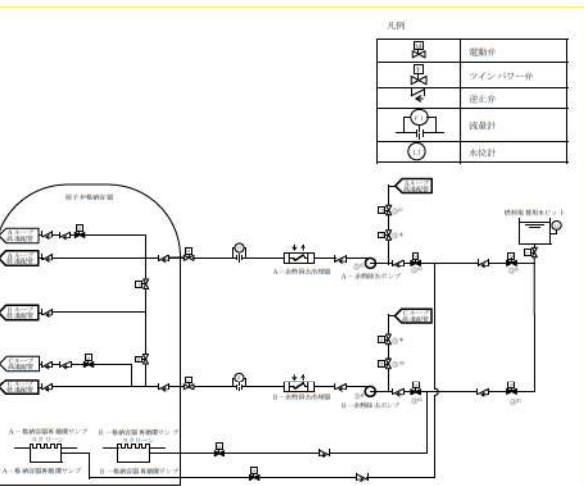
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																			
<div data-bbox="203 767 613 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> 泊3号炉との比較対象なし </div>	<div data-bbox="743 544 1357 906" style="text-align: center;"> </div> <div data-bbox="860 938 1267 992" style="margin-top: 10px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">操作手順</th> <th>弁名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>LPCS 注入隔離弁</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">第1.4-40図 低圧炉心スプレイ系による原子炉压力容器への注水 概要図</p>	操作手順	弁名称	①	LPCS 注入隔離弁	<div data-bbox="1391 432 1966 1098" style="text-align: center;"> </div> <div data-bbox="1413 963 1935 1054" style="margin-top: 10px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">操作手順</th> <th style="width: 50%;">操作対象機器</th> <th style="width: 30%;">状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①¹⁾</td> <td>A-余熱除去ポンプ再循環サンプリング入口弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>②²⁾</td> <td>B-余熱除去ポンプ再循環サンプリング入口弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>③³⁾</td> <td>A-余熱除去ポンプ再循環サンプリング入口弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>④⁴⁾</td> <td>B-余熱除去ポンプ再循環サンプリング入口弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small; margin-top: 5px;">①～④：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機番があることを示す。</p> </div> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">第1.4.38図 余熱除去ポンプによる低圧再循環運転 概要図</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	① ¹⁾	A-余熱除去ポンプ再循環サンプリング入口弁	全閉→全開	② ²⁾	B-余熱除去ポンプ再循環サンプリング入口弁	全閉→全開	③ ³⁾	A-余熱除去ポンプ再循環サンプリング入口弁	全開→全閉	④ ⁴⁾	B-余熱除去ポンプ再循環サンプリング入口弁	全開→全閉	<p>【大飯】 記載方針の相違 （女川審査実績の反映） ・泊は、重大事故等 対応設備（設計 基準拡張）の手 順を整理してい る。</p>
操作手順	弁名称																					
①	LPCS 注入隔離弁																					
操作手順	操作対象機器	状態の変化																				
① ¹⁾	A-余熱除去ポンプ再循環サンプリング入口弁	全閉→全開																				
② ²⁾	B-余熱除去ポンプ再循環サンプリング入口弁	全閉→全開																				
③ ³⁾	A-余熱除去ポンプ再循環サンプリング入口弁	全開→全閉																				
④ ⁴⁾	B-余熱除去ポンプ再循環サンプリング入口弁	全開→全閉																				

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																			
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	 <table border="1" data-bbox="840 965 1265 1220"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>寄名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①#1</td> <td>留取ポンプ(A)S/C吸込弁</td> </tr> <tr> <td>①#2</td> <td>留取ポンプ(A)ミニマムロー弁</td> </tr> <tr> <td>①#3</td> <td>原子炉再循環ポンプ(A)吐出弁</td> </tr> <tr> <td>①#4</td> <td>留取A系停止時冷却吸込第一隔離弁</td> </tr> <tr> <td>①#5</td> <td>留取A系停止時冷却吸込第二隔離弁</td> </tr> <tr> <td>①#6</td> <td>留取ポンプ(A)停止時冷却吸込弁</td> </tr> <tr> <td>①#7</td> <td>留取A系停止時冷却注入隔離弁</td> </tr> <tr> <td>①#8</td> <td>留取熱交換器(A)出口弁</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する弁があることを示す。</p> <p>第1.4-41図 残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）による発電用原子炉からの除熱 概要図</p>	操作手順	寄名称	①#1	留取ポンプ(A)S/C吸込弁	①#2	留取ポンプ(A)ミニマムロー弁	①#3	原子炉再循環ポンプ(A)吐出弁	①#4	留取A系停止時冷却吸込第一隔離弁	①#5	留取A系停止時冷却吸込第二隔離弁	①#6	留取ポンプ(A)停止時冷却吸込弁	①#7	留取A系停止時冷却注入隔離弁	①#8	留取熱交換器(A)出口弁	 <table border="1" data-bbox="1422 933 1960 1141"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①#1</td> <td>A-余熱除去ポンプBSP側入口弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>①#2</td> <td>B-余熱除去ポンプBSP側入口弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>①#3</td> <td>A-余熱除去ポンプBSP/再循環ポンプ側入口弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>①#4</td> <td>B-余熱除去ポンプBSP/再循環ポンプ側入口弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>①#5</td> <td>A-余熱除去ポンプ入口C/N内側隔離弁</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>①#6</td> <td>B-余熱除去ポンプ入口C/N内側隔離弁</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>①#7</td> <td>余熱除去Aライン入口止め弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>①#8</td> <td>余熱除去Bライン入口止め弁</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>①#9</td> <td>A-余熱除去ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>①#10</td> <td>B-余熱除去ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p> <p>第1.4.39図 余熱除去ポンプによる発電用原子炉からの除熱 概要図</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	①#1	A-余熱除去ポンプBSP側入口弁	全開→全閉	①#2	B-余熱除去ポンプBSP側入口弁	全開→全閉	①#3	A-余熱除去ポンプBSP/再循環ポンプ側入口弁	全開→全閉	①#4	B-余熱除去ポンプBSP/再循環ポンプ側入口弁	全開→全閉	①#5	A-余熱除去ポンプ入口C/N内側隔離弁	全開→全開	①#6	B-余熱除去ポンプ入口C/N内側隔離弁	全開→全開	①#7	余熱除去Aライン入口止め弁	全閉→全開	①#8	余熱除去Bライン入口止め弁	全開→全開	①#9	A-余熱除去ポンプ	停止→起動	①#10	B-余熱除去ポンプ	停止→起動	<p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・泊は、重大事故等対処設備（設計基準拡張）の手順を整理している。</p>
操作手順	寄名称																																																					
①#1	留取ポンプ(A)S/C吸込弁																																																					
①#2	留取ポンプ(A)ミニマムロー弁																																																					
①#3	原子炉再循環ポンプ(A)吐出弁																																																					
①#4	留取A系停止時冷却吸込第一隔離弁																																																					
①#5	留取A系停止時冷却吸込第二隔離弁																																																					
①#6	留取ポンプ(A)停止時冷却吸込弁																																																					
①#7	留取A系停止時冷却注入隔離弁																																																					
①#8	留取熱交換器(A)出口弁																																																					
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																																				
①#1	A-余熱除去ポンプBSP側入口弁	全開→全閉																																																				
①#2	B-余熱除去ポンプBSP側入口弁	全開→全閉																																																				
①#3	A-余熱除去ポンプBSP/再循環ポンプ側入口弁	全開→全閉																																																				
①#4	B-余熱除去ポンプBSP/再循環ポンプ側入口弁	全開→全閉																																																				
①#5	A-余熱除去ポンプ入口C/N内側隔離弁	全開→全開																																																				
①#6	B-余熱除去ポンプ入口C/N内側隔離弁	全開→全開																																																				
①#7	余熱除去Aライン入口止め弁	全閉→全開																																																				
①#8	余熱除去Bライン入口止め弁	全開→全開																																																				
①#9	A-余熱除去ポンプ	停止→起動																																																				
①#10	B-余熱除去ポンプ	停止→起動																																																				

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

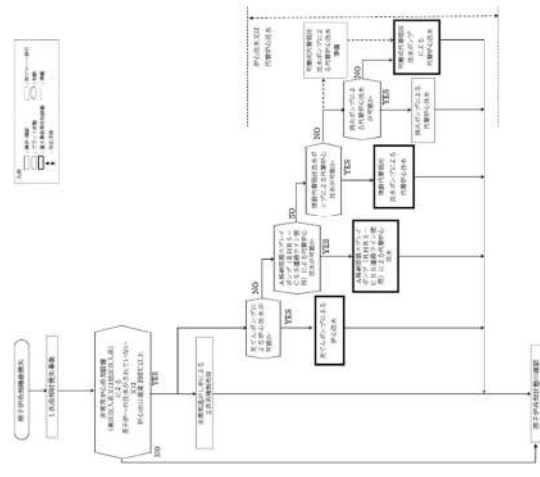
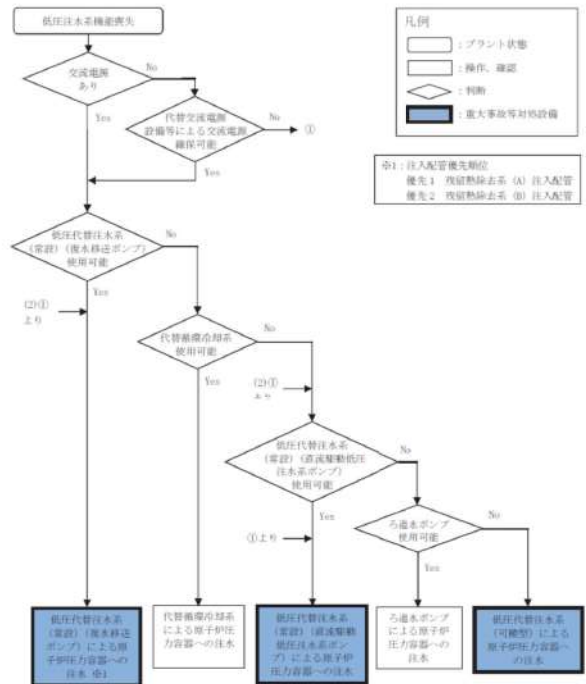
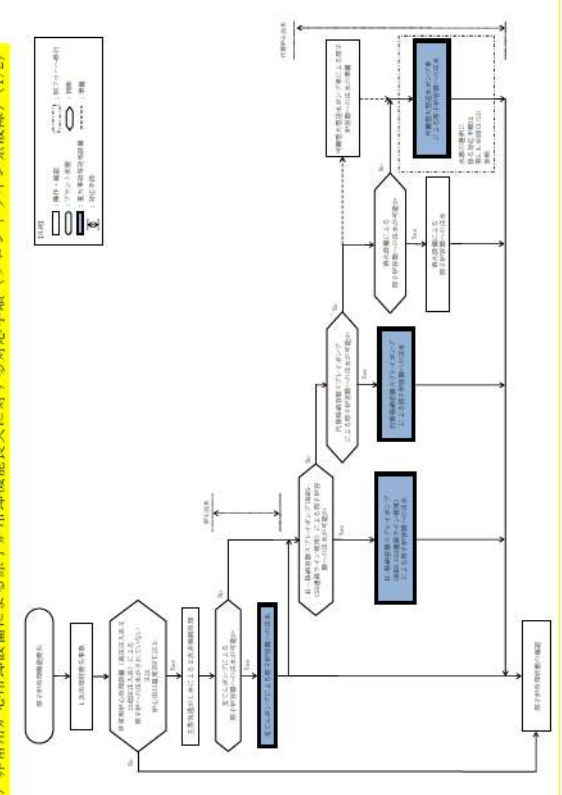
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>図 1.4.18 図 格納容器内格納タンクシステム閉塞の高圧が見られた場合の手順</p>		<p>図 1.4.19 図 格納容器内格納タンクシステム閉塞の高圧が見られた場合の手順</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映)</p> <p>【女川】 炉型の相違による 設備の相違</p>

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p>第1.4-42図 非常用炉心冷却設備による原子炉冷却機能喪失に対する対応手順 <small>（注）注水ポンプの故障発生は、原子炉冷却機能喪失の要因となる</small></p>	<p>(1) フロントライン系故障時の対応手段の選択（発電用原子炉運転中）</p>  <p>第1.4-42図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート (1/4)</p>	<p>(2) 非常用炉心冷却設備による原子炉冷却機能喪失に対する対応手順（フロントライン系故障）(1/2)</p>  <p>第1.4-40図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート (2/21)</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違 （女川審査実績の 反映）</p> <p>【女川】 炉型の相違による 設備の相違</p>

1.4 原子炉冷却材圧カバウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="203 770 613 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>		<div data-bbox="1384 408 1971 1257" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="color: yellow; font-weight: bold;">(2) 非常用炉心冷却設備による原子炉冷却機能喪失に対する対応手順（フロントライン系故障時）(2/2)</p> <p style="font-size: small; text-align: right;">注：図中の「非常用炉心冷却設備」は、原子炉冷却機能喪失が確認された場合に、原子炉冷却機能の回復のために起動される。</p> </div>	<div data-bbox="2024 724 2130 804" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">【大阪】 設備の相違 (相違理由③)</div>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

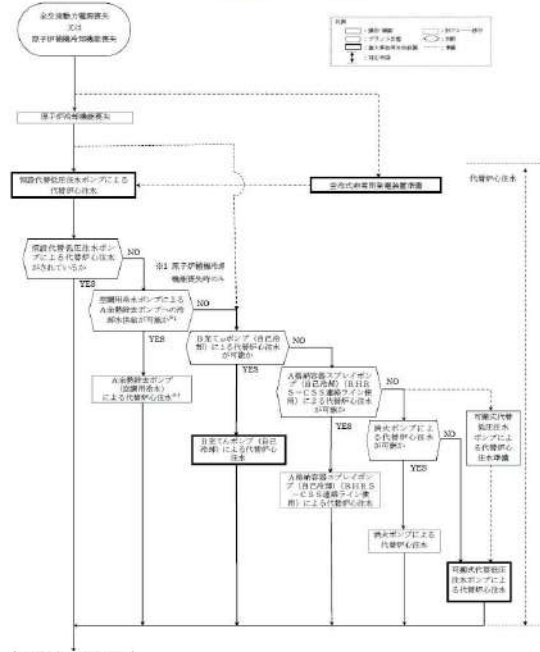
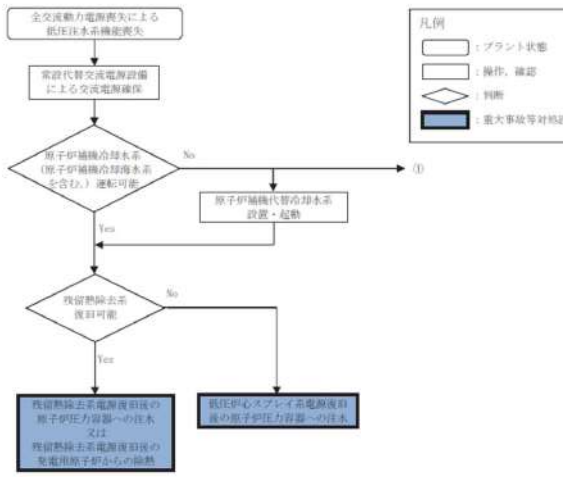
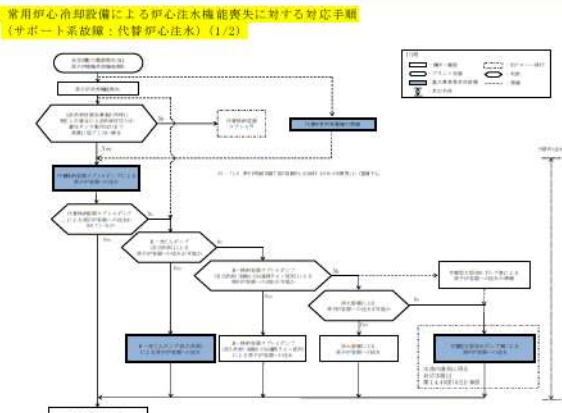
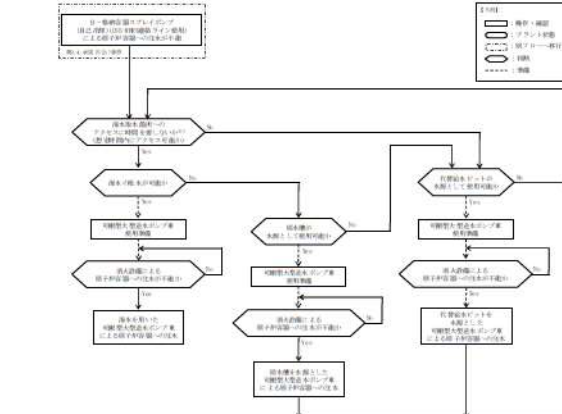
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>図 1.4.39 図 非常用炉心冷却設備による原子炉冷却機能喪失に対する対応手順 (フロントライン系機能喪失：再循環運転及び代替再循環運転)</p>	<p>女川原子力発電所2号炉</p>	<p>(3) 余熱除去設備の再循環運転による原子炉冷却機能喪失に対する対応手段 (フロントライン系故障)</p> <p>図 1.4.40 図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート (4/21)</p>	<p>【本飯】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映)</p> <p>【女川】 炉型の相違による 設備の相違</p>

1.4 原子炉冷却材圧バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
 <p>第 1.4.30 図 非常用炉心冷却設備による原子炉停炉機能喪失に対する対応手順（サポート系機能喪失：代替炉心注水）</p>	<p>(2) サポート系故障時の対応手段の選択</p>  <p>第 1.4-42 図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート (2/4)</p>	<p>(4) 非常用炉心冷却設備による炉心注水機能喪失に対する対応手順（サポート系故障：代替炉心注水）(1/2)</p>  <p>第 1.4.40 図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート (3/21)</p> <p>(4) 非常用炉心冷却設備による炉心注水機能喪失に対する対応手順（サポート系故障：代替炉心注水）(2/2)</p>  <p>第 1.4.40 図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート (6/21)</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違 （女川審査実証の反映）</p> <p>【女川】 炉型の相違による 設備の相違</p> <p>【大阪】 設備の相違 （相違理由③）</p>
<p>泊3号炉との比較対象なし</p>			

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

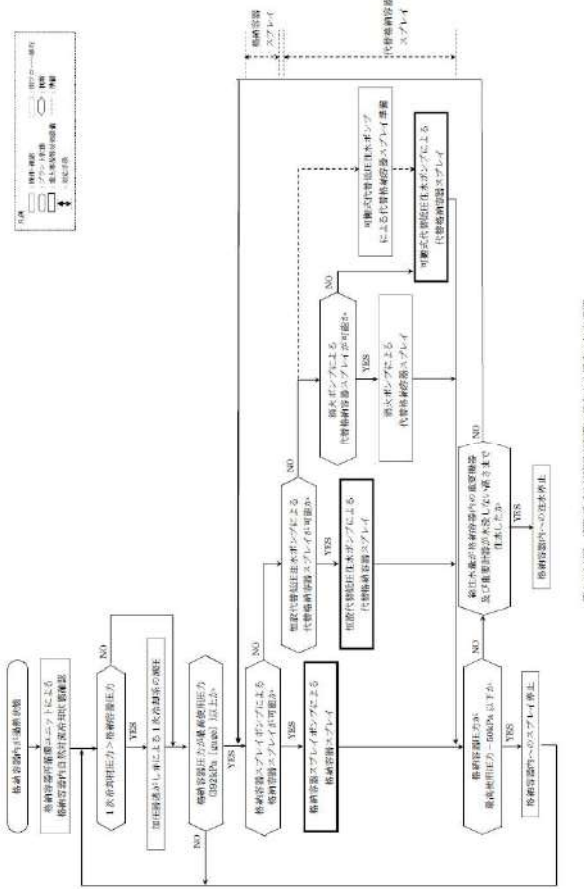
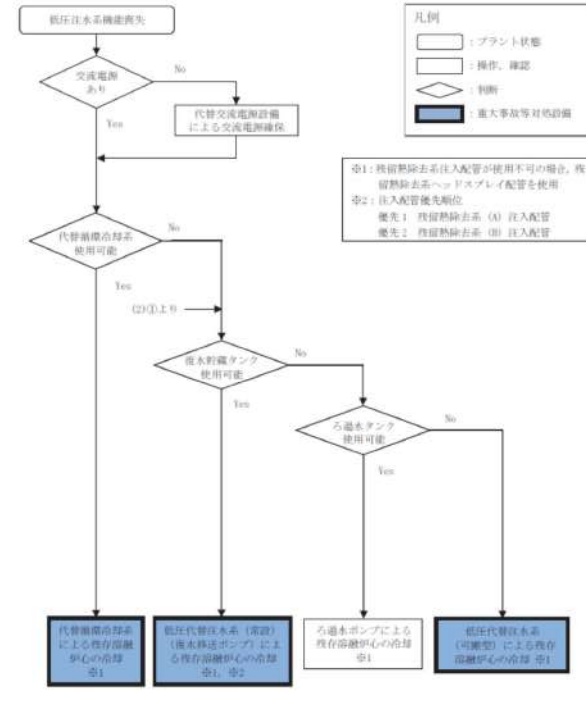
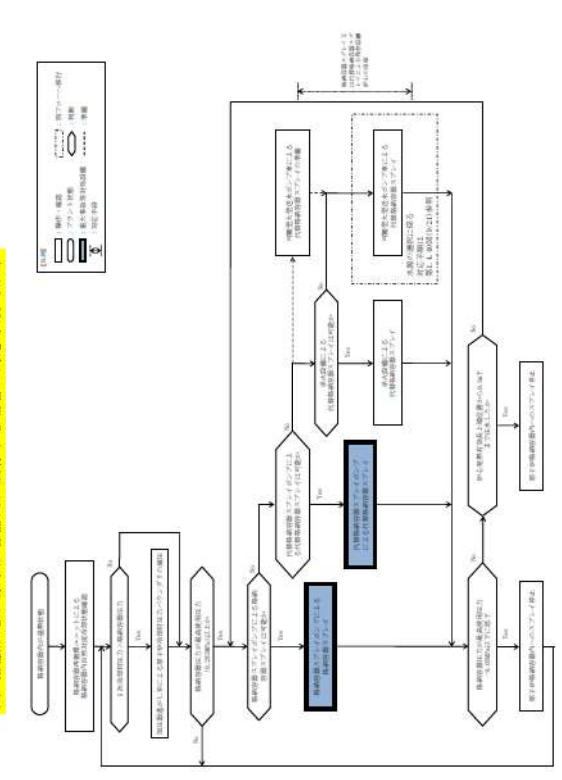
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>第1.4.31図 非常用炉心冷却設備による原子炉冷却機能喪失に対する対応手順（サポート系機能喪失：代替再循環）</p>	<p>女川原子力発電所2号炉</p>	<p>第1.4.40図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート（7/21）</p>	<p>相違理由</p> <p>【大阪】 記載方針の相違（女川審査実績の反映）</p> <p>【女川】 炉型の相違による設備の相違</p>

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p>第1.4.34図 融融炉が原子炉圧力容器内に残存する場合の対応手順</p>	<p>(3) 融融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合の対応手段の選択</p>  <p>第1.4-42図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート (3/4)</p>	 <p>第1.4.40図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート (8/21)</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映)</p> <p>【女川】 炉型の相違による 設備の相違</p>

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="203 770 613 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> 泊3号炉との比較対象なし </div>		<div data-bbox="1370 507 1973 1174" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="background-color: yellow; margin-bottom: 5px;">(6) 熔融炉心が原子炉容器内に残存する場合の対応手順 (2/2)</p> <p style="font-size: small; margin-top: 10px;">※1：廃炉実施段階一のアセスメント報告書が完成し、アセスメントが完了している場合は、廃炉の進捗が可能な限り、本手順一併実行する。</p> </div>	<div data-bbox="2033 783 2130 863" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> 【大飯】 設備の相違 (相違理由③) </div>

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>原子炉冷却機能喪失</p> <p>電動補助給水ポンプ又はタービン駆動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水</p> <p>補助給水流量 125m³/h以上</p> <p>電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水</p> <p>蒸気発生器水位回復</p> <p>蒸気発生器継続用夜設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水</p> <p>主蒸気流がし弁による蒸気放出</p> <p>1次冷却材圧力、再度低下</p> <p>タービンバイパス弁による蒸気放出</p> <p>低圧停止への移行が必要か</p> <p>蒸気発生器と冷却のファイアアップブリード</p> <p>原子炉冷却状態の確認</p> <p>蒸気発生器と冷却のファイアアップブリードによる炉心冷却</p> <p>蒸気発生器と冷却のファイアアップブリード</p> <p>第 1.4.36 図 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の原子炉冷却機能喪失時の対応手順（フロントライン系故障）</p>	<p>女川原子力発電所2号炉</p>	<p>泊発電所3号炉</p> <p>(7) 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の原子炉冷却機能喪失の対応手順（フロントライン系故障）(1/2)</p> <p>原子炉冷却機能喪失</p> <p>電動補助給水ポンプ又はタービン駆動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水</p> <p>補助給水流量125m³/h以上</p> <p>電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水</p> <p>蒸気発生器水位回復</p> <p>可動型大型給水ポンプの稼働</p> <p>可動型大型給水ポンプによる蒸気発生器への注水</p> <p>蒸気発生器本位回復</p> <p>可動型大型給水ポンプによる蒸気発生器への注水</p> <p>蒸気発生器本位回復</p> <p>主蒸気流がし弁による蒸気放出</p> <p>1次冷却材圧力・再度低下</p> <p>タービンバイパス弁による蒸気放出</p> <p>低圧停止への移行が必要か</p> <p>蒸気発生器と冷却のファイアアップブリード</p> <p>原子炉冷却状態の確認</p> <p>蒸気発生器と冷却のファイアアップブリードによる炉心冷却</p> <p>蒸気発生器と冷却のファイアアップブリード</p> <p>第 1.4.40 図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート (10/21)</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違（女川審査実績の反映）</p> <p>【女川】 炉型の相違による設備の相違</p>

1.4 原子炉冷却材圧カバウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="203 770 613 813" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>		<div data-bbox="1377 443 2004 1093" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="text-align: center; background-color: yellow;">(7) 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の原子炉冷却機能喪失の対応手順（フロントライン系故障）(2/2)</p> <p style="font-size: small; text-align: center;">第1 原子炉本体側のアンダーに冷却水喪失しないか、アンダーの閉鎖は迅速に行う。1 原子炉本体が可動、2 可動稼働する。</p> </div>	<div data-bbox="2027 726 2139 805" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>【大飯】 設備の相違 (相違理由④)</p> </div>

第1.4.40図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート (11/21)

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p>第 1.4.37 図 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の原子炉冷却機能喪失時の対応手順（サボート系機能喪失）</p>	<p>女川原子力発電所 2号炉</p>	<p>第 1.4.40 図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート（12/21）</p>	<p>相違理由</p> <p>【大阪】 記載方針の相違 （女川審査実績の反映）</p> <p>【女川】 炉型の相違による 設備の相違</p>

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="203 770 613 813" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>		<div data-bbox="1377 438 1993 1101" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>(8) 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の全交流動力電源喪失の 対応手順（サボート系故障）(2/2)</p> <p>【大飯】 設備の相違 (相違理由④)</p> </div>	

第 1.4.40 図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート (13/21)

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p>第 1.4.41 図 運転停止中の原子炉冷却機能喪失に対する対応手順（フロントライン系機能喪失）（1/2）</p>	<p>(4) フロントライン系故障時の対応手段の選択（発電用原子炉停止中）</p> <p>第 1.4-42 図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート（4/4）</p>	<p>(9) 停止中の原子炉冷却機能喪失に対する対応手順 （フロントライン系故障）（1/4）</p> <p>第 1.4.40 図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート（14/21）</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違 （女川審査実績の反映）</p> <p>【女川】 炉型の相違による 設備の相違</p>

1.4 原子炉冷却材圧カバウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<div data-bbox="203 770 613 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>		<div data-bbox="1384 387 2000 1129" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>(9) 停止中の原子炉冷却機能喪失に対する対応手順 (フロントライン系故障) (2/4)</p> <p>【大飯】 設備の相違 (相違理由④)</p> </div>	

第 1.4.40 図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート (15/21)

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p>大阪発電所 3 / 4号炉の緊急冷却手順フローチャート。図1.4.41 運転停止中の原子炉冷却機能喪失に対する対応手順 (フロントライン系故障) (2/2)。</p>	<p>女川原子力発電所 2号炉の対応手順は、この表の比較対象外である。</p>	<p>女川原子力発電所 2号炉の緊急冷却手順フローチャート。図1.4.40 重大事故等時の対応手段選択フローチャート (16/21)。</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映)</p> <p>【女川】 炉型の相違による 設備の相違</p>

1.4 原子炉冷却材圧カバウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="203 767 613 810" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>		<div data-bbox="1384 400 2002 1129" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">(9) 停止中の原子炉冷却機能喪失に対する対応手順 (フロントライン系故障) (4/4)</p> <p style="text-align: center;">第1.4.40図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート (17/21)</p> </div>	<div data-bbox="2024 778 2130 858" style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">【大飯】 設備の相違 (相違理由③)</div>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p>停止中の全交流動力電源喪失 原子炉冷機機能喪失 蒸気発生器全停止 蒸気発生器による冷却は可能か YES: タービン補助給水ポンプ又は電動補助給水のシフトによる蒸気発生器への注水 NO: 補助給水流量 125t/h以上 YES: 蒸気発生器冷却用圧力ポンプ(電動)による蒸気発生器への注水 NO: 蒸気発生器による冷却は可能か YES: 蒸気発生器による冷却は可能か (冷却材流量確保条件成立) YES: 冷却材流量確保の運転操作 NO: 蒸気発生器による冷却は可能か YES: 冷却材流量確保による冷却 NO: 低減停止への移行が必要か YES: 蒸気発生器と次側のフィードアンドブリード NO: 蒸気発生器と次側による冷却停止 低減停止状態</p> <p>図 1.4.43 図 運転停止中の原子炉冷機機能喪失に対する対応手順 (サポート系機能喪失) (1/2)</p>	<p>女川原子力発電所 2号炉</p>	<p>泊発電所 3号炉</p> <p>(10) 停止中の全交流動力電源喪失に対する対応手順 (サポート系故障) (1/4)</p> <p>停止中の全交流動力電源喪失 原子炉冷機機能喪失 蒸気発生器全停止 蒸気発生器による冷却は可能か YES: タービン補助給水ポンプ又は電動補助給水のシフトによる蒸気発生器への注水 NO: 補助給水流量 125t/h以上 YES: 蒸気発生器冷却用圧力ポンプ(電動)による蒸気発生器への注水 NO: 蒸気発生器による冷却は可能か YES: 蒸気発生器による冷却は可能か (冷却材流量確保条件成立) YES: 冷却材流量確保の運転操作 NO: 蒸気発生器による冷却は可能か YES: 冷却材流量確保による冷却 NO: 低減停止への移行が必要か YES: 蒸気発生器と次側のフィードアンドブリード NO: 蒸気発生器と次側による冷却停止 低減停止状態</p> <p>図 1.4.40 図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート (18/21)</p>	<p>相違理由</p> <p>【本飯】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映)</p> <p>【女川】 炉型の相違による 設備の相違</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="203 770 613 813" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 泊3号炉との比較対象なし </div>		<div data-bbox="1370 395 2013 1141" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="text-align: center; color: yellow; background-color: black; margin-bottom: 5px;">(10) 停止中の全交流動力電源喪失に対する対応手順 (サボート系故障) (2/4)</p> <p style="font-size: small; margin-top: 10px;">第1.4.40図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート (19/21)</p> </div>	<div data-bbox="2027 726 2139 805" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>【大阪】 設備の相違 (相違理由④)</p> </div>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p>図 1.4.43 図 運転停止中の原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 (サポート系故障) (2/2)</p>	<p>女川原子力発電所 2号炉</p>	<p>(10) 停止中の全交流動力電源喪失に対する対応手順 (サポート系故障) (3/4)</p> <p>第 1.4.40 図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート (20/21)</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映)</p> <p>【女川】 炉型の相違による設備の相違</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="203 767 613 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 泊3号炉との比較対象なし </div>		<div data-bbox="1384 384 2002 1118" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>(10) 停止中の全交流動力電源喪失に対する対応手順 (サボート系故障) (4/4)</p> <p>第 1.4.40 図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート (21/21)</p> </div>	<div data-bbox="2024 751 2130 831" style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> 【大阪】 設備の相違 (相違理由③) </div>

比較対象プラント選定の詳細（技術的能力）

【1.4：低圧時冷却】

項目		内容
基準適合に係る設計を反映するために比較するプラント	プラント名	大飯3 / 4号炉
	具体的理由	当該条文における重大事故等への対応に用いる蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却手段の活用による対応等については、BWRには存在しない設備を用いるPWR固有のプラント設計に基づくものであり、発電用原子炉の冷却に用いる設備構成の相違など、機能喪失を想定する設計基準事故対応設備及び重大事故等への対応設備・手段が大きく異なるため、PWRプラントとしての基準への適合性を網羅的に比較する観点から大飯3 / 4号炉を選定する。
先行審査知見を反映するために比較するプラント	プラント名	女川2号炉
	反映すべき知見を得るための主な方法	① 比較表による比較：比較表に掲載し、先行審査知見（基準適合上で考慮すべき事項、記載内容の充実を図るべき点）の比較・整理を行い、その結果、必要な内容が記載されていることを確認した。ただし、BWR固有の設備や対応手段については精度の良い比較ができないことから大飯3 / 4号炉と比較する。 ② 資料構成の比較※：当該条文のまとめ資料の構成について比較・整理を行い、その結果、必要と判断した資料を追加することとした。 [事例] 添付資料（手順着手の判断基準、操作手順の解釈など）
	(当該方法の選定理由)	① 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備及び重大事故等への対応設備・手段が大きく異なるため、資料の記載内容も異なるが、資料構成の比較・整理により基準適合の説明のために必要な資料の充足性を確認することが可能なため。

※ 女川2号炉との資料構成の比較に加え、PWRの先行審査実績の取り込みの総括として、大飯3 / 4号炉のまとめ資料の作成状況（資料構成と内容）を条文・審査項目毎に確認し、基準適合性の網羅的な説明に必要な資料が揃っていることを確認する。

